



SDGs 未来都市  
豊島区

---

# 協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書

---

令和8年3月  
(令和7年7月実施)

豊 島 区



## I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 報告書を見る際の注意事項	3
6. 回答者の基本属性	4

## II 調査結果

第1章 豊島区の印象について	13
1. 住み心地	13
(1) 住み心地〔問1〕	13
(2) 住み心地の変化〔問2〕	16
(3) 住み心地の変化の理由〔問2-1〕	19
2. 居住の経緯	22
(1) 居住の経緯〔問3〕	22
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか〔問3-1〕	24
(3) 豊島区を選んだ理由〔問3-2〕	27
3. 定住意向	31
(1) 定住意向〔問4〕	31
(2) 住み続けたい理由〔問4-1〕	34
(3) 転居せざるをえない、転居したい理由〔問4-2〕	38
第2章 地域の生活環境について	43
《設問設定の考え方》	43
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問5〕	46
(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち	46
(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	47
(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	48
(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	49
(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	50
(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち	51
(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	52

# 目次

---

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問5〕	54
(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち	54
(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	55
(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	56
(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	57
(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	58
(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち	59
(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	60
3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問5〕	61
(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち	62
(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	64
(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	67
(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	70
(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	72
(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち	74
(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	76
4. 総合分析の経年比較〔問5〕	78
(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち	78
(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	79
(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	80
(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	81
(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	82
(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち	83
(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	84
5. 理念について目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問5〕	85
(1) 誰もがいつでも主役	85
(2) みんながつながる	86
(3) 出会いと笑顔が咲きほこる、憧れのまち	87
第3章 区の情報・区の政策等について	91
1. 区の情報・区政への参加について	91
(1) 区に関する情報の入手方法〔問6〕	91
(2) 区政情報が伝わっていると思うか〔問7〕	94
(3) 区政情報が伝わっていないと思う理由〔問7-1〕	96
(4) 区政への関心〔問8〕	98
(5) 柔軟な区政運営ができているか〔問9〕	100
2. 地域との関わりについて	102
(1) 町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問10〕	102

---

3. 公共交通について	104
(1) 居住地域の鉄道・バス等の公共交通が充実し便利と感じるか〔問11〕	104
4. 自転車駐輪場について	106
(1) 区内の自転車駐輪場の利用状況〔問12〕	106
(2) 駐輪場に対する評価〔問12-1〕	108
5. ふるさと納税について	114
(1) 他自治体へのふるさと納税の経験〔問13〕	114
(2) 他自治体へのふるさと納税による区の減収と区民サービス低下のおそれの認知 〔問14〕	117
(3) 他自治体へのふるさと納税による区の減収の認知経路〔問14-1〕	120
6. 多文化共生のまちづくりについて	122
(1) 近隣の外国人と共に生活しやすくなるための改善点/日本人との関係で困った経験 〔問15〕	122
(2) 周囲で困っている外国人の有無〔問16〕	125
(3) 困っている外国人に対する対応方法〔問16-1〕	127
7. 区政のデジタル化について	129
(1) 区政のデジタル化が進んでいると思うか〔問17〕	129
(2) デジタル化が進んでいると思う手続き〔問17-1〕	131
(3) デジタル化が進んでいると思う分野〔問17-2〕	133
(4) 区政のデジタル化が進んだことによる効果の実感〔問17-3〕	135
(5) デジタル化が進んでいないと思う手続き〔問17-4〕	137
(6) デジタル化が進んでいないと思う分野〔問17-5〕	139
8. 区政全般への要望	141
(1) 現在、区が力を入れていると思う施策〔問18〕	141
(2) 特に力を入れてほしいと思う施策〔問18〕	145
(3) 一番力を入れてほしいと思う施策〔問18-1〕	149
(4) 総合分析〔問18〕	155
9. 自由意見	156
Ⅲ 調査票	159



# I 調査の概要



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、多様な主体との協働によるまちづくりを推進するにあたり、地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について、区民の意見や要望を把握し、基本計画が設定する成果指標・重点施策の確認とともに、これからの行政サービスのあり方の検討等に資するための基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象 区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法 自記式調査票による郵送配布・郵送回収又はインターネット回答
- (6) 調査時期 令和7年7月1日(火)～7月28日(月)
- (7) 調査機関 株式会社総合企画

## 3. 調査内容

- (1) 豊島区の印象について
- (2) 地域の生活環境の評価と今後の優先度について
- (3) 区の情報・区の政策等について
- (4) 区政全般への要望
- (5) 調査対象者の基本属性について

## 4. 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,642件 (郵送：1,074件 / インターネット：568件)	32.8%

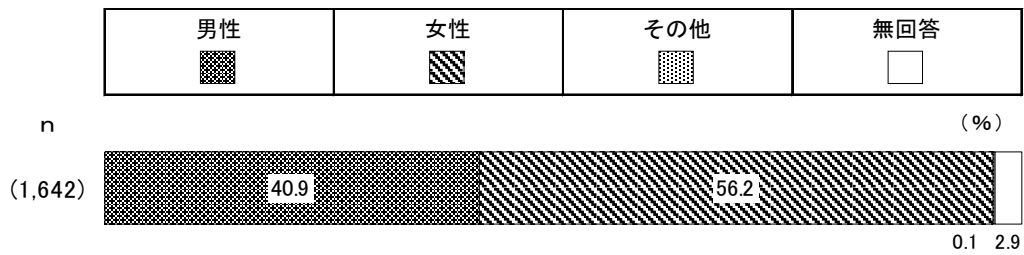
## 5. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- (2) 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- (3) 複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。
- (5) 回答者数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

## 6. 回答者の基本属性

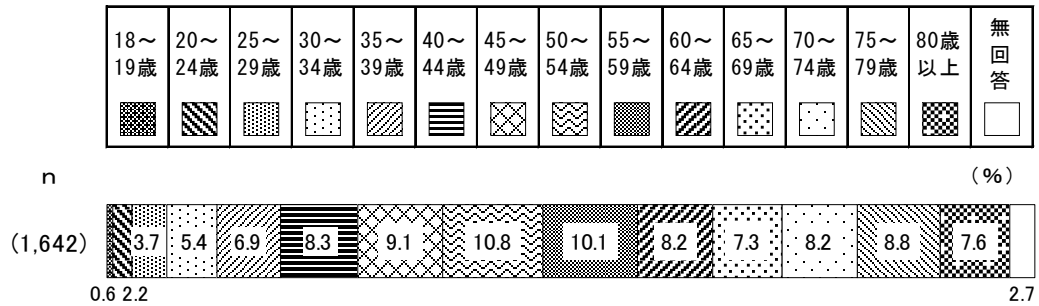
### (1) 性別（自認する性）

「女性」(56.2%) が5割半ば、「男性」(40.9%) が約4割となっている。



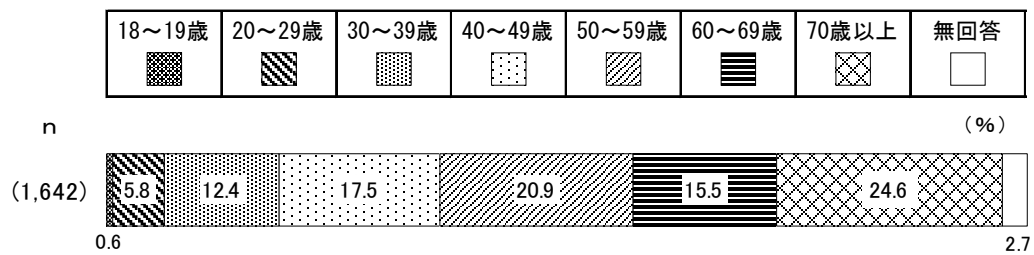
### (2) 年齢

「50～54歳」(10.8%)、「55～59歳」(10.1%)、「45～49歳」(9.1%) が約1割となっている。



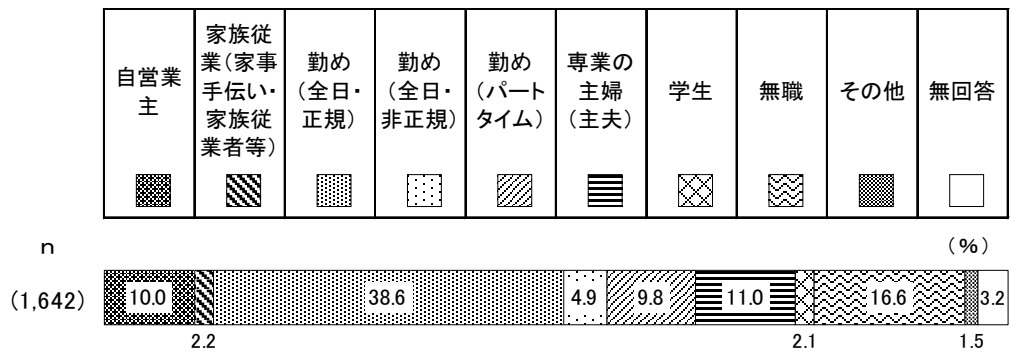
### 【10歳区分】

「70歳以上」(24.6%) が2割半ば、「50～59歳」(20.9%) が約2割となっている。



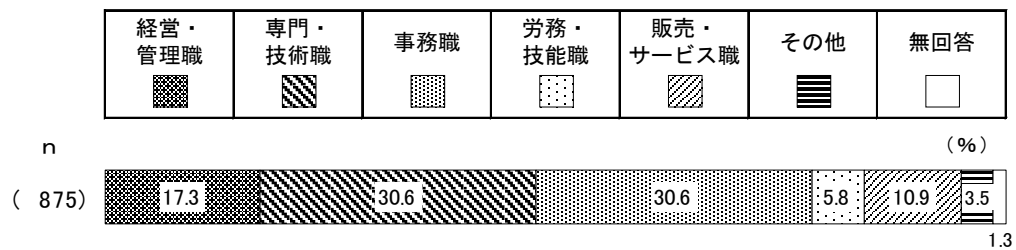
## (3) 職業

「勤め（全日・正規）」(38.6%) が4割近くで最も高く、次いで「無職」(16.6%)、「専業の主婦（主夫）」(11.0%)、「自営業主」(10.0%)、「勤め（パートタイム）」(9.8%) となっている。



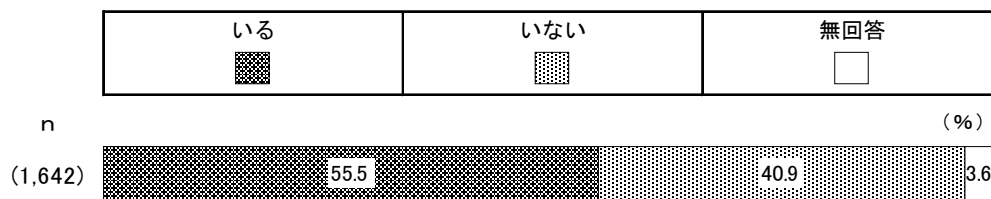
## (4) 仕事内容

職業で勤めと答えた方の仕事内容は、「専門・技術職」(30.6%)、「事務職」(30.6%) がともに約3割で最も高く、次いで「経営・管理職」(17.3%)、「販売・サービス職」(10.9%)、「労務・技能職」(5.8%) となっている。



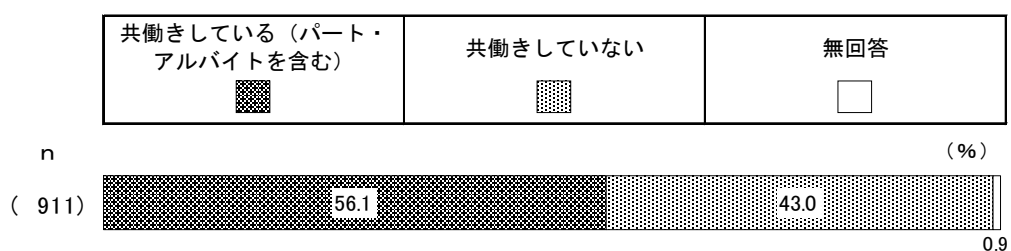
## (5) 配偶者の有無

「いる」(55.5%) が5割半ば、「いない」(40.9%) が約4割となっている。



## (6) 共働きの有無

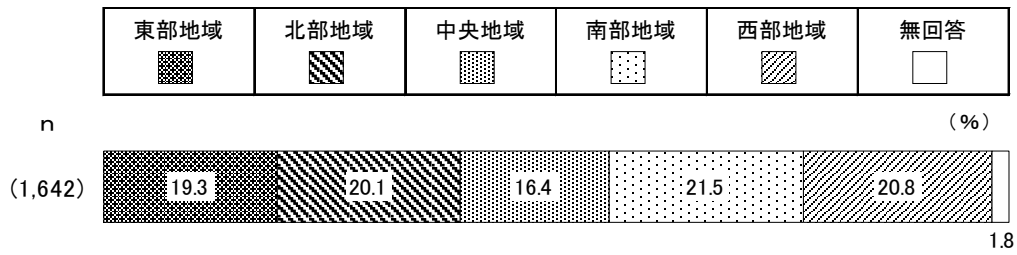
「共働きしている(パート・アルバイトを含む)」(56.1%) が5割半ば、「共働きしていない」(43.0%) が4割を超えている。



I 調査の概要

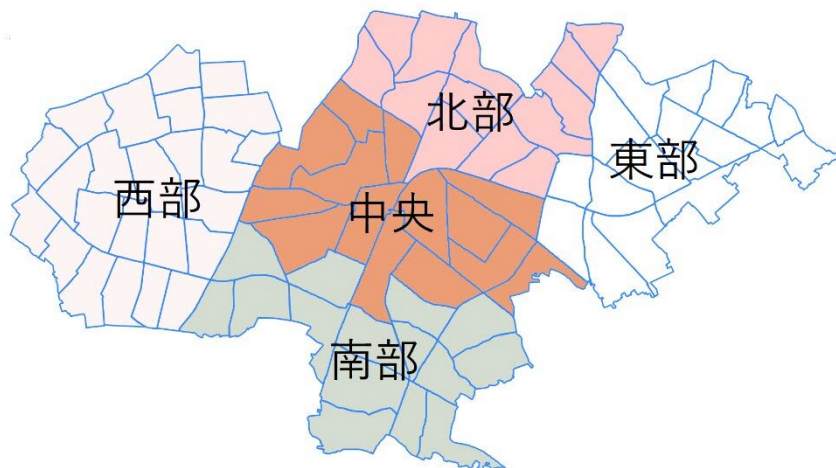
(7) 居住地域

「東部地域」(19.3%)、「北部地域」(20.1%)、「南部地域」(21.5%)、「西部地域」(20.8%)が2割前後となっている。



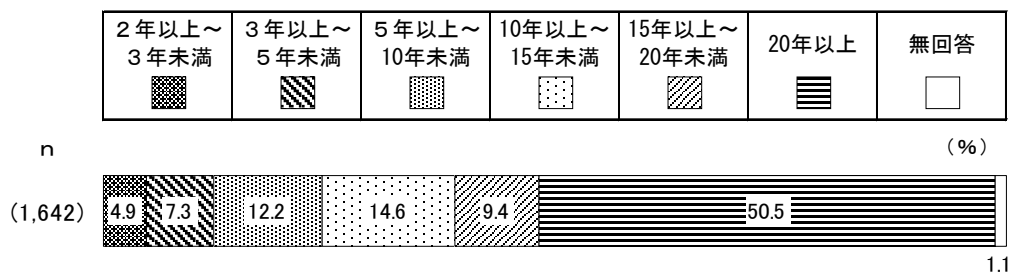
注) 5地区の町丁構成

- 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
- 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
- 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
- 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
- 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)



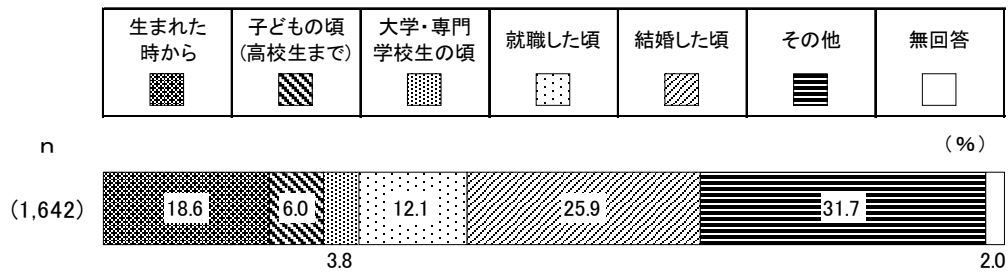
(8) 居住年数

「20年以上」(50.5%)が約5割で最も高く、次いで「10年以上～15年未満」(14.6%)、「5年以上～10年未満」(12.2%)となっている。



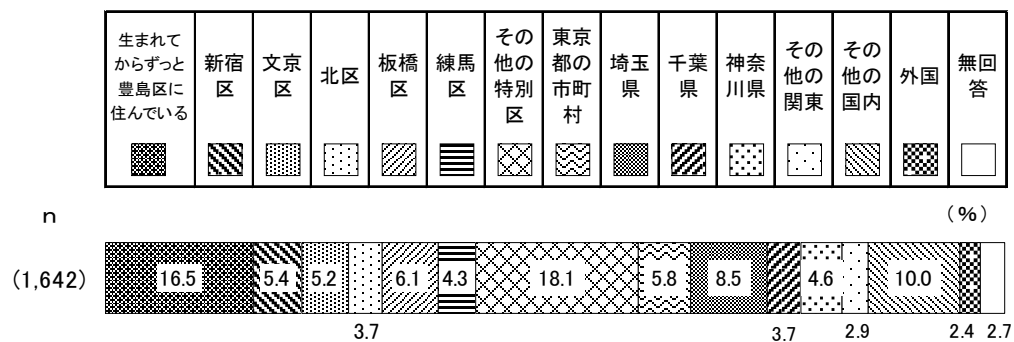
## (9) 豊島区に住み始めた時期

「結婚した頃」(25.9%)が2割半ばで最も高く、次いで「生まれた時から」(18.6%)、「就職した頃」(12.1%)となっている。また、「その他」の回答として、「転勤」、「転職」、「住宅購入」、「子どもの出産や進学」などが多くあげられている。



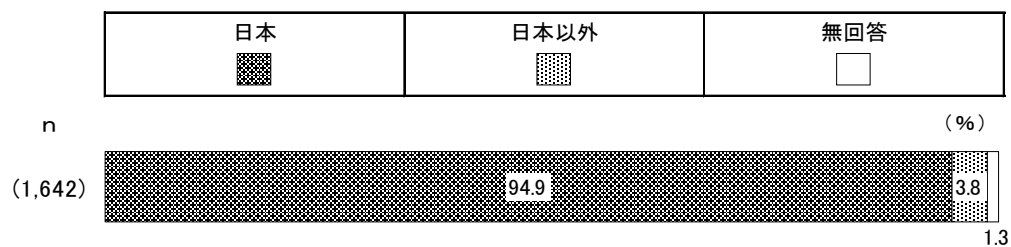
## (10) 豊島区に住む前に住んでいた地域

「新宿区」など近隣の5区(24.7%)からが2割半ばで最も高く、次いで「その他の特別区」(18.1%)と「生まれてからずっと豊島区に住んでいる」(16.5%)が2割近く、「その他の国内」(10.0%)が1割となっている。



## (11) 国籍

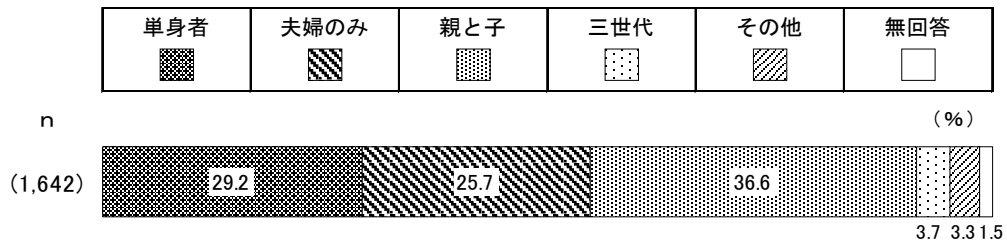
「日本」(94.9%)が9割半ば、「日本以外」(3.8%)はわずかとなっている。



I 調査の概要

(12) 世帯構成

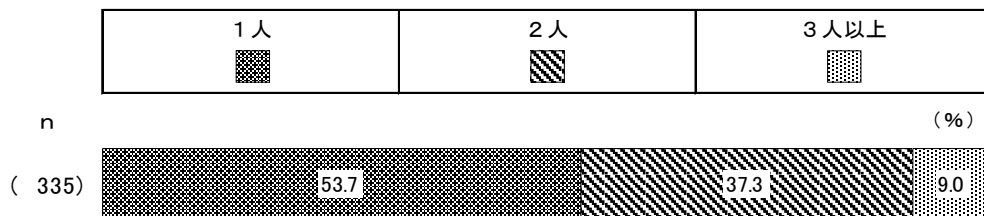
「親と子」(36.6%) が4割近くで最も高く、次いで「単身者」(29.2%)、「夫婦のみ」(25.7%)、「三世代」(3.7%) となっている。



(13) 高校生以下の子どもの有無

世帯構成を「親と子」「三世代」と答えた回答者 661 名のうち、「高校生以下の子どもがいる」と回答したのは 335 名 (50.7%) で約5割となっている。

- ① 「高校生以下の子どもがいる場合の、子どもの数は、「1人」(53.7%) が5割を超えて最も高く、次いで「2人」(37.3%)、「3人以上」(9.0%) となっている。



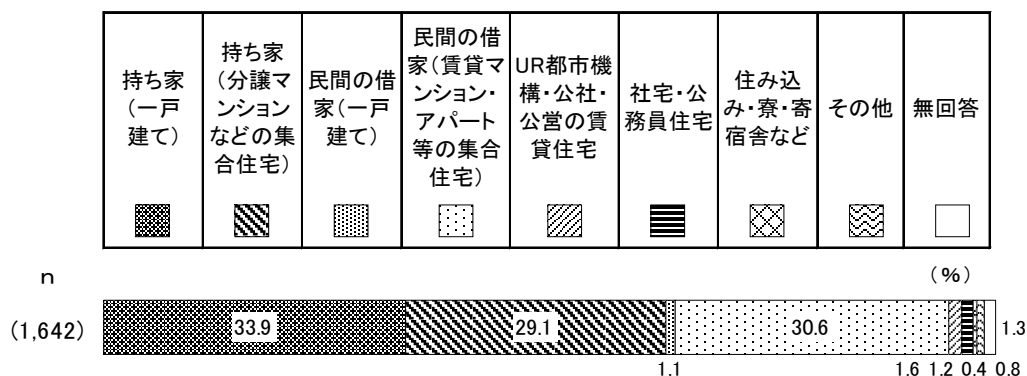
- ② 子どもの年齢別にみた回答者 (n) の数

n	就学前	小学生	中学生	高校生
335	127	153	80	68

※子どもが2人以上の場合があるため、就学前・小学生・中学生・高校生の合計は335を超える

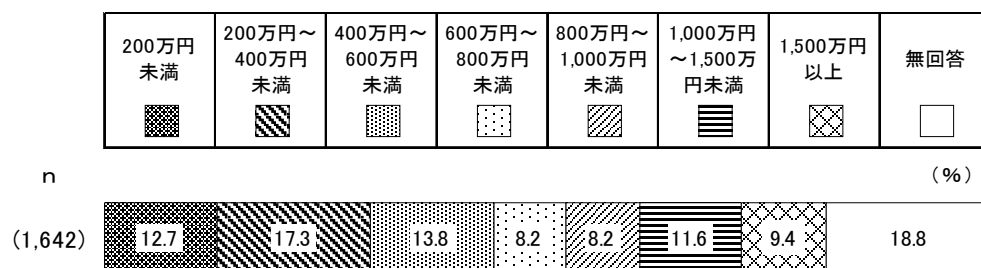
(14) 住まい形態

「持ち家（一戸建て）」(33.9%) が3割を超えて最も高く、次いで「民間の借家（賃貸マンション・アパート等の集合住宅）」(30.6%)、「持ち家（分譲マンションなどの集合住宅）」(29.1%) となっている。



(15) 世帯年収

「200万円～400万円未満」(17.3%)が2割近くで最も高く、次いで「400万円～600万円未満」(13.8%)、「200万円未満」(12.7%) となっている。



I 調査の概要

《今回調査と過去調査（令和6年度、令和5年度、令和4年度）の回答者の基本属性比較》

(%)

		令和7年度 調査（今回） (n=1,642)	令和6年度 調査（前回） (n=1,675)	令和5年度 調査（前々回） (n=1,758)	令和4年度 調査（3前回） (n=1,884)
①性別	男性	40.9	39.9	40.2	40.9
	女性	56.2	55.9	55.0	56.7
	その他	0.1	0.2	0.2	0.2
	無回答	2.9	3.9	4.6	2.3
②年齢	18～19歳	0.6	0.7	0.7	0.7
	20～29歳	5.8	5.5	5.3	5.9
	30～39歳	12.4	14.4	12.1	12.6
	40～49歳	17.5	16.4	19.0	19.8
	50～59歳	20.9	19.5	21.6	19.3
	60～69歳	15.5	15.0	16.0	16.1
	70歳以上	24.6	24.7	20.8	23.4
	無回答	2.7	3.8	4.4	2.2
③職業	自営業（家族従業員含む）	12.2	12.2	10.6	13.4
	勤め（全日・正規）	38.6	38.8	38.4	34.7
	勤め（全日・非正規）	4.9	4.6	5.5	5.1
	勤め（パートタイム）	9.8	9.6	8.8	12.0
	専業主婦（主夫）	11.0	10.9	10.5	10.6
	学生	2.1	2.1	1.9	2.1
	無職	16.6	16.8	16.8	18.0
	その他	1.5	0.7	2.4	1.6
無回答	3.2	4.3	5.2	2.6	
④居住年数	2年以上～3年未満	4.9	4.5	4.4	4.1
	3年以上～5年未満	7.3	8.9	7.1	6.6
	5年以上～10年未満	12.2	13.6	14.7	15.0
	10年以上～15年未満	14.6	12.4	12.0	12.5
	15年以上～20年未満	9.4	9.3	10.7	8.8
	20年以上	50.5	47.9	46.4	51.0
無回答	1.1	3.5	4.7	2.0	
⑤居住歴	ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）	25.6	24.7	24.2	27.0
	他の地域からきた	73.5	74.0	75.6	72.7
	無回答	0.9	1.3	0.2	0.4
⑥居住地域	東部地域	19.3	19.3	19.6	20.0
	北部地域	20.1	18.6	19.2	18.6
	中央地域	16.4	17.4	15.9	18.0
	南部地域	21.5	20.4	20.9	20.5
	西部地域	20.8	19.8	19.6	20.0
無回答	1.8	4.6	4.9	3.0	
⑦国籍	日本	94.9	93.4	95.0	97.6
	日本以外	3.8	3.1	1.9	1.8
⑧世帯構成	単身者	29.2	26.3	27.2	23.4
	夫婦のみ	25.7	25.9	23.1	25.6
	親と子	36.6	36.7	38.2	42.3
	三世代	3.7	4.5	5.1	5.3
	その他	3.3	2.1	2.6	1.6
無回答	1.5	4.5	3.8	1.8	
⑨高校生以下の子どもの有無	いない			56.3	56.7
	1人	27.2	22.4	23.6	23.1
	2人	18.9	17.6	15.9	13.5
	3人以上	4.5	2.2	2.1	3.7
無回答			2.1	3.0	
⑩住まい形態	一戸建て	35.0	39.8	36.9	38.1
	集合住宅（分譲）	29.1	26.8	26.5	26.0
	集合住宅（賃貸）	32.2	30.0	29.2	30.7
	社宅・官舎、寮	1.5	1.5	1.2	1.6
	その他	0.8	0.5	2.0	2.2
	無回答	1.3	1.4	4.2	1.4
⑪世帯年収	200万円未満	12.7	13.9	15.9	13.9
	200万円～400万円未満	17.3	17.2	14.7	19.1
	400万円～600万円未満	13.8	14.1	12.6	13.5
	600万円～800万円未満	8.2	10.0	8.4	8.2
	800万円～1,000万円未満	8.2	8.8	9.2	7.7
	1,000万円～1,500万円未満	11.6	11.3	10.8	11.3
	1,500万円以上	9.4	7.5	8.4	7.8
無回答	18.8	17.1	20.0	18.6	

注) ③職業、⑨高校生以下の子どもの有無、⑩住まい形態は、過去の調査項目に合わせ編成し直している

注) ⑨高校生以下の子どもの有無は、令和6年度までは中学生以下の子どもの有無を聴取。

注) ⑨高校生以下の子どもの有無は、⑧世帯構成で「親と子」「三世代」に回答した人のみが回答。

(該当する回答者数は、令和7年度が661人、令和6年度が689人、令和5年度が762人、令和4年度が897人)

## Ⅱ 調査結果

### 第1章 豊島区の印象について



## Ⅱ 調査結果

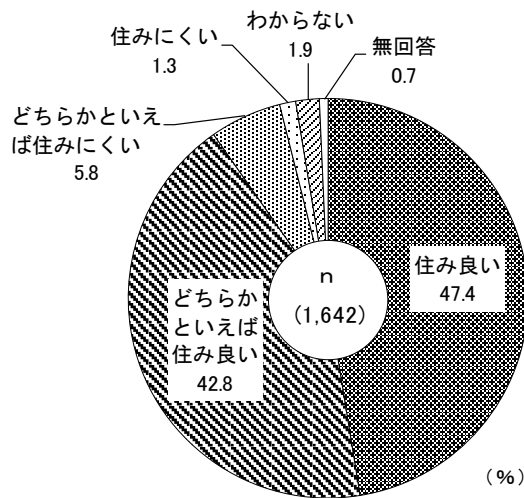
### 第1章 豊島区の印象について

#### 1. 住み心地

##### (1) 住み心地

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地こころはどうですか。(1つに○)

豊島区の住み心地を聞いたところ、「住み良い」(47.4%)と「どちらかといえば住み良い」(42.8%)を合わせた『住み良い(計)』(90.3%)は9割となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(5.8%)と「住みにくい」(1.3%)を合わせた『住みにくい(計)』(7.1%)は1割近くとなっている。



#### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『住み良い(計)』は令和6年度と比べて大きな違いはみられない。

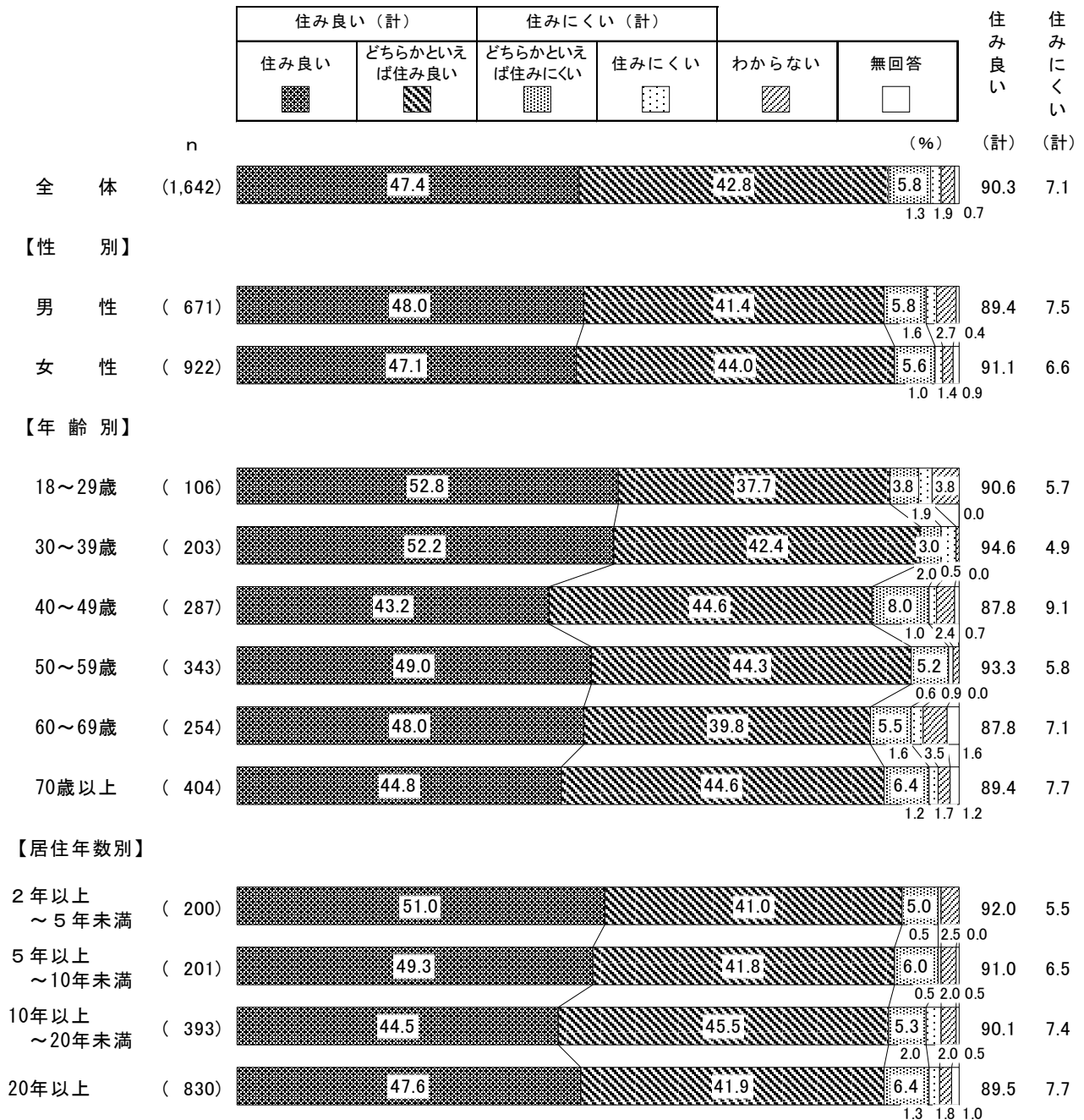
n	住み良い(計)		住みにくい(計)			住み良い(計)	住みにくい(計)
	住み良い	どちらかといえば住み良い	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	わからない		
令和7年度 (1,642)	47.4	42.8	5.8	1.3	0.7	90.3	7.1
令和6年度 (1,675)	46.0	45.0	5.2	1.3	1.9	91.0	6.6
令和5年度 (1,758)	45.7	43.3	5.7	1.4	2.1	89.1	7.3
令和4年度 (1,884)	50.7	39.8	5.6	1.6	3.1	90.5	6.5
令和3年度 (2,009)	49.4	41.6	5.6	1.0	2.3	91.0	6.4
令和2年度 (2,147)	46.8	41.8	6.1	0.8	1.9	88.6	7.0
令和元年度 (1,825)	45.2	43.3	5.8	0.9	3.4	88.5	7.4
平成30年度 (1,841)	45.4	44.1	6.0	1.6	3.2	89.5	7.4
平成29年度 (1,913)	45.5	43.2	7.4	1.4	2.9	88.7	8.9
平成28年度 (1,967)	43.2	42.4	8.0	1.5	2.1	85.6	10.0
平成25年度 (1,757)	38.2	50.3	6.6	2.0	3.8	88.6	8.6

【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『住み良い (計)』は18～29歳 (90.6%)、30～39歳 (94.6%)、50～59歳 (93.3%)、で9割を超えている。

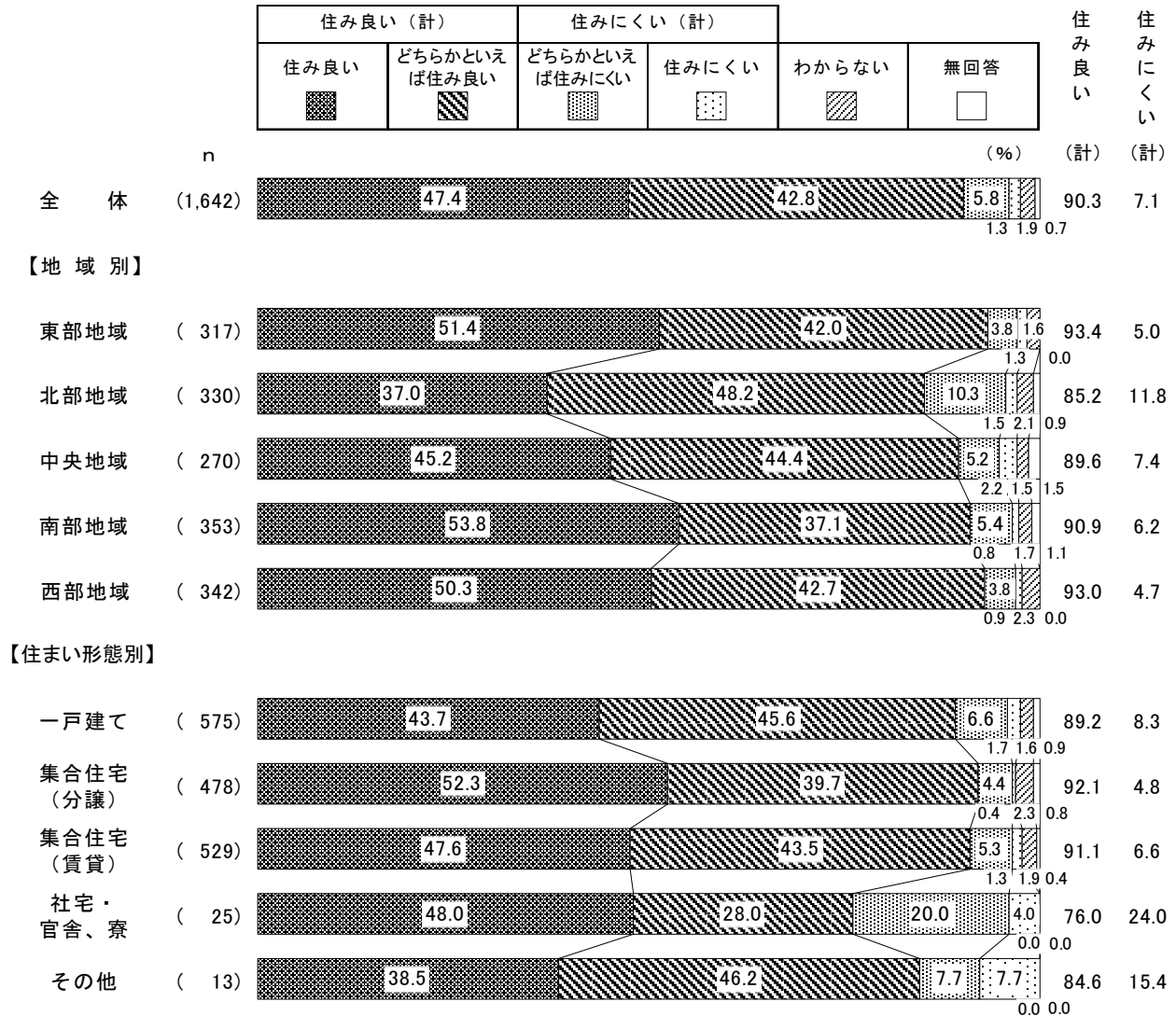
居住年数別でみると、『住み良い (計)』はいずれも9割前後となっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『住み良い（計）』は東部地域（93.4%）が最も高くなっている。

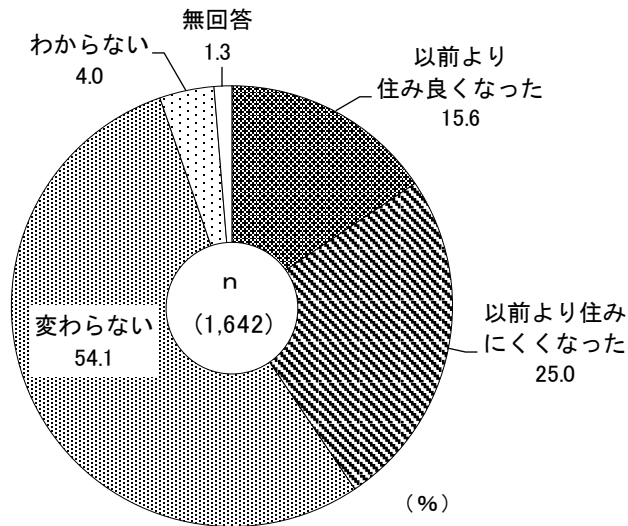
住まい形態別でみると、『住み良い（計）』は集合住宅（分譲）（92.1%）、集合住宅（賃貸）（91.1%）で9割を超えている。



(2) 住み心地の変化

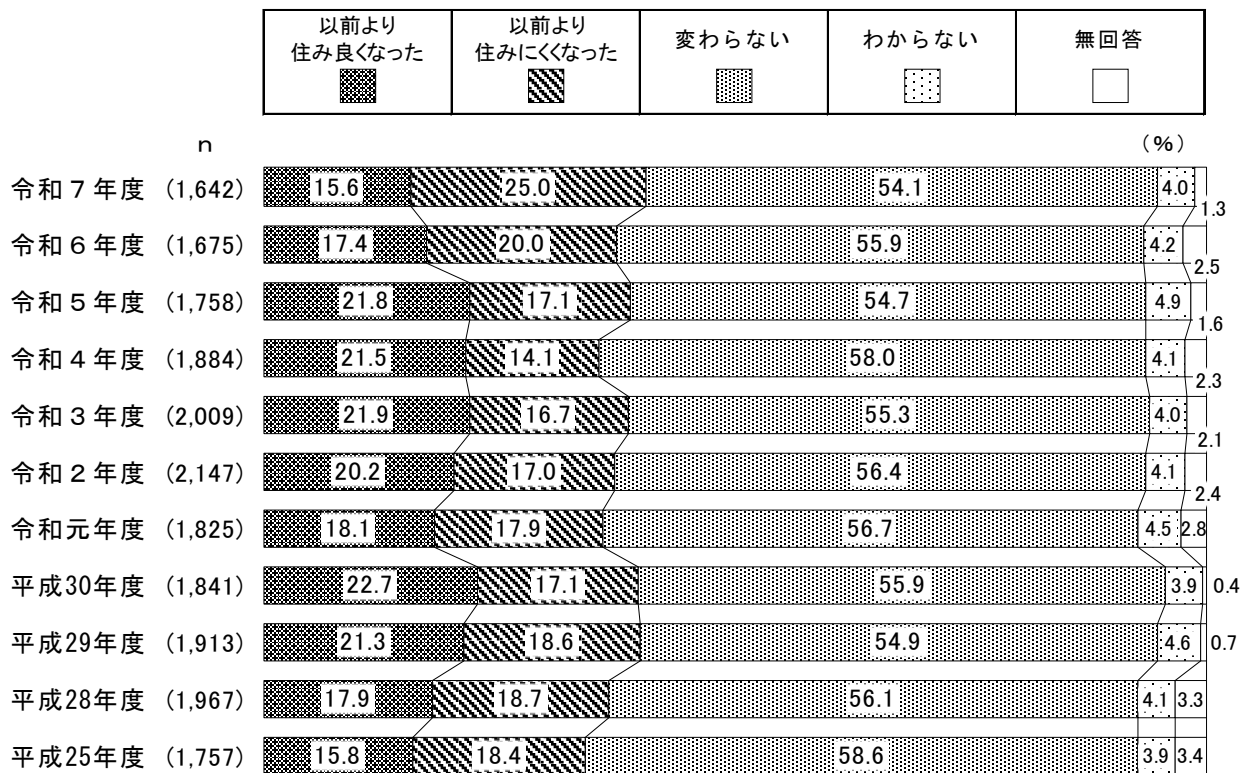
問2 以前と比べて住み心地こころに変化はありますか。(1つに○)

以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(54.1%)が5割半ば、「以前より住み良くなった」(15.6%)が1割半ば、「以前より住みにくくなった」(25.0%)が2割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「以前より住みにくくなった」は令和4年度以降増加傾向となっている。

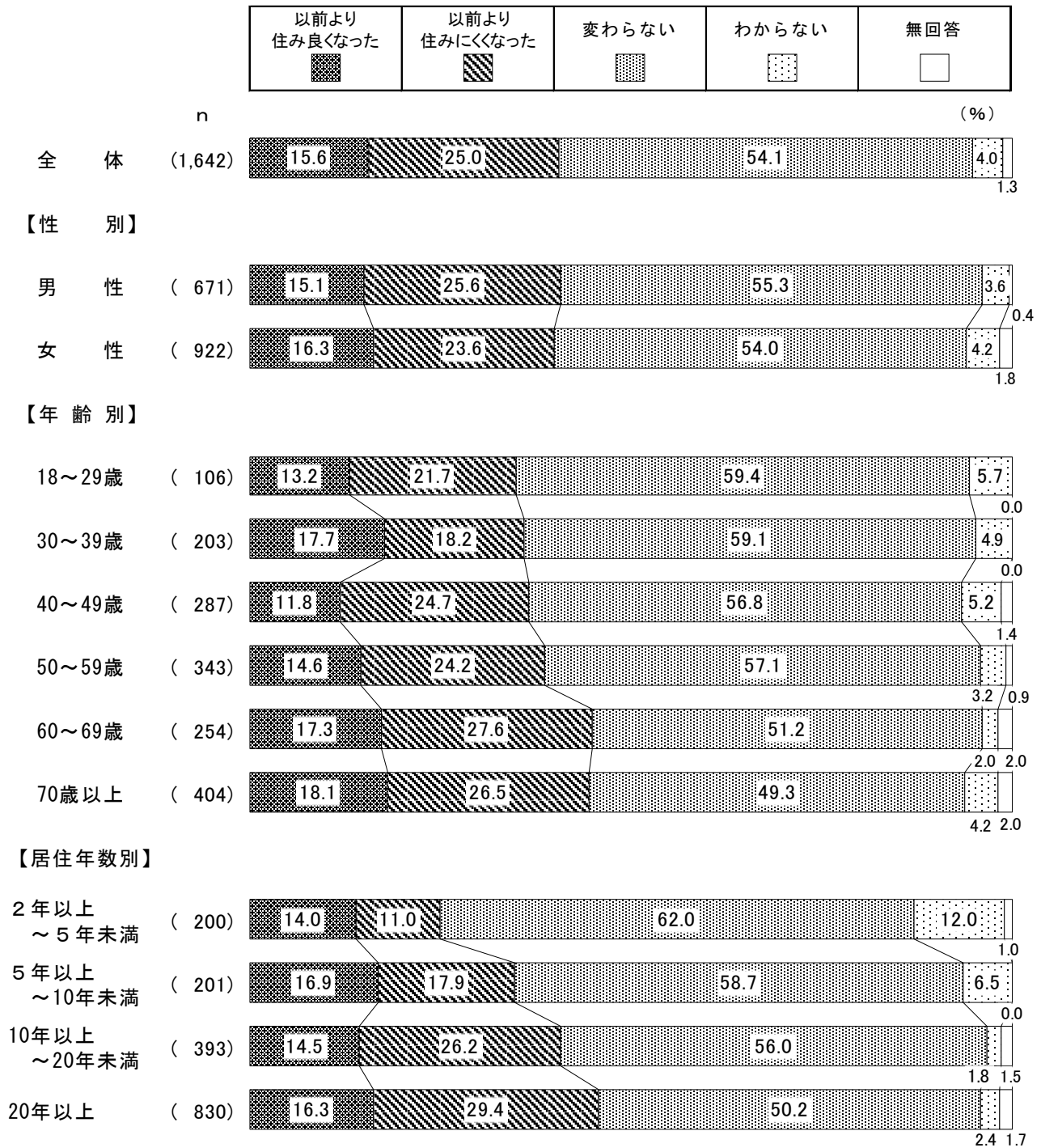


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「以前より住みにくくなった」は60～69歳（27.6%）、70歳以上（26.5%）で3割近くと高くなっている。

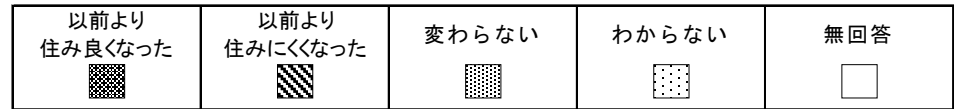
居住年数別でみると、「以前より住みにくくなった」は20年以上（29.4%）で約3割と高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「以前より住み良くなった」は中央地域（19.3%）が最も高くなっている。一方、「以前より住みにくくなった」は北部地域（30.9%）が最も高くなっている。

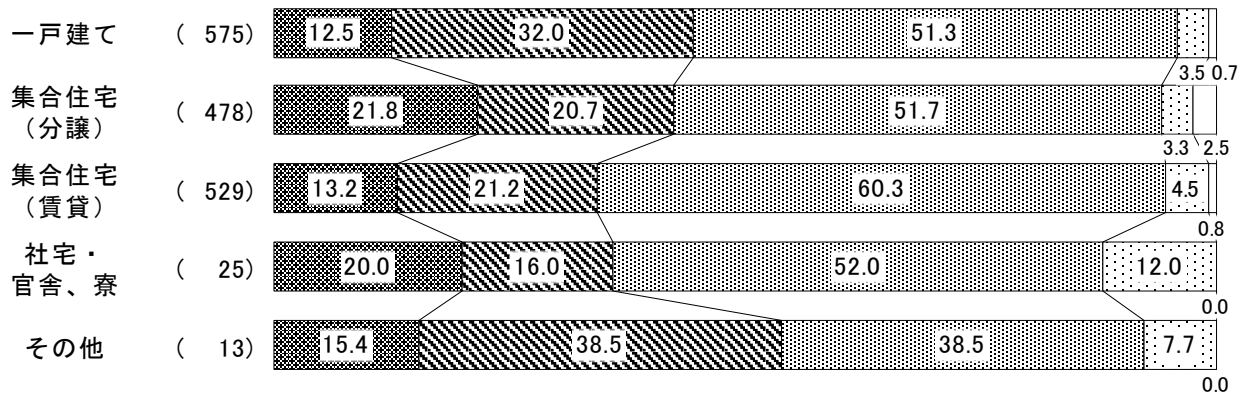
住まい形態別でみると、「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（21.8%）で2割を超えている。一方、「以前より住みにくくなった」は一戸建て（32.0%）で3割を超えている。



【地 域 別】



【住まい形態別】



(3) 住み心地の変化の理由

《問2で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》  
 問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。具体的な理由について1つお答えください。(自由回答)

以前と比べた住み心地の変化で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」と答えた方に、その具体的な理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前より住み良くなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見（要旨）
街づくり	77	公園が綺麗になったり、家族で過ごせる場所が増えた。
		池袋駅周辺での再開発が進捗することで、オフィス、商業、住宅、教育等の施設が充実してきているため。
		大塚駅周辺が整備され、清潔になり活気も出た。
		バリアフリー化が進んだから（施設や駅など）。
交通について	36	交通の便が極めて良い（地下鉄、西武線、バス利用が可能）
		副都心線等交通手段が便利になった。
		都営大江戸線が開通したことで、新宿方面への交通の便が良くなった。
		イケバスの開通。
買い物について	35	食料品を扱うスーパー等が増えた。
		スーパーや店舗が増え、自転車も乗らないで生活行動が完結できる。
		いろんなお店ができて買い物しやすくなった。
生活環境が改善された	22	昔に比べたら街が綺麗になった。清潔感がある。人も増えて活気がある感じがします。
		ゴミ置き場が各家庭の前になり道路がきれいになった。
		環境が良くなっている。喫煙の分煙等マナーは良くなっていると思う。
飲食店や商業施設について	21	大きな商業施設が増えているし、店も多くなっている。
		駅前の店舗が新しくなって若い人が増えている。
		道路が整備されてたり、利用しやすい飲食店などふえたので。
各種施設について	15	体育館の子供使用料無料化。千早フィールドオープン（子供の活動の場が増えた）。
		小学校、中学校などの学校の建て替えが進み、学校の印象がよくなった。
		池袋に文化施設や公園が増えた。
福祉・医療が充実している	13	保育園待機児童が減ったので入りやすくなった。
		子育てに力を入れてくれるため区民広場などたくさんあっていい。
		健康診断、がん検診が充実しているから。
安全・治安について	13	治安がよくなった（暗いところが少なくなり、不安が少なくなった）。
		古い誰も使用していない家や建物が再活用され、治安的にも夜の暗闇で不安になることも減ってきた。
		洪水被害が無くなった。

分類項目	件数	主な意見（要旨）
人間関係がよくなった	10	ご近所の方とお話をするようになり、いろいろなことを街の歴史を教えていただいた。
		近所に新しい家族が増えて、空気が変わってきた。
		周辺住民の方との関係性が深まったため。
行政がよくなった	4	オンライン申請が拡充し窓口足を運ばなくてもよい機会が増え便利になったから。
		ゴミ収集が祝祭日に関係無く曜日で集めて貰えるのはとても助かっています。
その他	17	文化、歴史が身近にある。
		若い方が増えて、街が賑やかになった。
		地域のイベント等の掲示がわかりやすくなった。

【以前より住みにくくなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見（要旨）
外国人・民泊の増加	189	外国人との共生がうまく進んでいない。
		外国人居住者が多くなり、マナーを守ってくれない。夜間大声で道を歩く、敷地内に入ってくるなどで治安に不安がある。
		海外からの旅行者や移住者が増えて、マナーの面で不快な思いをすることが増えたため。
		外国人用の民泊施設が増えて、ゴミを分別せず、収集日も守らず平気で捨てて行く。
買い物・飲食店・商業施設について	57	スーパーが増え便利にはなったが、個人商店がなくなり、話をしながらの買い物ができず、暖かさ、楽しさがなくなった。
		生活に必要な物を購入出来る店舗が減少した（観光客向けの店舗が増えた）。
		西武百貨店の改装工事のため買い物ができるお店が減ったため。
		個性的な個人商店が減り、街の魅力が減った。
治安・マナーの悪化	45	ゴミ出しのルールが守られていなく、ゴミが回収されていない。粗大ゴミを普通ゴミとして出している。
		新しく引っ越してきた住人の生活マナーに少し不安を感じることもある。
		子どもがいるのですが、公園やコンビニ周辺で夜間なども人がいたり、ゴミがあつたりする。
道路・交通	26	雨の日はバスで池袋まで出るのですが、以前よりバスの始発が遅くなり、本数が減ったからです。
		自宅周辺の道が狭く、自動車と接触しそうになることがある。
		違法のモペット等が一方通行の逆走や細い道をバイク以上の速度で走っていて危ない。
生活環境の悪化	25	タワーマンションが増え過ぎた。
		ビルが増えて、風が強くなって危ない。
		高層マンションが乱立し、風通し、日照、プライバシーが悪化している。
		空気が悪くなった。空家が増えた。

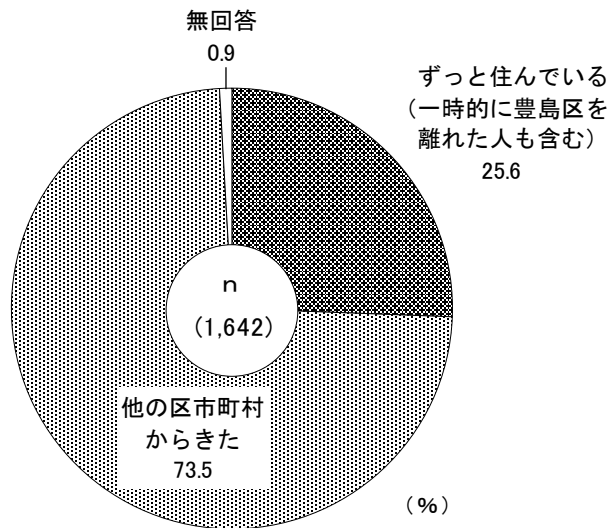
分類項目	件数	主な意見（要旨）
コミュニティ・近隣関係	23	マンションが多く建ち、近所付き合いが少なくなった。気楽な面もあるが淋しい気持ちもある。
		以前より居住していた方々が減少して新居住者間とのつながりもなく、防災・防犯上の危険性が感じられる。
		顔が見える互いに声を掛け合える付き合いができるような町会への参加者が減っている。
騒音	13	都電の通りの工事がずっと長く音が響く時がある。
		午後3時頃より次々とやって来る航空機の騒音になやまされている。非常に不快、かつ不安である。飛行ルートを海の上に変更してほしい。
		近隣にて、マンション等の建設が多発して、昼夜関係なくうるさいです。
人が増えた	13	商業施設や公共施設が常に混雑しているため。
		コロナ禍を超えて外出が多くなり、土日を中心に混雑が激しくなったように感じます。
		休日に池袋駅周辺に人が多く移動しづらい。休日に池袋駅周辺の飲食店に人が多く入れない。
家賃の上昇・住環境の悪化	12	生活の状況が変わり、引っ越したいと考えているが、豊島区に引っ越して来た時と比べると、かなり家賃は上がり、単身用マンションが増え、外国人も増えた。
		家賃が上がり過ぎていて、それによって今までファミリー向けだったマンションなどにも外国人や夜職関係の方が増えてきた。それによって治安に対する懸念が増えた。
各種施設	6	サッカーできる場所が少ない。若者の遊び場が少ない。
		銀行や郵便局等の金融機関が閉鎖されたから。
街づくり、都市開発	5	都市開発していることはわかりますが、あちらこちらで工事をしていて通りにくい。
		大塚駅前の再開発をして、住みにくなりました。バス乗り入れもタクシー乗り場も駅から遠くなりました。北口は特にです。
行政	5	住民税が高い。
		子育て環境（物理面・金銭面）が悪化。
緑	4	樹木（桜並木）を伐採したまま、植樹してない。
		緑が減った。
その他	14	雰囲気が悪くなった気がする。
		物価が高くなった。

## 2. 居住の経緯

### (1) 居住の経緯

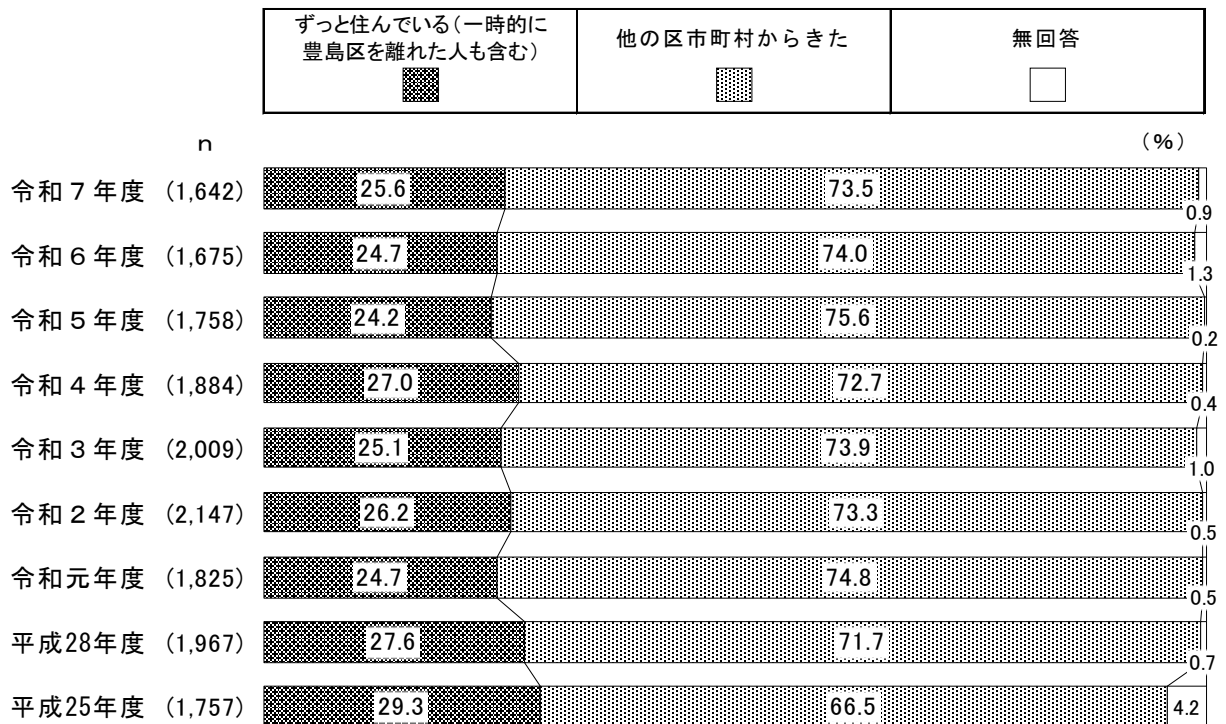
問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

生まれてからずっと豊島区に住んでいるか聞いたところ、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」(25.6%)が2割半ば、「他の区市町村からきた」(73.5%)が7割を超えている。



### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成25年度以降、大きな違いはみられない。

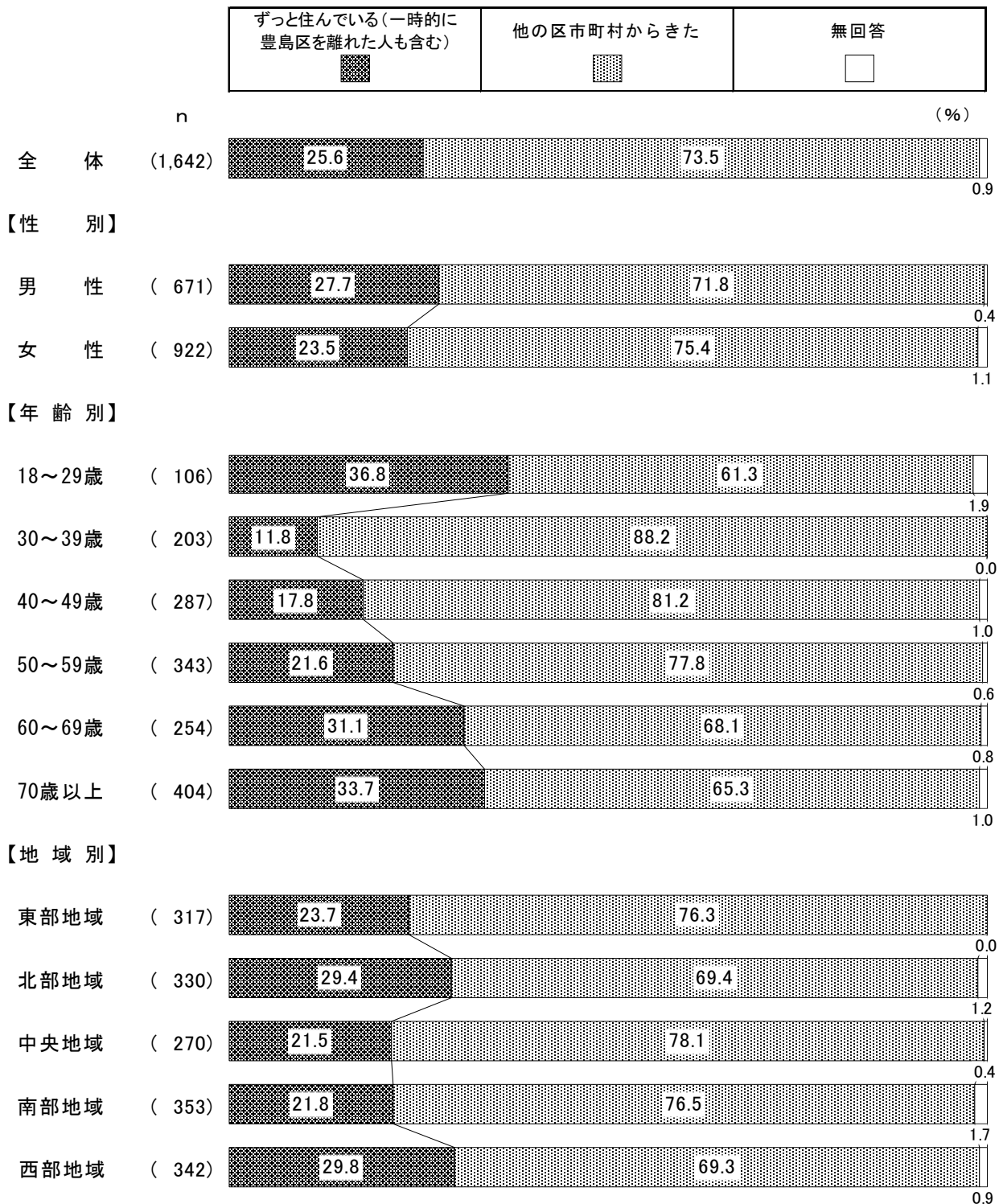


【性別、年齢別、地域別】

性別でみると、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」は男性(27.7%)が女性(23.5%)より4.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」は18~29歳(36.8%)で4割近くと高くなっている。一方、「他の区市町村からきた」は30~39歳(88.2%)で9割近く、40~49歳(81.2%)で8割を超えて高くなっている。

地域別でみると、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」は西部地域(29.8%)、北部地域(29.4%)で約3割と高くなっている。



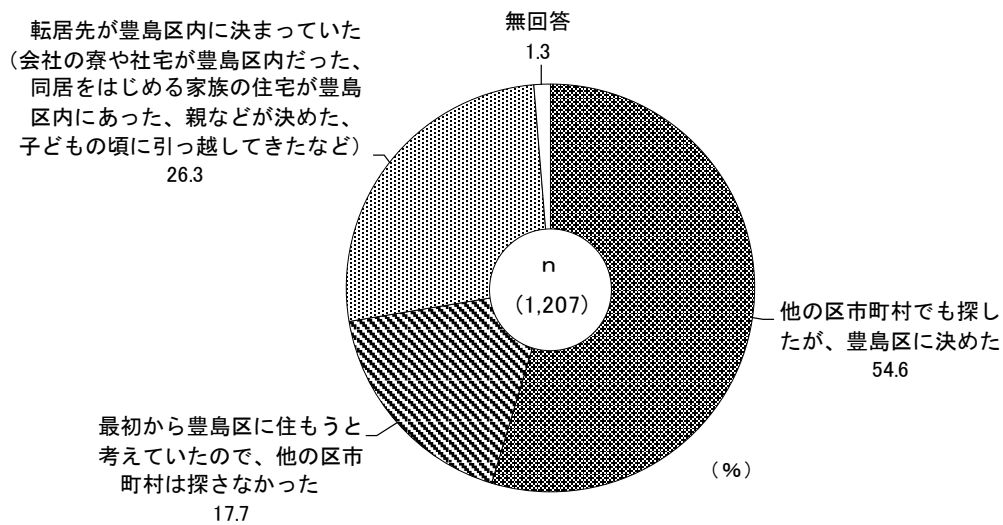
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか

《問3で、「他の区市町村からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。

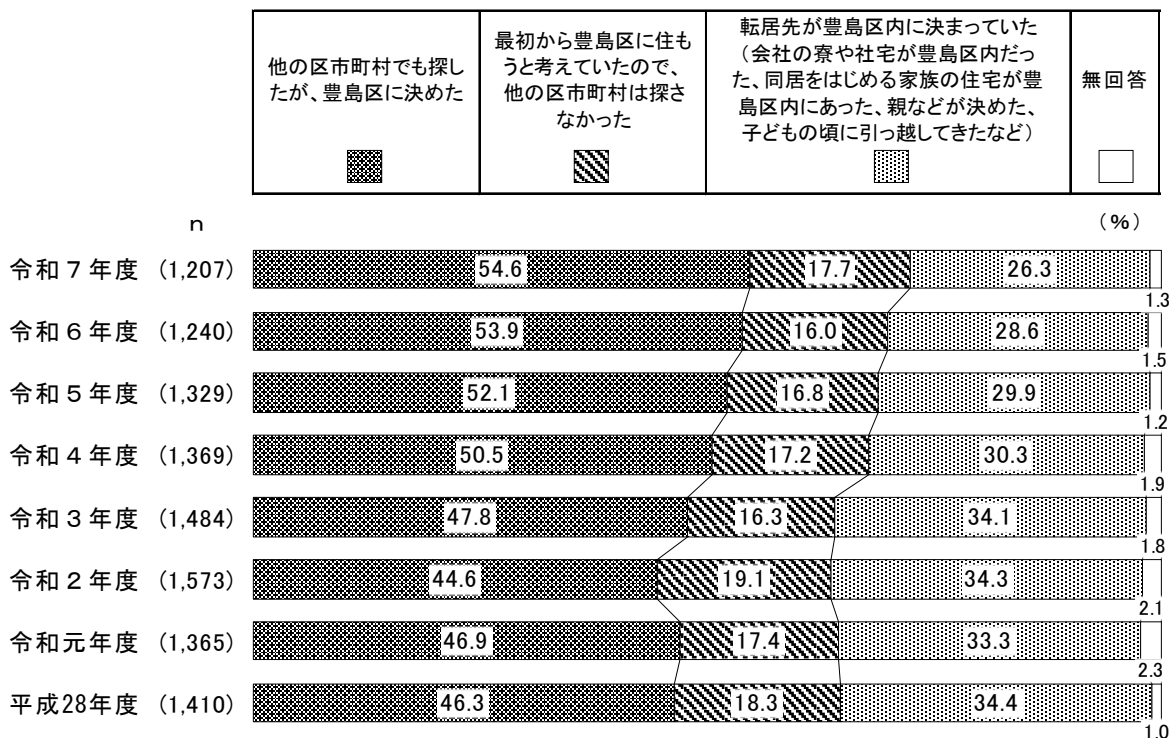
(1つに〇)

居住の経緯で、「他の区市町村からきた」と答えた方に、転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか聞いたところ、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」(54.6%)が5割半ばで最も高く、次いで「転居先が豊島区内に決まっていた(会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめ家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど)」(26.3%)、「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」(17.7%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は令和3年度以降増加傾向となっており、今年度が平成28年度以降で最も高い値となっている。

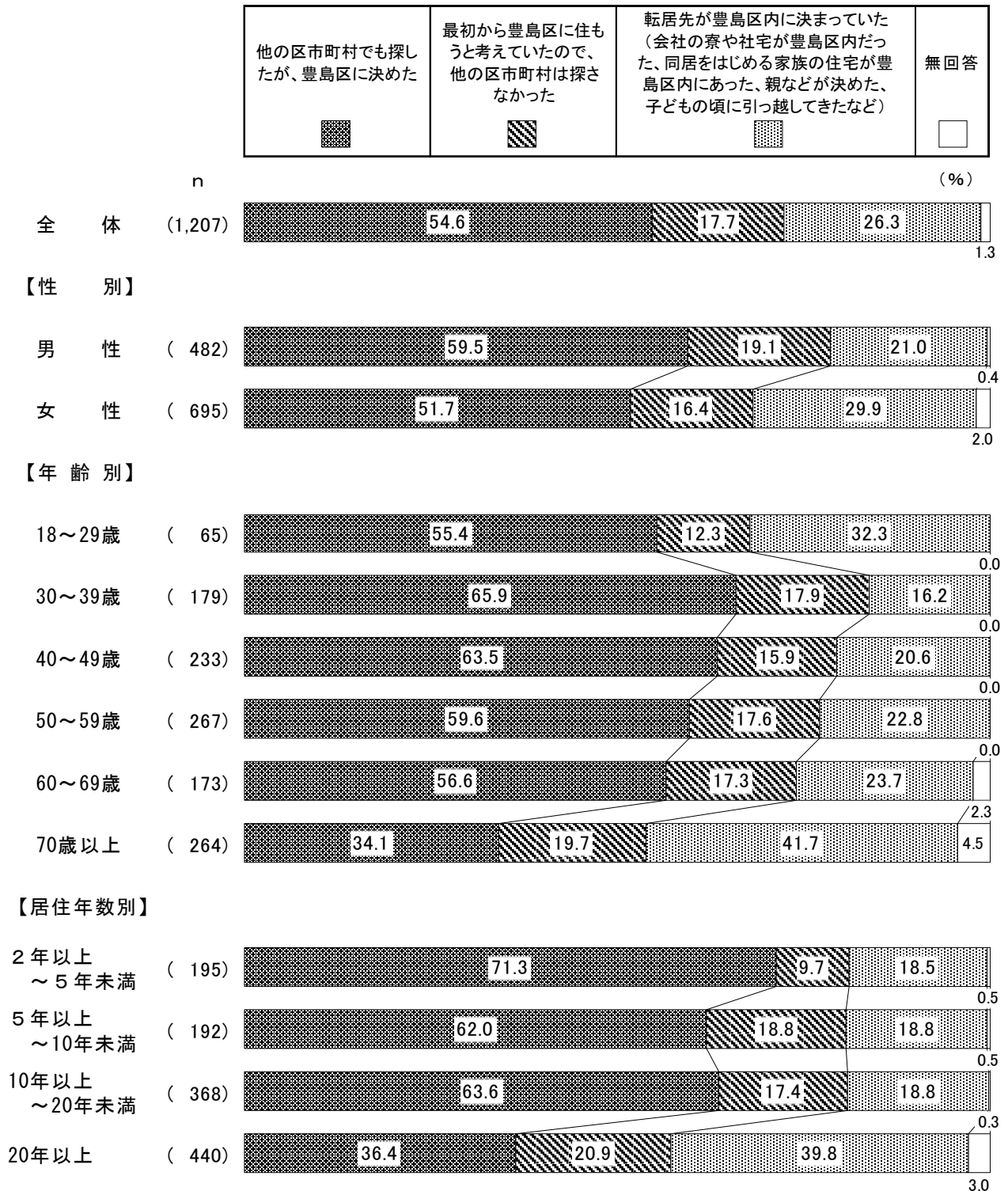


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は男性（59.5%）が女性（51.7%）より7.8ポイント高くなっている。

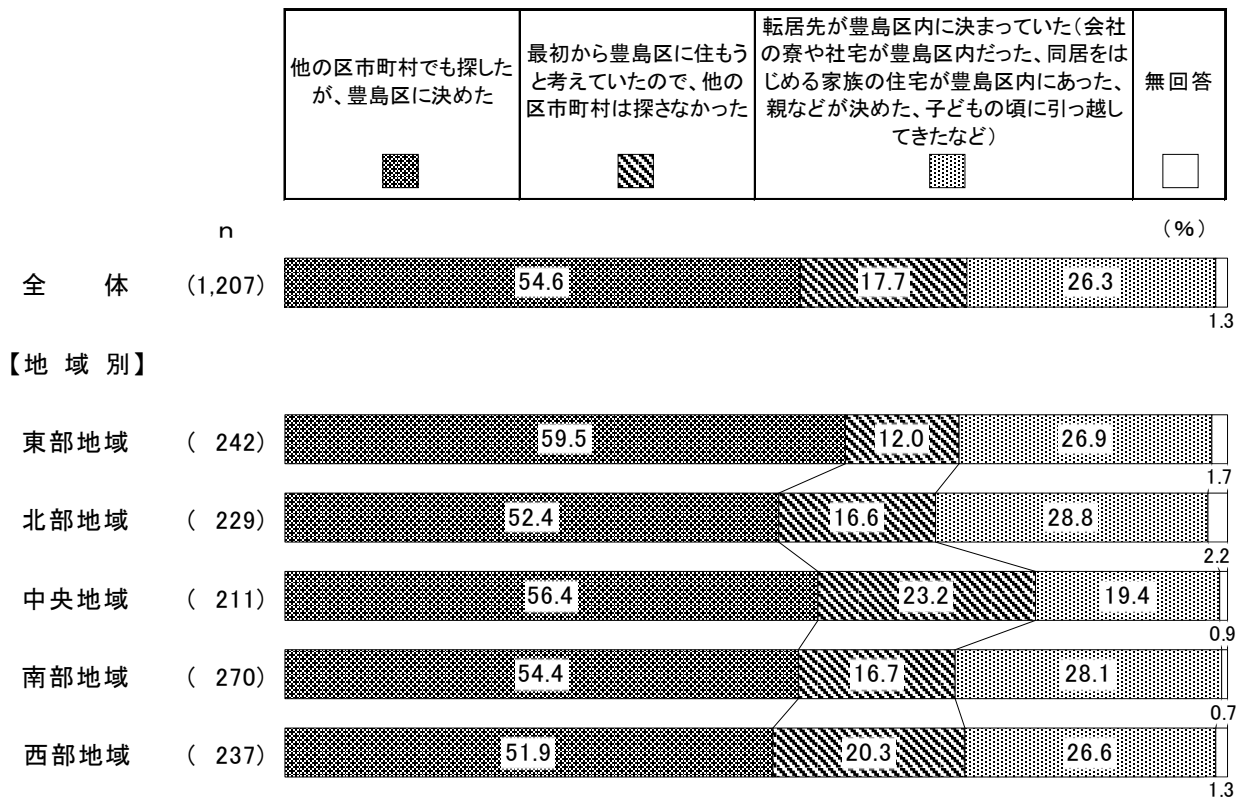
年齢別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は30～39歳（65.9%）で6割半ば、40～49歳（63.5%）で6割を超えて高くなっている。

居住年数別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は2年以上～5年未満（71.3%）で7割を超えて高くなっている。



【地域別】

地域別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は東部地域（59.5%）で約6割と高くなっている。「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」は中央地域（23.2%）で2割を超えている。

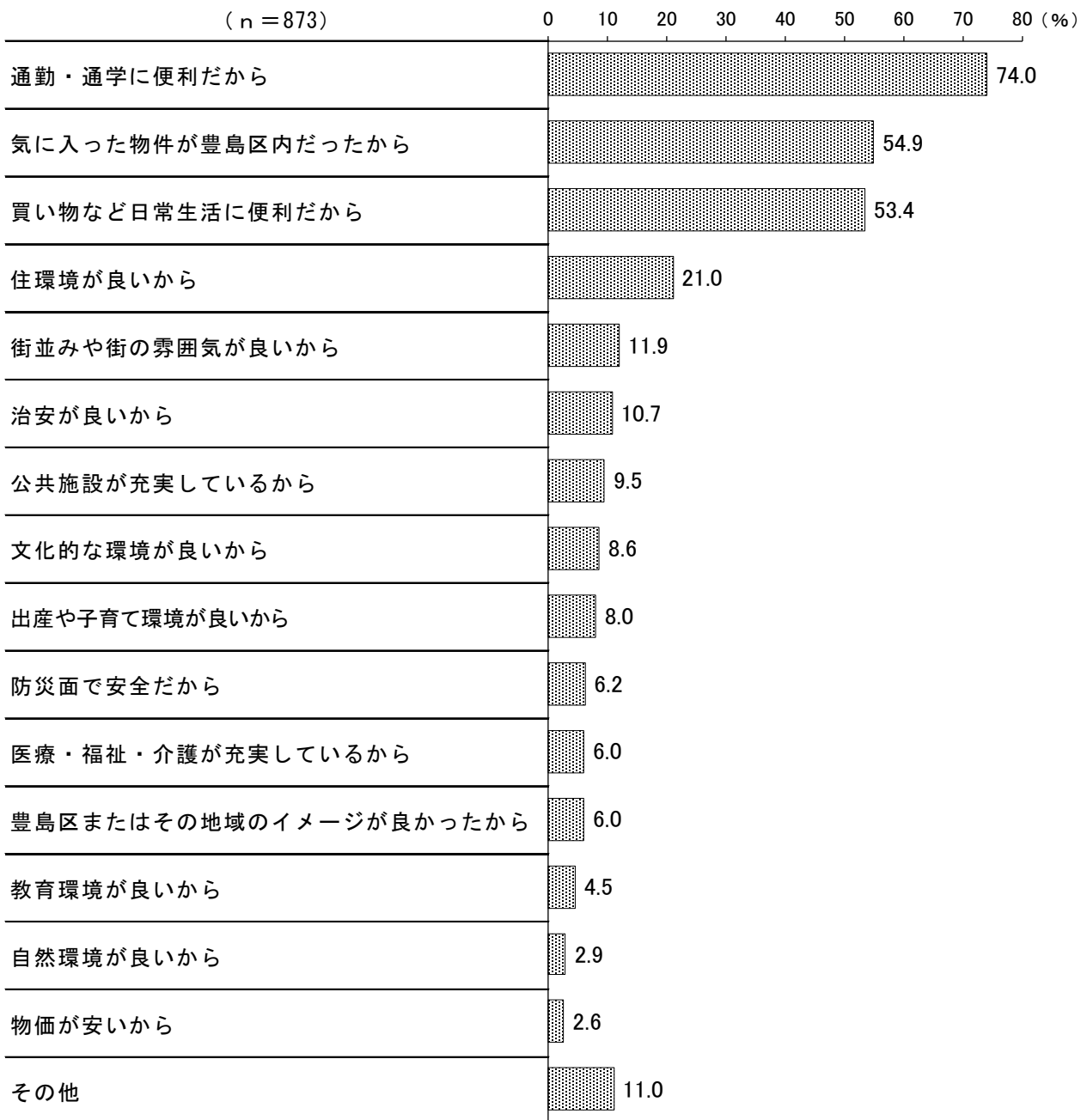


(3) 豊島区を選んだ理由

《問3-1で、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」とお答えの方におたずねします》

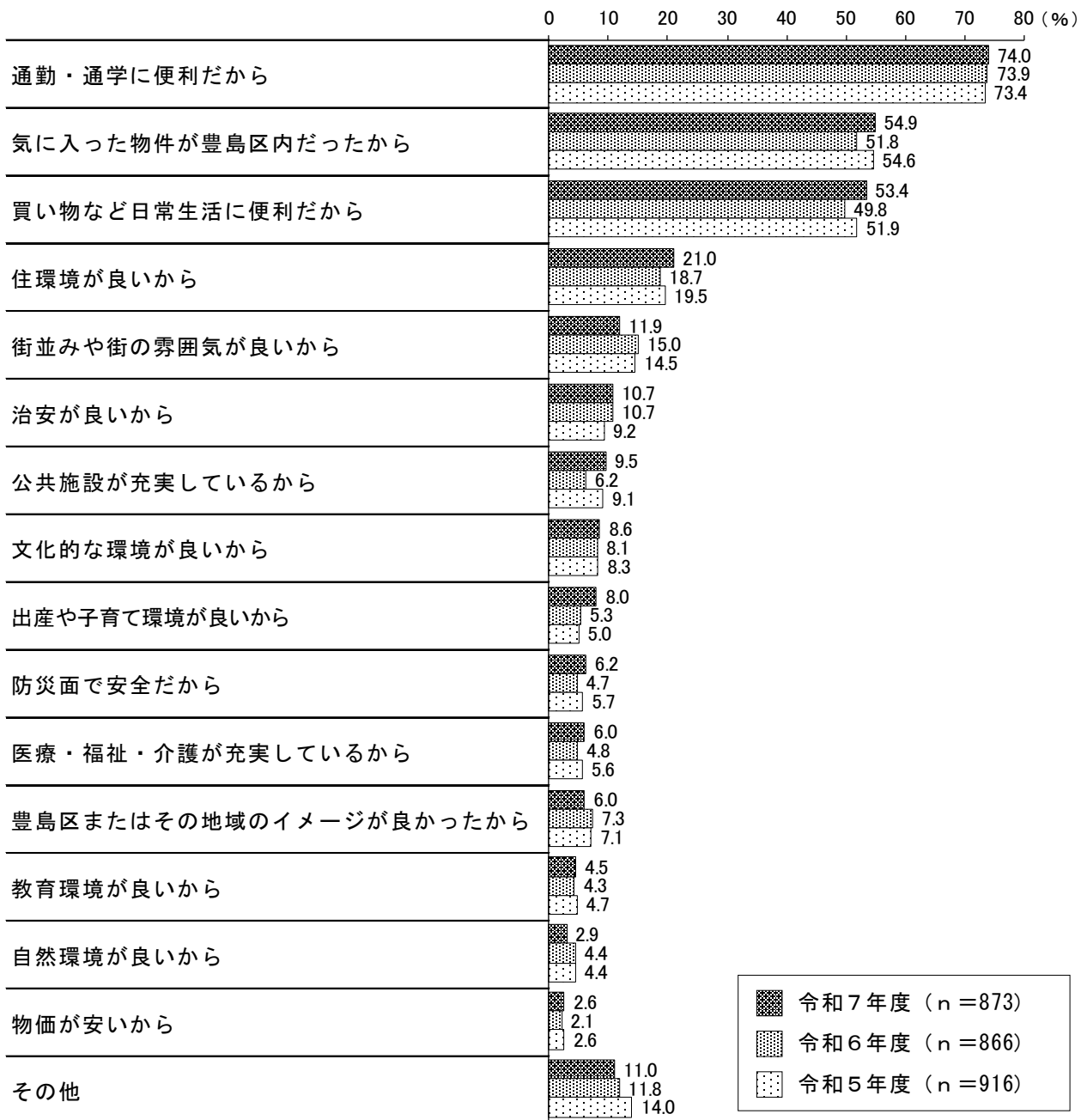
問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

転入するにあたり、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」と答えた方に、豊島区を選んだ理由を聞いたところ、「通勤・通学に便利だから」(74.0%)が7割半ばで最も高く、次いで「気に入った物件が豊島区内だったから」(54.9%)、「買い物など日常生活に便利だから」(53.4%)、「住環境が良いから」(21.0%)となっている。



【経年比較】

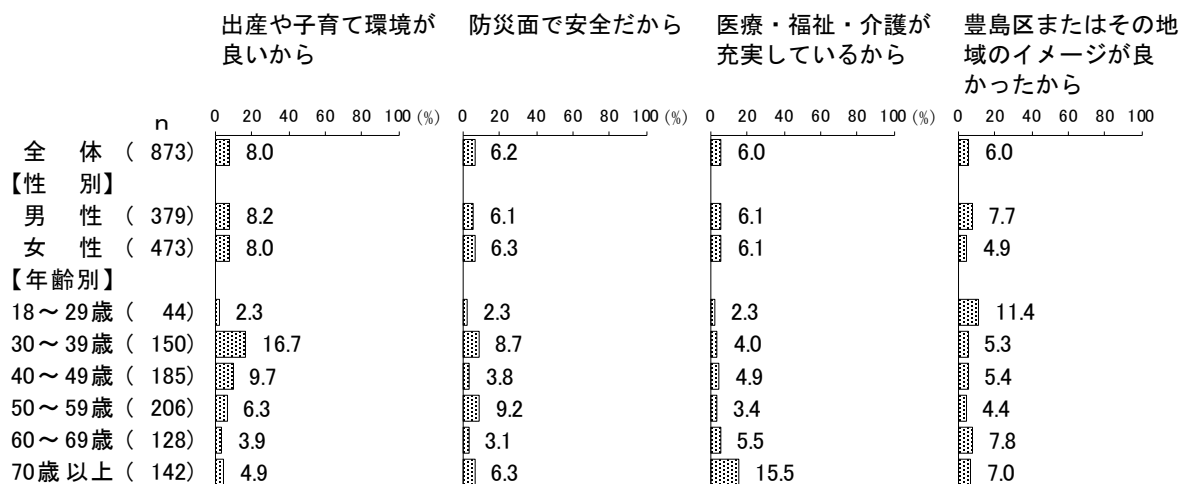
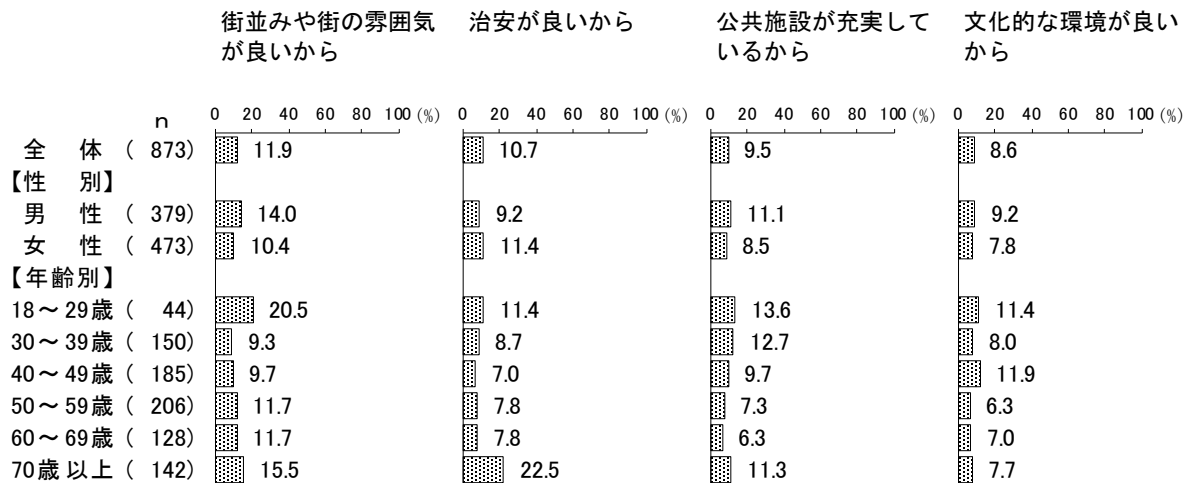
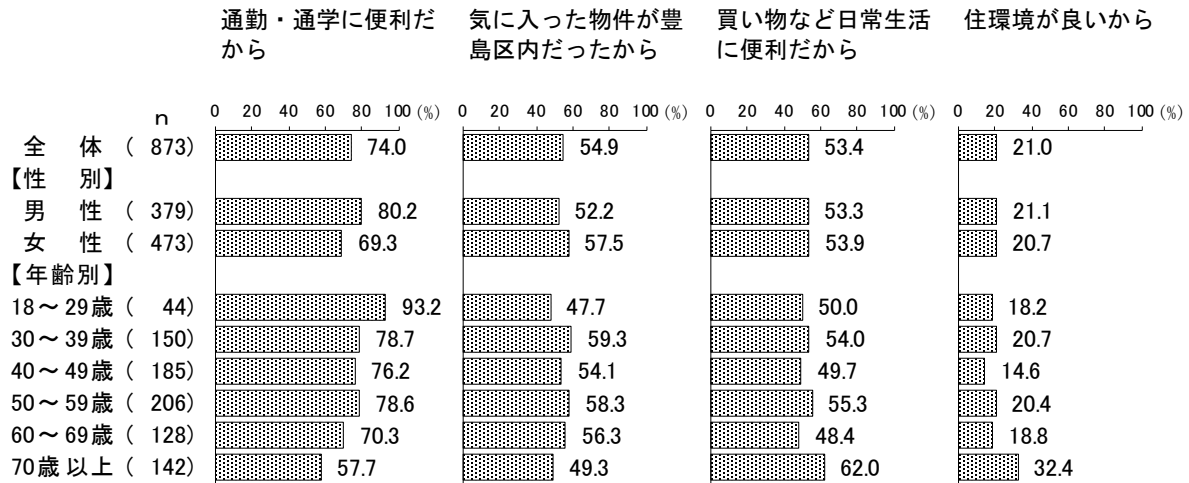
過去の調査結果と比較すると、令和6年度と比べて大きな違いはみられない。



【性別、年齢別】（上位12項目）

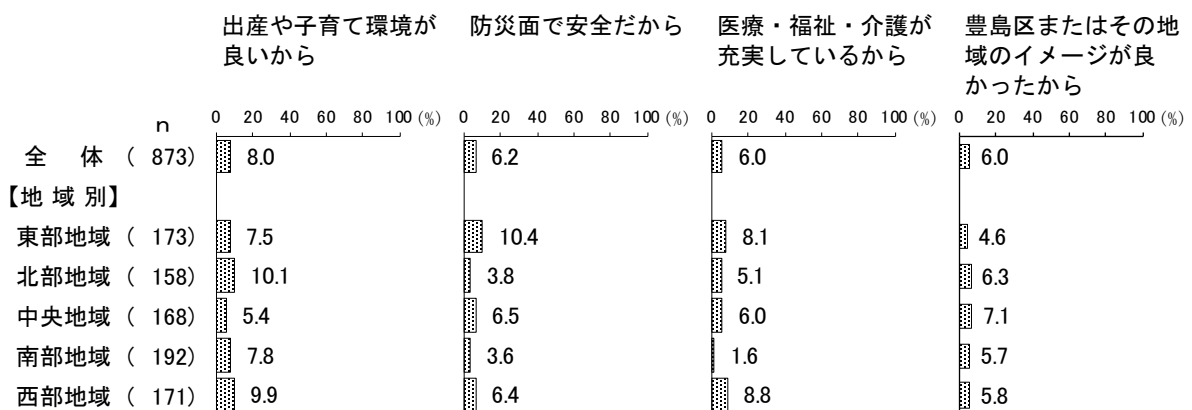
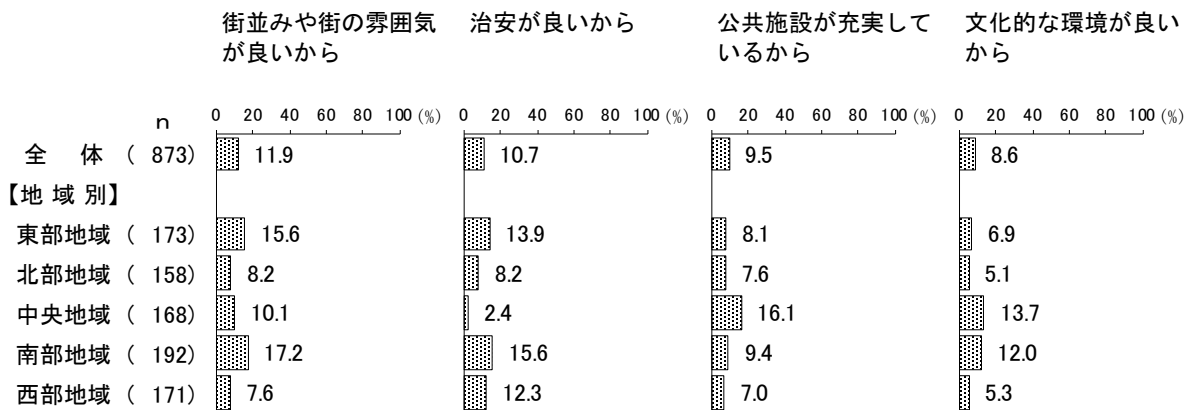
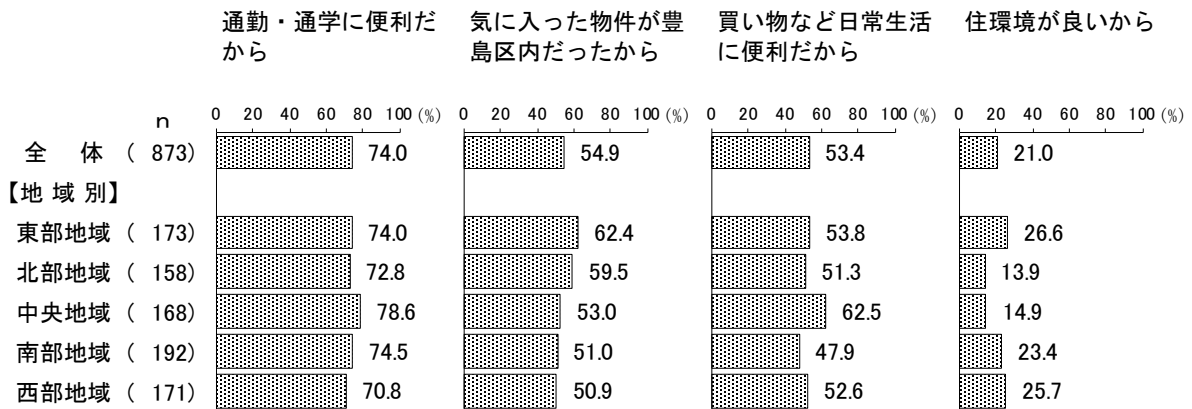
性別でみると、「通勤・通学に便利だから」は男性（80.2%）は女性（69.3%）より10.9ポイント高くなっている。一方、「気に入った物件が豊島区内だったから」は女性（57.5%）が男性（52.2%）より5.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「通勤・通学に便利だから」は18～29歳（93.2%）で9割を超えて高くなっている。「買い物など日常生活に便利だから」は70歳以上（62.0%）で6割を超えて最も高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「気に入った物件が豊島区内だったから」は東部地域（62.4%）6割を超えて高くなっている。「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（62.5%）で6割を超えて高くなっている。

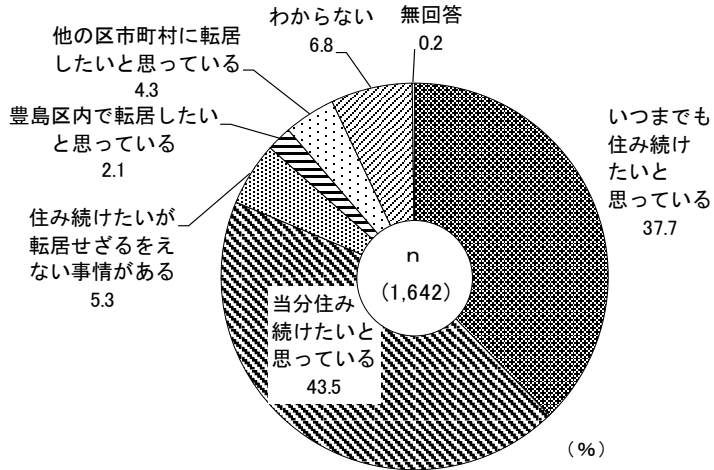


### 3. 定住意向

#### (1) 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

これからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思うか聞いたところ、「いつまでも住み続けたいと思っている」(37.7%)と「当分住み続けたいと思っている」(43.5%)を合わせた『住み続けたい(計)』(81.2%)は8割を超えている。一方、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(5.3%)、「豊島区内で転居したいと思っている」(2.1%)、「他の区市町村に転居したいと思っている」(4.3%)はいずれも1割未満となっている。



#### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は平成25年度以降、4割前後で推移している。

年次	n	住み続けたい(計)							住み続けたい(計)
		いつまでも住み続けたいと思っている	当分住み続けたいと思っている	住み続けたいが転居せざるをえない事情がある	豊島区内で転居したいと思っている	他の・区市町村に転居したいと思っている	わからない	無回答	
令和7年度	(1,642)	37.7	43.5	5.3	4.3	6.8	2.1	0.2	81.2
令和6年度	(1,675)	37.1	43.9	3.9	3.8	8.0	1.4	1.9	81.0
令和5年度	(1,758)	37.1	46.1	4.4	5.0	6.3	1.1	1.1	83.2
令和4年度	(1,884)	39.3	43.1	5.2	4.7	6.2	1.5	1.5	82.4
令和3年度	(2,009)	38.0	45.1	5.0	5.4	5.0	1.5	1.5	83.1
令和2年度	(2,147)	36.7	44.2	4.9	5.8	6.7	1.6	1.6	80.9
令和元年度	(1,825)	39.3	42.9	4.8	5.2	6.5	1.3	1.3	82.2
平成30年度	(1,841)	40.6	43.7	5.1	4.2	6.1	0.3	0.3	84.3
平成29年度	(1,913)	39.7	45.7	4.0	4.7	5.5	0.3	0.3	85.4
平成28年度	(1,967)	39.1	42.9	4.5	5.9	6.8	0.8	0.8	82.0
平成25年度	(1,757)	40.6	44.2	4.5	4.4	5.3	0.8	0.8	84.8

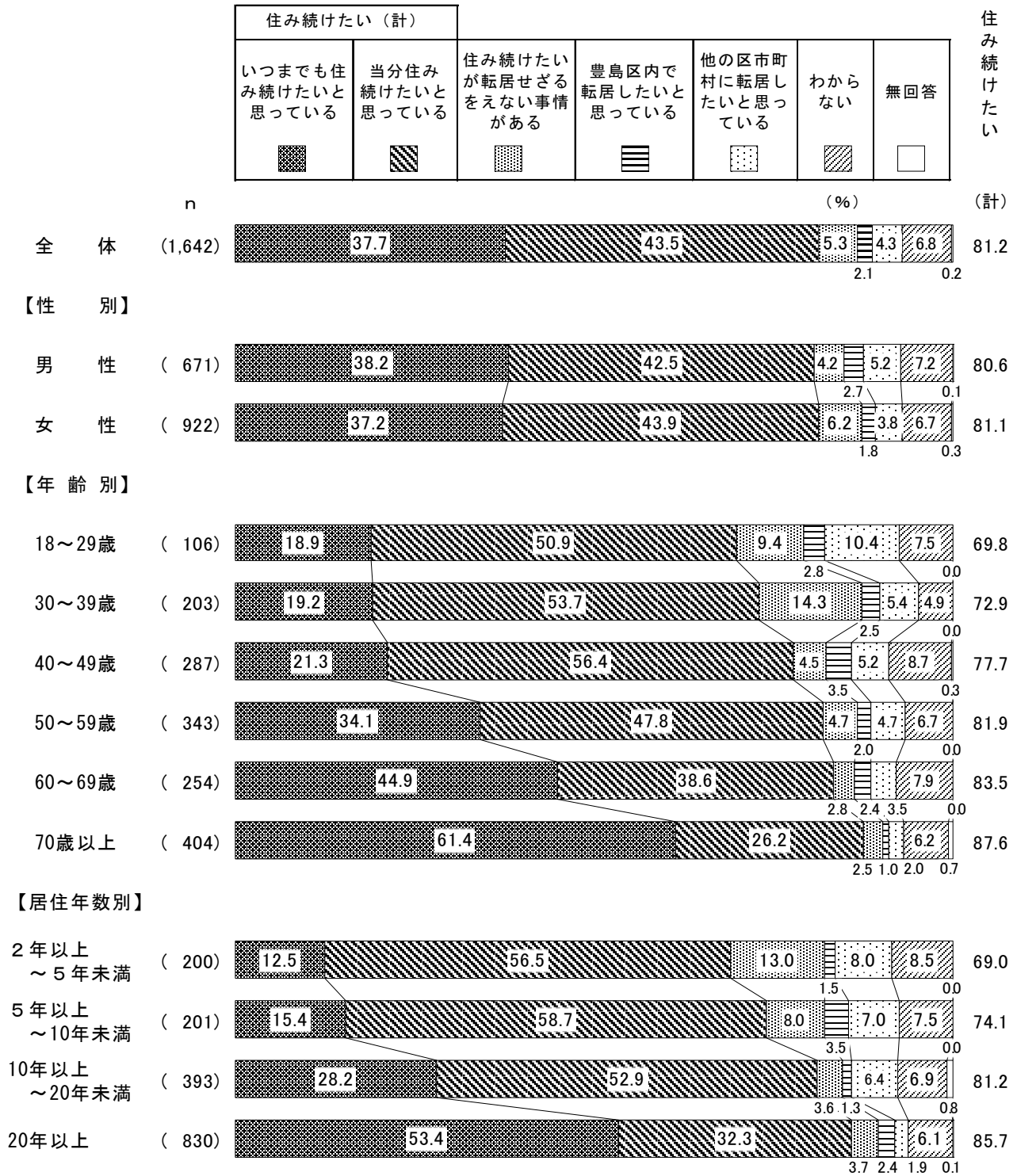
※「豊島区内で転居したいと思っている」は令和6年度調査からの選択肢

【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

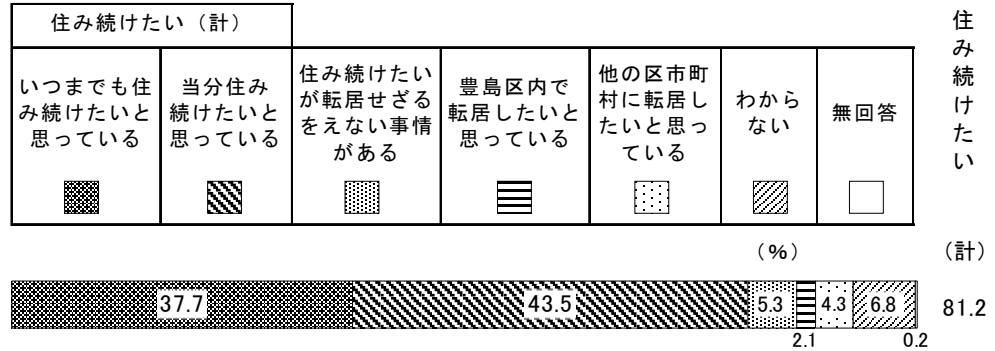
年齢別でみると、『住み続けたい (計)』は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70 歳以上 (87.6%) で9割近くと高くなっている。

居住年数別でみると、『住み続けたい (計)』は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20 年以上 (85.7%) で8割半ばと高くなっている。

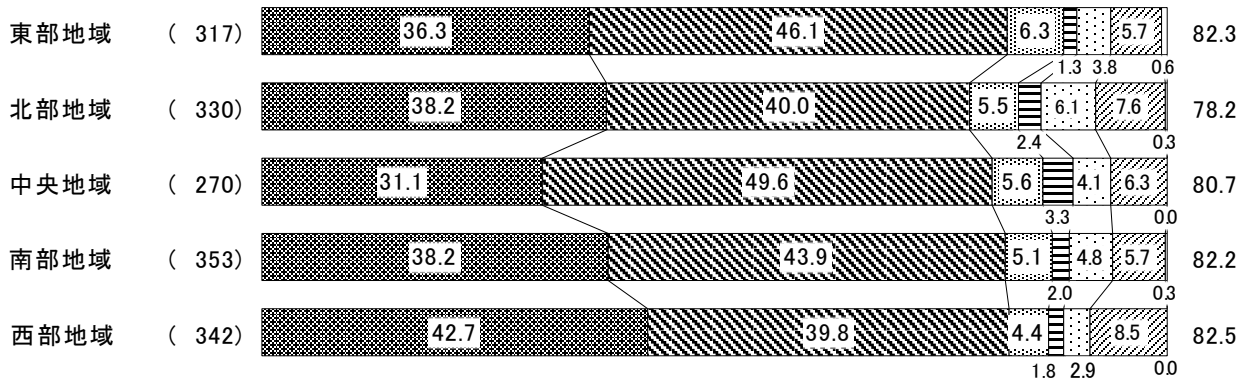


【地域別、住まい形態別】

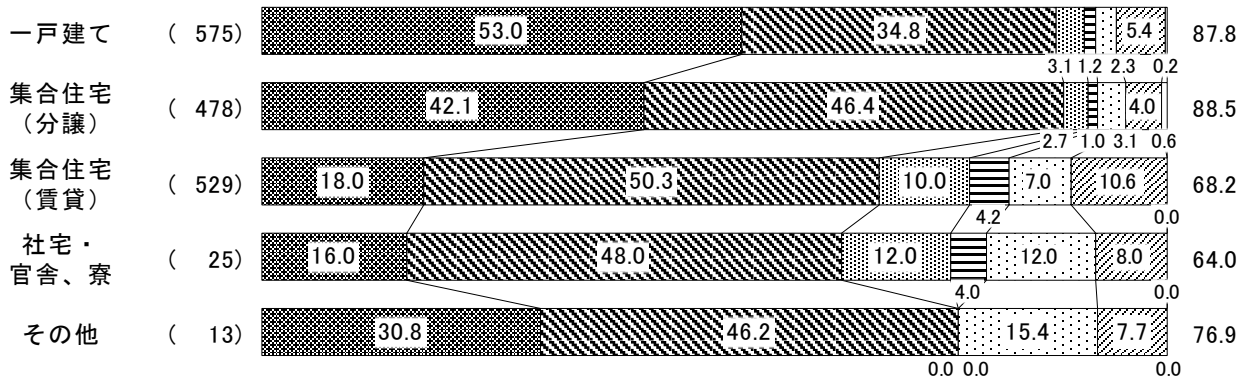
地域別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は西部地域(42.7%)で4割を超えている。  
 住まい形態別でみると、『住み続けたい(計)』は集合住宅(分譲)(88.5%)、一戸建て(87.8%)で9割近くと高くなっている。



【地域別】



【住まい形態別】

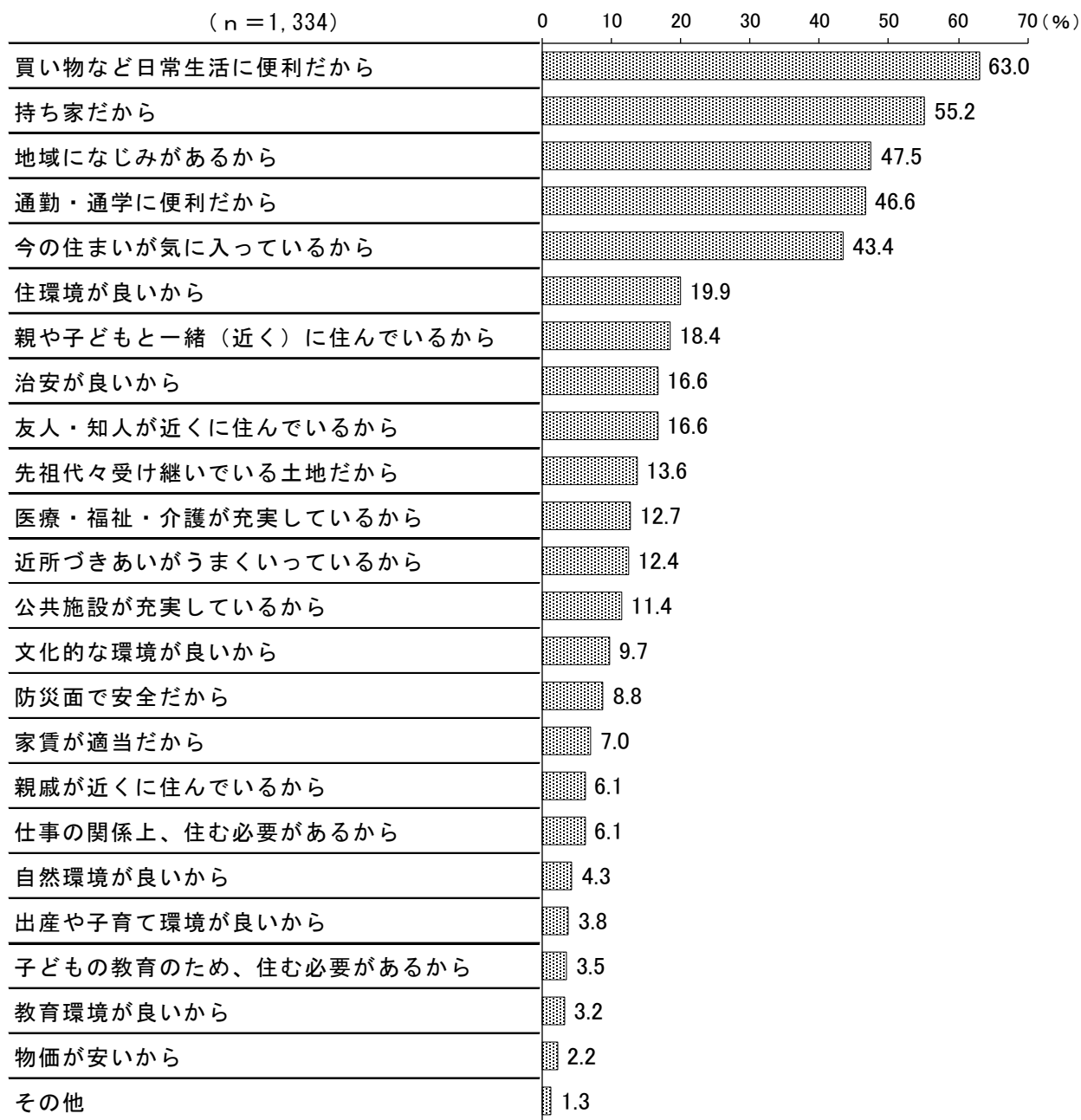


(2) 住み続けたい理由

《問4で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」とお答えの方におたずねします》

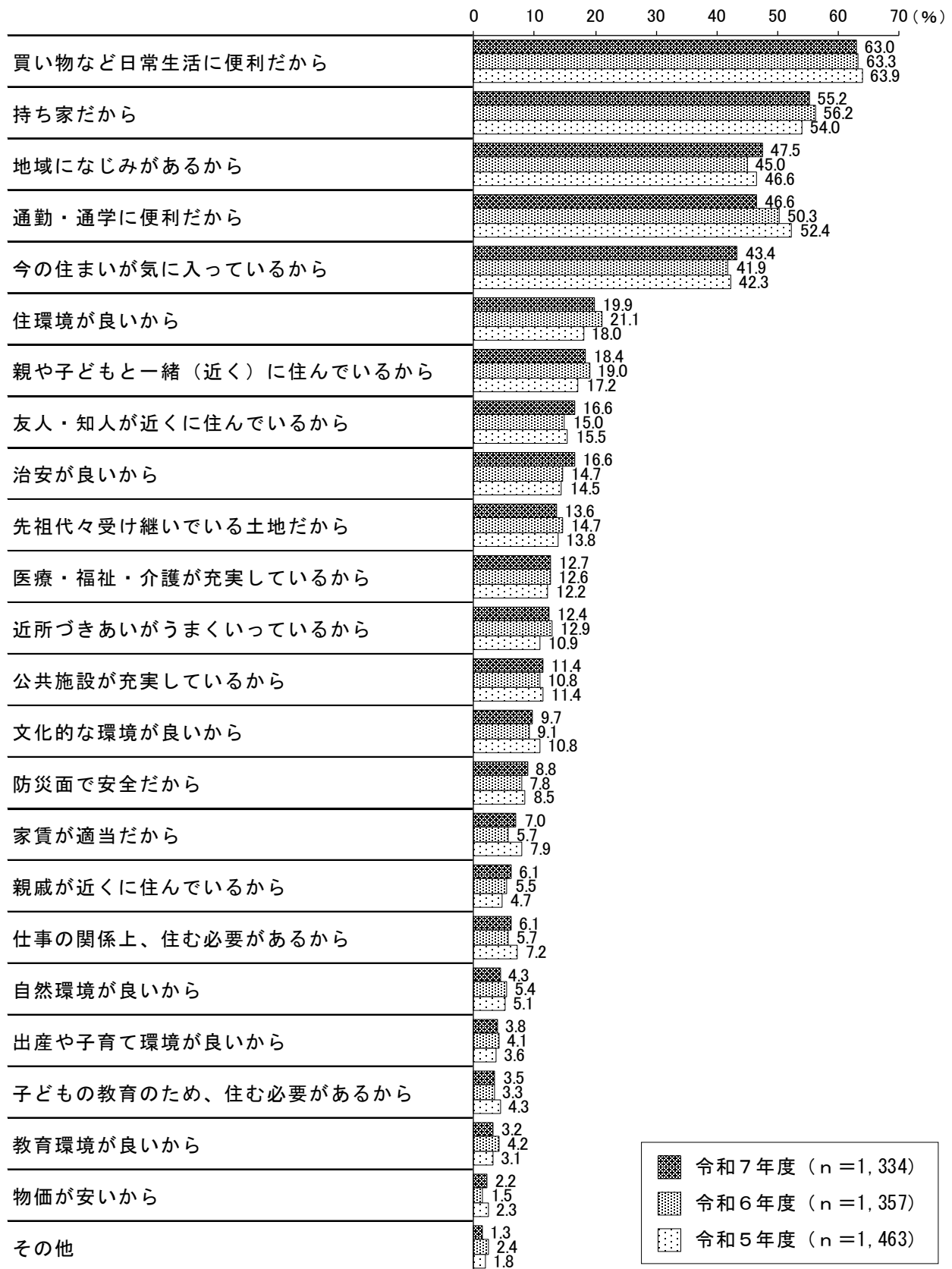
問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」と答えた方に、住み続けたい理由を聞いたところ、「買い物など日常生活に便利だから」(63.0%)が6割を超えて最も高く、次いで「持ち家だから」(55.2%)、「地域になじみがあるから」(47.5%)、「通勤・通学に便利だから」(46.6%)となっている。



【経年比較】

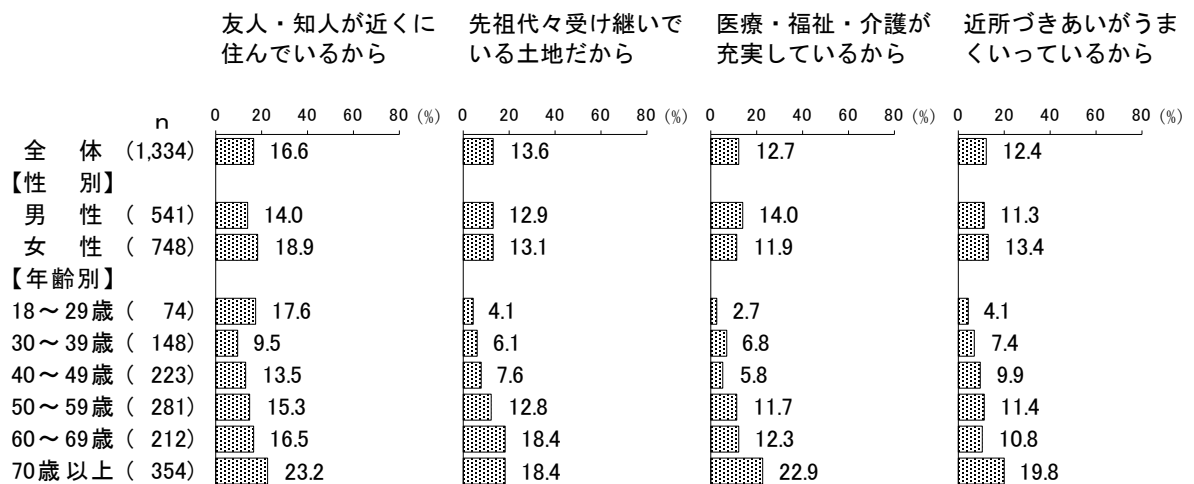
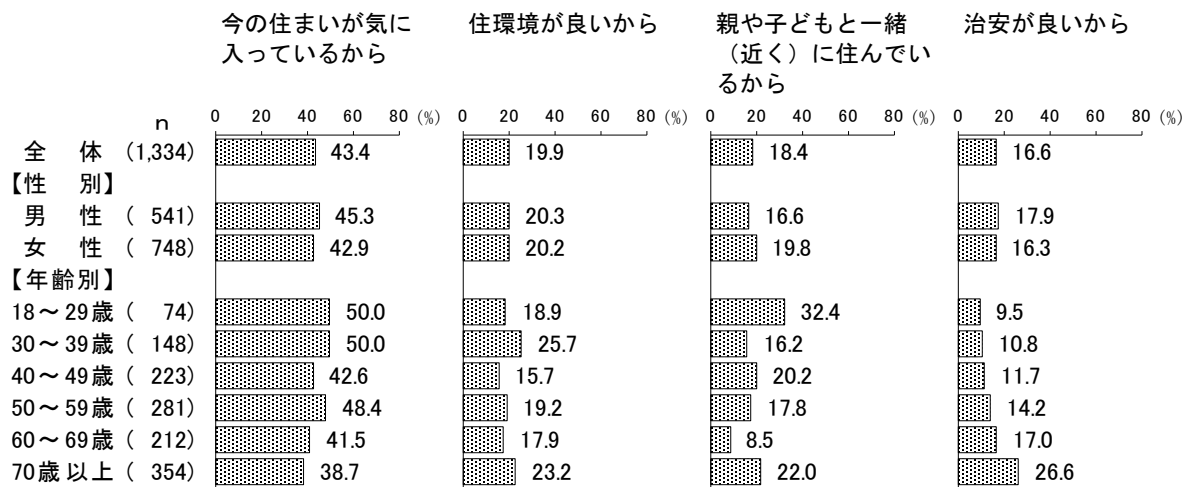
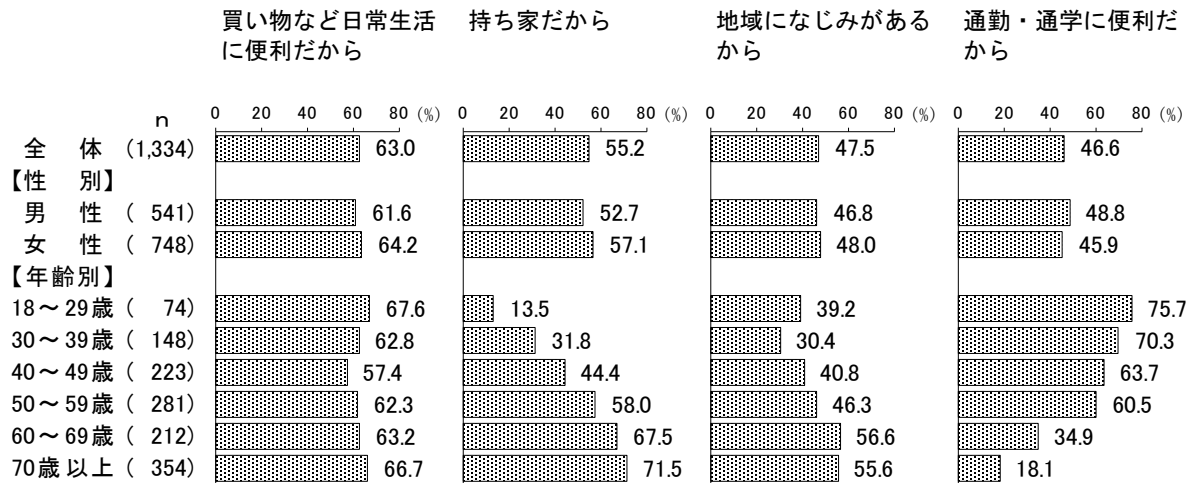
過去の調査結果と比較すると、令和6年度と特に大きな違いは見られない。



【性別、年齢別】(上位12項目)

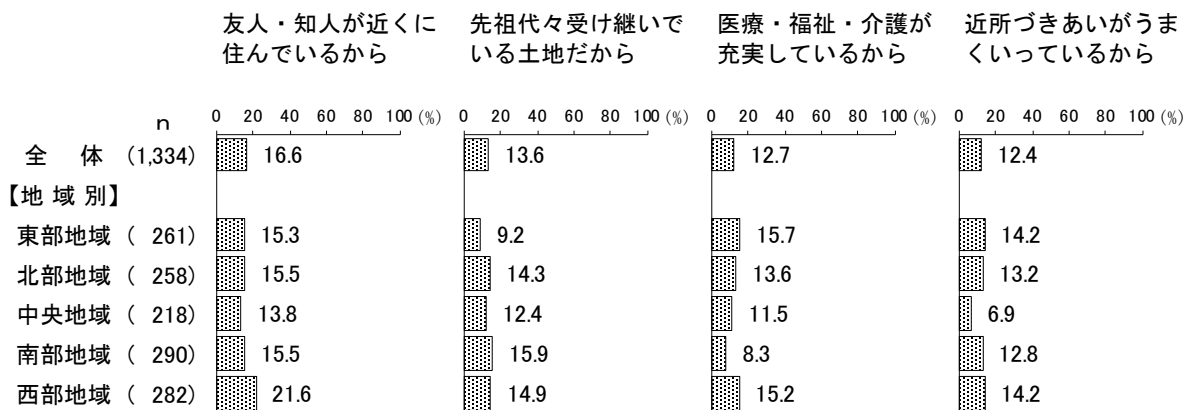
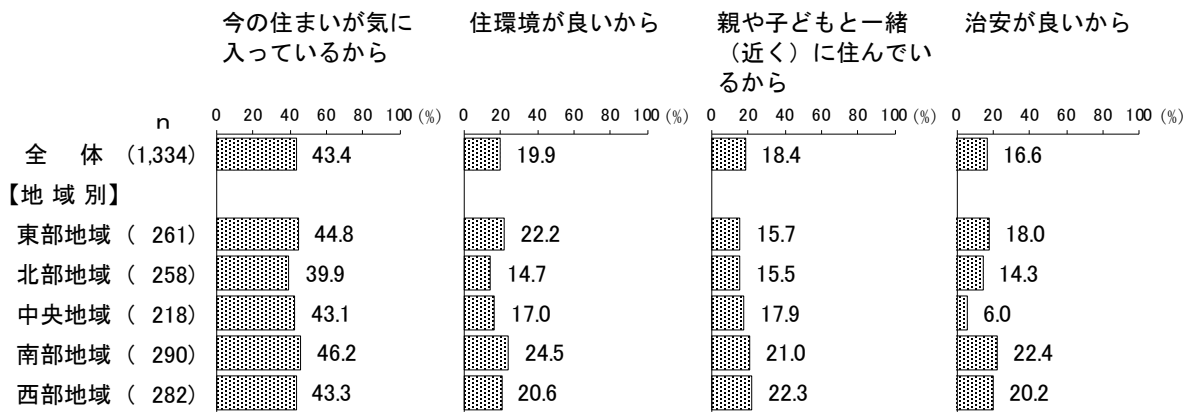
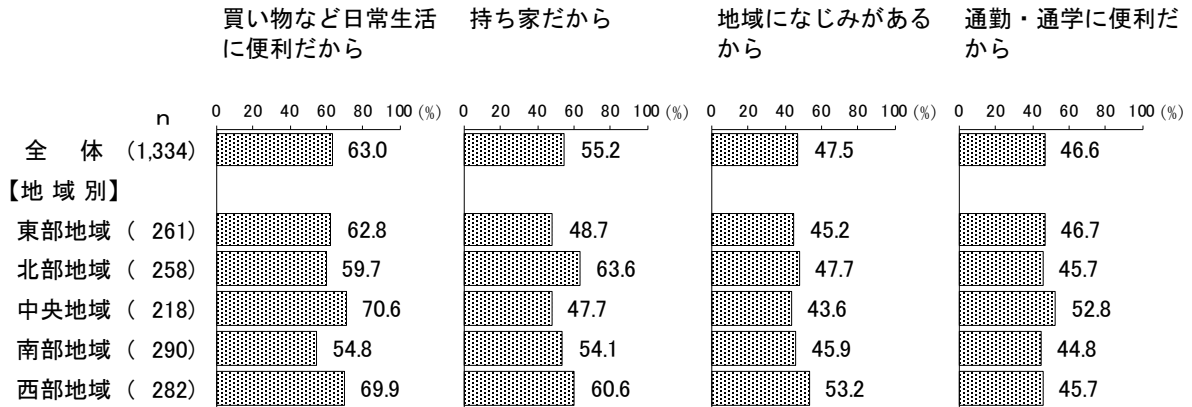
性別でみると、「持ち家だから」は女性(57.1%)が男性(52.7%)より4.4ポイント、「友人・知人が近くに住んでいるから」は女性(18.9%)が男性(14.0%)より4.9ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「持ち家だから」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上(71.5%)で7割を超え、60～69歳(67.5%)で7割近くとなっている。「通勤・通学に便利だから」は年代が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳(75.7%)、30～39歳(70.3%)で7割台となっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（70.6%）、西部地域（69.9%）で7割前後と高くなっている。「持ち家だから」は北部地域（63.6%）、西部地域（60.6%）で6割台となっている。



(3) 転居せざるをえない、転居したい理由

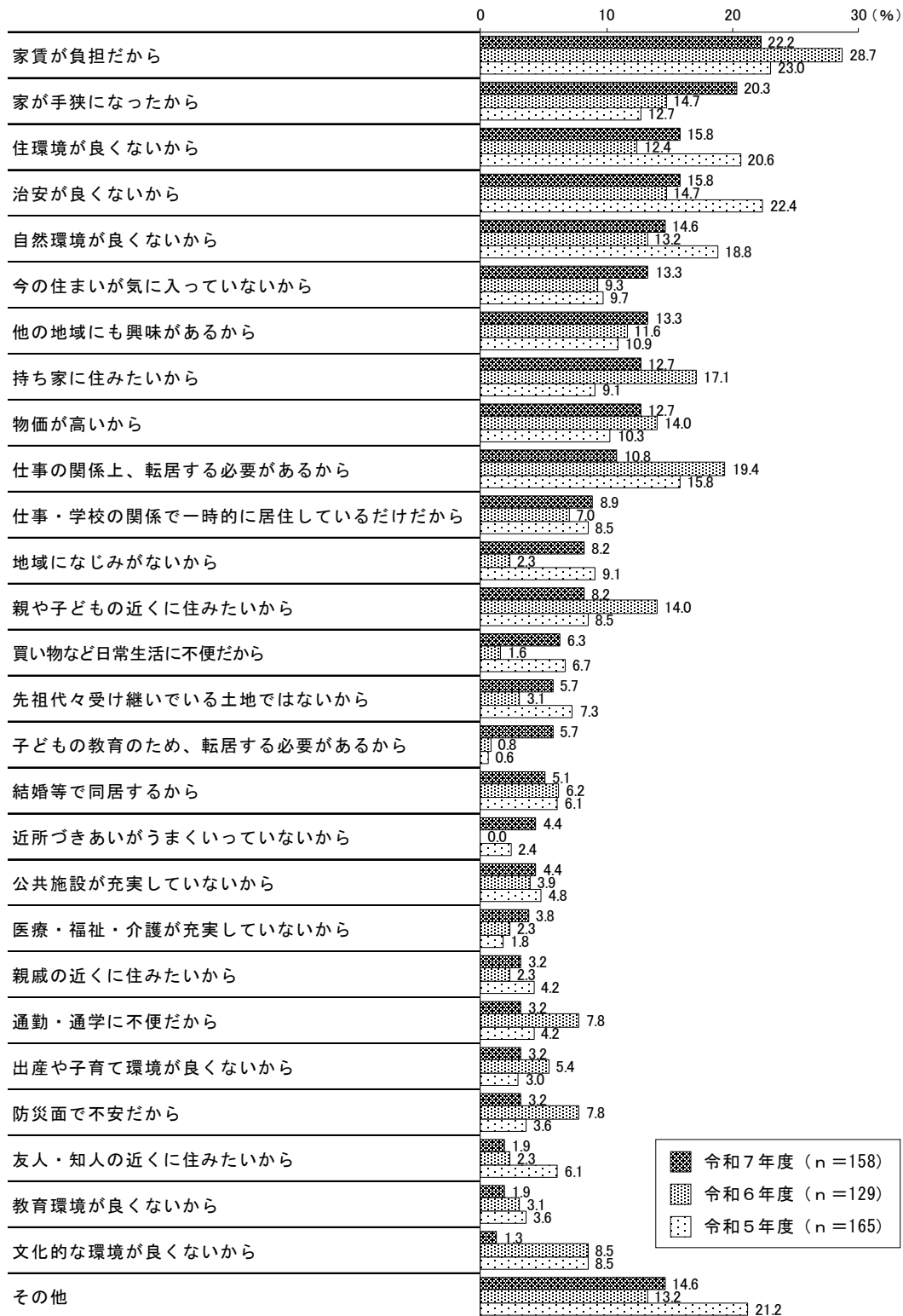
《問4で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」、「豊島区内で転居したいと思っている」、「他の区市町村に転居したいと思っている」とお答えの方におたずねします》  
 問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」、「豊島区内で転居したいと思っている」、「他の区市町村に転居したいと思っている」と答えた方に、転居せざるをえない、転居したい理由を聞いたところ、「家が手狭になったから」(22.3%)が2割を超えて最も高く、次いで「家賃が負担だから」(20.2%)、「住環境が良くないから」(16.6%)、「治安が良くないから」(14.5%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「地域になじみがないから」は令和6年度より5.9ポイント、「家が手狭になったから」は5.6ポイント、「子どもの教育のため、転居する必要があるから」は4.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「仕事の関係上、転居する必要があるから」は令和6年度より8.6ポイント、「文化的な環境が良くないから」は7.2ポイント、「家賃が負担だから」は6.5ポイントそれぞれ減少している。

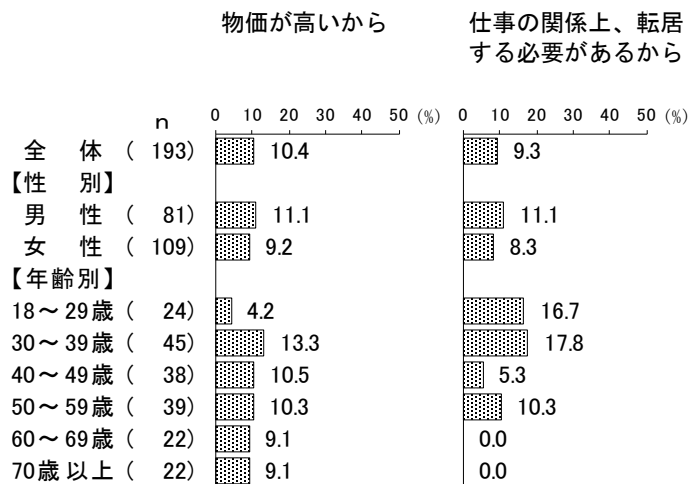
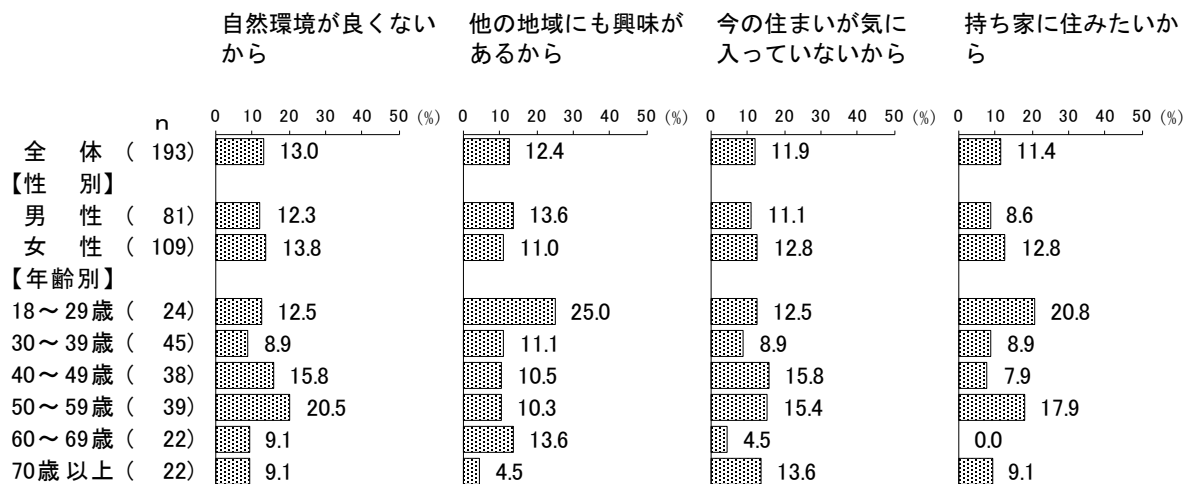
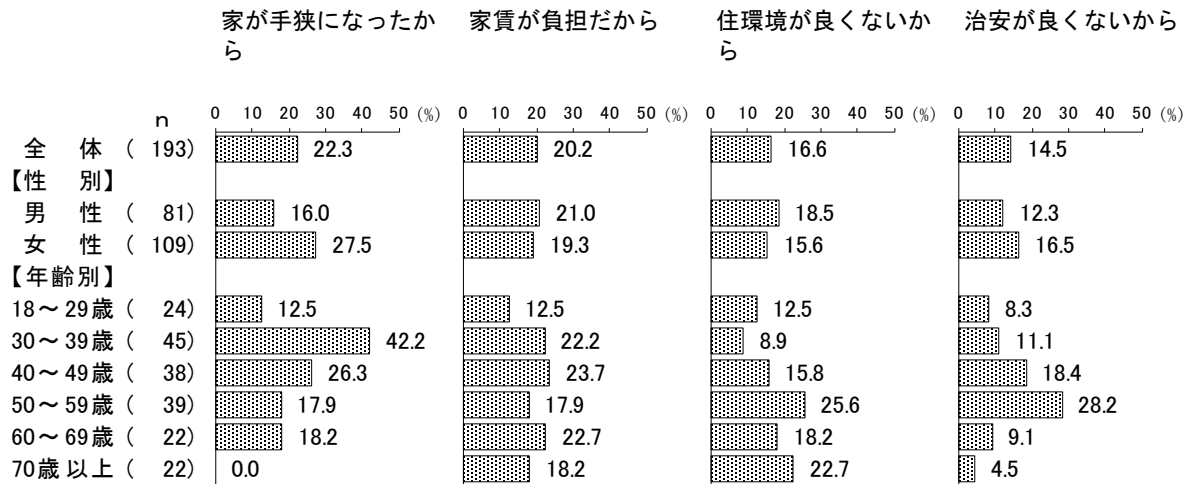


※過去の調査結果と比較するため、今回調査、前回調査は問4で「豊島区内で転居したいと思っている」と答えた方を除いて集計している

【性別、年齢別】(上位10項目)

性別でみると、「家が手狭になったから」は女性(27.5%)が男性(16.0%)より11.5ポイント、「治安が良くないから」は女性(16.5%)が男性(12.3%)より4.2ポイント、「持ち家に住みたいから」は女性(12.8%)が男性(8.6%)より4.2ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「家が手狭になったから」は30~39歳(42.2%)で4割を超えて高くなっている。「治安が良くないから」は50~59歳(28.2%)で3割近くと高くなっている。



## 第2章 地域の生活環境について



## 第2章 地域の生活環境について

### 《設問設定の考え方》

「豊島区基本計画」及び「豊島区実施計画」の「まちづくりの方向性」に対応するかたちで、生活環境に関して大きく7のグループを設定し、さらに、各グループにおいて基本計画の施策に対応する「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」に対して、「現在の評価」と7のグループごとに「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

### 【調査にあたり設定した7のグループ】

- (1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち
- (2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち
- (3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち
- (4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち
- (5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち
- (6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち
- (7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

### 【各項目についての調査内容】

問5 以下の設問は、基本構想・基本計画に掲げる「3つの理念」及び「7つのまちづくりの方向性」の実現に向けて取り組む50の施策等について「現在の評価」と「今後の優先度」をお聞きするものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。（「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。）

#### 1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

- “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思わない” の3つから実感に近いものを選択。
- “どちらかというと思う” から “どちらかというと思わない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

#### 2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つから4つ選択。

【グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧】

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
ち① 地域と共に 支えあう安全・ 安心なま	1	異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる
	2	災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている
	3	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	4	建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	5	行政と地域活動団体やNPO、企業、大学等との連携によるまちづくりが進んでいる
	6	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
	7	地域に住み続けるための住宅制度が充実している
	8	治安がよく、安心して暮らせる
ち② 子育てしやすく、 子ども・若者が 自分らしく成長 できるま	9	妊娠・出産期からきめ細かな支援により、安心して子どもを産み育てることができる
	10	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している
	11	需要に応じた保育サービスが提供されている
	12	児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている
	13	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み幼児教育施設や学校に通っている
	14	学校は確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育成する教育を行っている
	15	障害の有無や国籍、性別、不登校の状況等にかかわらず、すべての子どもたちの学びと成長のための支援が十分に行われている
	16	自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している
	17	学校施設の老朽化対策やバリアフリー化など安全安心な教育環境が提供されている
	18	学校教育に地域の人材が活用されている
	19	子どもの権利に関する理解が進んでいる
	20	子ども・若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している
ち③ 生涯にわたり 健康で、地域で 共に暮らせる 福祉のま	21	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる
	22	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる
	23	地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	24	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	25	まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている
	26	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる
	27	支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている
	28	がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある
	29	健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている
	30	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	31	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
④ 豊かな心と活発な文化交流を育む多彩な文化のまち	32	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	33	文化芸術に触れる機会が多くなった
	34	身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある
	35	図書館の利用が生活の充実につながっている
	36	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある
⑤ 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	37	各種経営相談窓口が充実しており、起業しやすい環境が整っている
	38	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている
	39	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる
	40	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている
	41	専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている
⑥ 共に生きるやさしい地球のまち	42	地球温暖化について、関心を持ち、自分事として捉えている
	43	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる
	44	ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている
	45	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなく、きれいである
	46	日頃から環境にやさしい行動をとっている
⑦ 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	47	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	48	池袋周辺で、新宿・渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる
	49	身近な生活道路が安全・快適に通行できる
	50	近くに好きな公園がある
【理念①】 誰もがいつでも主役	51	戦争の悲惨さや平和の尊さが、世代を超えて受け継がれている
	52	互いの人権を尊重し、差別のない地域社会を目指す意識が広がっている
	53	性別等にかかわらず、誰もがその人らしく安心して暮らせるまちである
	54	女性一人ひとりが家庭・職場・地域で生き生きとその力を発揮できるよう、みんなで支え合っている
	55	外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる
	56	地域で外国人との交流がある
【理念②】 みんながつながる	57	地域の一員として、地域のために何か役立ちたい
	58	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい
	59	区の政策に区民の意見や考えが反映されている
	60	区に意見を述べる機会や手段、方法に満足している
	61	区民や企業等が中心（行政の関わりが薄い）となって、地域課題の解決に向けた取り組みができています
【理念③】 出会いと笑顔が咲きほころぶ、憧れのまち	62	豊島区に愛着を感じる
	63	豊島区に住んでいることを誇りに感じる

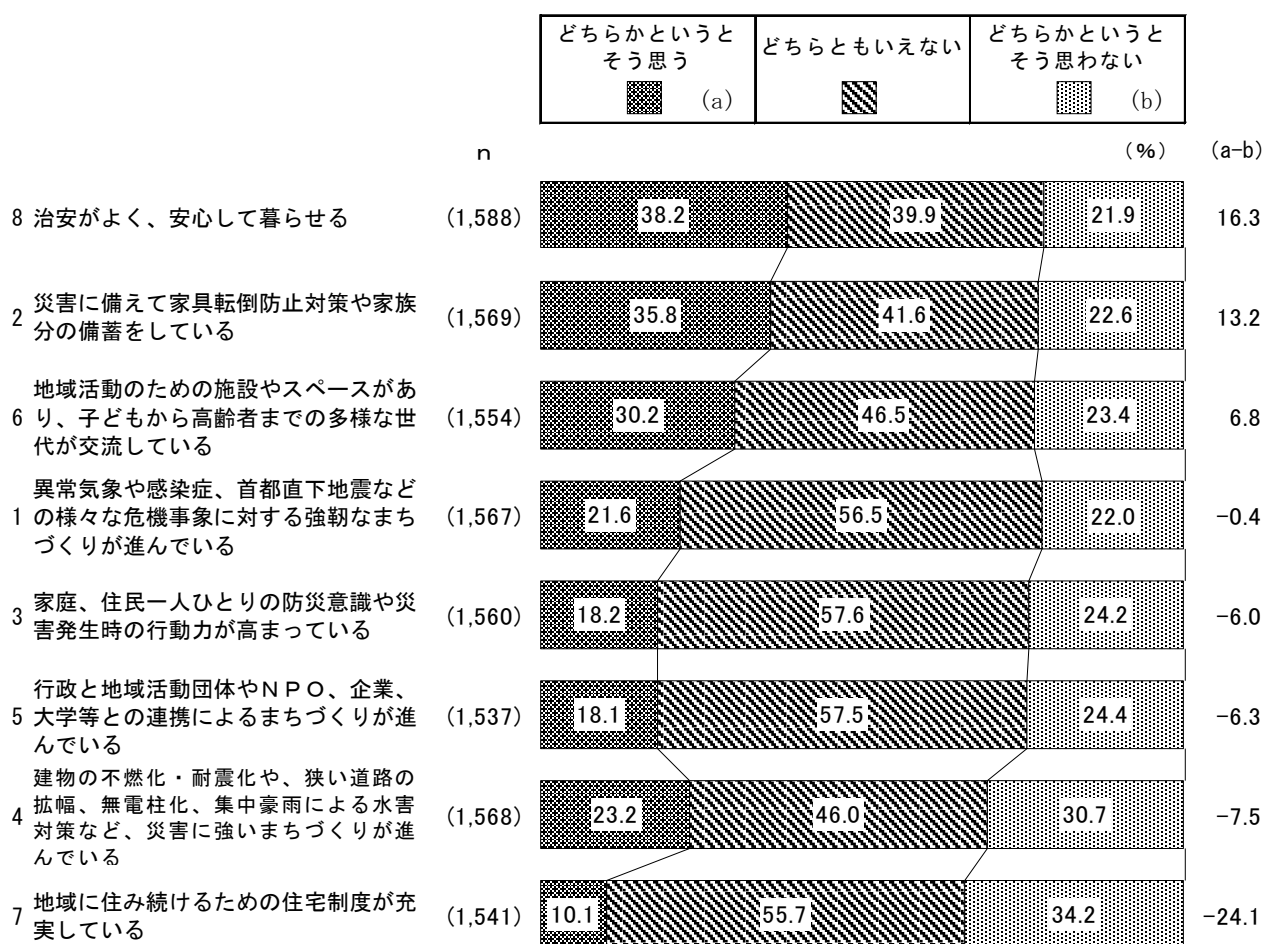
## 1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

### (1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち

「地域と共に支えあう安全・安心なまち」に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「治安がよく、安心して暮らせる」であり、次いで「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住み続けるための住宅制度が充実している」である。

#### 【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける「現在の評価」】

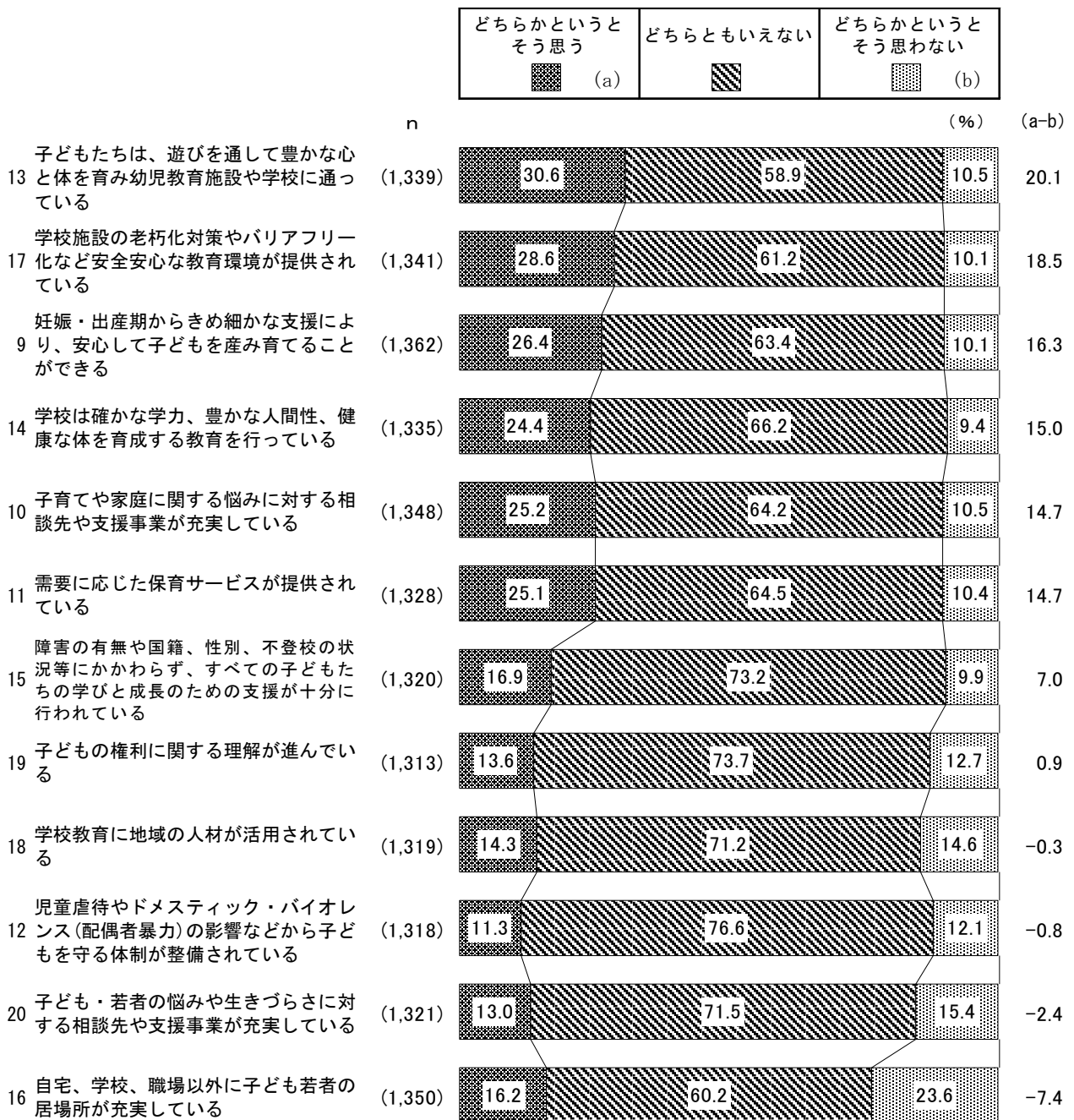


(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち

「子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に関する生活環境について、下記の12の項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み幼児教育施設や学校に通っている」であり、次いで「学校施設の老朽化対策やバリアフリー化など安全安心な教育環境が提供されている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している」である。

【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける「現在の評価」】

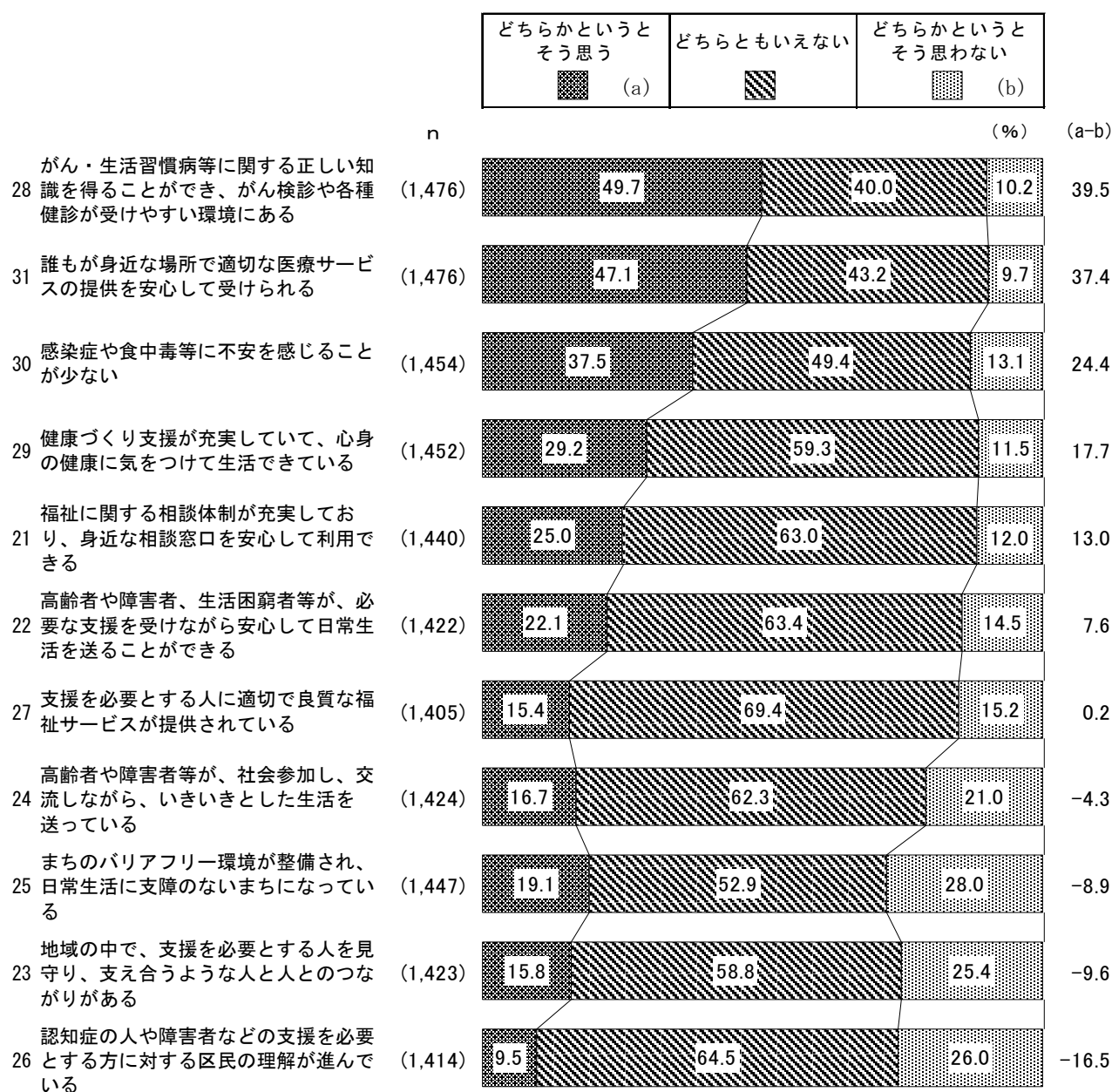


(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

「生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち」に関する生活環境について、下記の11の項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」であり、次いで「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」となっている。

一方で、「どちらかというと思わない」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる」である。

【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける「現在の評価」】

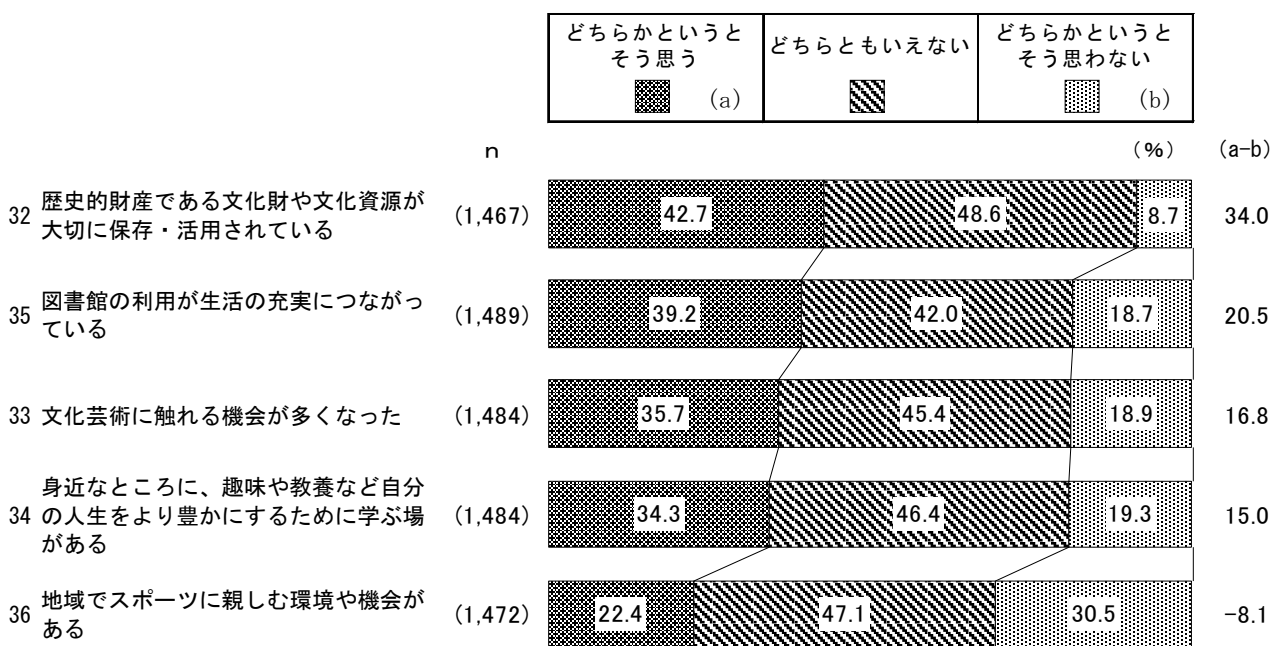


(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

「豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」であり、次いで「図書館の利用が生活の充実につながっている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」である。

【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける「現在の評価」】

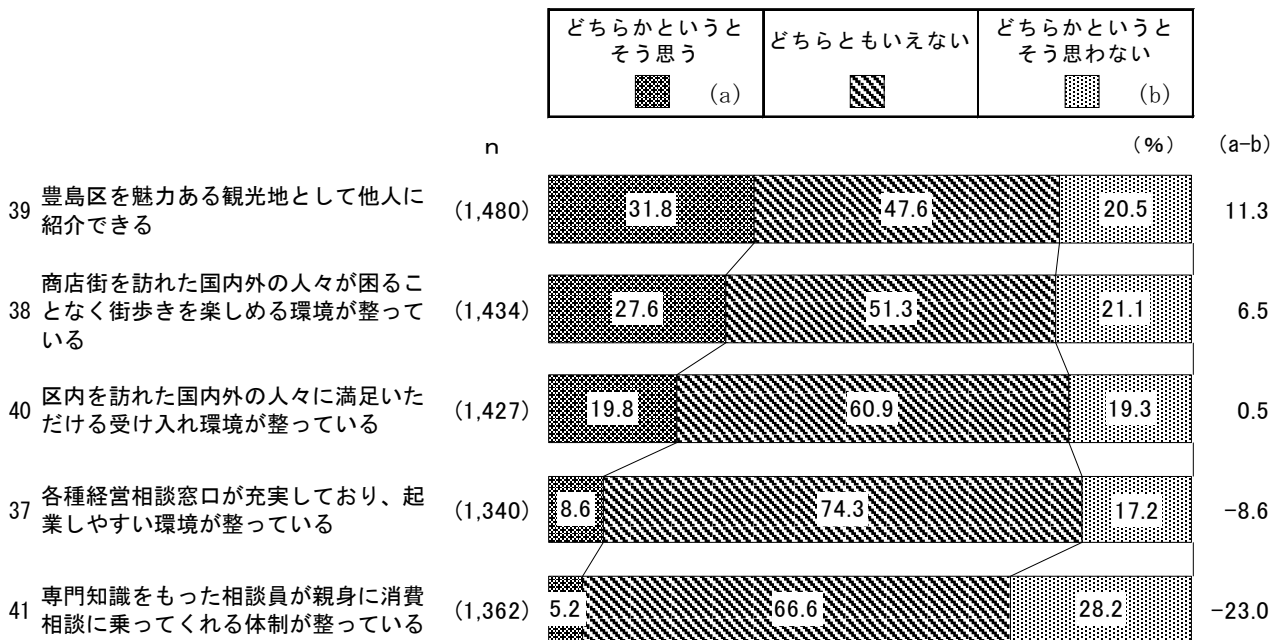


(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち

「活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」であり、次いで「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」である。

【活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまちにおける「現在の評価」】

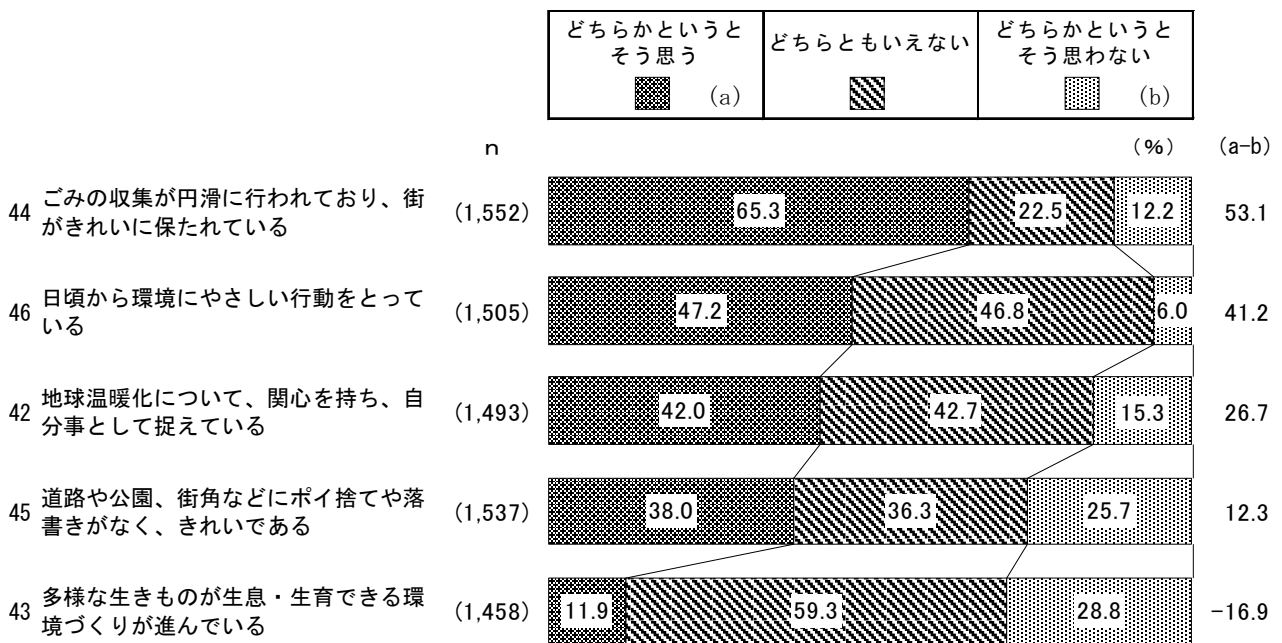


(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち

「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている」であり、次いで「日頃から環境にやさしい行動をとっている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」である。

【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける「現在の評価」】

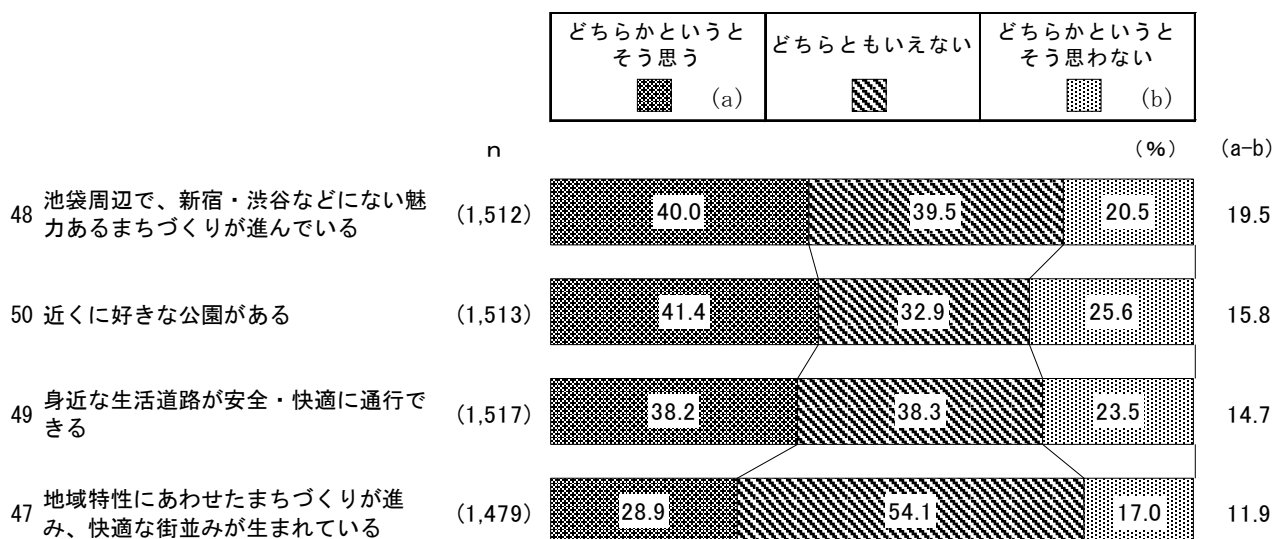


(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

「誰もが居心地の良い歩きたくなるまち」に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「池袋周辺で、新宿・渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる」であり、次いで「近くに好きな公園がある」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」である。

【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける「現在の評価」】



【グループ全体を通してみた「現在の評価」】

注) 表中の満足度欄の ( ) 書きは前回調査 (令和6年度) の数値

(ア) 「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全50項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い(満足度が高い)項目は以下のとおりである。

(%)

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	⑥共につくる地球にも人にもやさしいまち	[44]ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている	53.1 (55.0)
第2位	⑥共につくる地球にも人にもやさしいまち	[46]日頃から環境にやさしい行動をとっている	41.2 (42.6)
第3位	③生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[28]がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	39.5 (38.6)
第4位	③生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[31]誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	37.4 (40.1)
第5位	④豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	[32]歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	34.0 (37.8)
第6位	⑥共につくる地球にも人にもやさしいまち	[42]地球温暖化について、関心を持ち、自分事として捉えている	26.7 (27.8)
第7位	③生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[30]感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	24.4 (26.8)
第8位	④豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	[35]図書館の利用が生活の充実につながっている	20.5 (21.2)
第9位	②子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	[13]子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み幼児教育施設や学校に通っている	20.1 (20.2)
第10位	⑦誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	[48]池袋周辺で、新宿・渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	19.5 (24.6)

(イ) 「現在の評価」が低い項目

生活環境について設定した全50項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い(満足度が低い)項目は以下のとおりである。

(%)

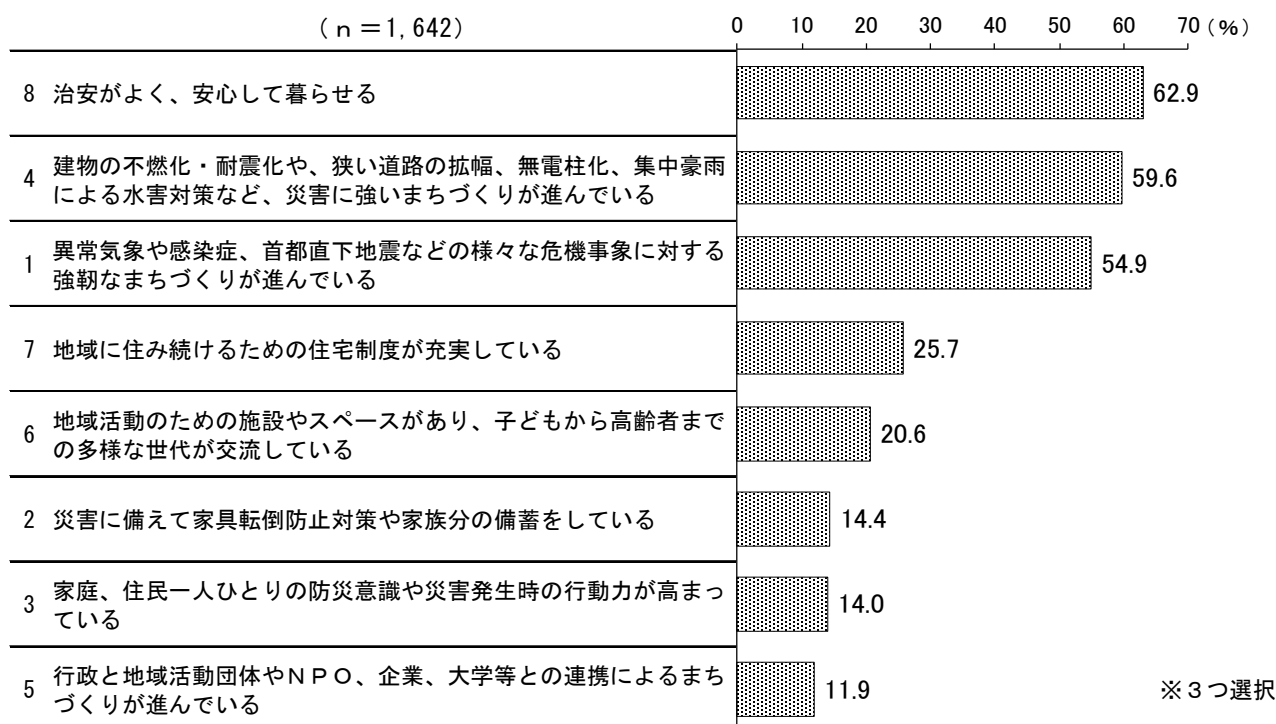
順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	①地域と共に支えあう安全・安心なまち	[07]地域に住み続けるための住宅制度が充実している	-24.1 (-20.7)
第2位	⑤活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	[41]専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている	-23.0 (-16.6)
第3位	⑥共につくる地球にも人にもやさしいまち	[43]多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	-16.9 (-14.7)
第4位	③生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[26]認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる	-16.5 (-12.6)
第5位	③生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[23]地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	-9.6 (-6.8)
第6位	③生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[25]まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている	-8.9 (-6.9)
第7位	⑤活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	[37]各種経営相談窓口が充実しており、起業しやすい環境が整っている	-8.6 (-7.6)
第8位	④豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	[36]地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	-8.1 (-1.1)
第9位	①地域と共に支えあう安全・安心なまち	[04]建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる	-7.5 (-8.3)
第10位	②子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	[16]自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している	-7.4 (-5.4)

## 2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

### (1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち

「地域と共に支えあう安全・安心なまち」に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(62.9%)が6割を超えて最も高く、次いで「建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(59.6%)、「異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」(54.9%)、「地域に住み続けるための住宅制度が充実している」(25.7%)となっている。

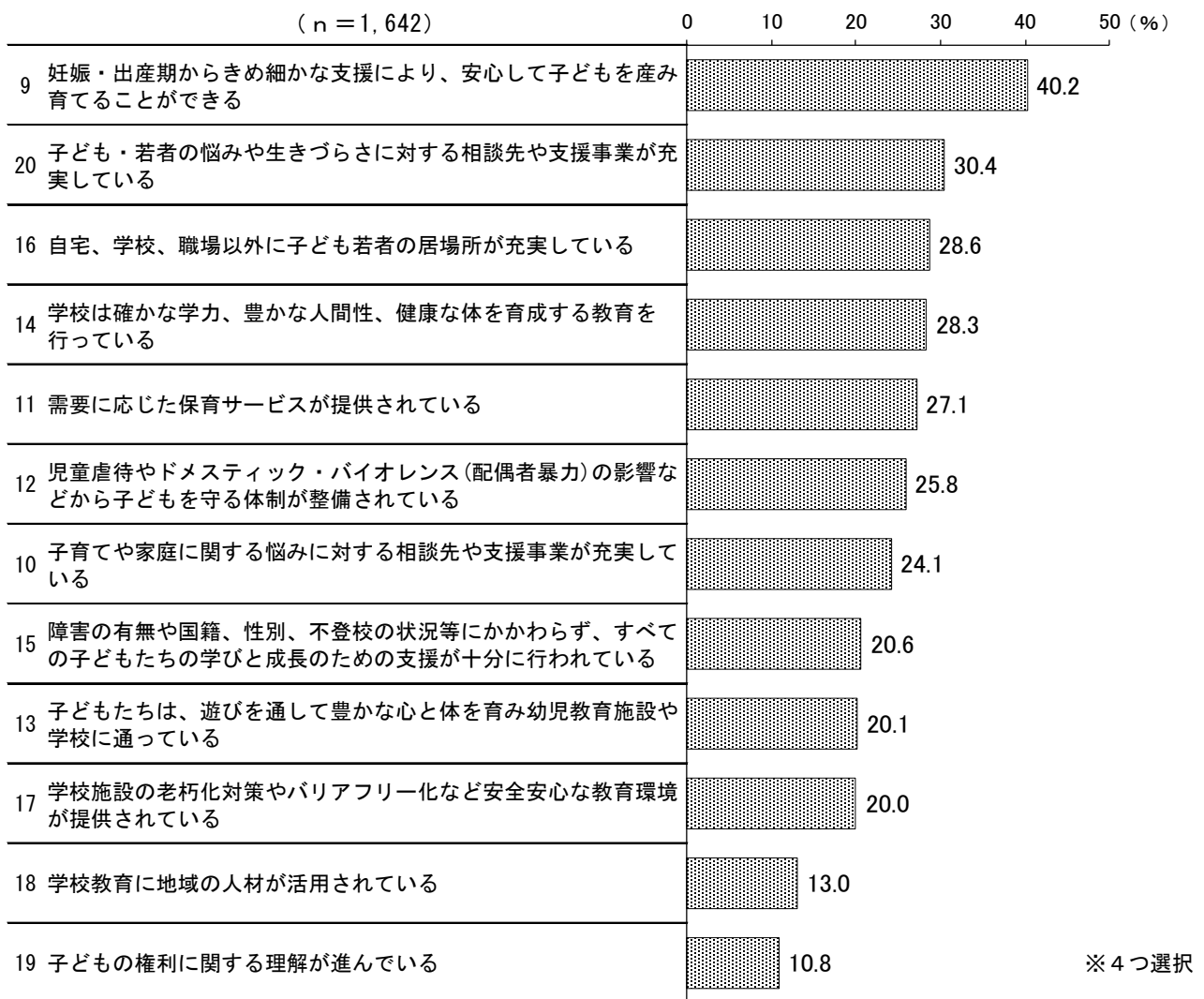
#### 【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける「今後の優先度」】



(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち

「子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に関する生活環境について、下記の12の項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「妊娠・出産期からきめ細かな支援により、安心して子どもを産み育てることができる」(40.2%)が4割で最も高く、次いで「子ども・若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」(30.4%)、「自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している」(28.6%)、「学校は確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育成する教育を行っている」(28.3%)となっている。

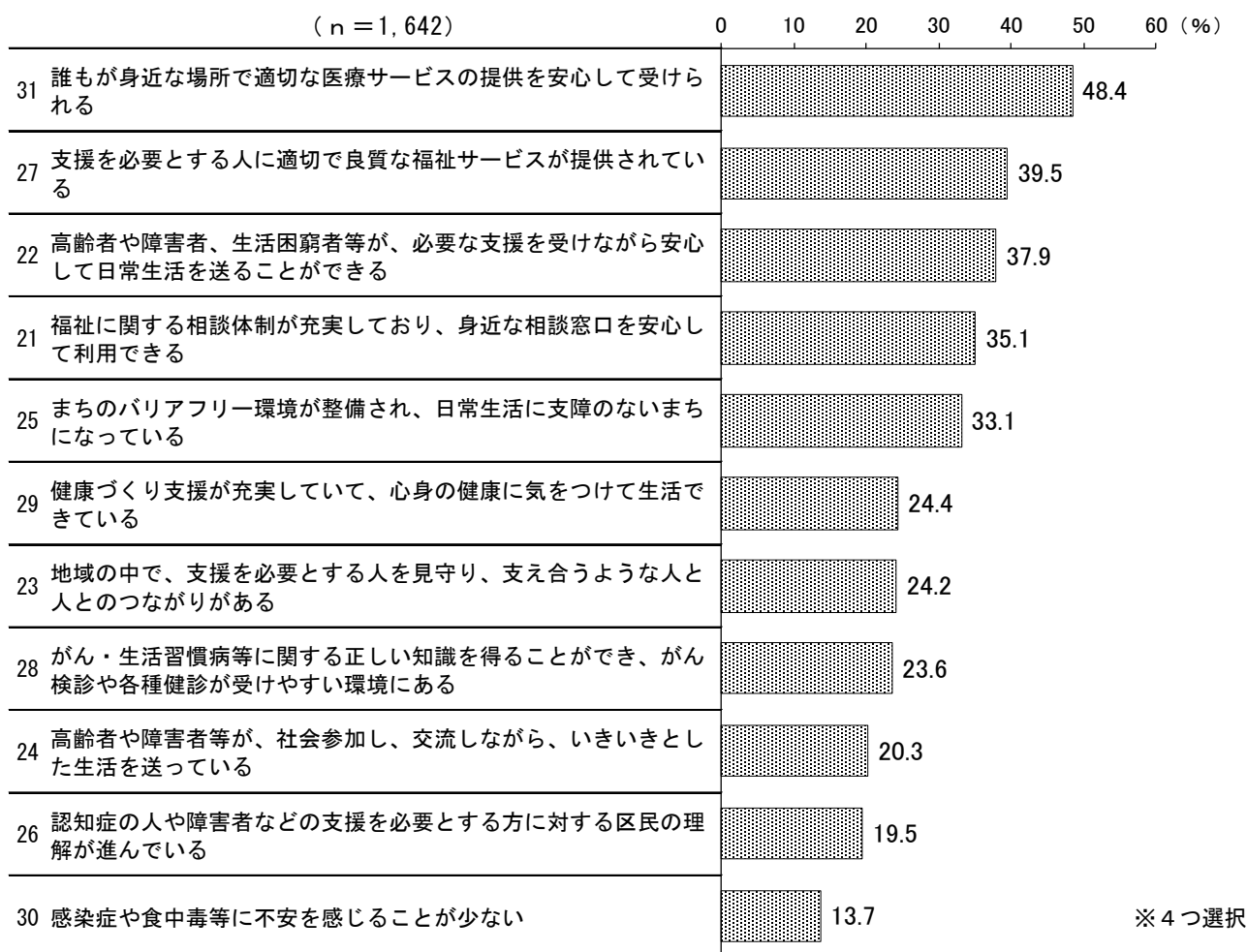
【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける「今後の優先度」】



(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

「生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち」に関する生活環境について、下記の11の項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(48.4%)が5割近くで最も高く、次いで「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」(39.5%)、「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」(37.9%)、「福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる」(35.1%)となっている。

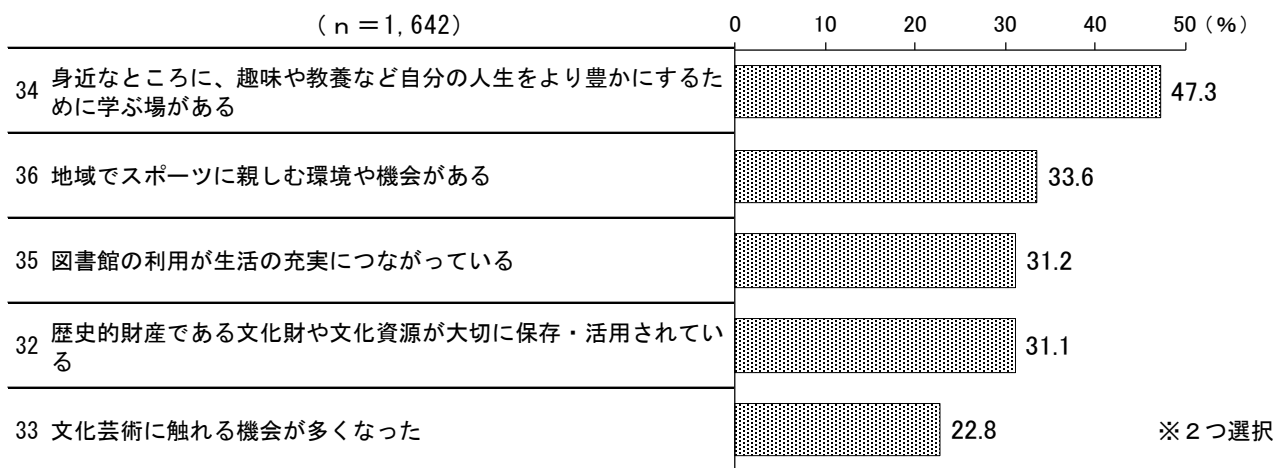
【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける「今後の優先度」】



(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

「豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある」(47.3%)が5割近くで最も高く、次いで「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(33.6%)、「図書館の利用が生活の充実につながっている」(31.2%)、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」(31.1%)となっている。

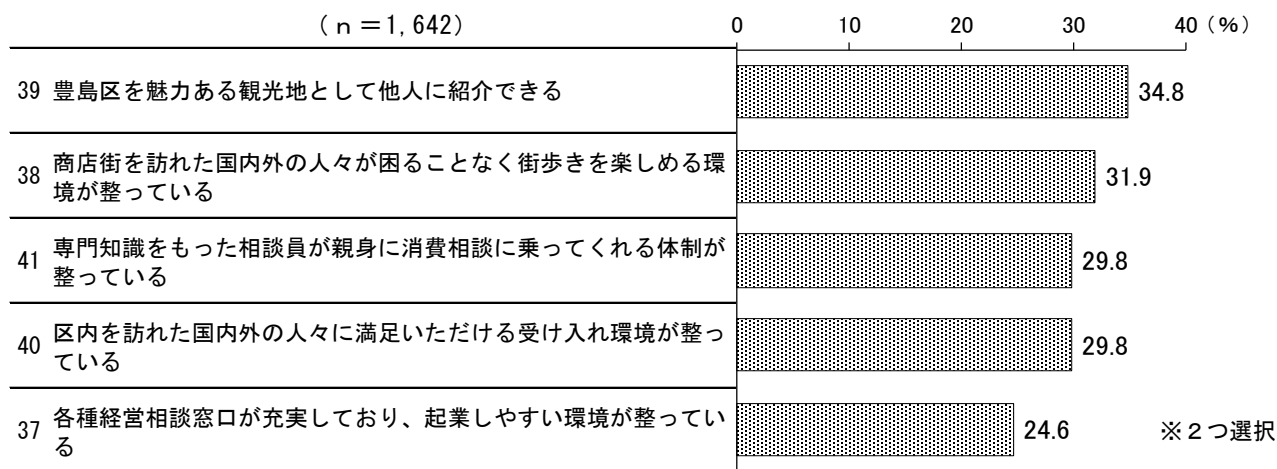
【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける「今後の優先度」】



(5) 活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち

「活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」(34.8%)が3割半ばで最も高く、次いで「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」(31.9%)、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」、「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」(ともに 29.8%)となっている。

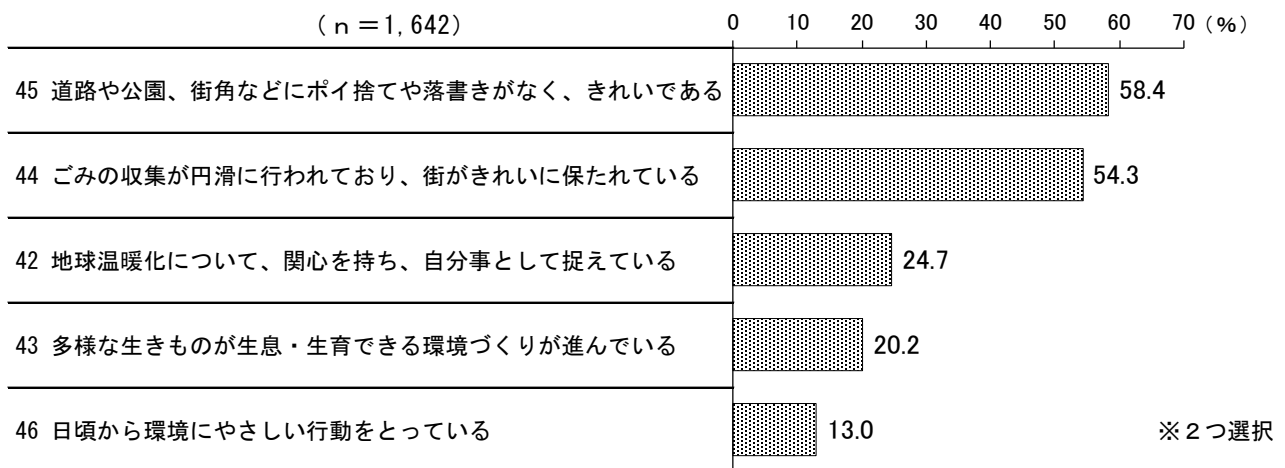
【活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまちにおける「今後の優先度」】



(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち

「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなく、きれいである」(58.4%)が6割近くで最も高く、次いで「ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている」(54.3%)、「地球温暖化について、関心を持ち、自分事として捉えている」(24.7%)、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」(20.2%)となっている。

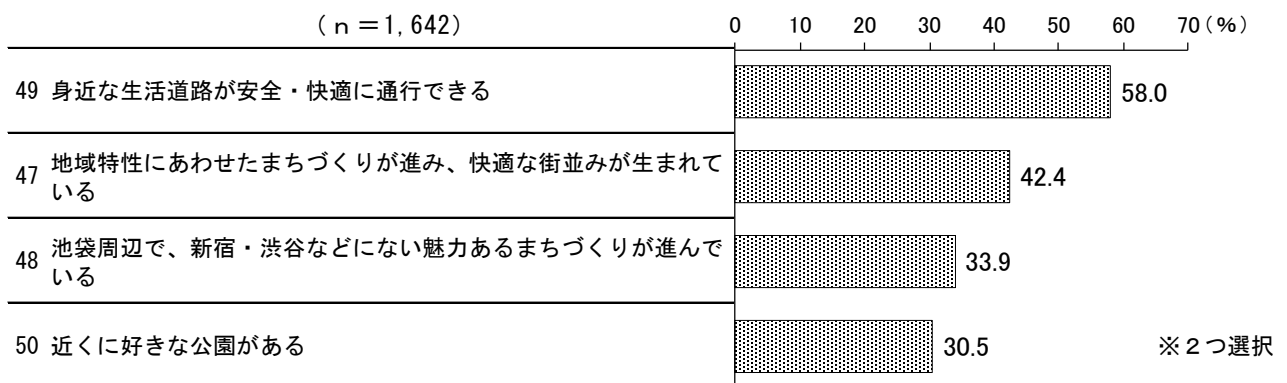
【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける「今後の優先度」】



(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

「誰もが居心地の良い歩きたくなるまち」に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」(58.0%)が6割近くで最も高く、次いで「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(42.4%)、「池袋周辺で、新宿・渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」(33.9%)、「近くに好きな公園がある」(30.5%)となっている。

【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける「今後の優先度」】



### 3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析

7のグループごとに、「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。

#### 【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）

各項目の加重平均値

$$= (\text{「どちらかというと思う」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかというと思わない」の回答者数} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

■今後の優先度

各項目の回答割合（%）

■基準軸の設定

- ・現在の評価：0（ゼロ）を基準
- ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「現在の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

(+) 「現在の評価」の軸 (-)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">C</div> 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">A</div> 現在の評価も、今後の優先度も高い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (>) 平均優先度	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">D</div> 現在の評価も、今後の優先度も低い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">B</div> 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (>) 平均優先度	
	(-)	「今後の優先度」の軸	(+)

上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

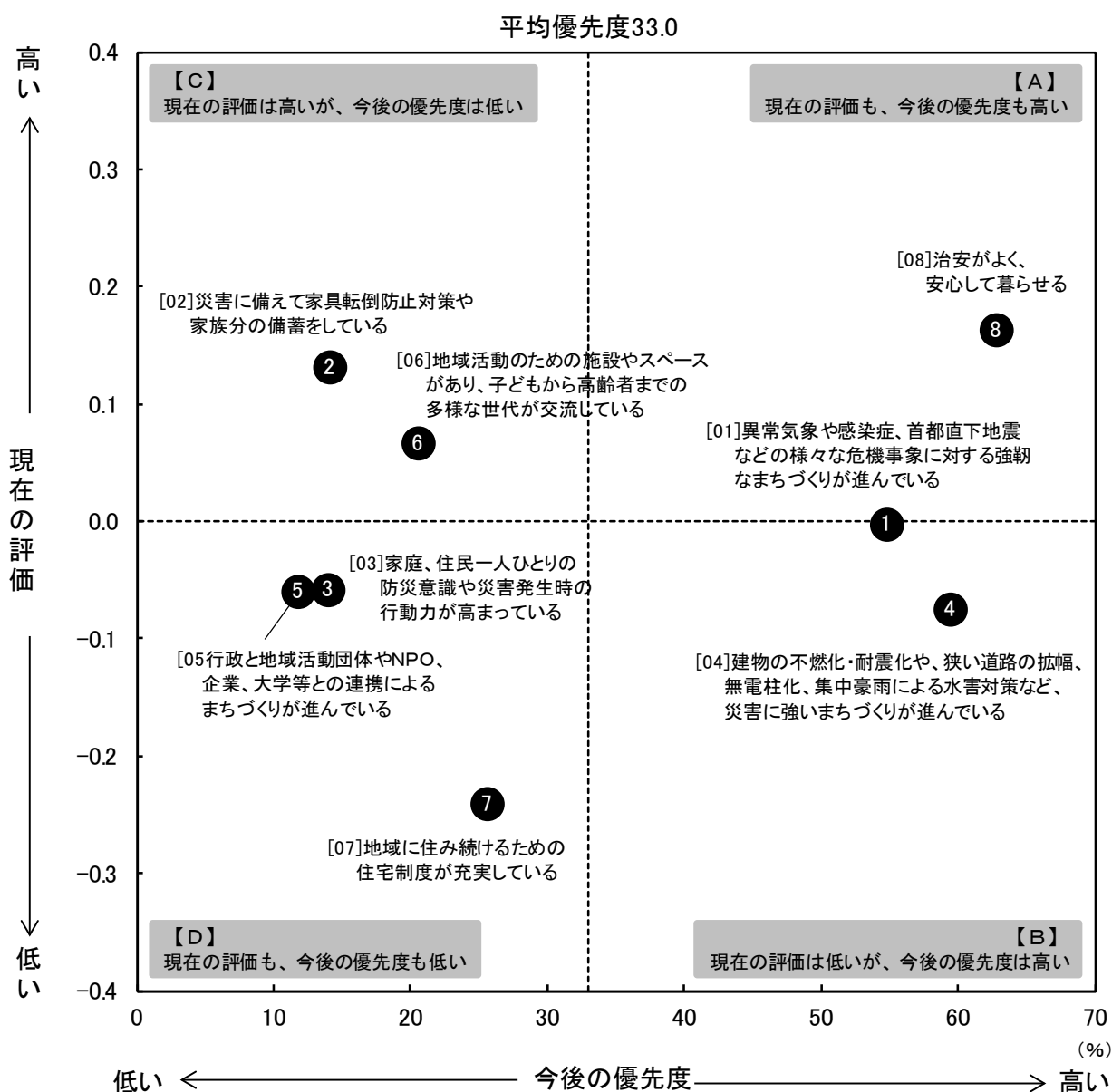
B	評価【低】かつ 優先度【高】	行政として重点的に取り組む
A	評価【高】かつ 優先度【高】	現状維持
D	評価【低】かつ 優先度【低】	
C	評価【高】かつ 優先度【低】	行政の役割は小さい

(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち

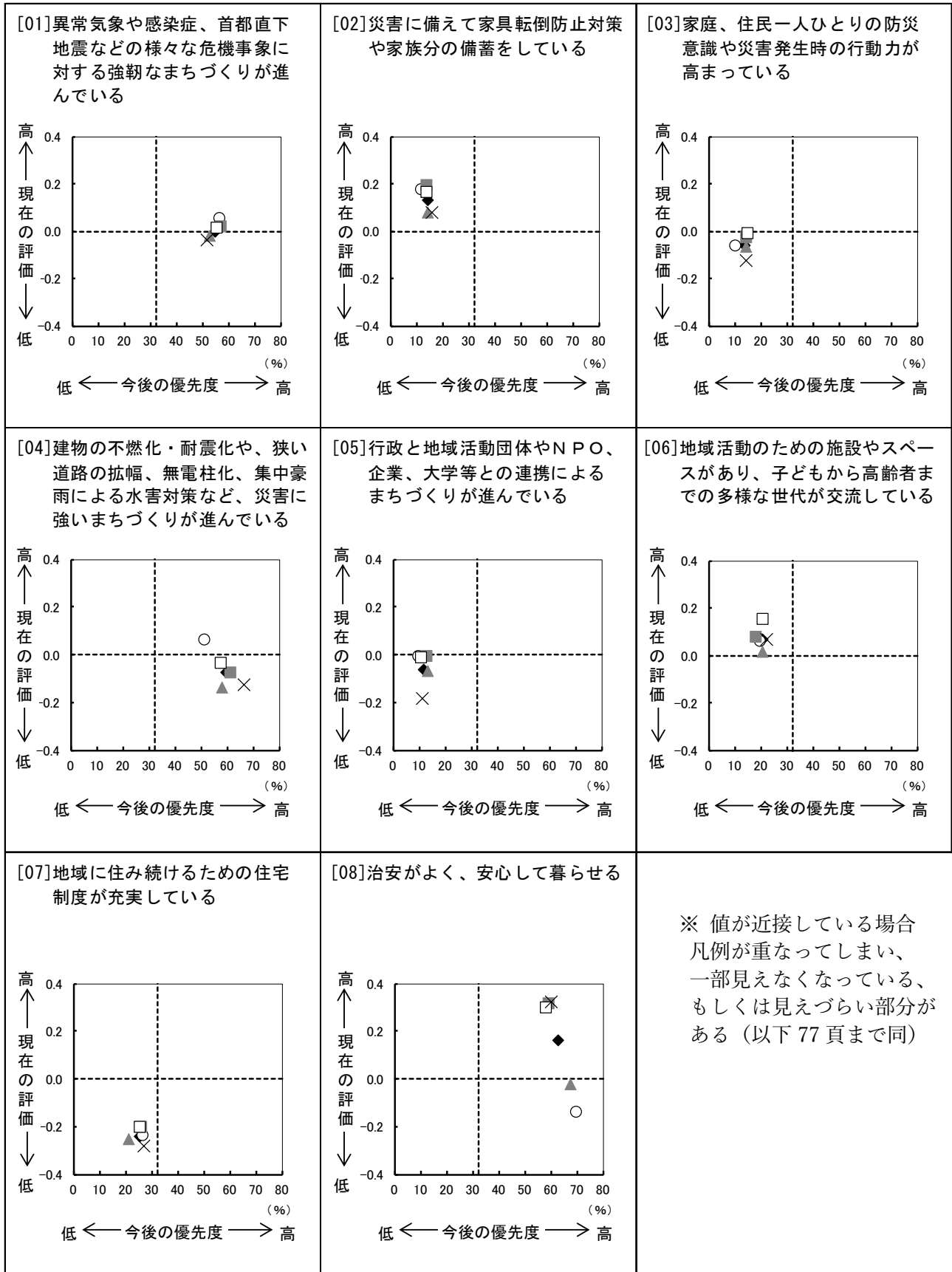
「地域と共に支えあう安全・安心なまち」に関する生活環境では、8項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる」、「異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」が位置している。

【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける総合分析】



【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける地域別比較】



【凡例】 ◆: 区全体    ■: 東部地域    ▲: 北部地域    ○: 中央地域    □: 南部地域    ×: 西部地域

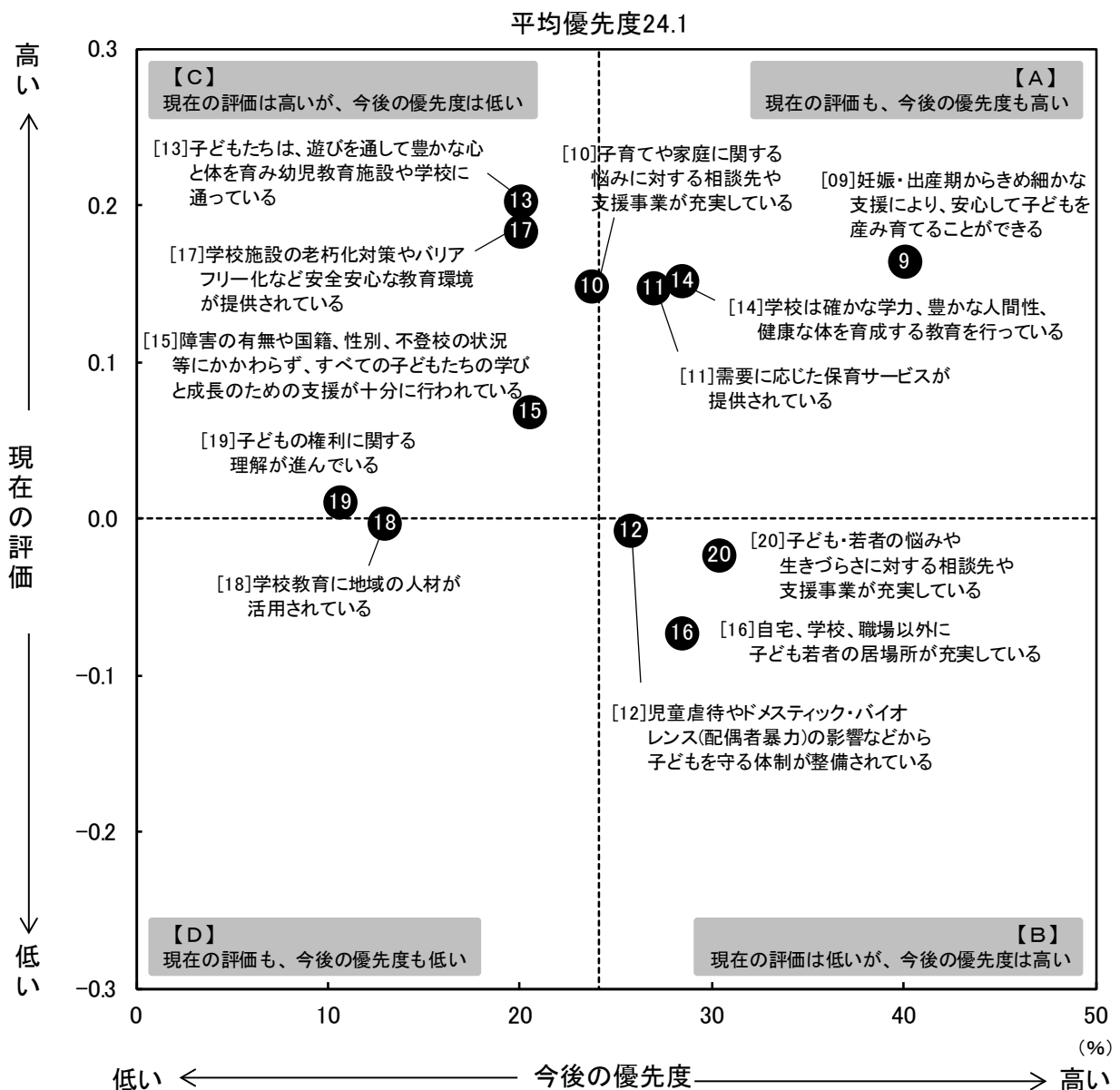
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち

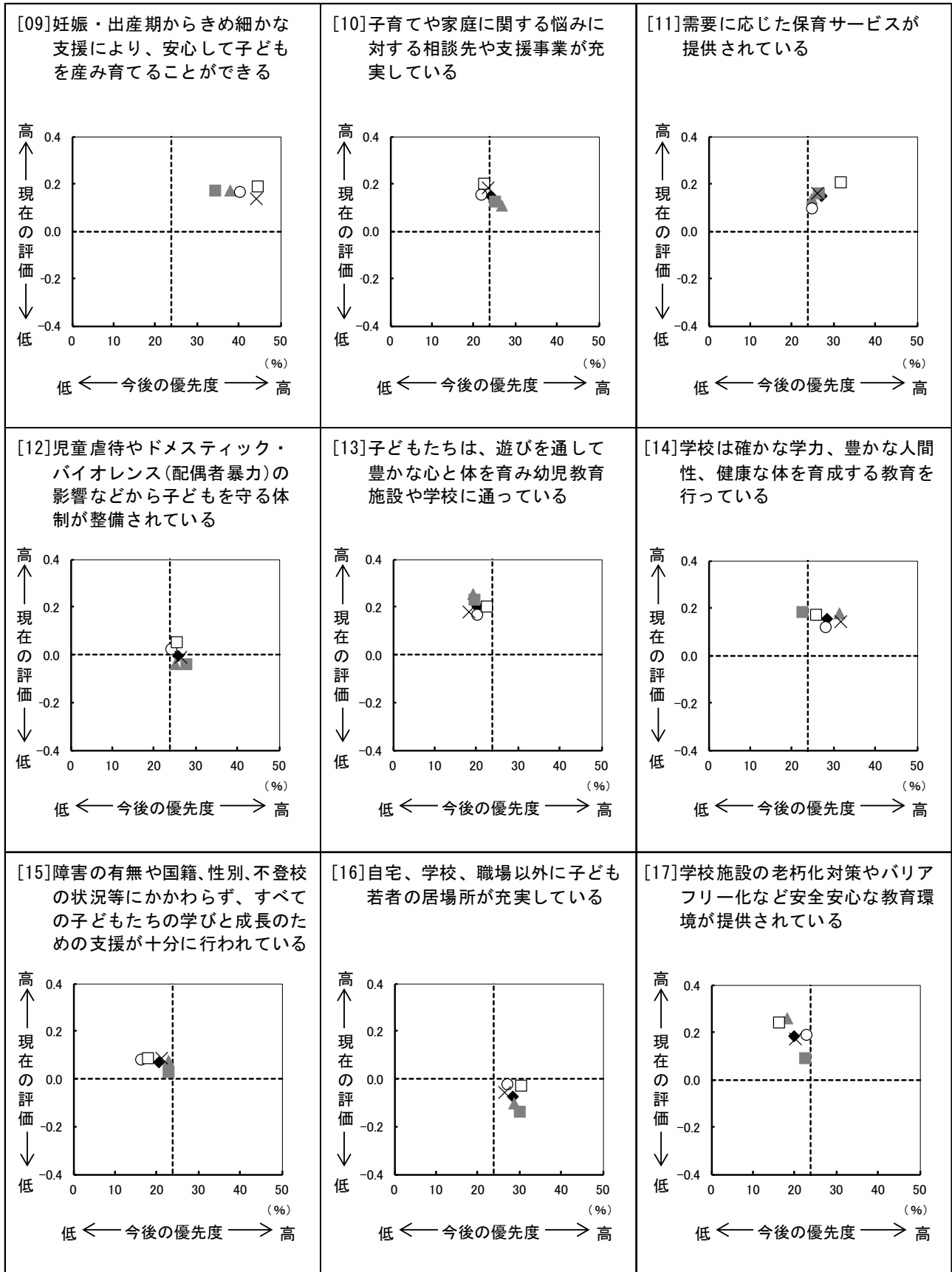
「子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に関する生活環境では、12項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、5項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している」、「子ども・若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」が位置している。

【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける総合分析】



【子育てしやすい、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける地域別比較（1）】

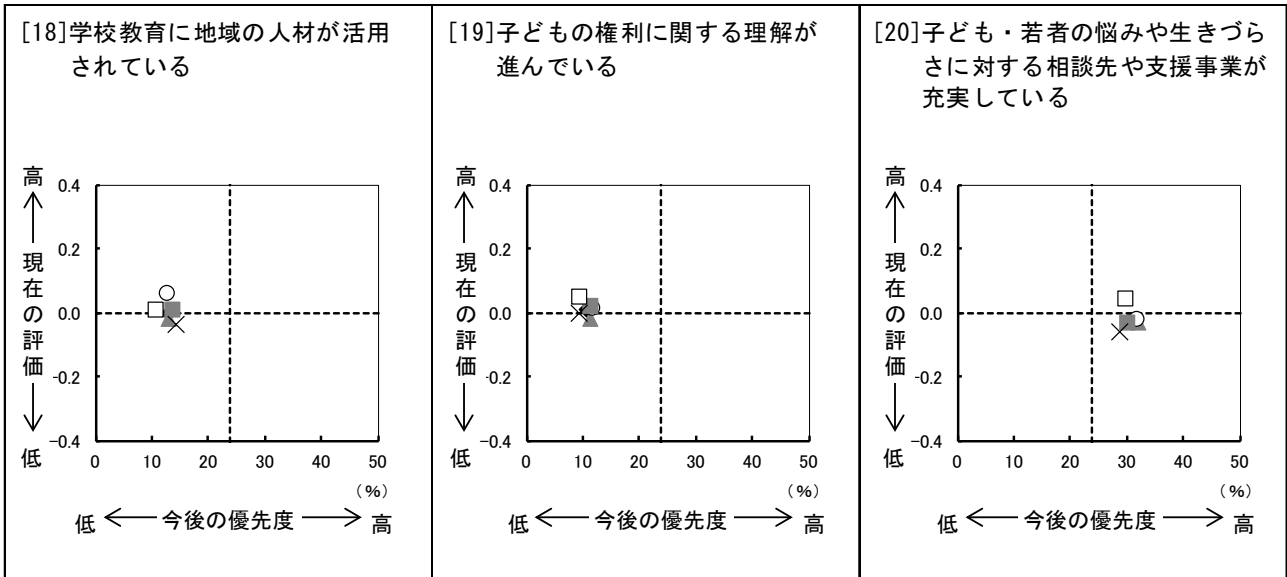


【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域
- : 南部地域
- ×: 西部地域

※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける地域別比較（2）】



【凡例】  
 ◆: 区全体    ■: 東部地域    ▲: 北部地域    ○: 中央地域    □: 南部地域    ×: 西部地域

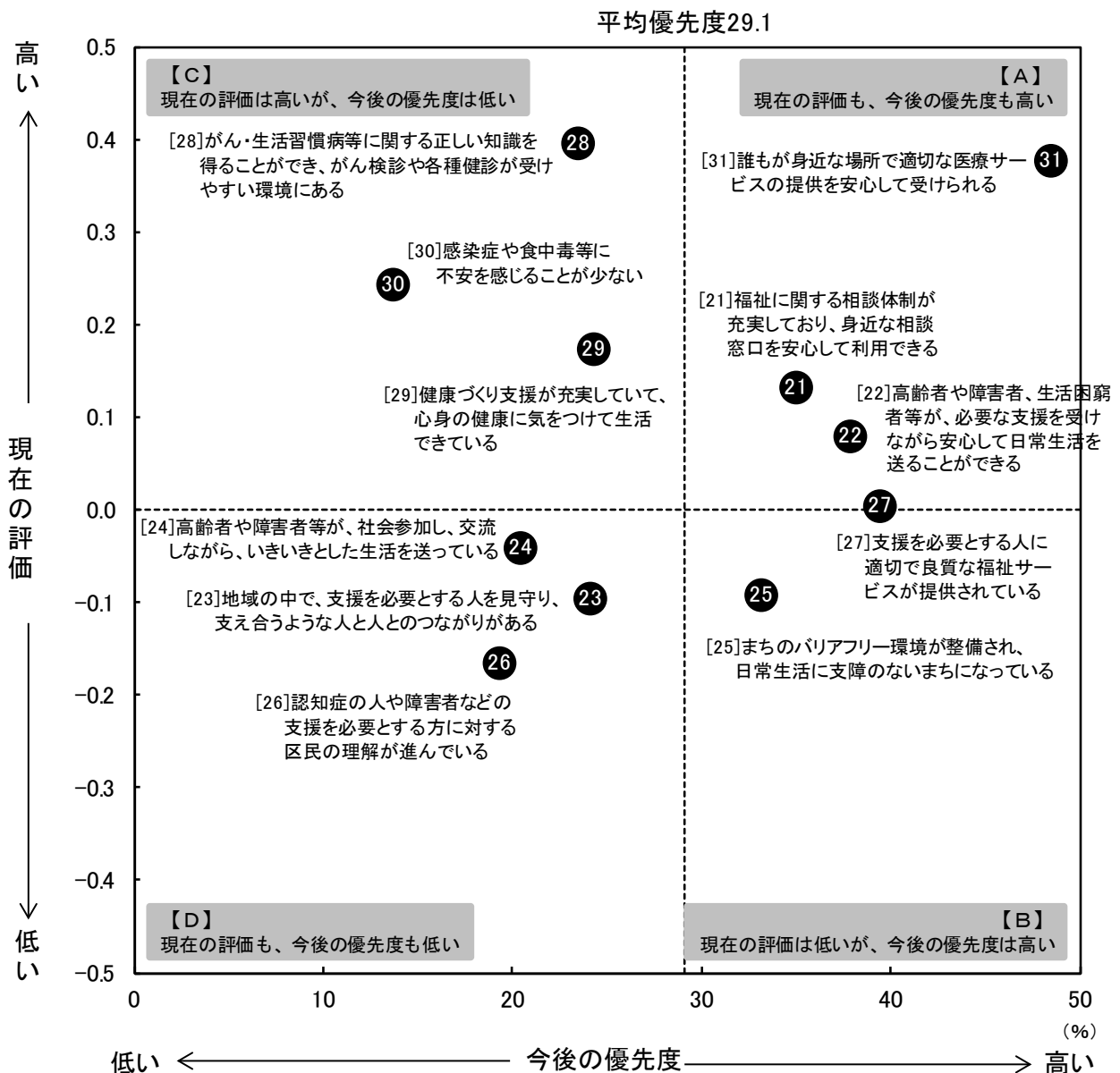
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

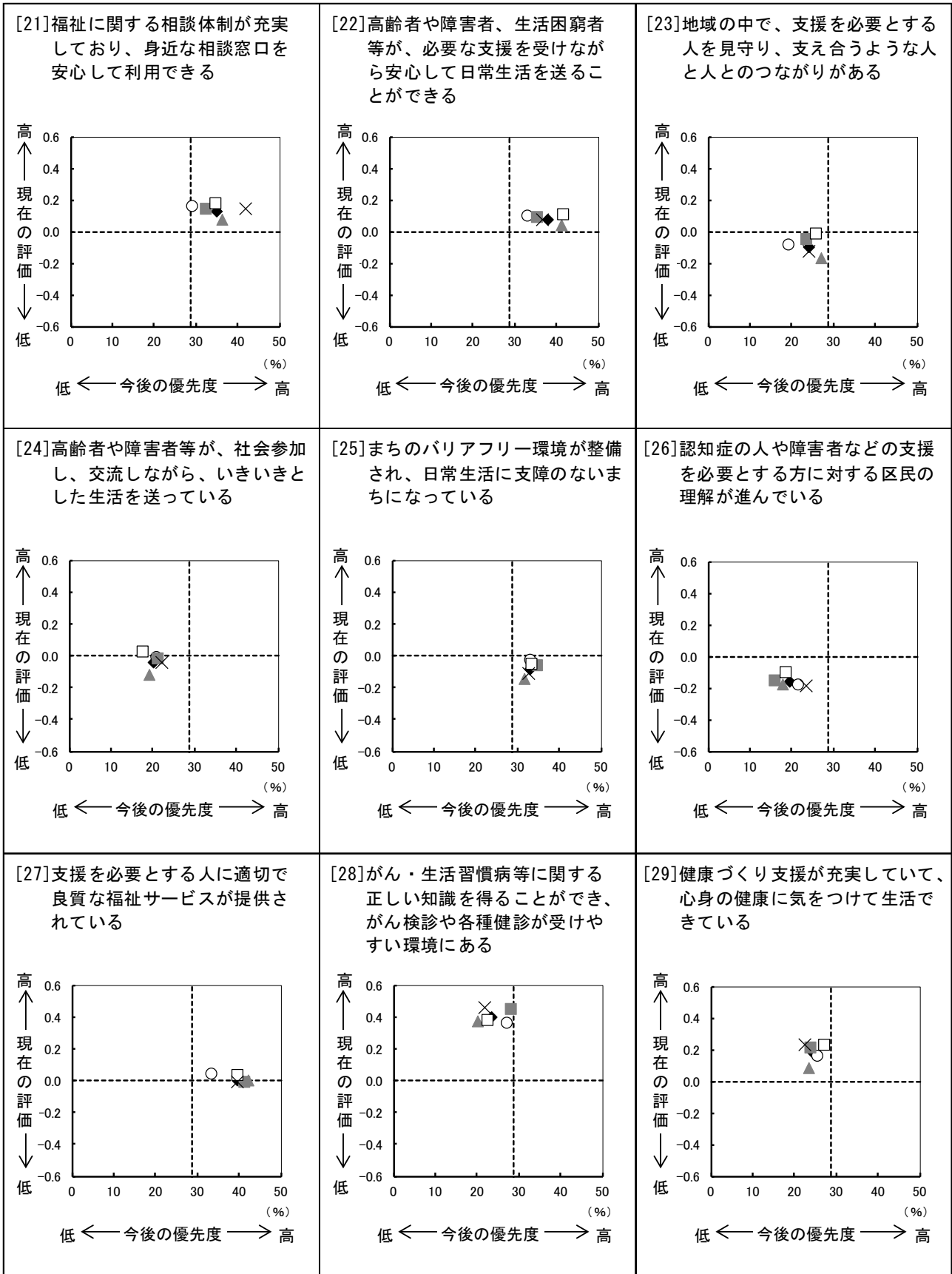
「生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち」に関する生活環境では、11項目のうち4項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高い、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている」が位置している。

【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける総合分析】



【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける地域別比較（1）】

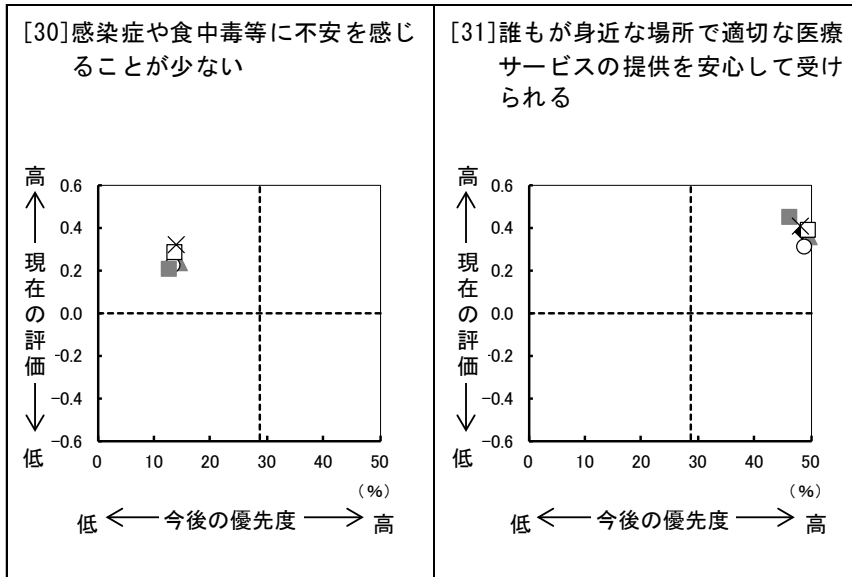


【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域
- : 南部地域
- ×: 西部地域

※ 地域の具体的区分は6ページの（7）居住地域名を参照

【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける地域別比較（2）】



【凡例】  
 ◆: 区全体    ■: 東部地域    ▲: 北部地域    ○: 中央地域    □: 南部地域    ×: 西部地域

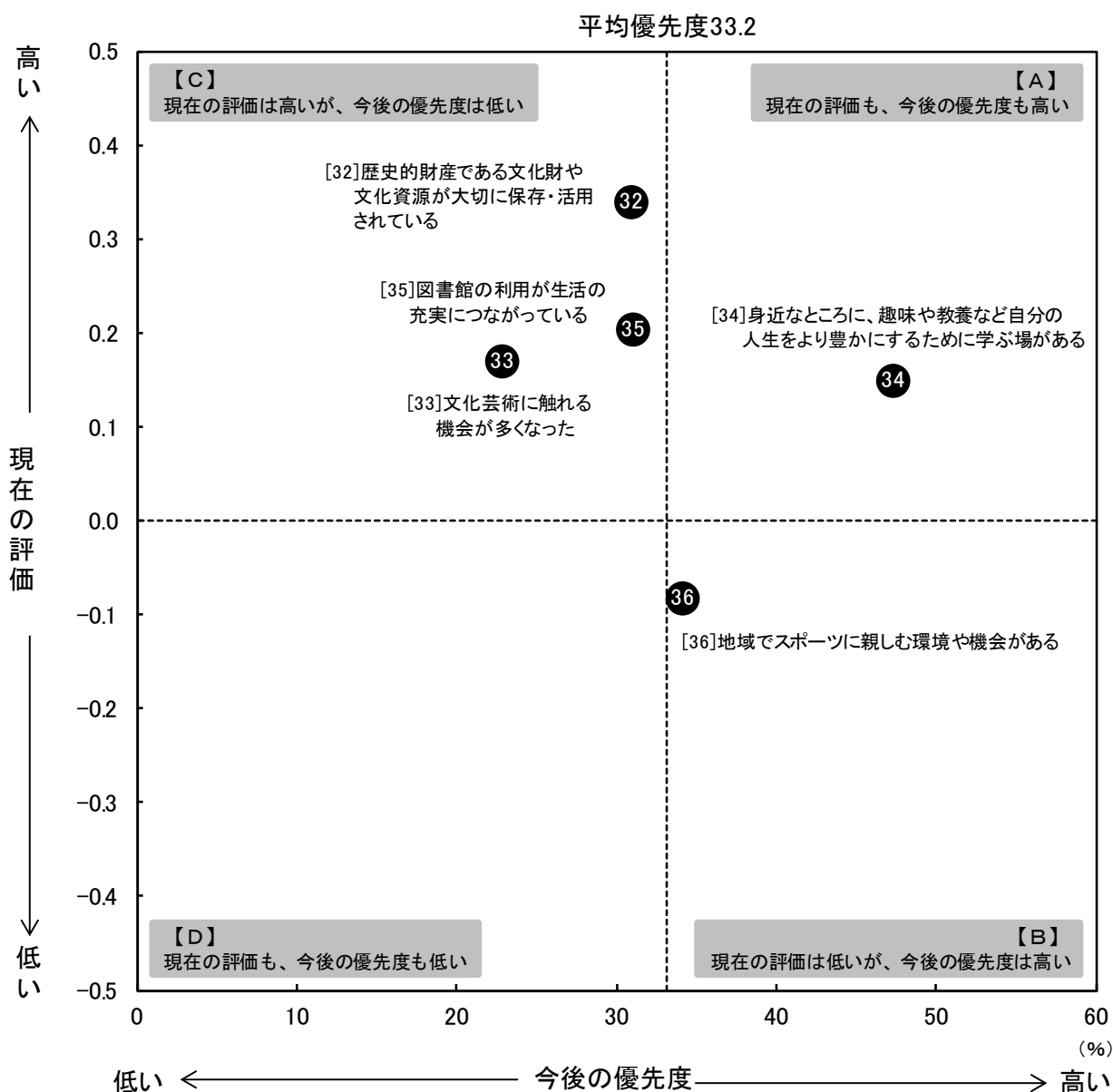
※ 地域の具体的区分は6ページの（7）居住地域名を参照

(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

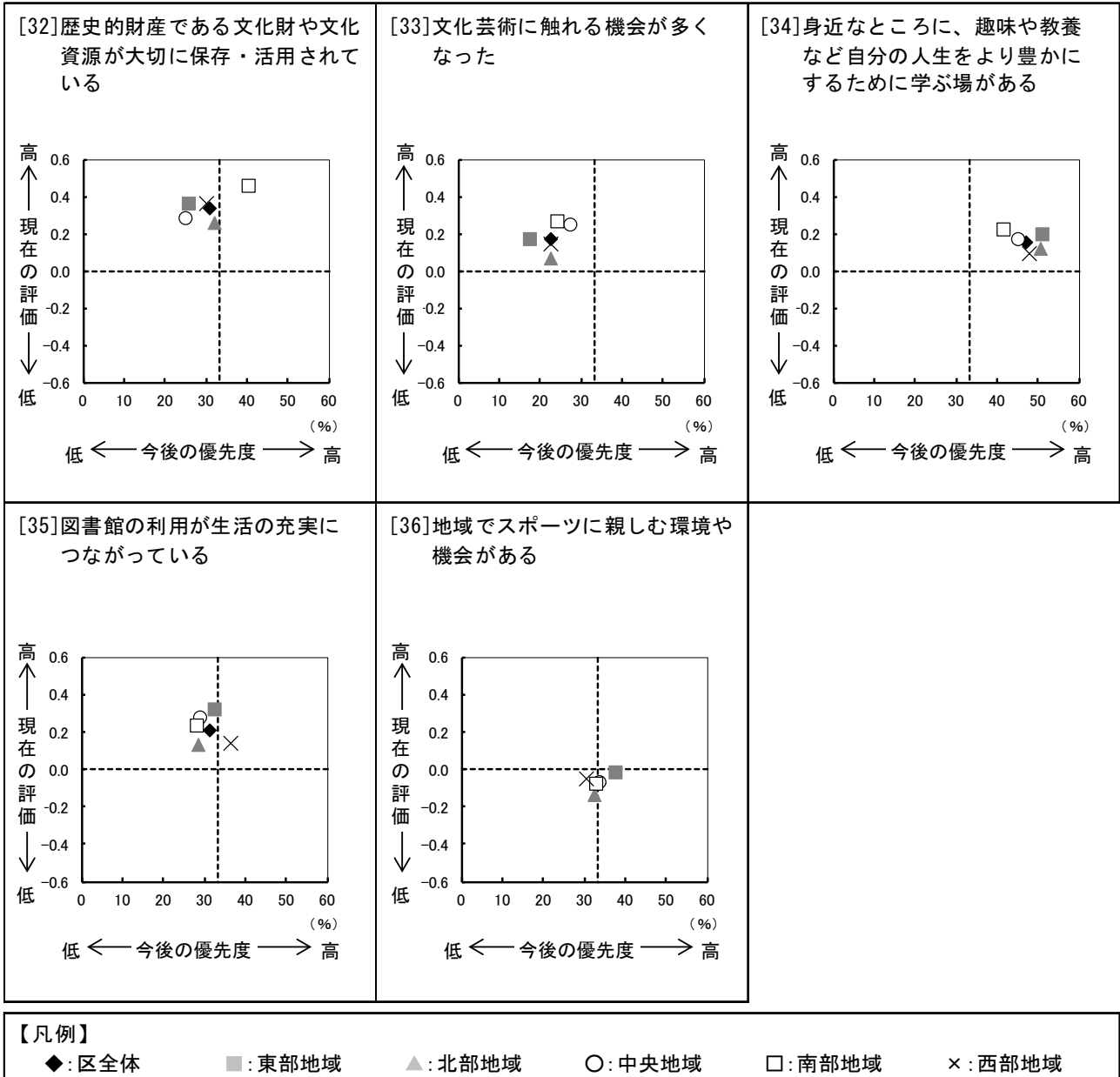
「豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち」に関する生活環境では、5項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける総合分析】



【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける地域別比較】



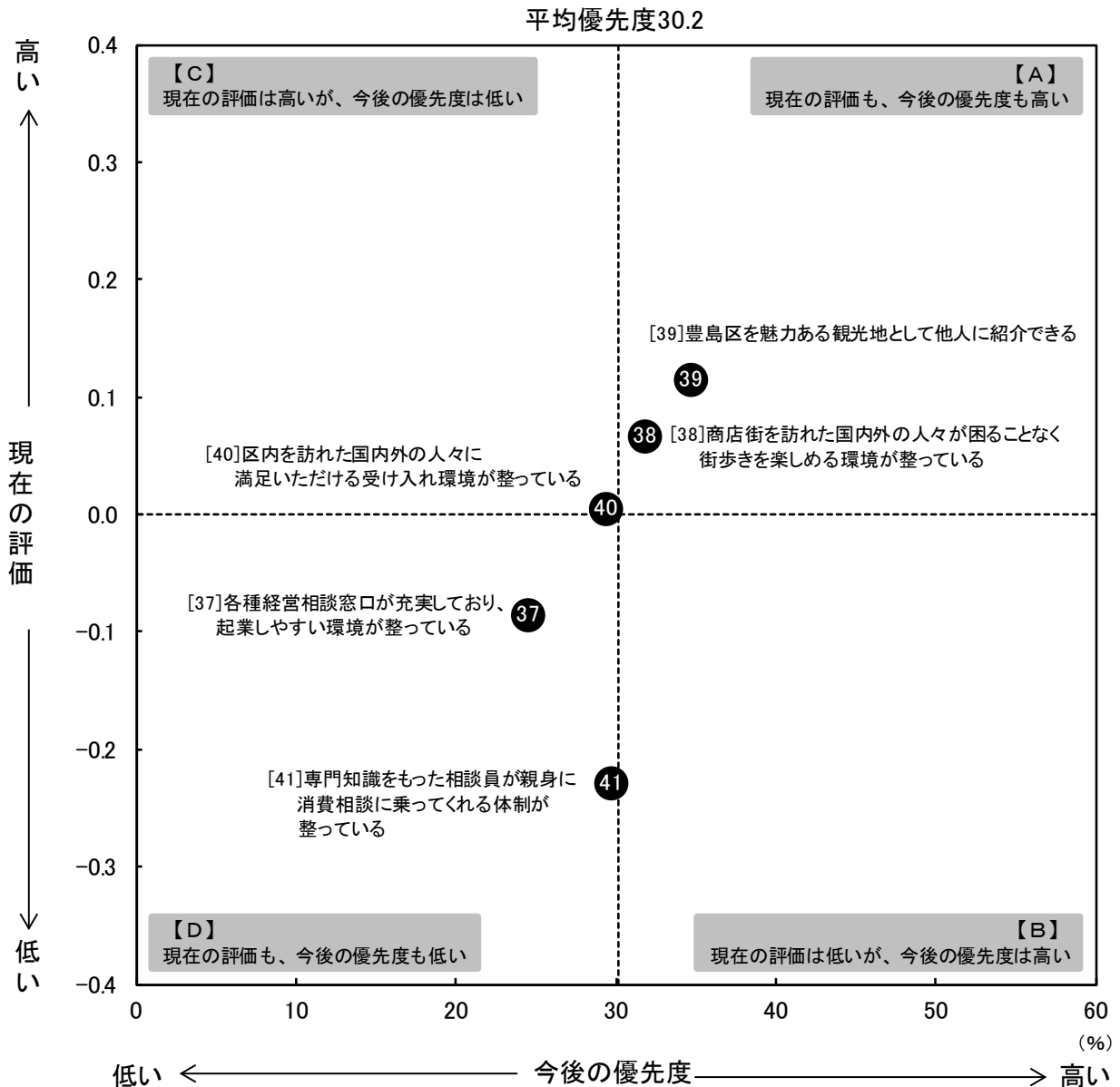
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(5) 活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち

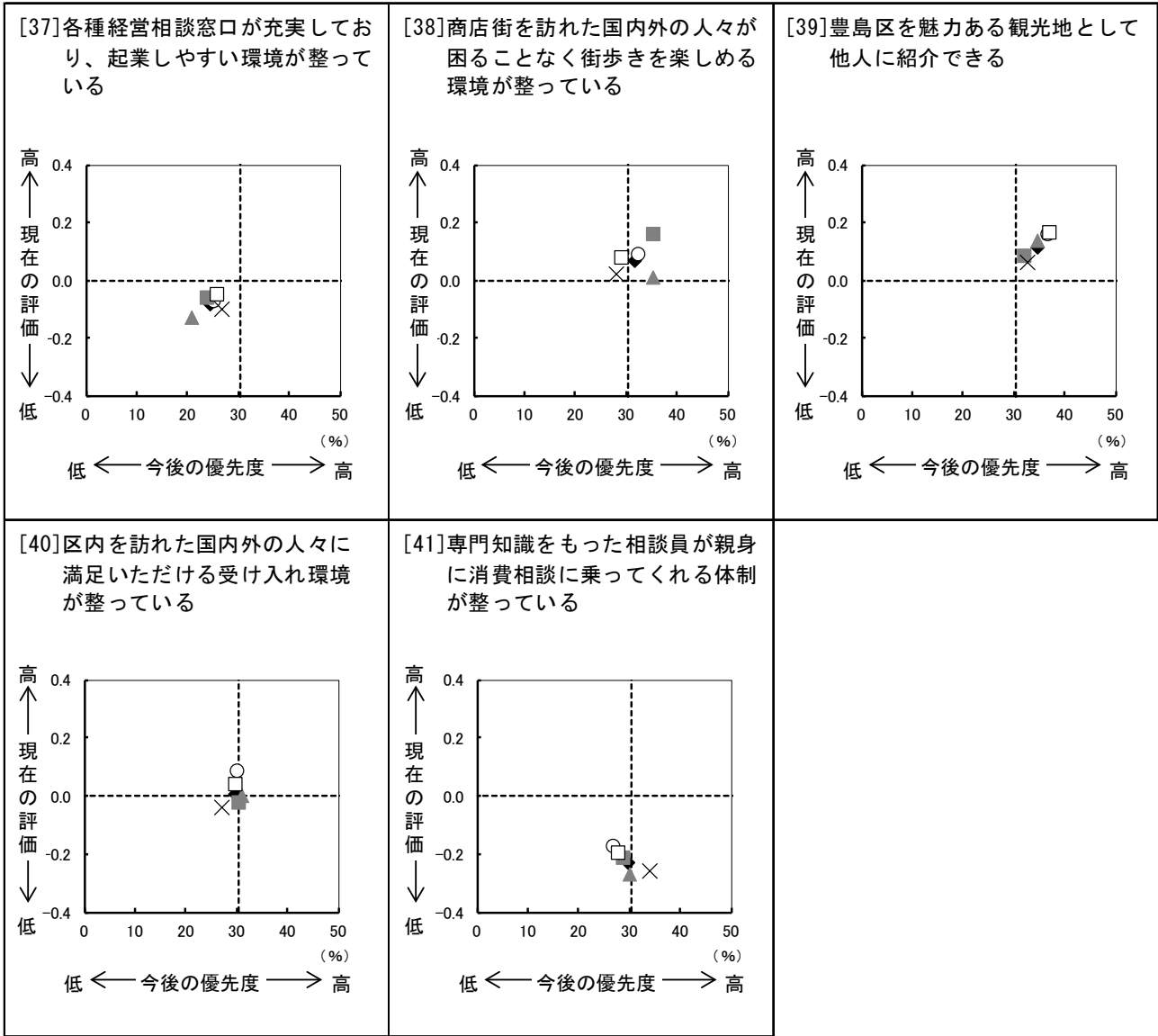
「活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち」に関する生活環境では、5項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまちにおける総合分析】



【活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまちにおける地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域
- : 南部地域
- ×: 西部地域

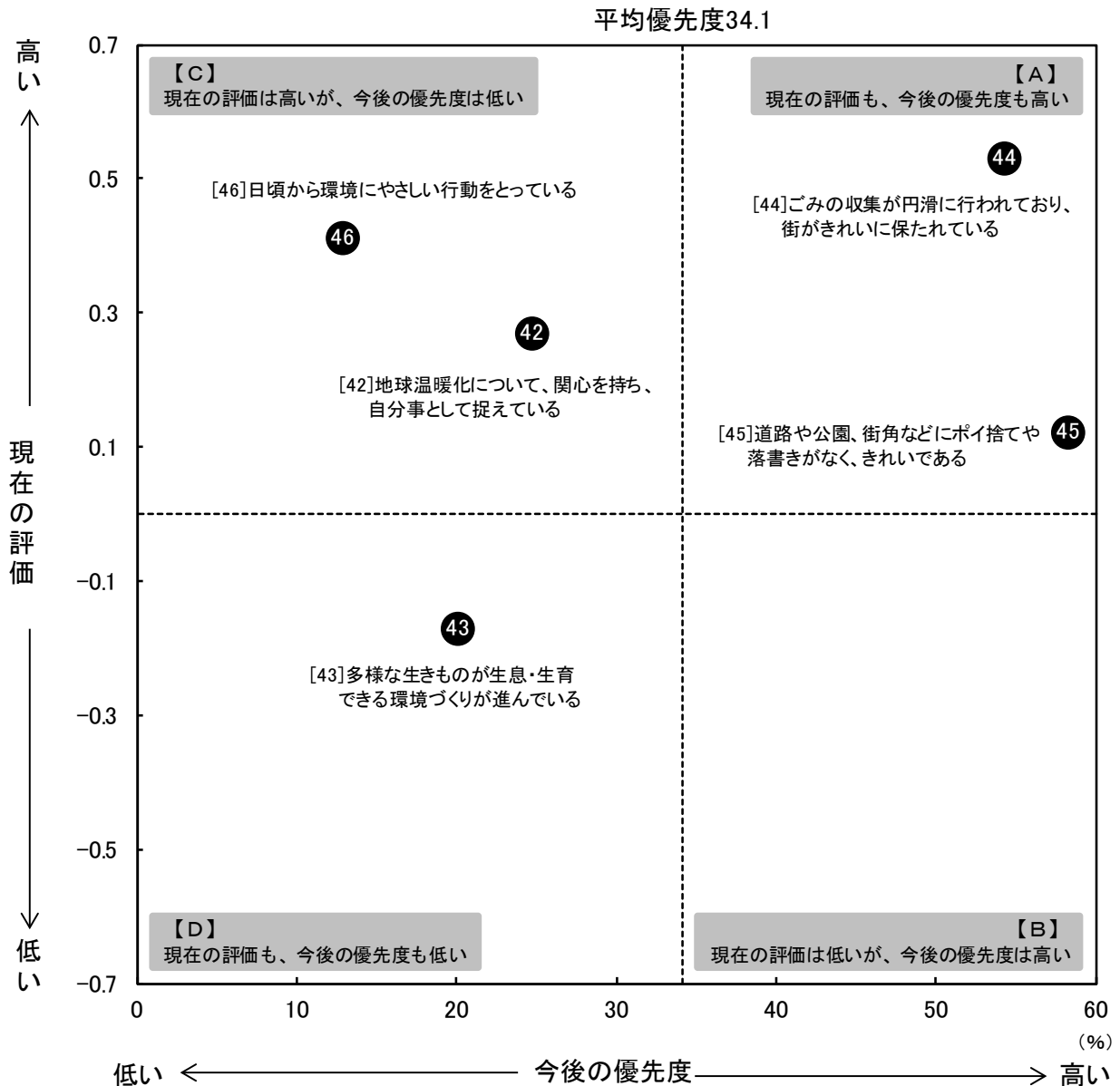
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち

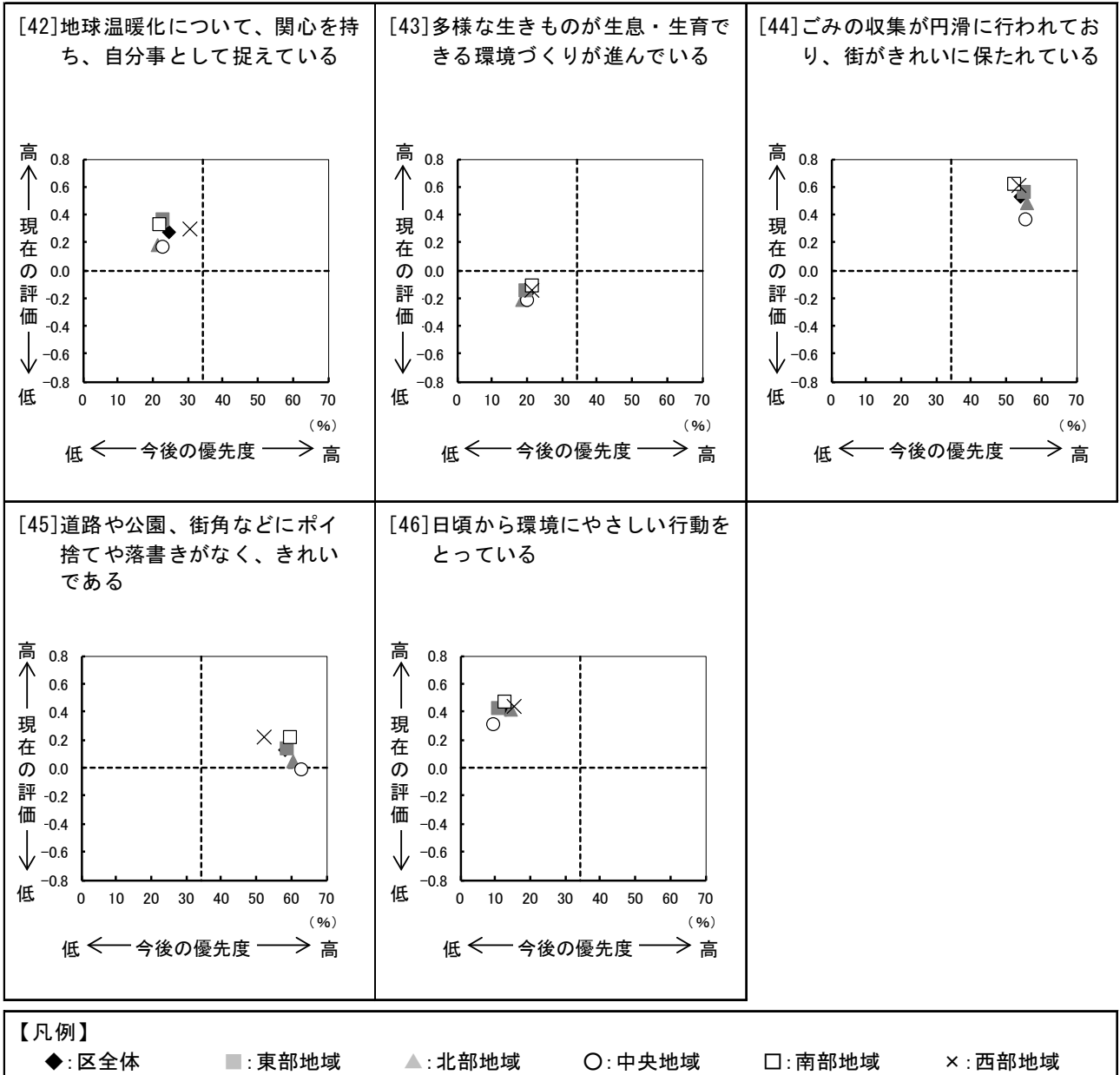
「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境では、5項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける総合分析】



【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける地域別比較】



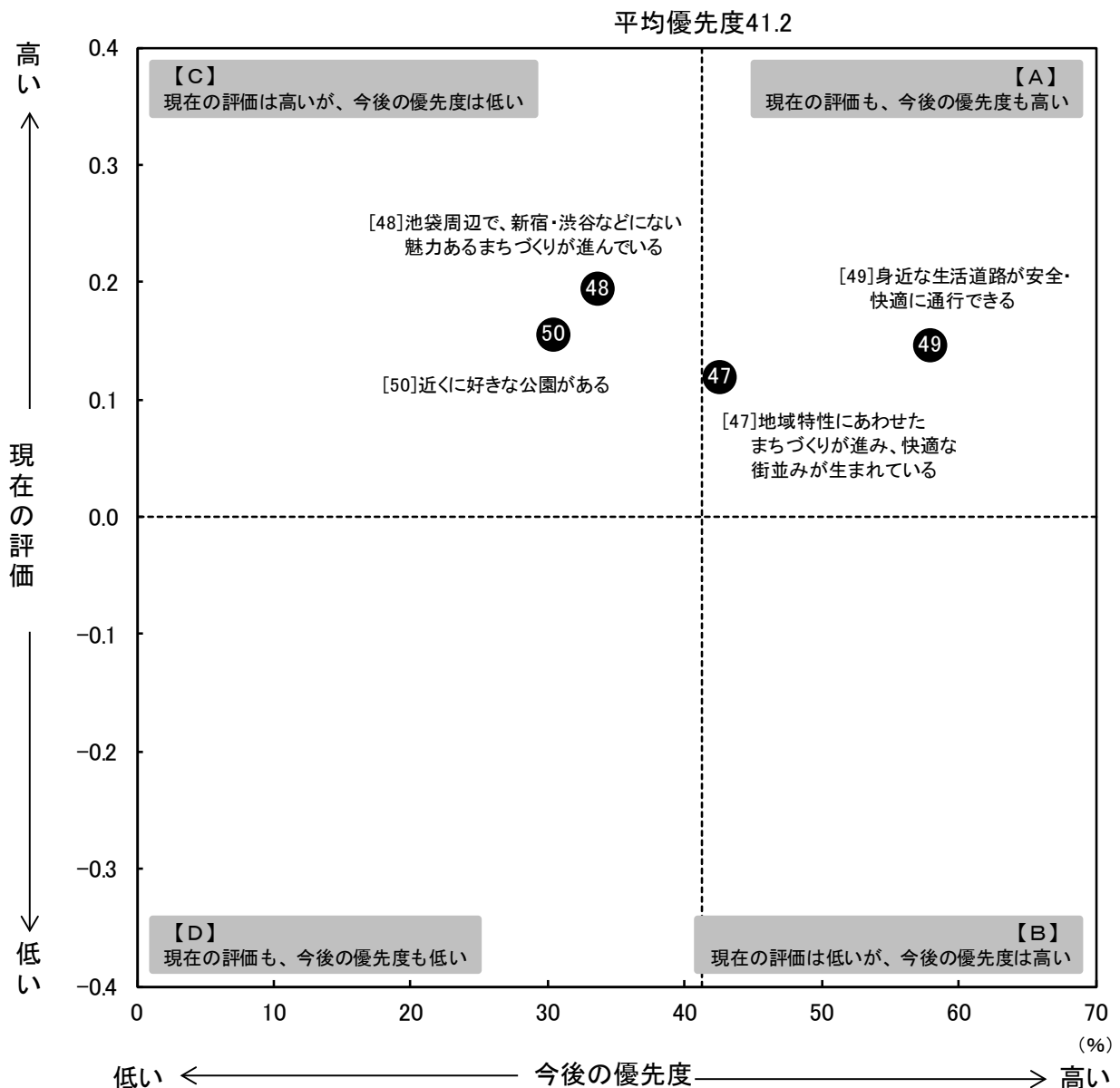
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

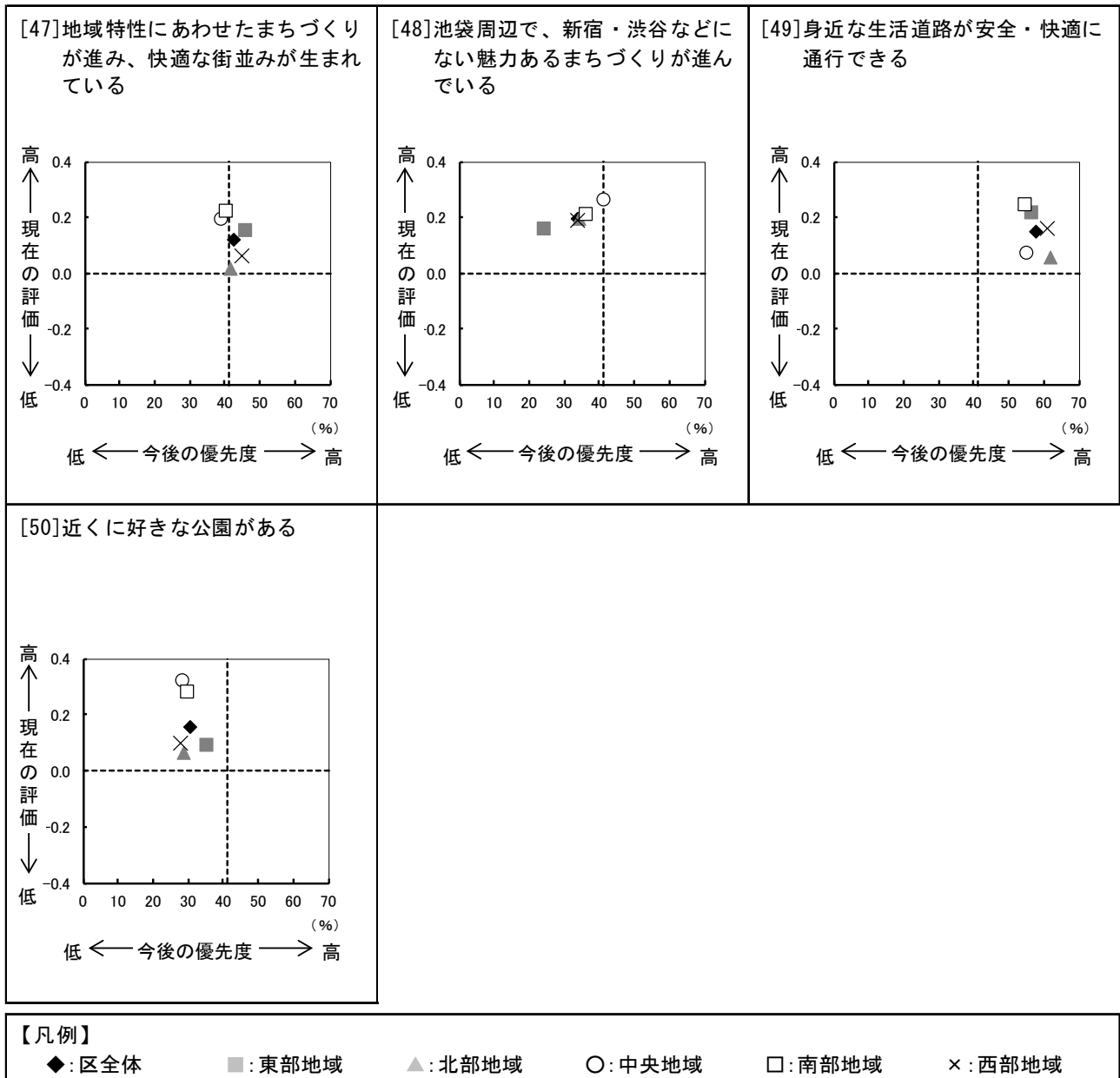
「誰もが居心地の良い歩きたくなるまち」に関する生活環境では、4項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける総合分析】



【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける地域別比較】



※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

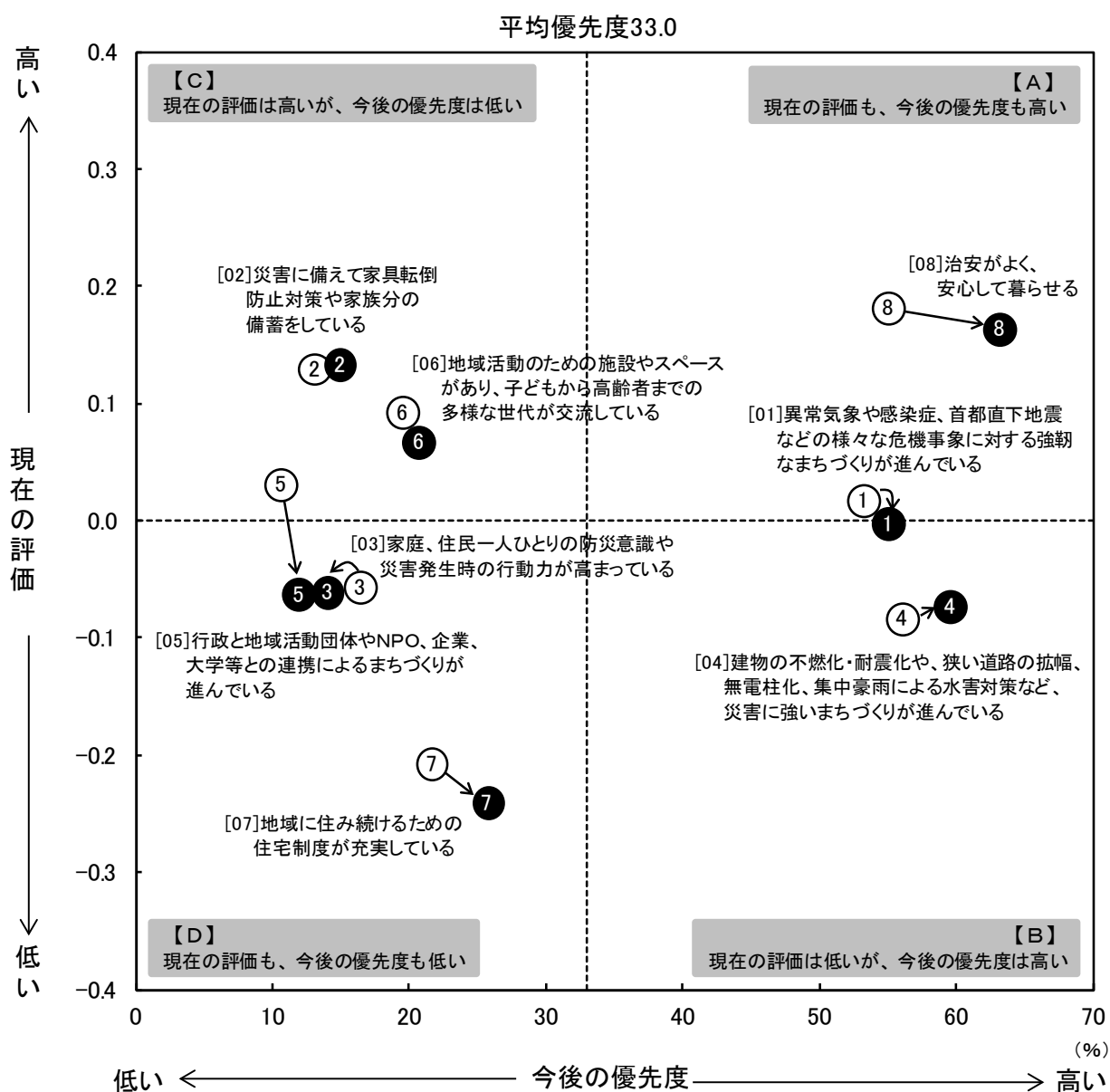
#### 4. 総合分析の経年比較

総合分析を前回調査（令和6年度）と比較した。●が今回調査、○が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

##### （1）地域と共に支えあう安全・安心なまち

「地域と共に支えあう安全・安心なまち」に関する生活環境では、「異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。一方、「行政と地域活動団体やNPO、企業、大学等との連携によるまちづくりが進んでいる」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける総合分析の経年比較】

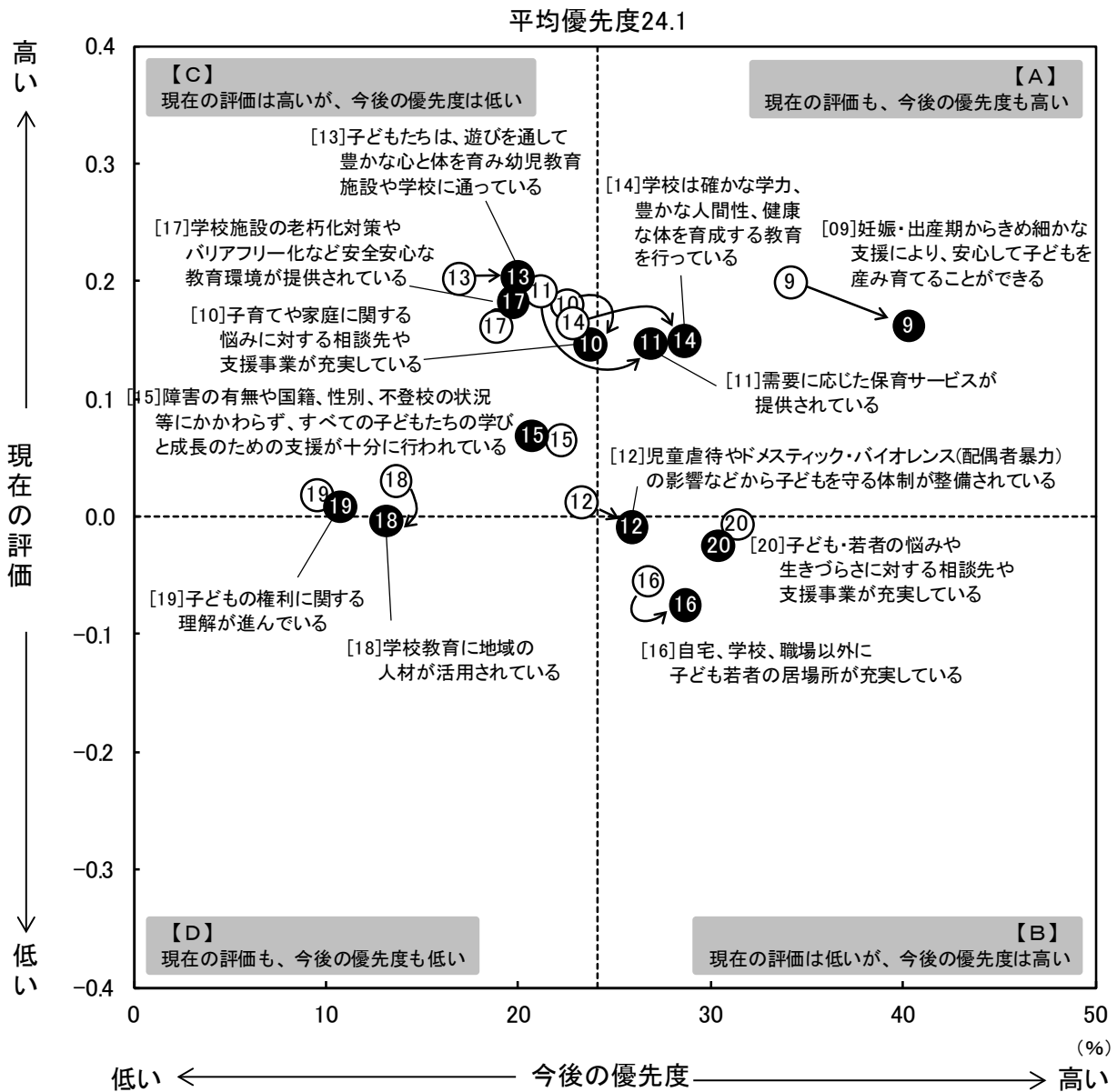


※[05]「行政と地域活動団体やNPO、企業、大学等との連携によるまちづくりが進んでいる」は令和6年度調査では「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」

(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち

「子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に関する生活環境では、「需要に応じた保育サービスが提供されている」、「学校は確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育成する教育を行っている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。一方、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。また、「学校教育に地域の人材が活用されている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

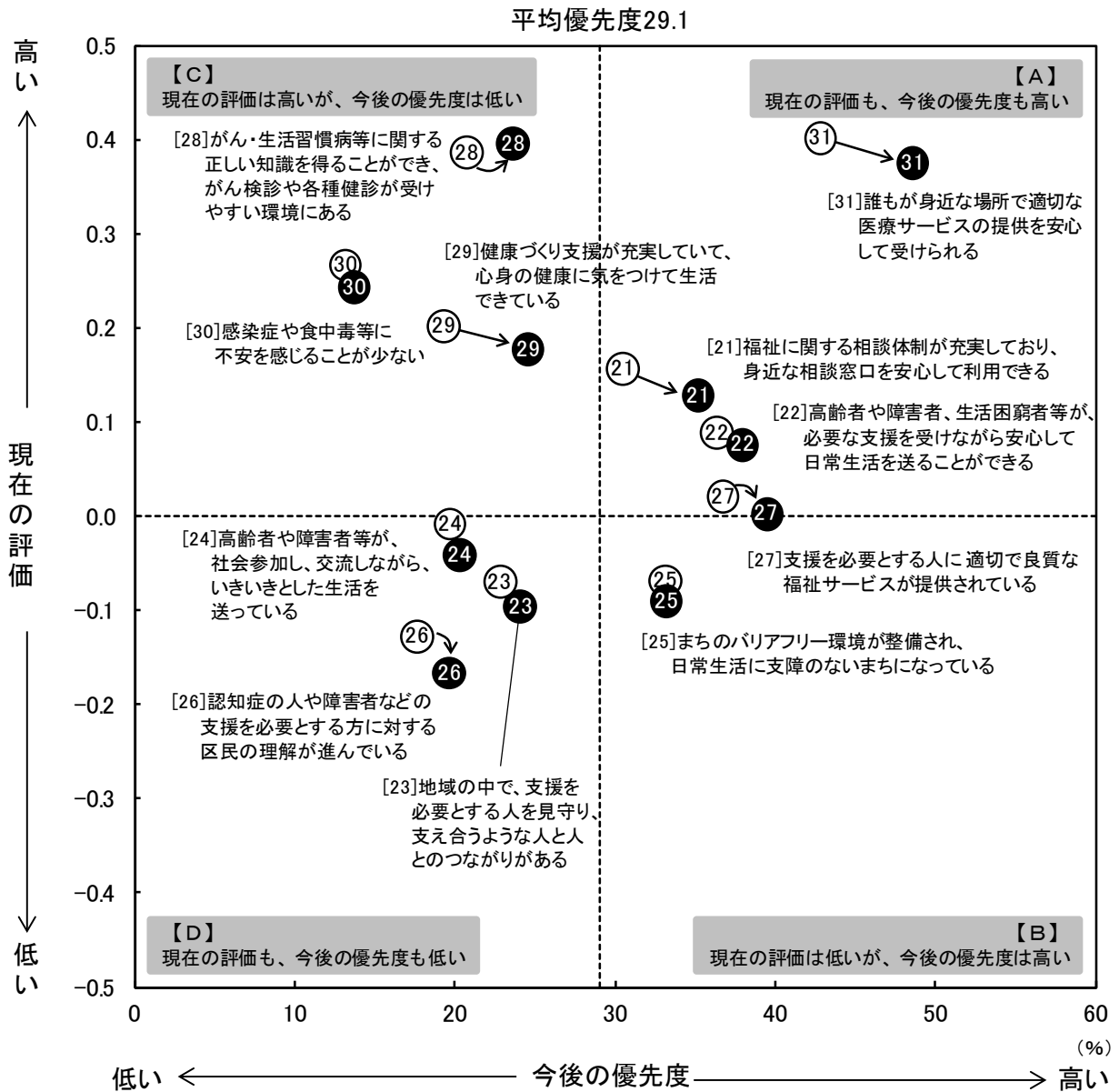
【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける総合分析の経年比較】



(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

「生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち」に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

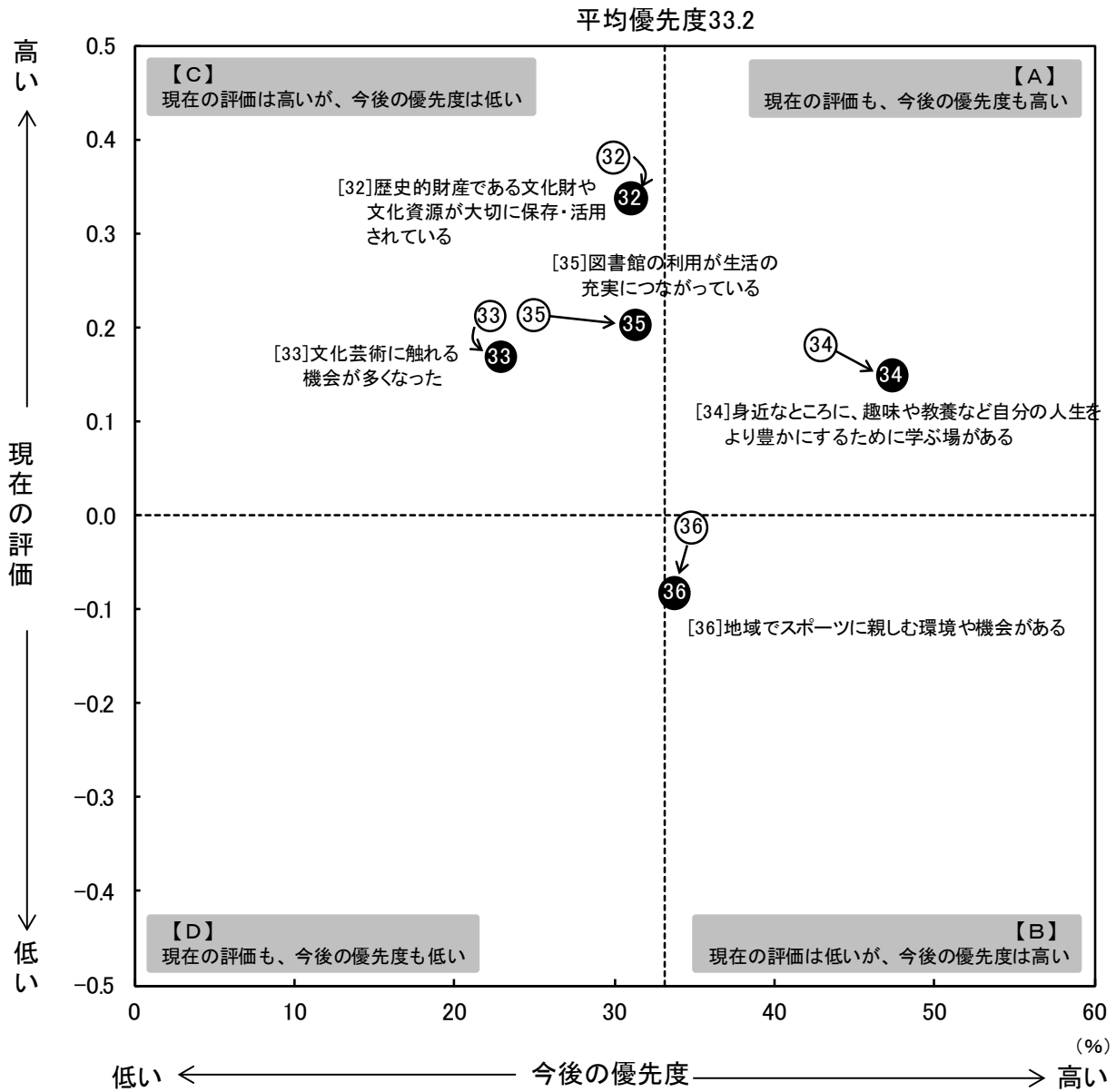
【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける総合分析の経年比較】



(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

「豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち」に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

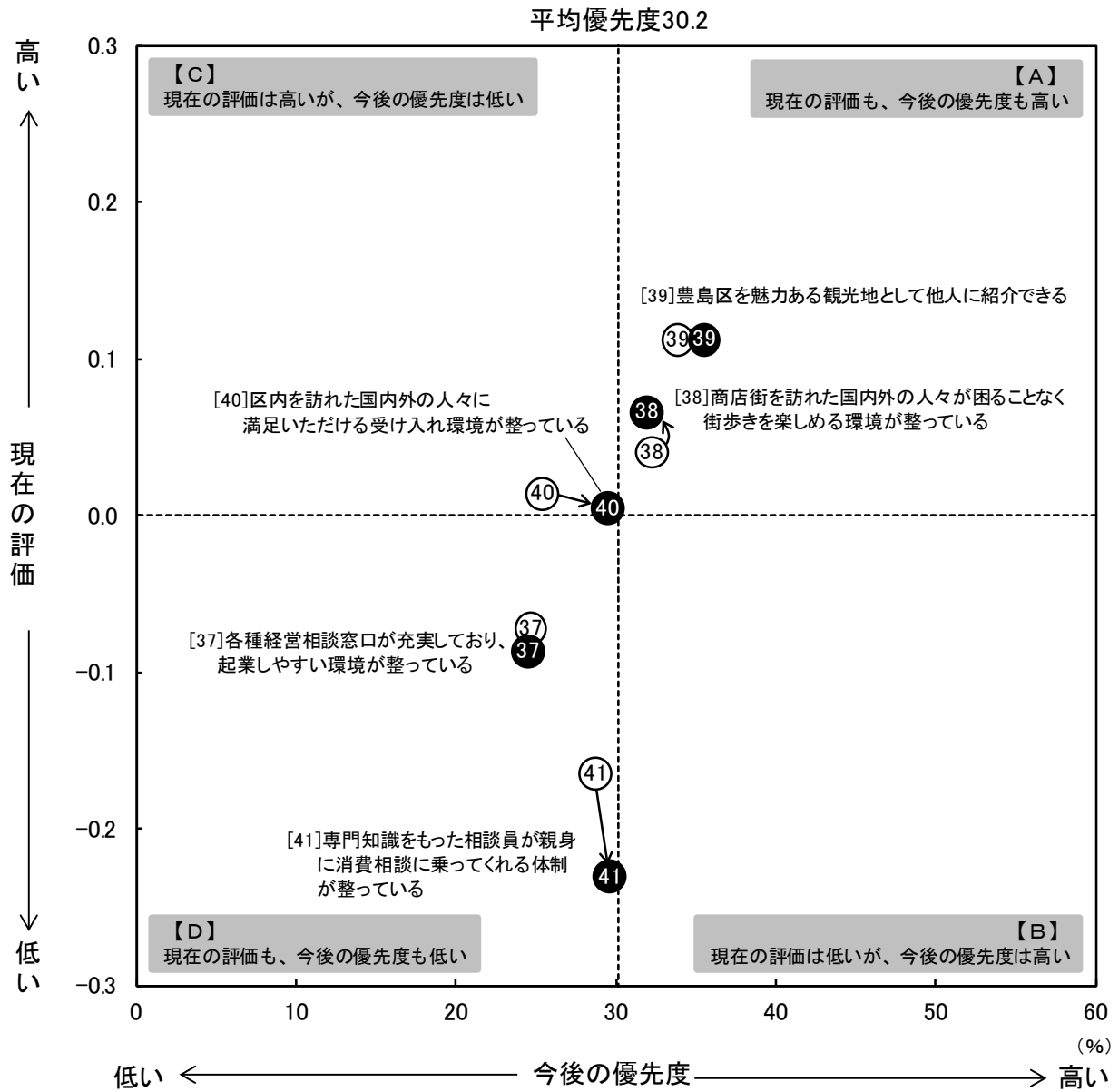
【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける総合分析の経年比較】



(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち

「活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち」に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

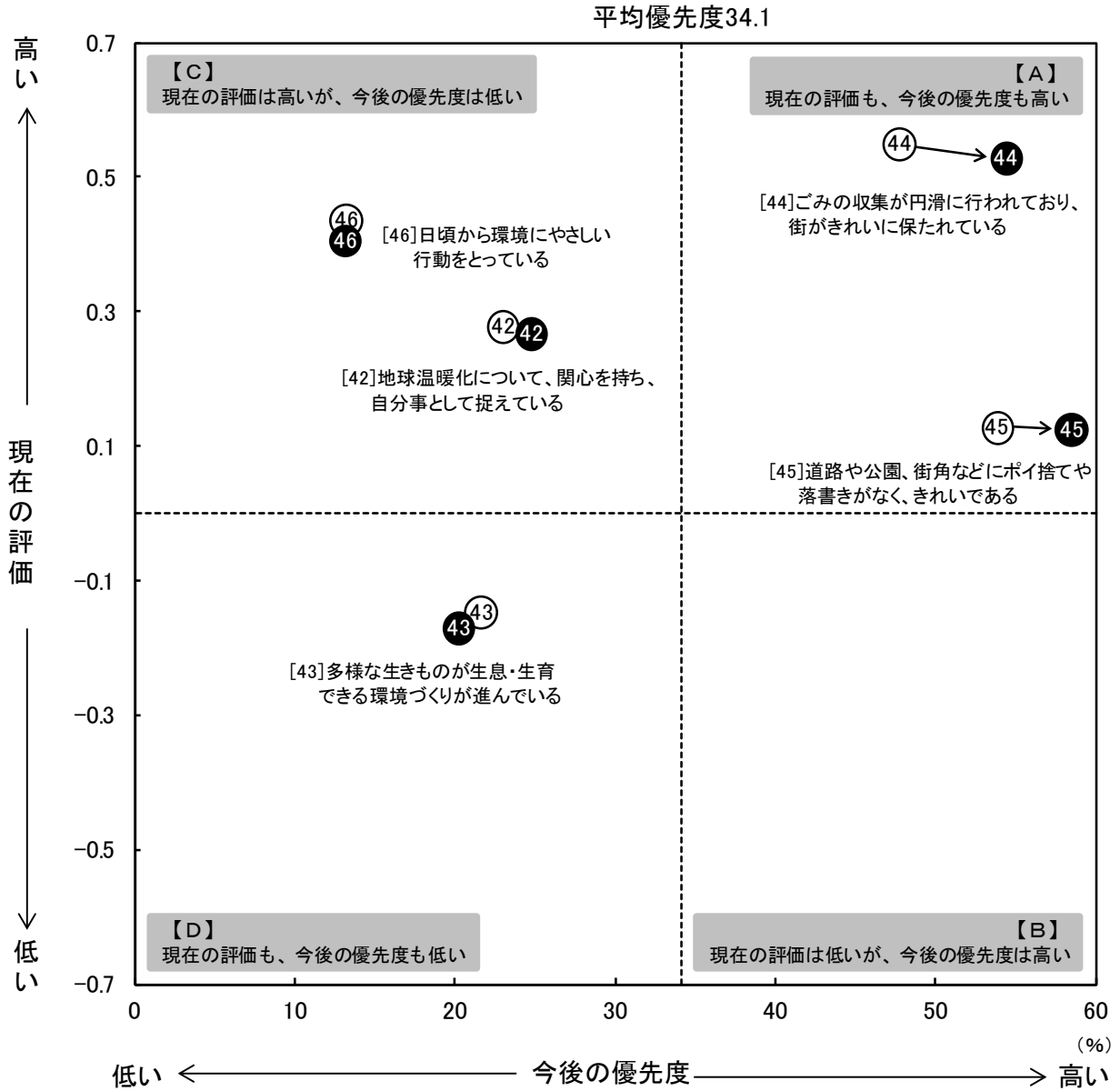
【活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまちにおける総合分析の経年比較】



(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち

「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

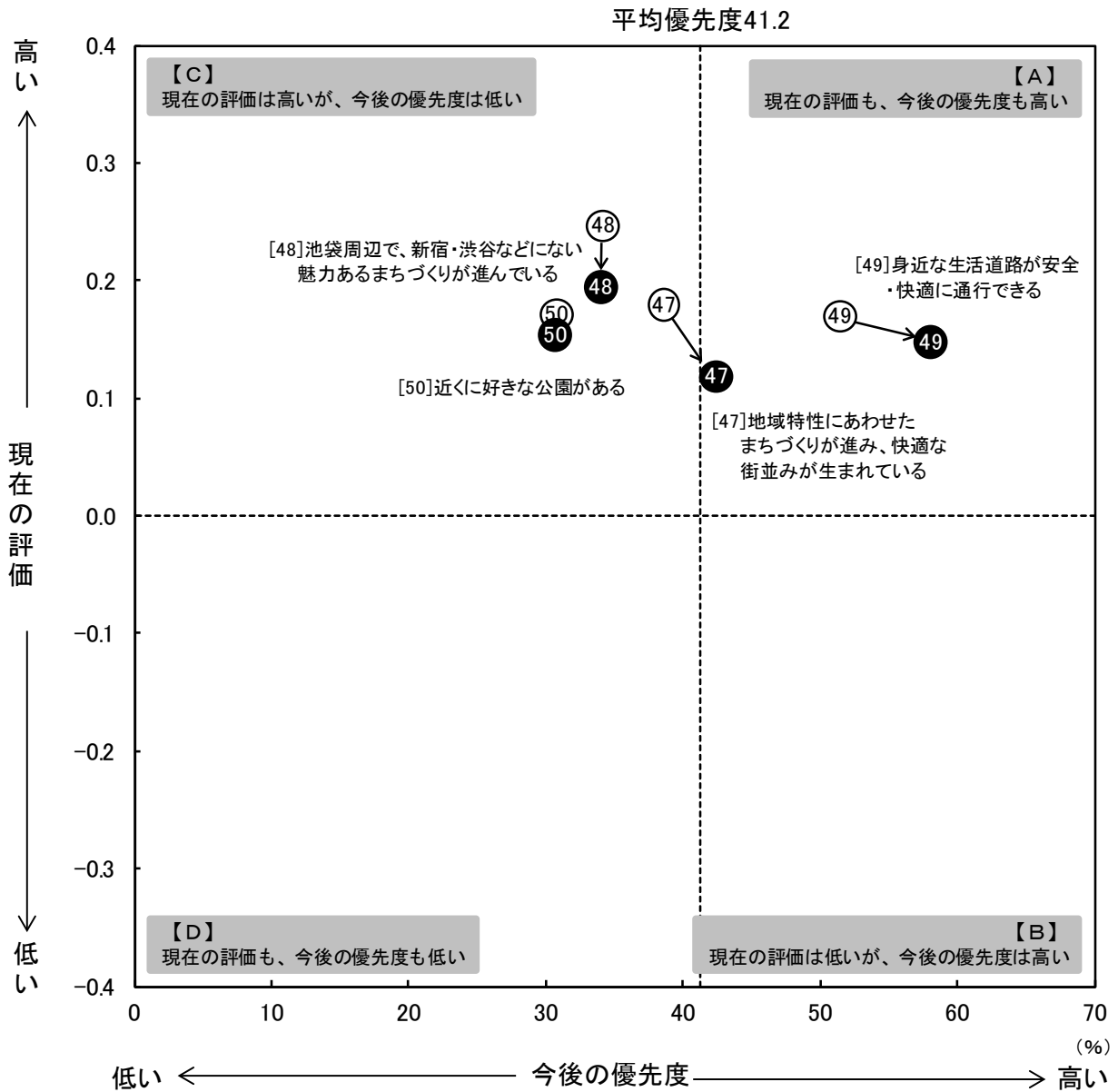
【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける総合分析の経年比較】



(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

「誰もが居心地の良い歩きたくなるまち」に関する生活環境では、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける総合分析の経年比較】



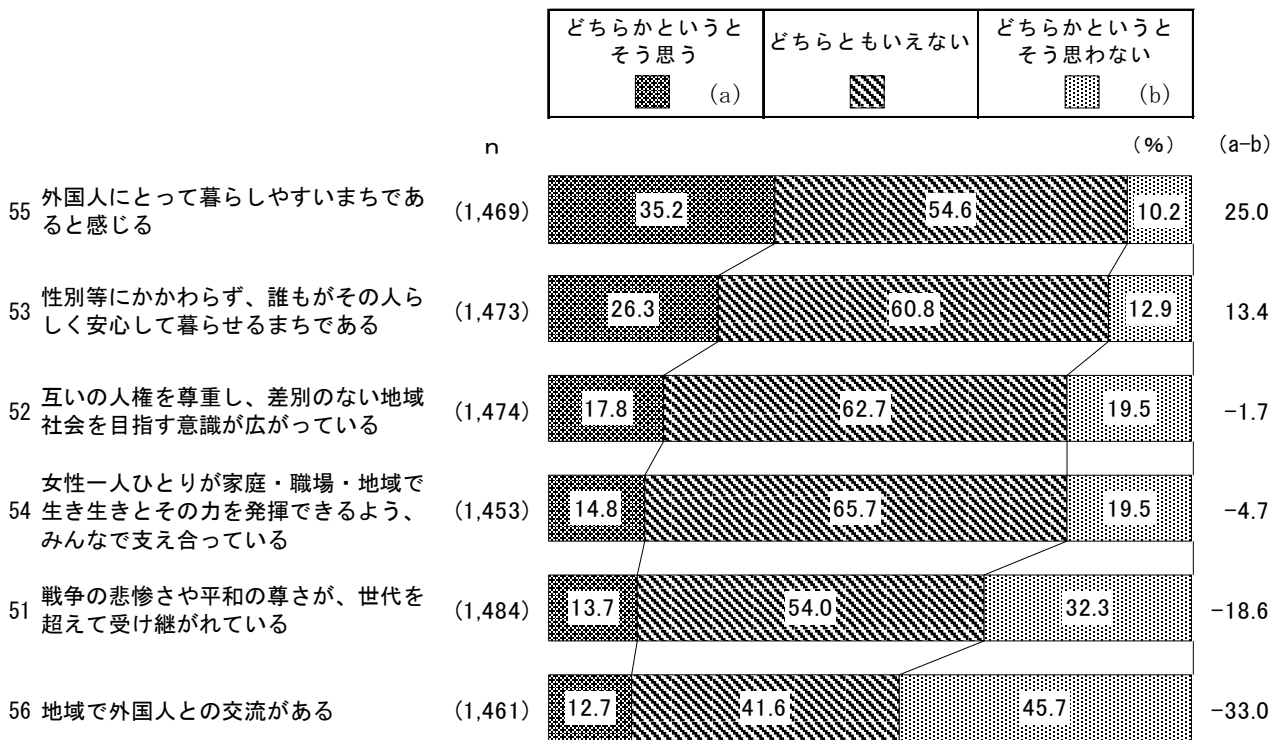
5. 理念について目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

(1) 誰もがいつでも主役

「誰もがいつでも主役」に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる」であり、次いで「性別等にかかわらず、誰もがその人らしく安心して暮らせるまちである」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。

【理念①誰もがいつでも主役における「現在の評価」】

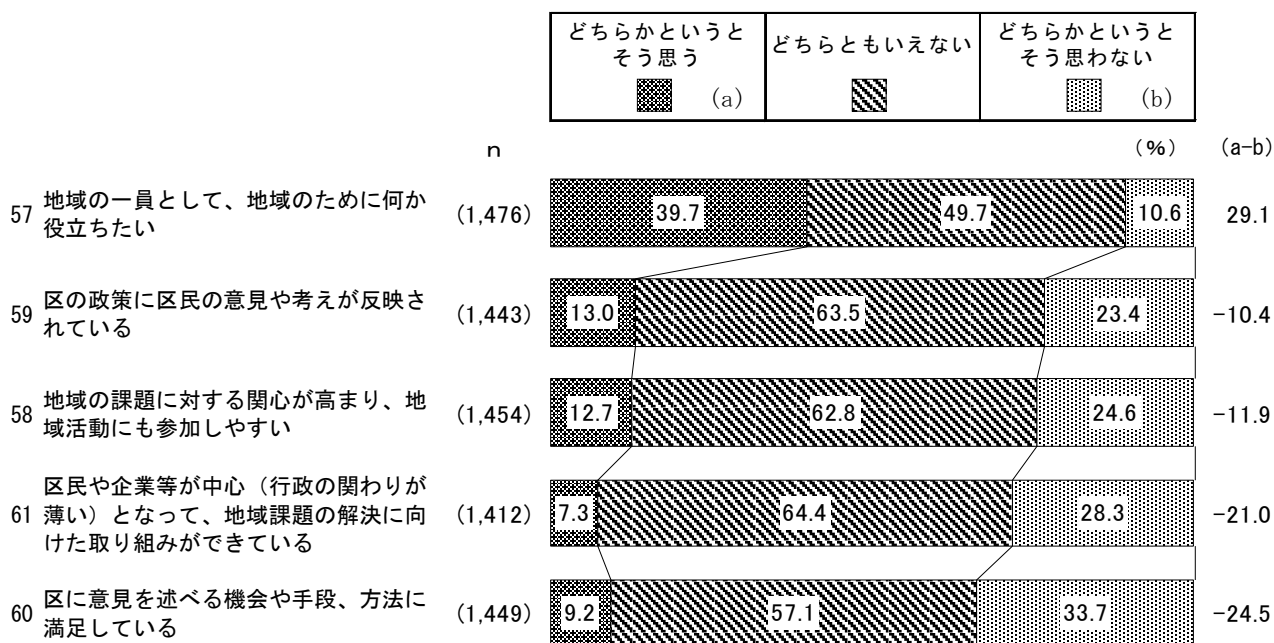


(2) みんながつながる

「みんながつながる」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域の一員として、地域のために何か役立ちたい」である。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「区に意見を述べる機会や手段、方法に満足している」である。

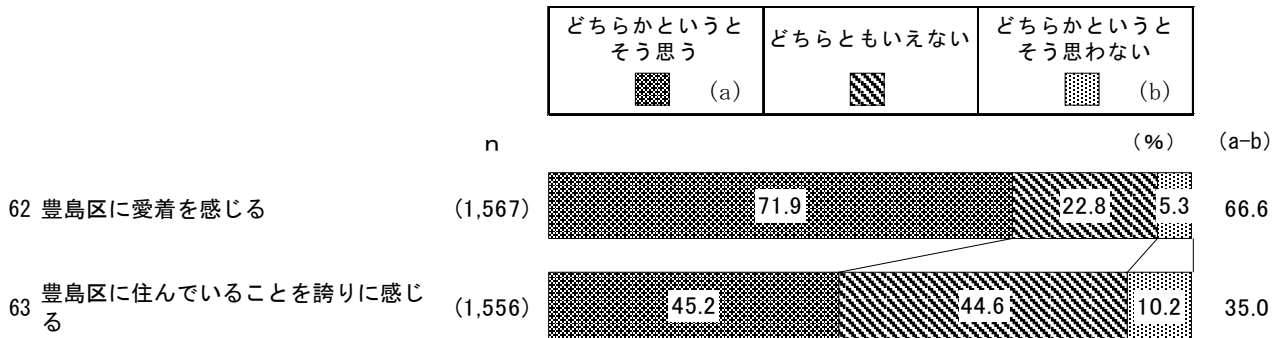
【理念②みんながつながるにおける「現在の評価」】



(3) 出会いと笑顔が咲きほこる、憧れのまち

「出会いと笑顔が咲きほこる、憧れのまち」に関する生活環境について、下記の2つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「豊島区に愛着を感じる」は「どちらかというと思う」(71.9%)が7割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(5.3%)は1割未満となっている。「豊島区に住んでいることに誇りを感じる」は「どちらかというと思う」(45.2%)が4割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.2%)は1割となっている。

【理念③出会いと笑顔が咲きほこる、憧れのまちにおける「現在の評価」】





### 第3章 区の情報・区の政策等について



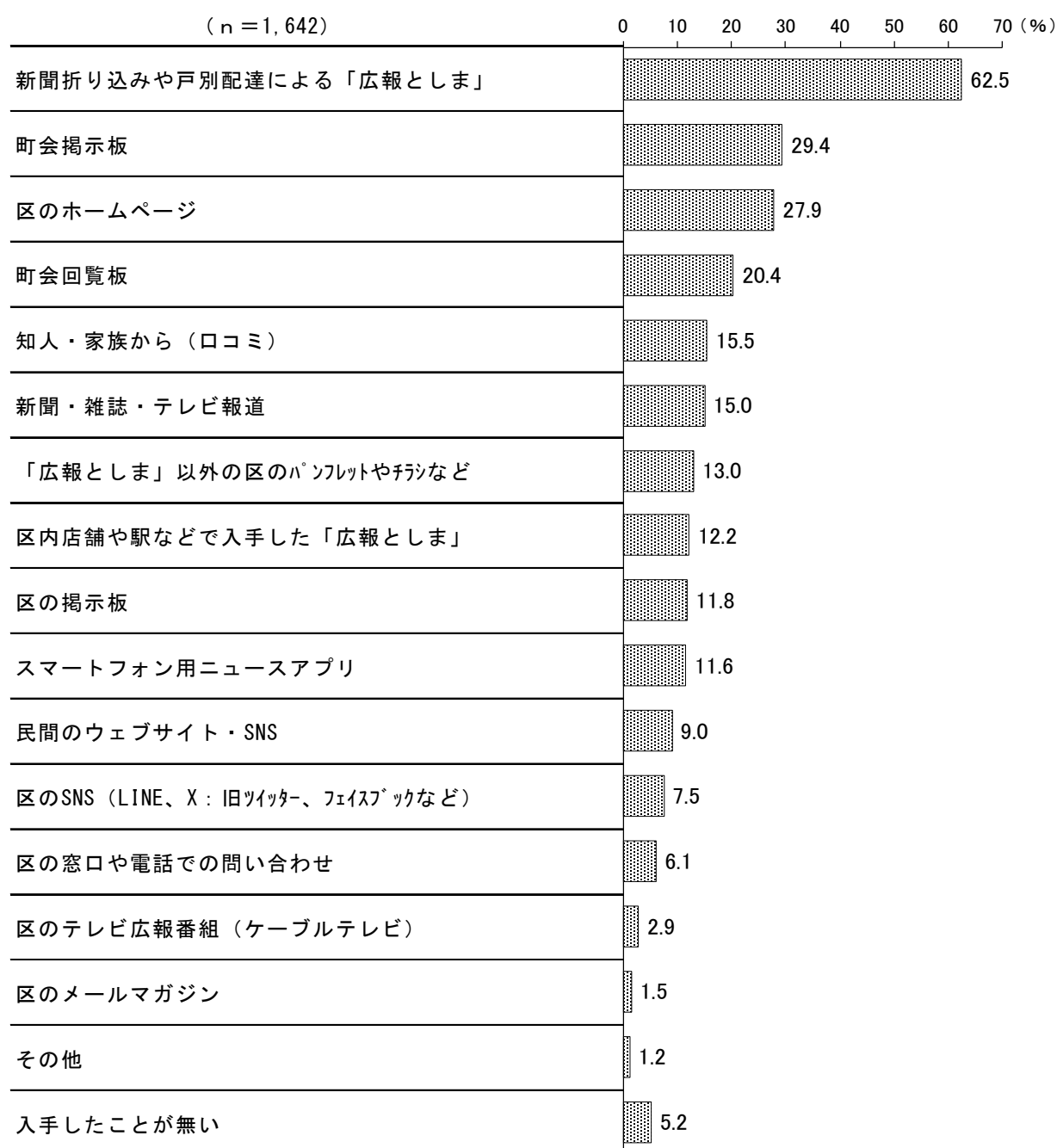
### 第3章 区の情報・区の政策等について

#### 1. 区の情報・区政への参加について

##### (1) 区に関する情報の入手方法

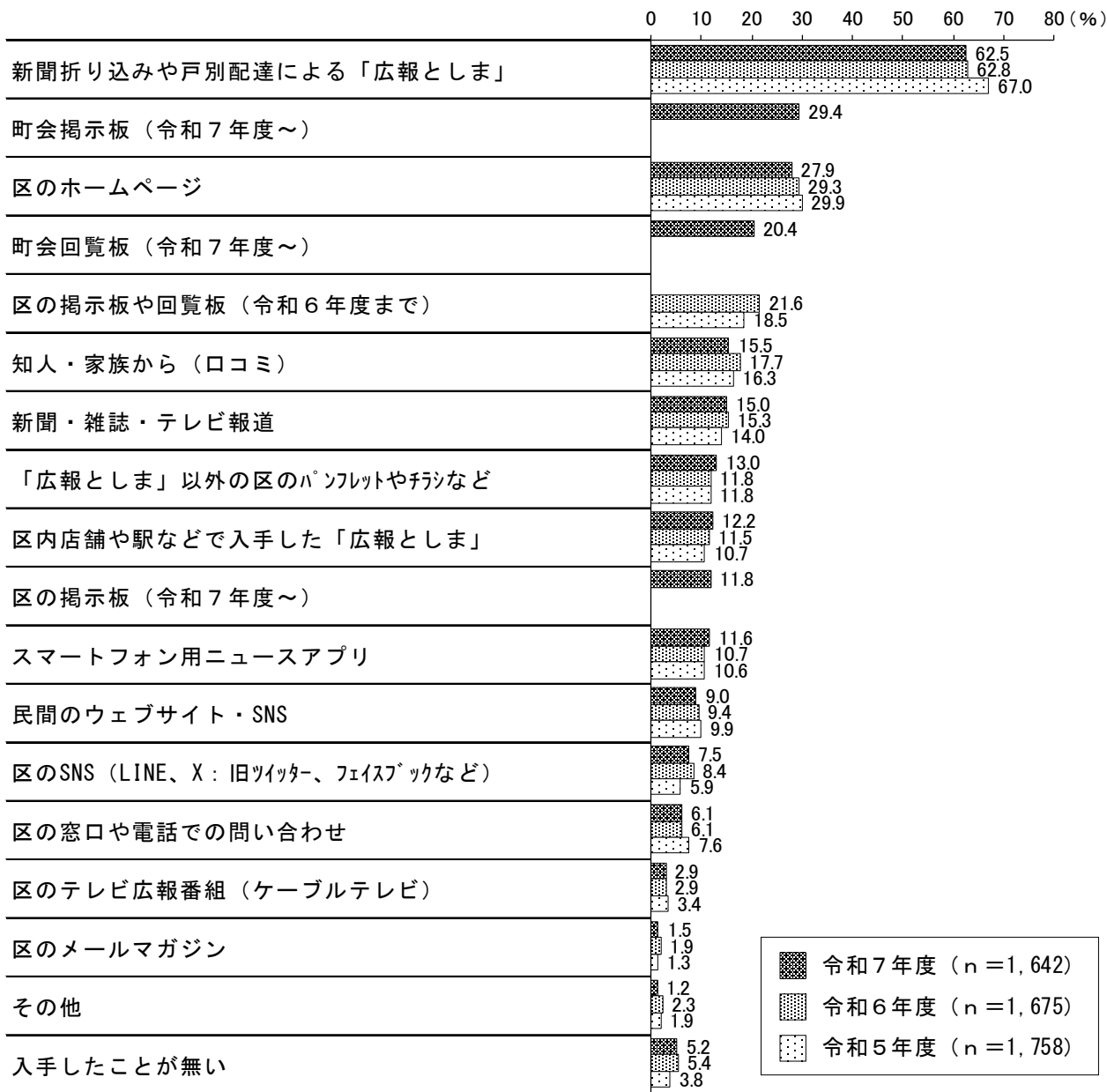
問6 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。  
(いくつでも○)

区に関する情報をどのような方法で入手しているか聞いたところ、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」(62.5%)が6割を超えて最も高く、次いで「町会掲示板」(29.4%)、「区のホームページ」(27.9%)、「町会回覧板」(20.4%)、「知人・家族から(口コミ)」(15.5%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較については、今回調査では選択肢を新設しているため参考に図示する。



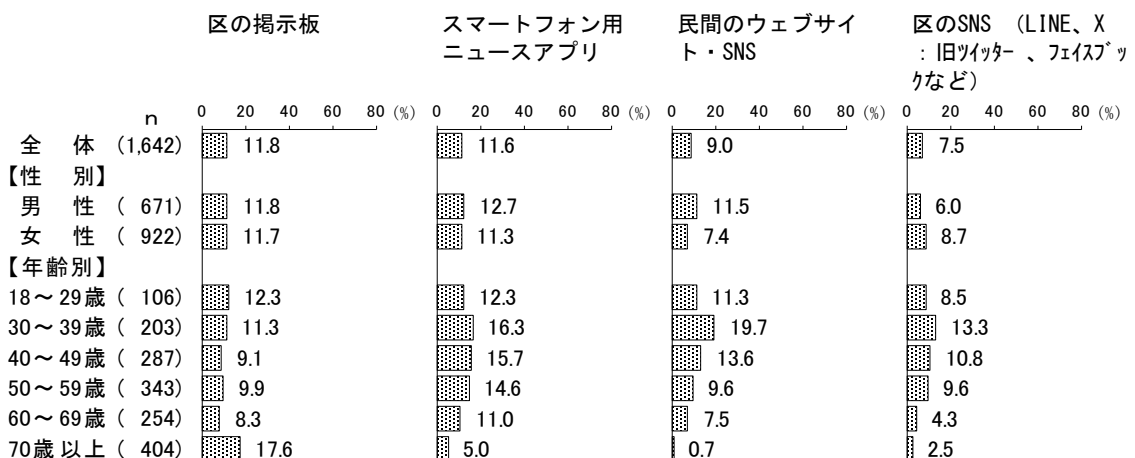
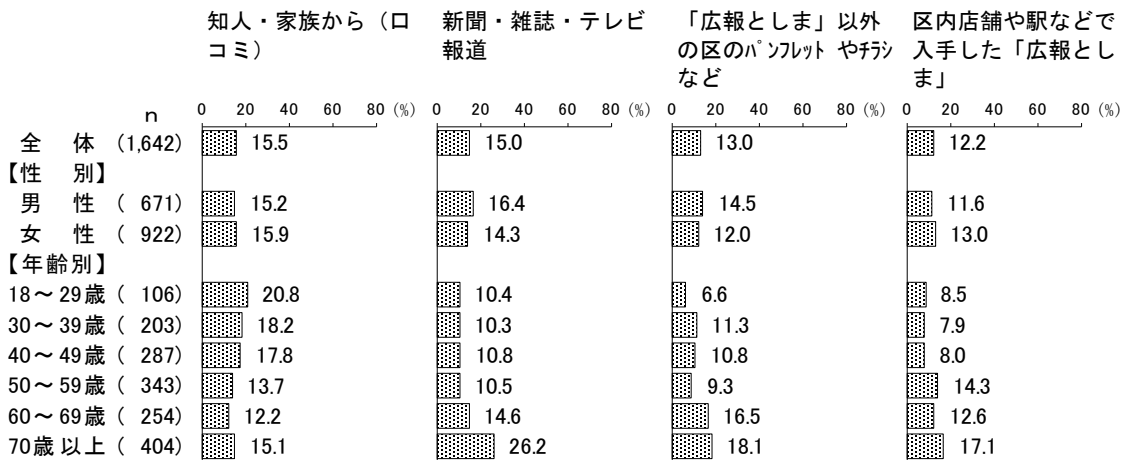
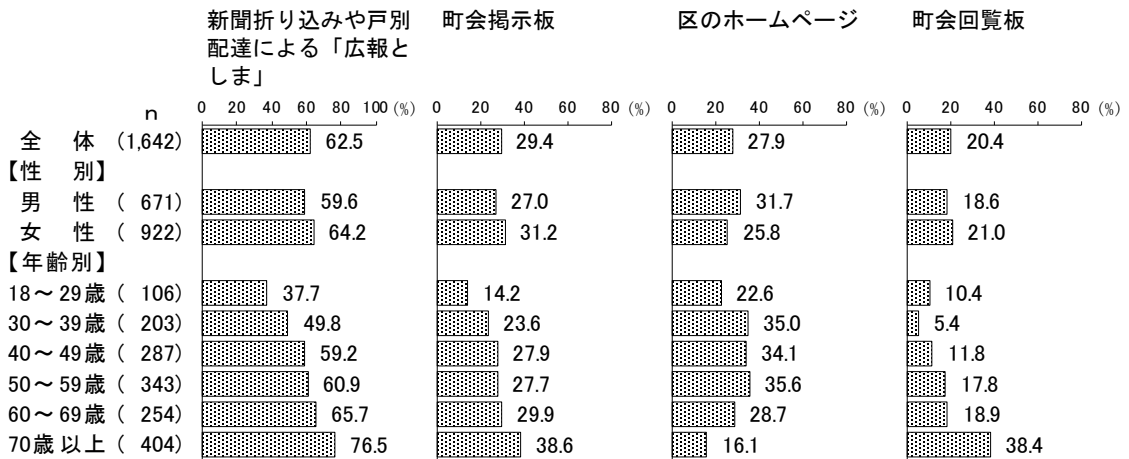
※「区の掲示板や回覧板」は令和6年度調査まで

※「町会掲示板」、「町会回覧板」、「区の掲示板」は今回調査からの選択肢

【性別、年齢別】（上位12項目）

性別でみると、「区のホームページ」は男性（31.7%）が女性（25.8%）より5.9ポイント、「民間のウェブサイト・SNS」は男性（11.5%）が女性（7.4%）より4.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は女性（64.2%）が男性（59.6%）より4.6ポイント、「町会掲示板」は女性（31.2%）が男性（27.0%）より4.2ポイント、それぞれ高くなっている。

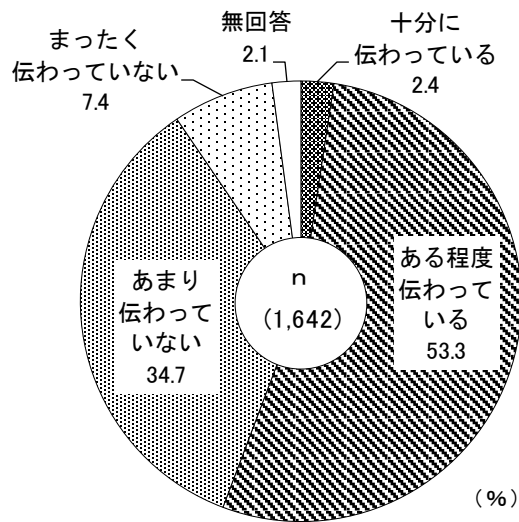
年齢別でみると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（76.5%）で8割近くとなっている。「町会掲示板」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（38.6%）で4割近くとなっている。



(2) 区政情報が伝わっていると思うか

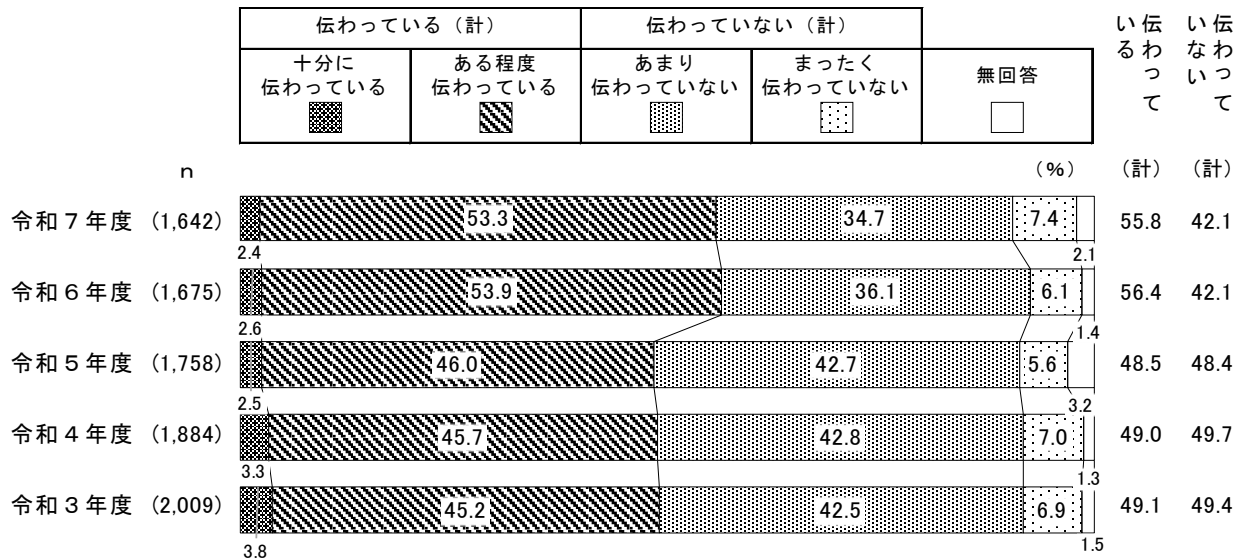
問7 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか（1つに〇）

区政情報が伝わっていると思うか聞いたところ、「十分に伝わっている」(2.4%)と「ある程度伝わっている」(53.3%)を合わせた『伝わっている(計)』(55.8%)は5割半ばとなっている。一方、「あまり伝わっていない」(34.7%)と「まったく伝わっていない」(7.4%)を合わせた『伝わっていない(計)』(42.1%)は4割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『伝わっている(計)』は令和6年度と比べて大きな違いはみられない。

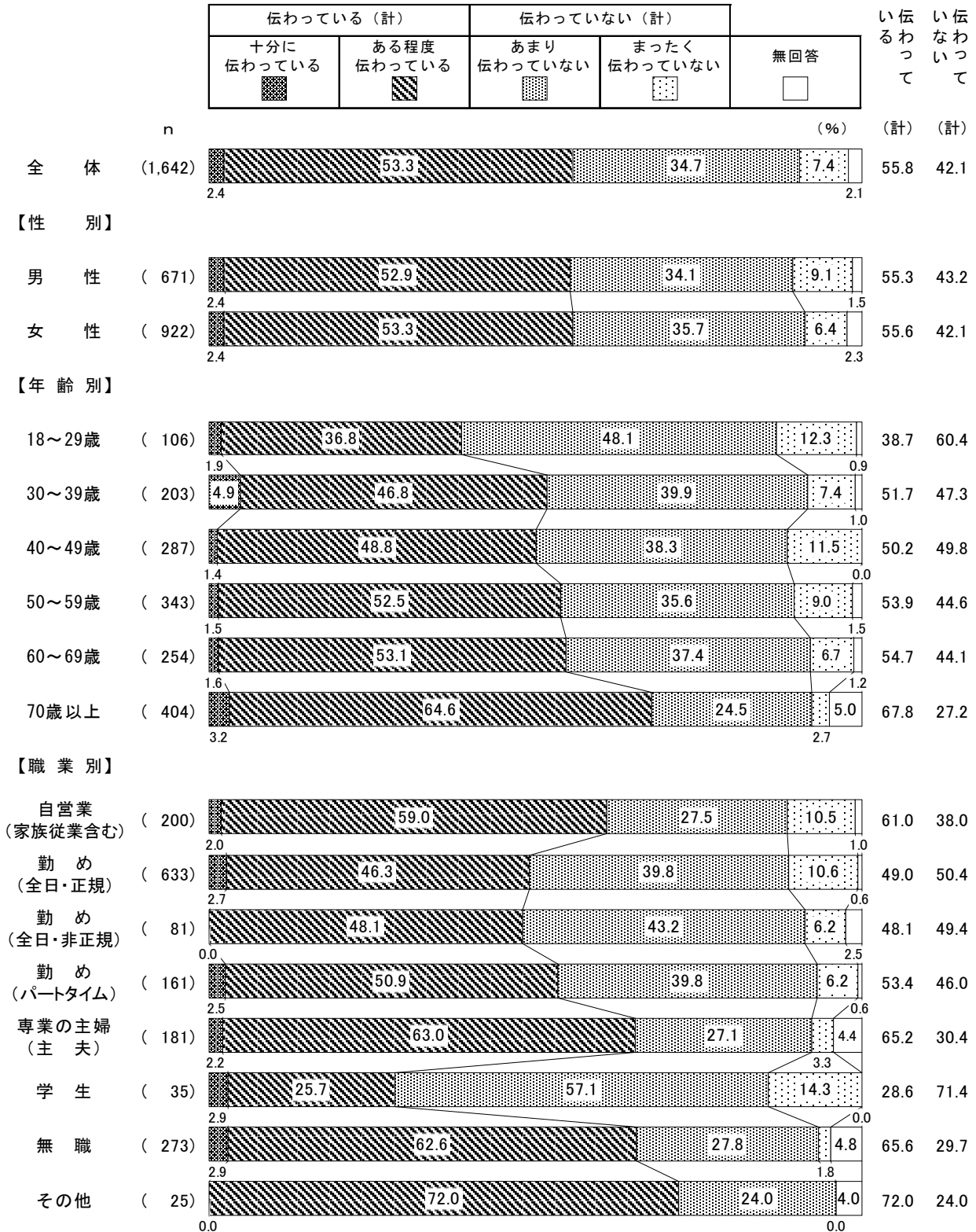


【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『伝わっている（計）』はおおむね年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（67.8%）で7割近くとなっている。

職業別でみると、『伝わっている（計）』は専業主婦（主夫）（65.2%）、無職（65.6%）で6割半ばと高くなっている。一方、『伝わっていない（計）』は学生（71.4%）で7割を超えて高くなっている。

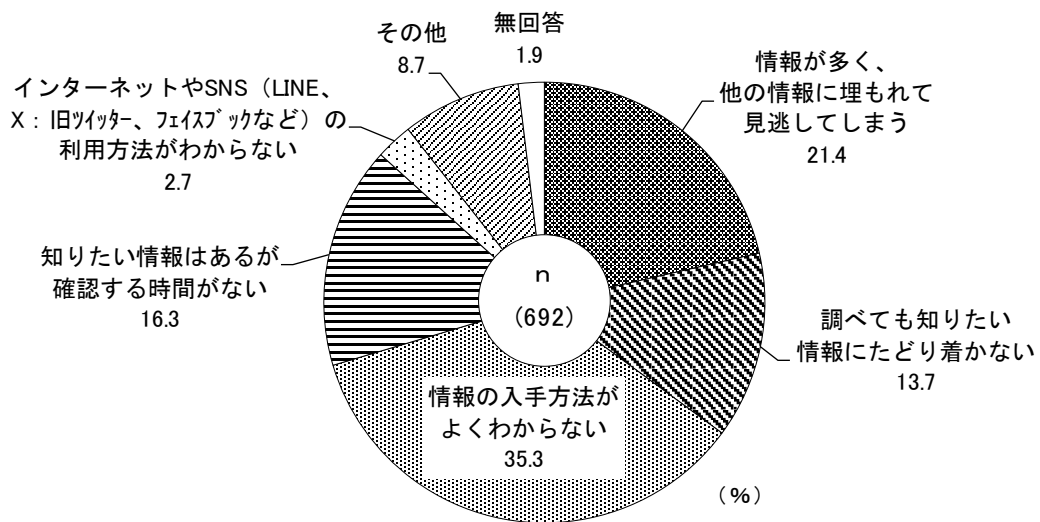


(3) 区政情報が伝わっていないと思う理由

《問7で、「あまり伝わっていない」または「まったく伝わっていない」とお答えの方におたずねします》

問7-1 伝わっていないと思う理由について1つお答えください。

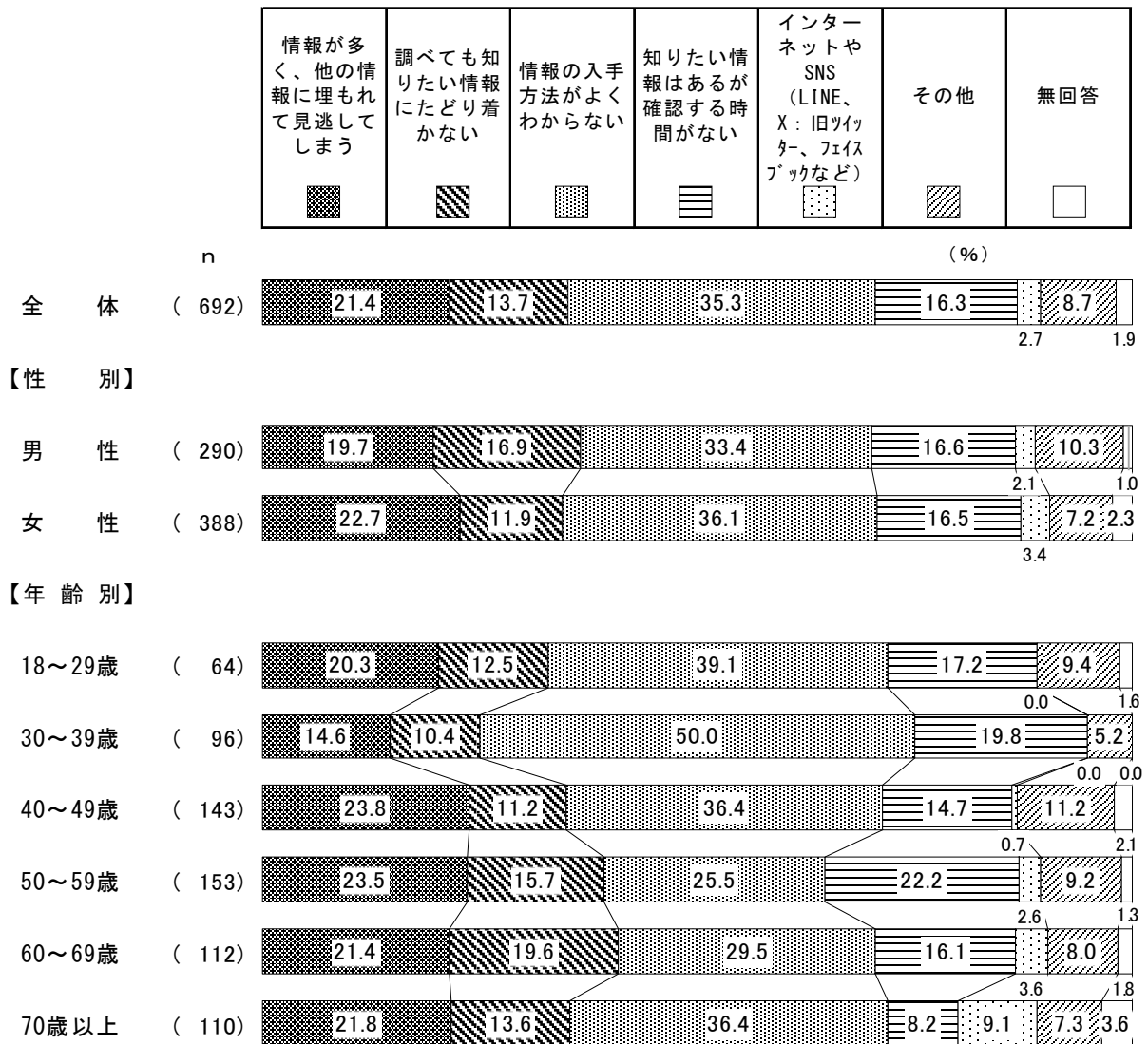
区政情報が「あまり伝わっていない」または「まったく伝わっていない」と答えた方に、伝わっていないと思う理由を聞いたところ、「情報の入手方法がよくわからない」(35.3%)が3割半ばで最も高く、次いで「情報が多く、他の情報に埋もれて見逃してしまう」(21.4%)、「知りたい情報はあるが確認する時間がない」(16.3%)、「調べても知りたい情報にたどり着かない」(13.7%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「調べても知りたい情報にたどり着かない」は男性（16.9%）が女性（11.9%）より5.0ポイント高くなっている。一方、「情報が多く、他の情報に埋もれて見逃してしまう」は女性（22.7%）が男性（19.7%）より3.0ポイント高くなっている。

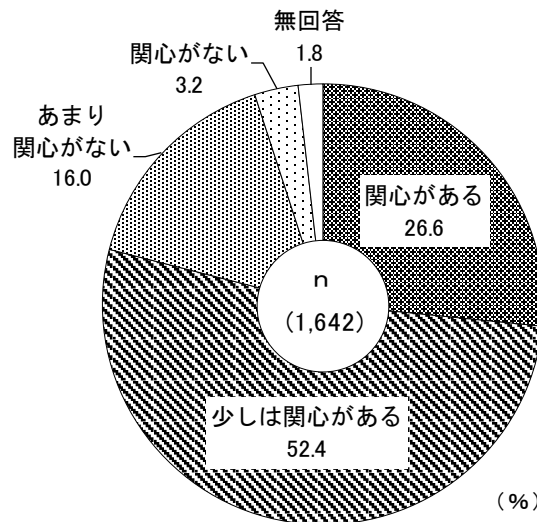
年齢別でみると、「情報の入手方法がよくわからない」は30～39歳（50.0%）で5割と高くなっている。「調べても知りたい情報にたどり着かない」は60～69歳（19.6%）で2割となっている。また、「知りたい情報はあるが確認する時間がない」は50～59歳（22.2%）で2割を超えている。



(4) 区政への関心

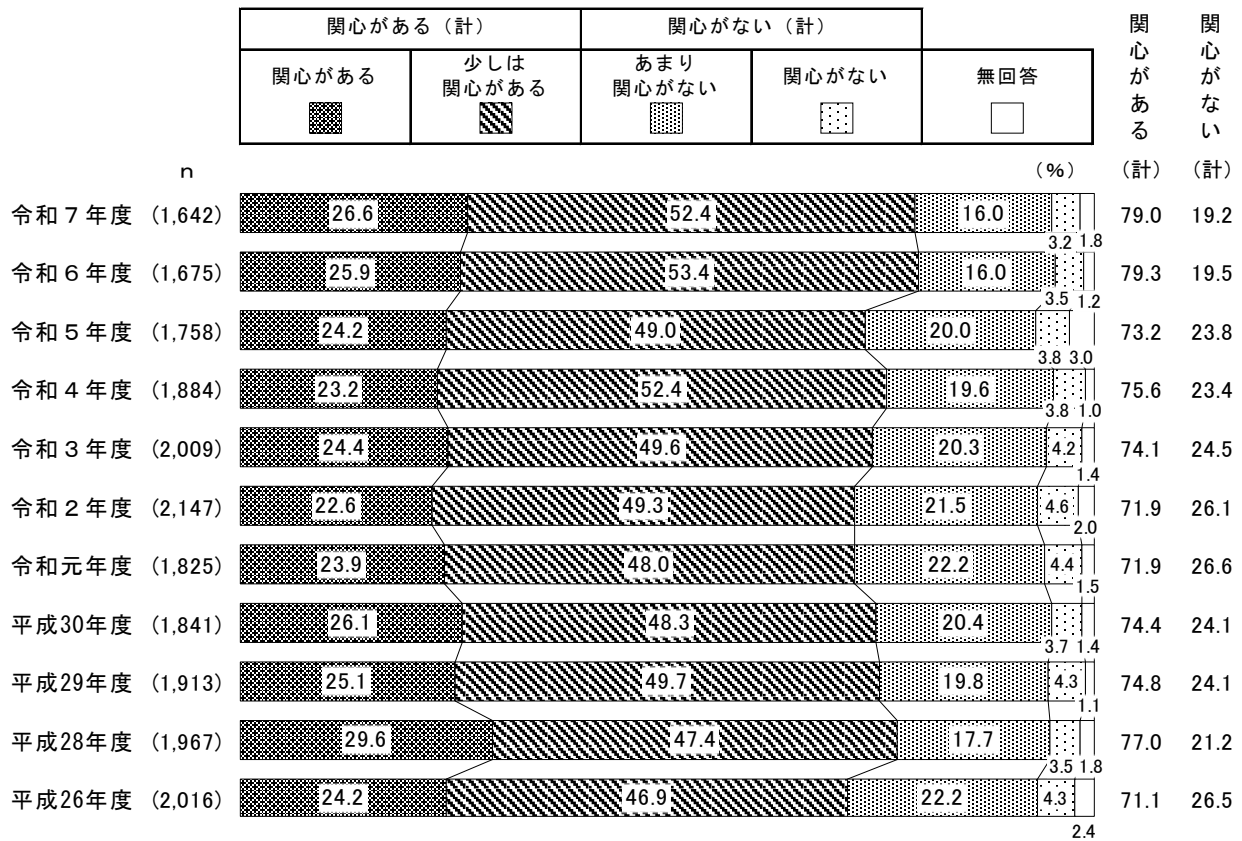
問8 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

区政に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(26.6%)と「少しは関心がある」(52.4%)を合わせた『関心がある(計)』(79.0%)は約8割となっている。一方、「あまり関心がない」(16.0%)と「関心がない」(3.2%)を合わせた『関心がない(計)』(19.2%)は約2割となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『関心がある(計)』は令和6年度と比べて大きな違いはみられない。



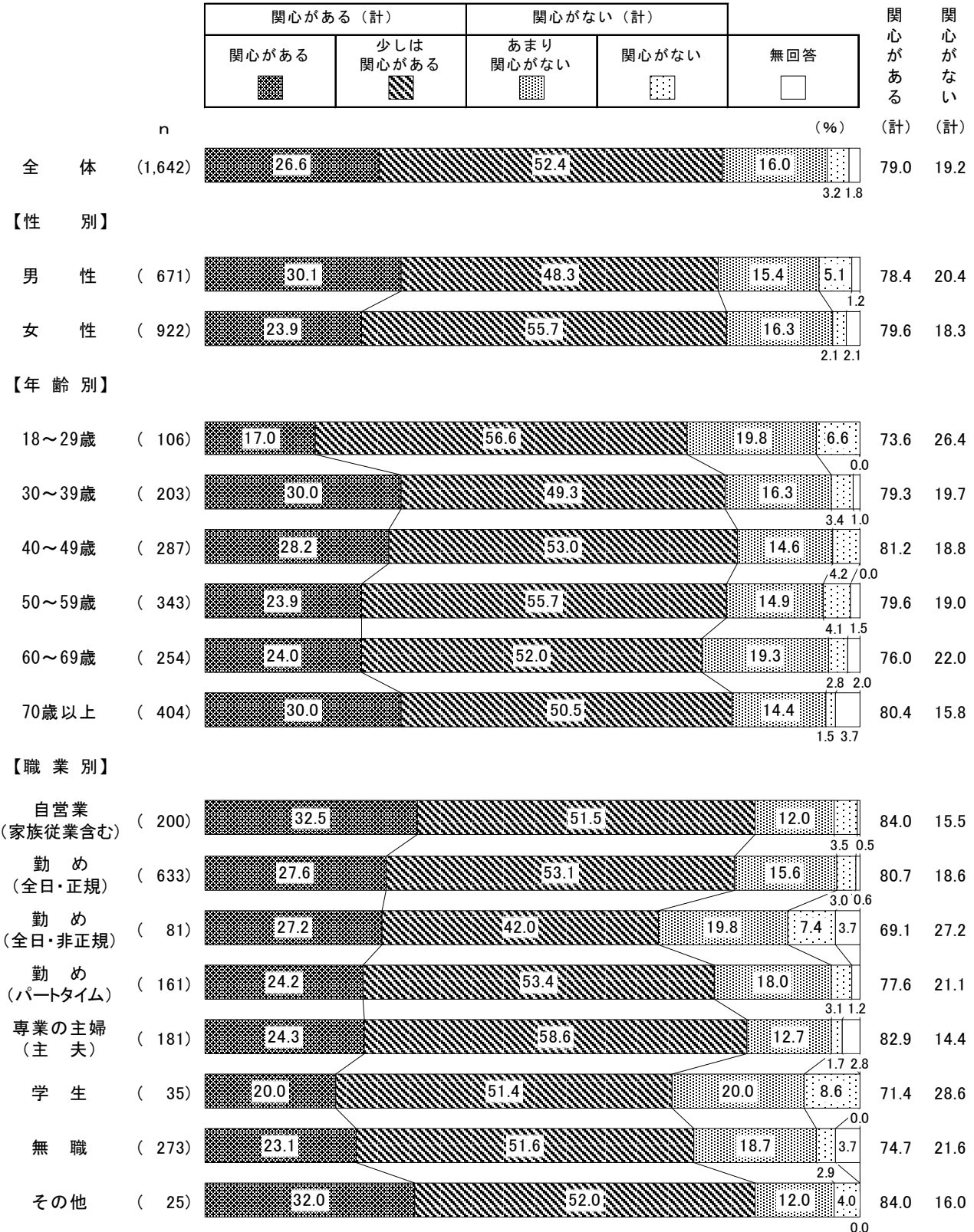
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「関心がある」は男性（30.1%）が女性（23.9%）より6.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『関心がない（計）』は18～29歳（26.4%）で2割半ばと高くなっている。

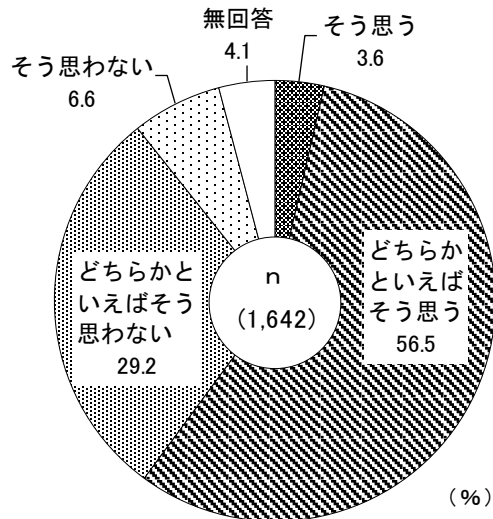
職業別でみると、「関心がある」は自営業（家族従業員含む）（32.5%）で3割を超えて高くなっている。一方、『関心がない（計）』は勤め（全日・非正規）（27.2%）、学生（28.6%）で3割近くとなっている。



(5) 柔軟な区政運営ができているか

問9 あなたは、社会状況や区民ニーズに応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。  
(1つに○)

社会状況や区民ニーズに応じた柔軟な区政運営ができていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.6%)と「どちらかといえばそう思う」(56.5%)を合わせた『そう思う(計)』(60.0%)は6割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(29.2%)と「そう思わない」(6.6%)を合わせた『そう思わない(計)』(35.9%)は3割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『そう思う(計)』は令和6年度と比べて大きな違いはみられない。

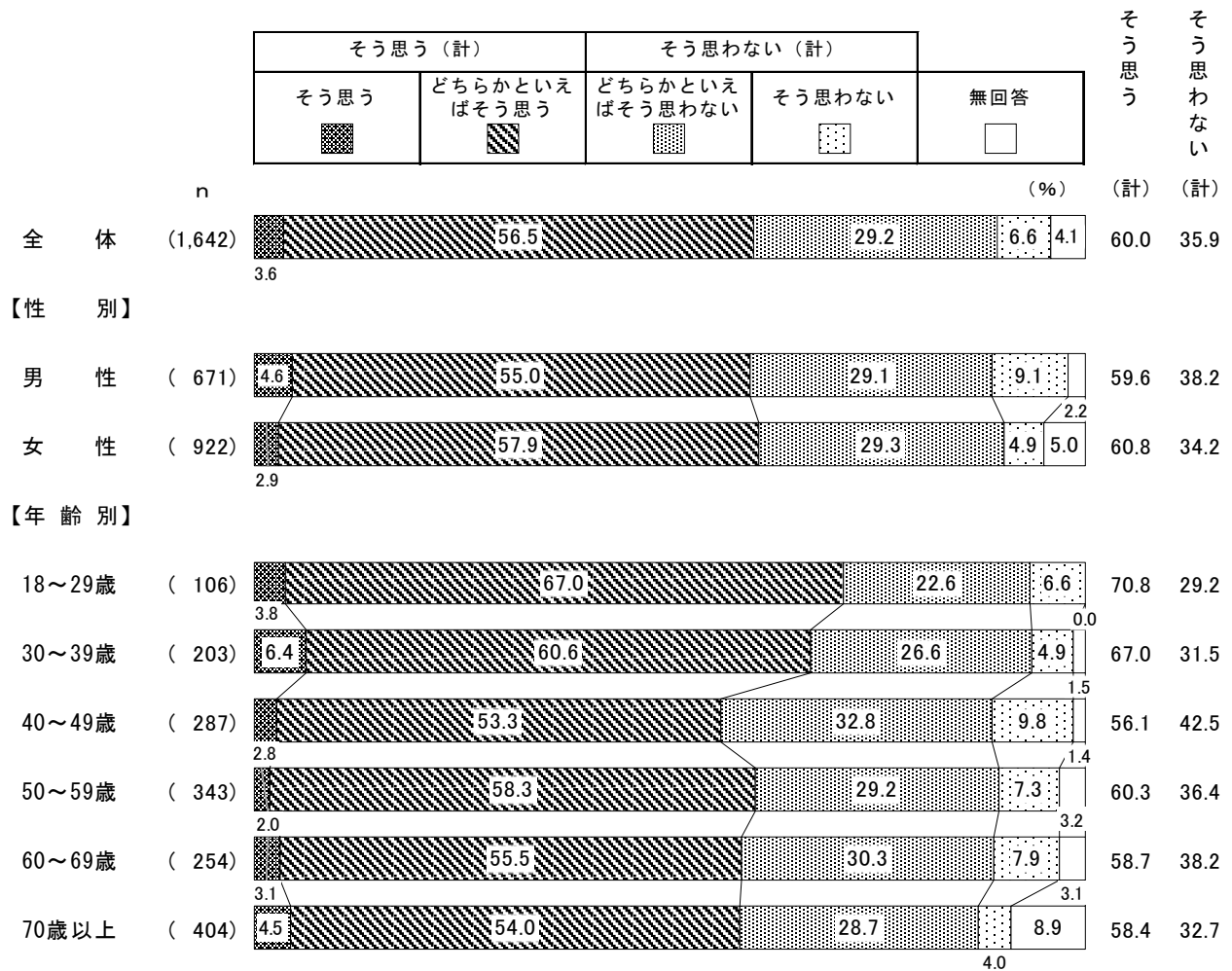
n	『そう思う(計)』		『そう思わない(計)』		無回答 (%)	『そう思う(計)』 (%)	『そう思わない(計)』 (%)
	『そう思う』 (%)	『どちらかといえばそう思う』 (%)	『どちらかといえばそう思わない』 (%)	『そう思わない』 (%)			
令和7年度 (1,642)	3.6	56.5	29.2	6.6	4.1	60.0	35.9
令和6年度 (1,675)	5.4	56.2	27.9	5.4	5.1	61.6	33.3
令和5年度 (1,758)	4.6	43.4	35.8	9.9	6.3	48.0	45.7
令和4年度 (1,884)	5.8	41.9	37.9	8.7	5.7	47.7	46.6
令和3年度 (2,009)	5.7	43.9	35.3	9.1	6.1	49.5	44.4

※令和5年度調査までの設問文は「あなたは、区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。」

【性別、年齢別】

性別でみると、『そう思わない（計）』は男性（38.2%）が女性（34.2%）より4.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は18～29歳（70.8%）で約7割と高くなっている。

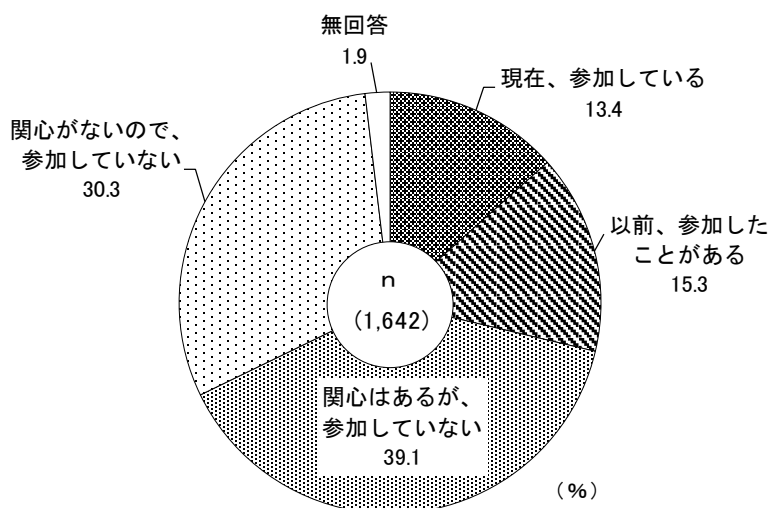


## 2. 地域との関わりについて

### (1) 町会、自治会などの地域活動への参加状況

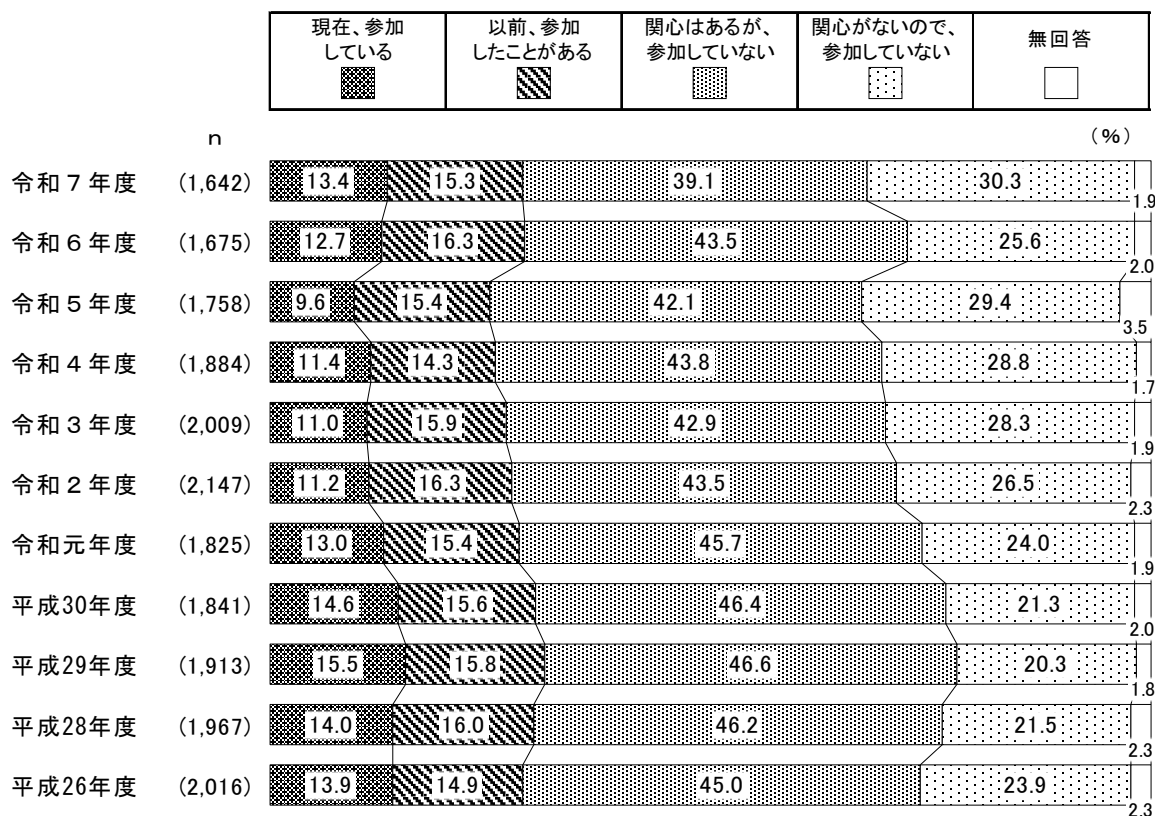
問10 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。  
(1つに○)

町会、自治会などの地域活動に参加しているか聞いたところ、「現在、参加している」(13.4%)が1割を超え、「以前、参加したことがある」(15.3%)が1割半ばとなっている。また、「関心はあるが、参加していない」(39.1%)が約4割、「関心がないので、参加していない」(30.3%)が約4割、「関心がないので、参加していない」(30.3%)が約4割、「関心がないので、参加していない」(30.3%)が3割となっている。



#### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「関心がないので、参加していない」は令和6年度と比べて4.7ポイント増加している。



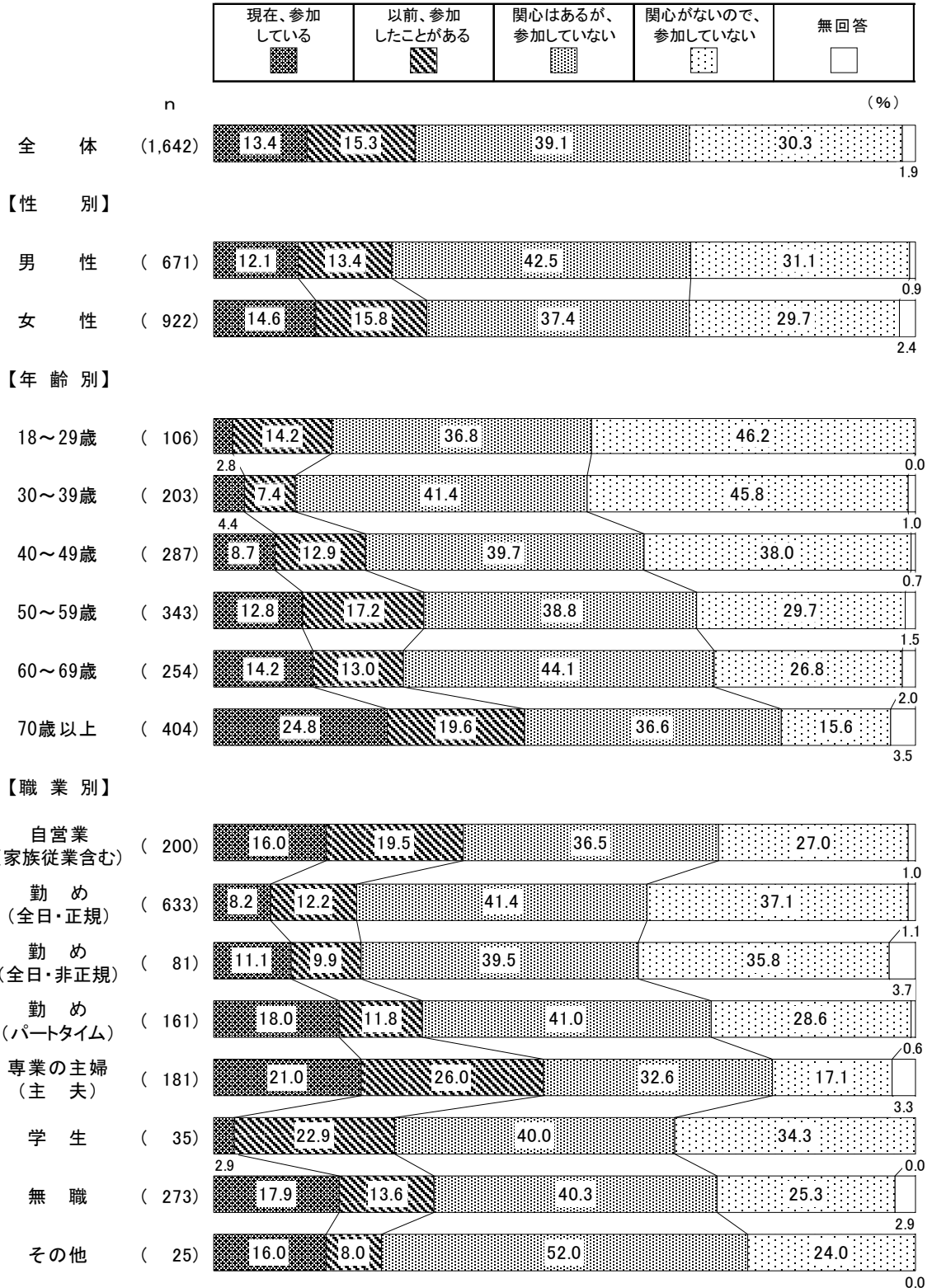
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「現在、参加している」は女性（14.6%）が男性（12.1%）より2.5ポイント高くなっている。一方、「関心はあるが、参加していない」は男性（42.5%）が女性（37.4%）より5.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「現在、参加している」は年齢が高くなるにつれ割合が高く、70歳以上（24.8%）で2割半ばになっている。

職業別でみると、「現在、参加している」は専業の主婦（主夫）（21.0%）で2割を超えている。

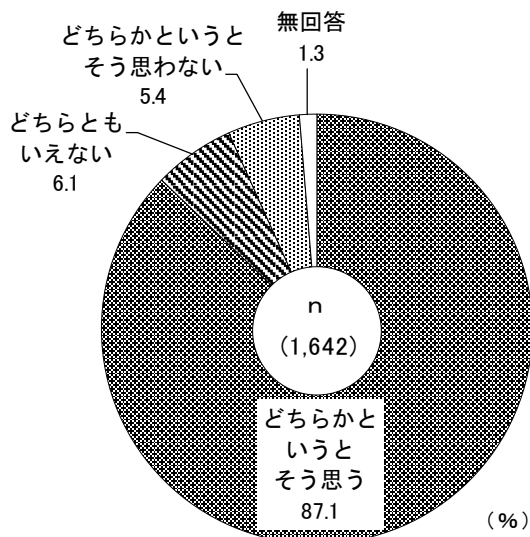


### 3. 公共交通について

#### (1) 居住地域の鉄道・バス等の公共交通が充実し便利と感じるか

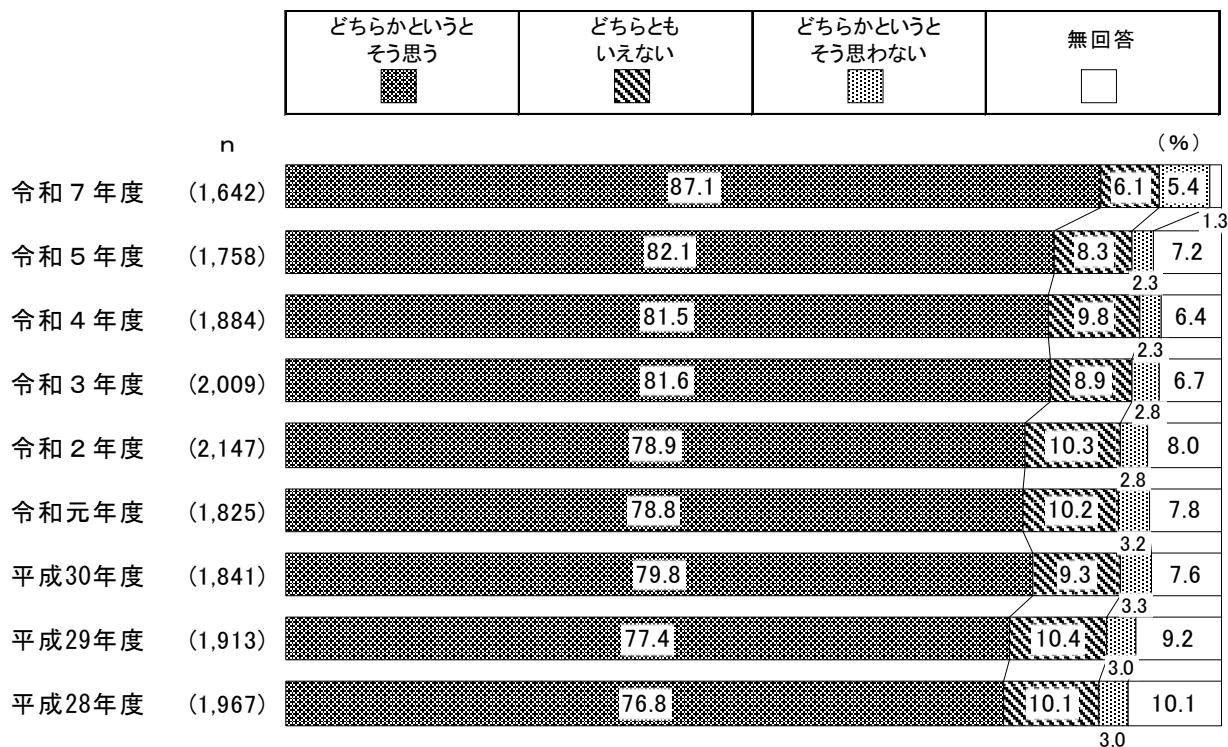
問11 現在、あなたの住んでいる地域は、鉄道・バス等の公共交通が充実し、便利であると感じますか。(1つに○)

現在住んでいる地域は鉄道・バス等の公共交通が充実し、便利であると感じるか聞いたところ、「どちらかというと思う」(87.1%)が9割近く、「どちらともいえない」(6.1%)、「どちらかというと思わない」(5.4%)が1割未満となっている。



#### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「どちらかというと思う」は令和5年度と比べて5.0ポイント増加している。



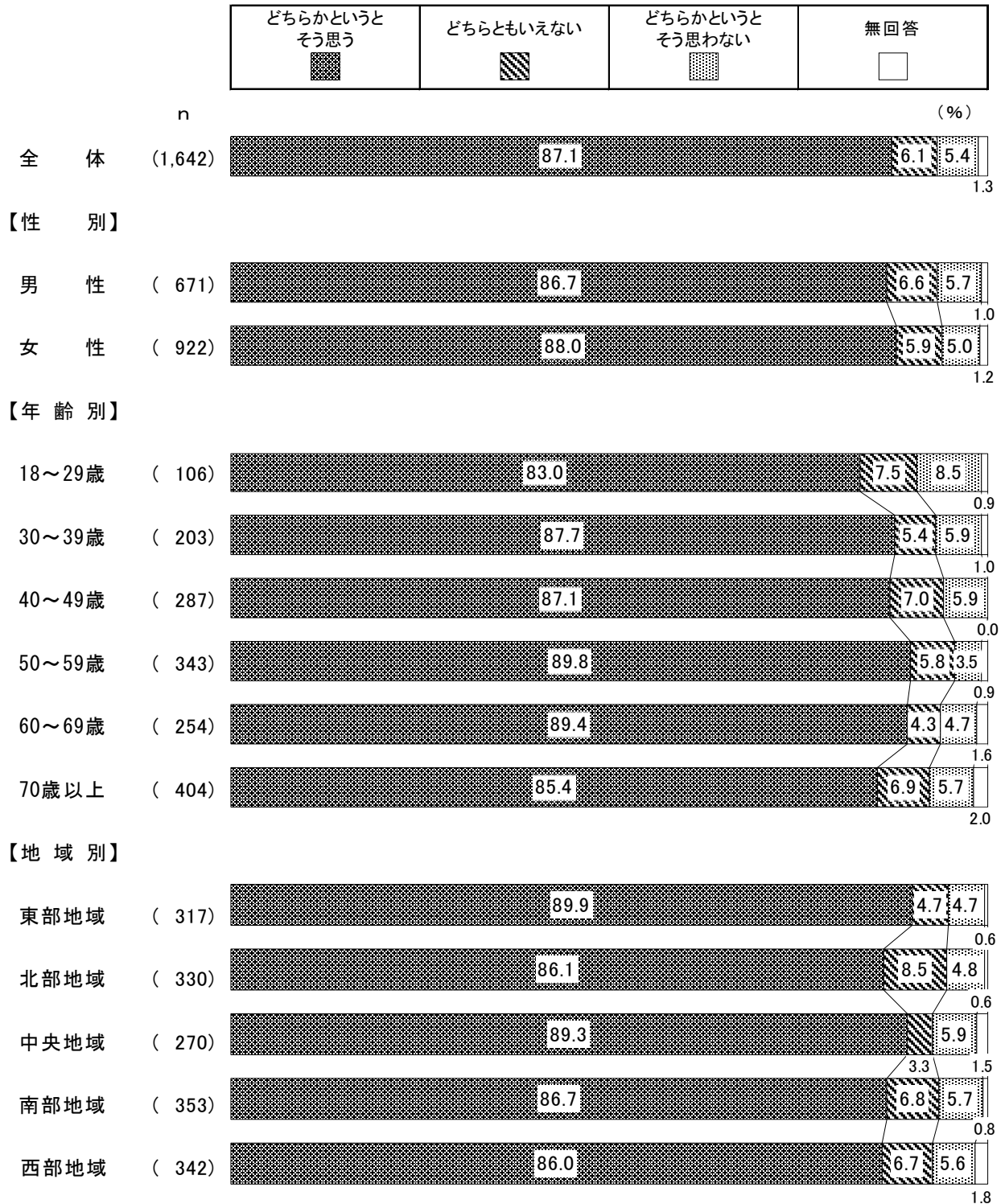
※令和6年度調査は非聴取

【性別、年齢別、地域別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「どちらかというと思う」は50～59歳（89.8%）、60～69歳（89.4%）で約9割と高くなっている。

地域別でみると、「どちらかというと思う」は東部地域（89.9%）、中央地域（89.3%）で約9割と高くなっている。

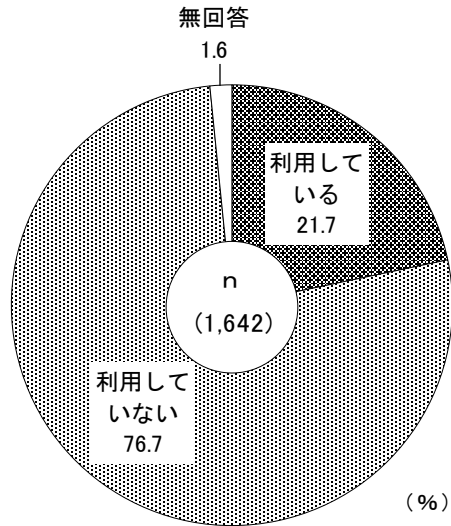


#### 4. 自転車駐輪場について

##### (1) 区内の自転車駐輪場の利用状況

問12 現在、区内の自転車駐輪場を利用していますか。(1つに○)

区内の自転車駐輪場の利用状況を聞いたところ、「利用している」(21.7%)が2割を超え、「利用していない」(76.7%)が7割半ばとなっている。

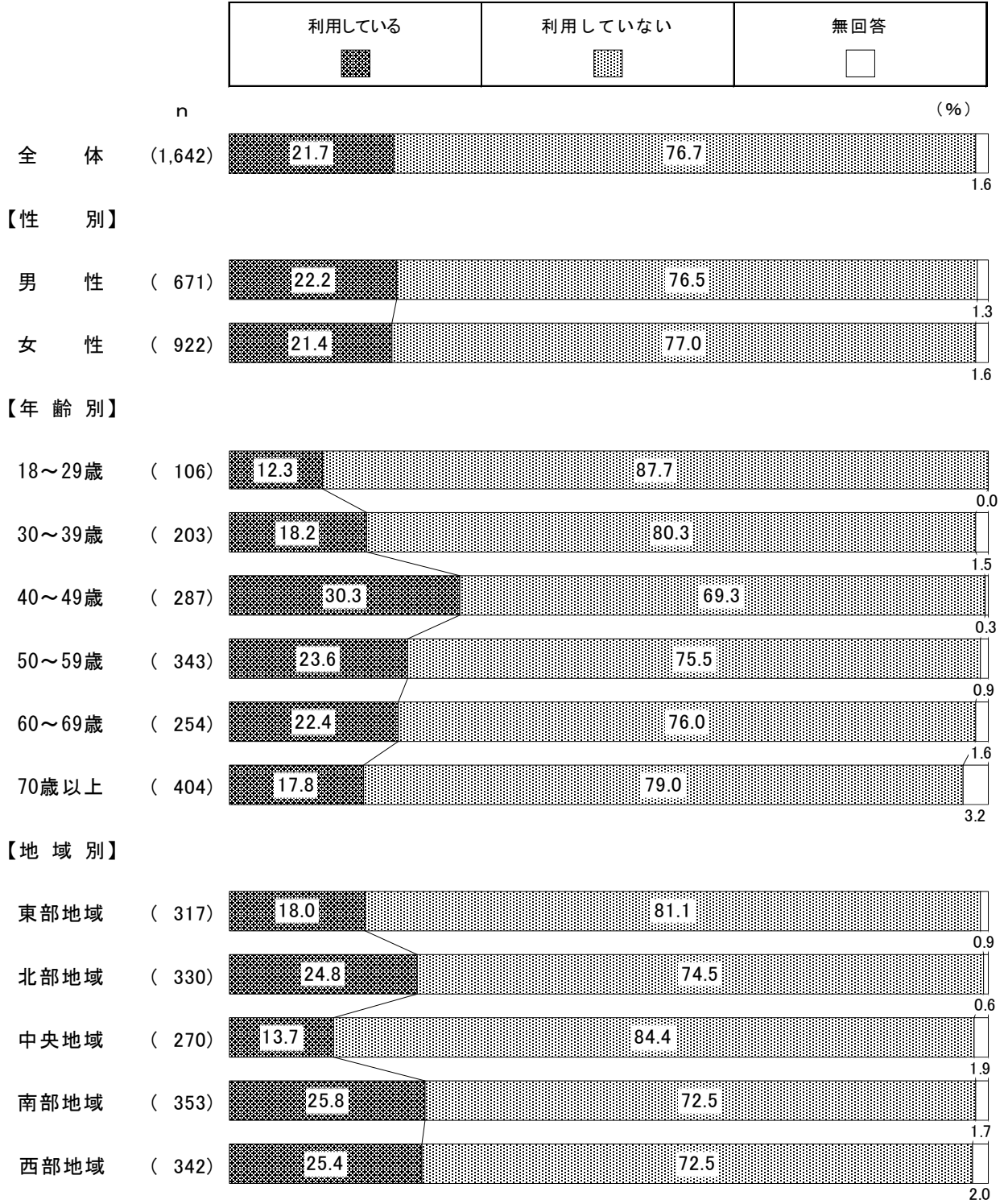


【性別、年齢別、地域別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「利用している」は40～49歳（30.3%）で3割となっている。

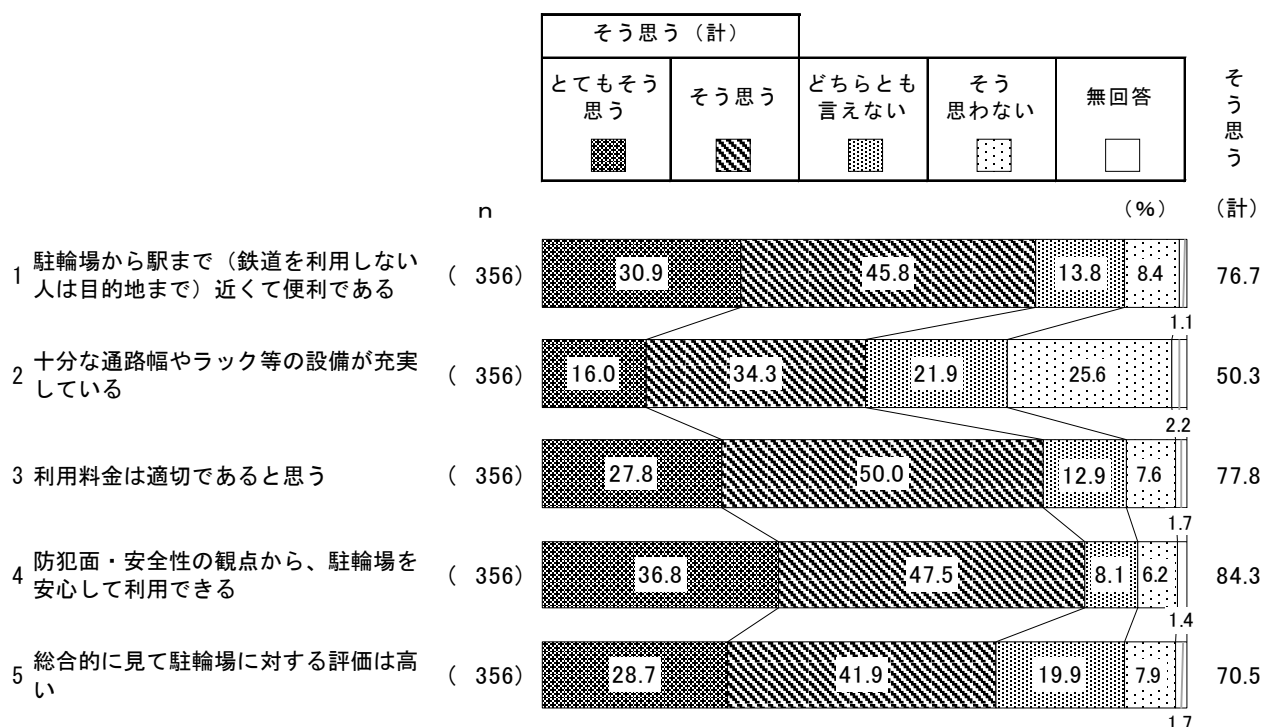
地域別でみると、「利用している」は北部地域（24.8%）、南部地域（25.8%）、西部地域（25.4%）で2割半ばとなっている。



(2) 駐輪場に対する評価

《問 12 で、「利用している」とお答えの方におたずねします》  
 問 12-1 現在利用している駐輪場について、最もあてはまるものと思われるものを選んでください。  
 (それぞれ1つに〇)

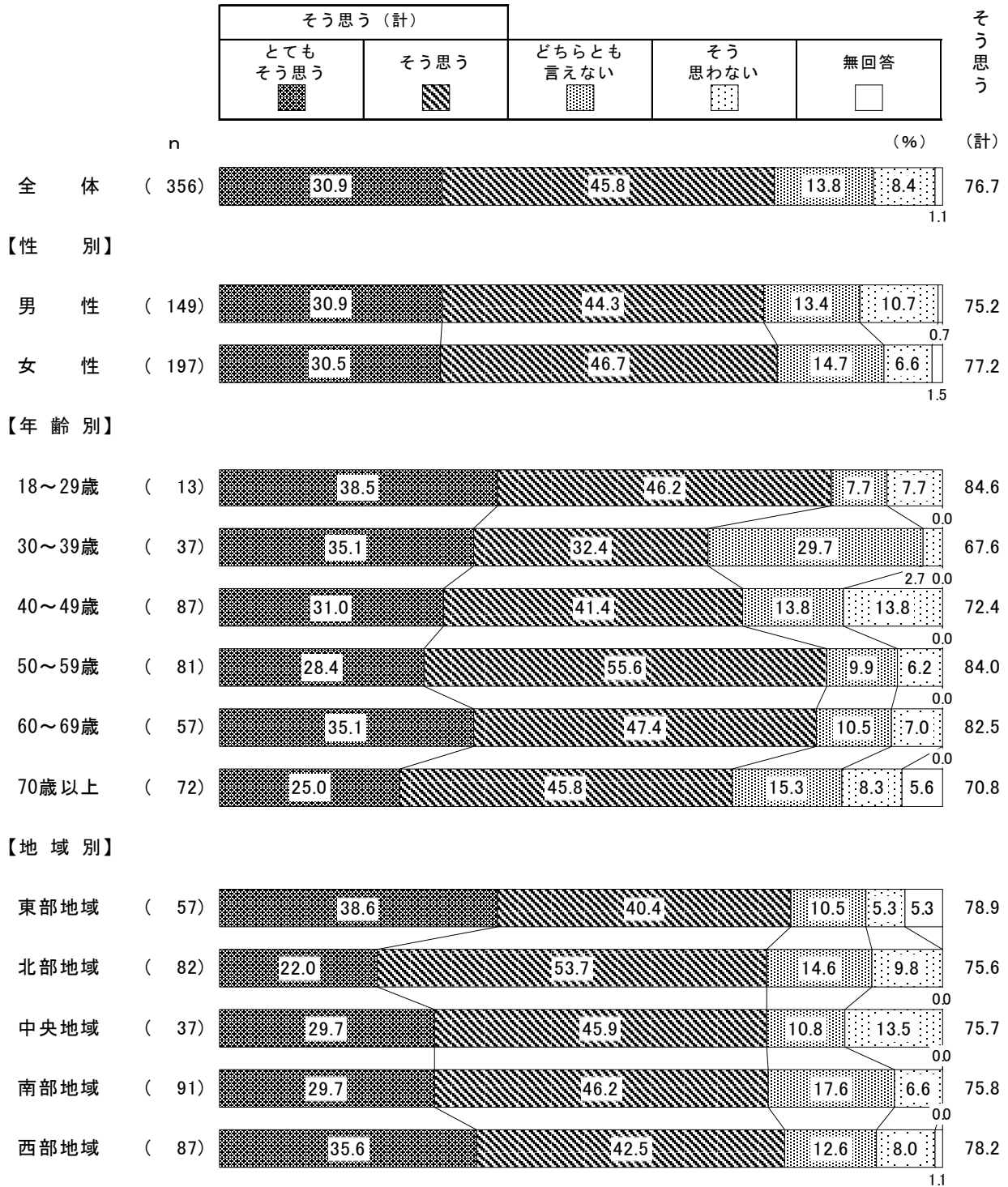
区内の自転車駐輪場を「利用している」と答えた方に、自転車駐輪場について下記の5つの項目について現在の評価を聞いたところ、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う(計)』は「防犯面・安全性の観点から、駐輪場を安心して利用できる」(84.3%)が8割半ば、「利用料金は適切であると思う」(77.8%)、「駐輪場から駅まで(鉄道を利用しない人は目的地まで)近くて便利である」(76.7%)が8割近くとなっている。「総合的に見て駐輪場に対する評価は高い」(70.5%)は約7割となっている。



【性別、年齢別、地域別】

① 駐輪場から駅まで（鉄道を利用しない人は目的地まで）近くて便利である

性別でみると、「そう思わない」は男性（10.7%）が女性（6.6%）より4.1ポイント高くなっている。  
 年齢別でみると、『そう思う（計）』は50～59歳（84.0%）で8割半ばと高くなっている。  
 地域別でみると、『そう思う（計）』はいずれの地域も7割台となっている。



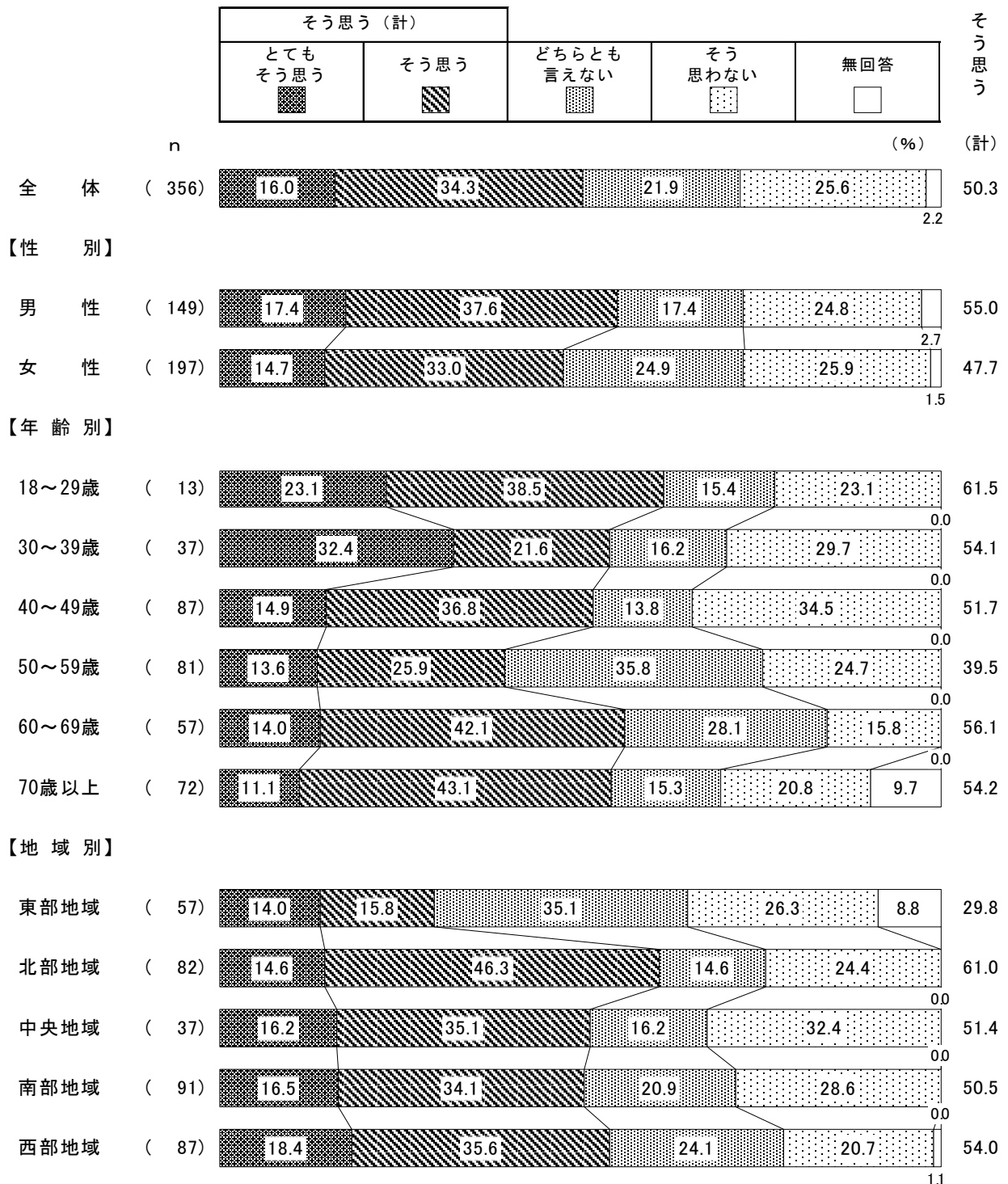
【性別、年齢別、地域別】

② 十分な通路幅やラック等の設備が充実している

性別でみると、『そう思う（計）』は男性（55.0%）が女性（47.7%）より7.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は30～39歳（54.1%）、60～69歳（56.1%）、70歳以上（54.2%）で5割半ばと高くなっている。

地域別でみると、『そう思う（計）』は北部地域（61.0%）で6割を超えている。



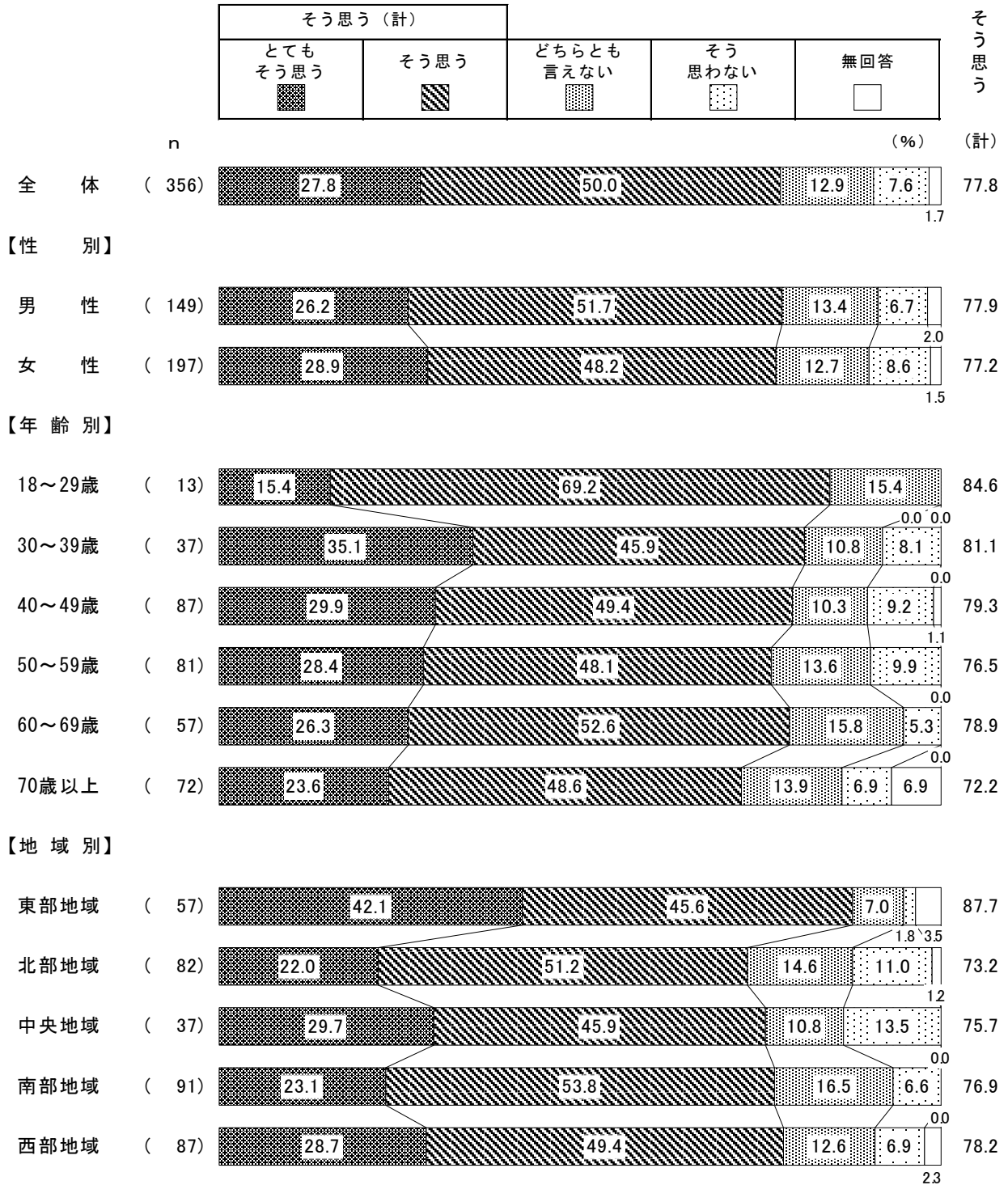
【性別、年齢別、地域別】

③ 利用料金は適切であると思う

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は30～39歳（81.1%）で8割を超えて高くなっている。

地域別でみると、『そう思う（計）』は東部地域（87.7%）で9割近くと高くなっている。



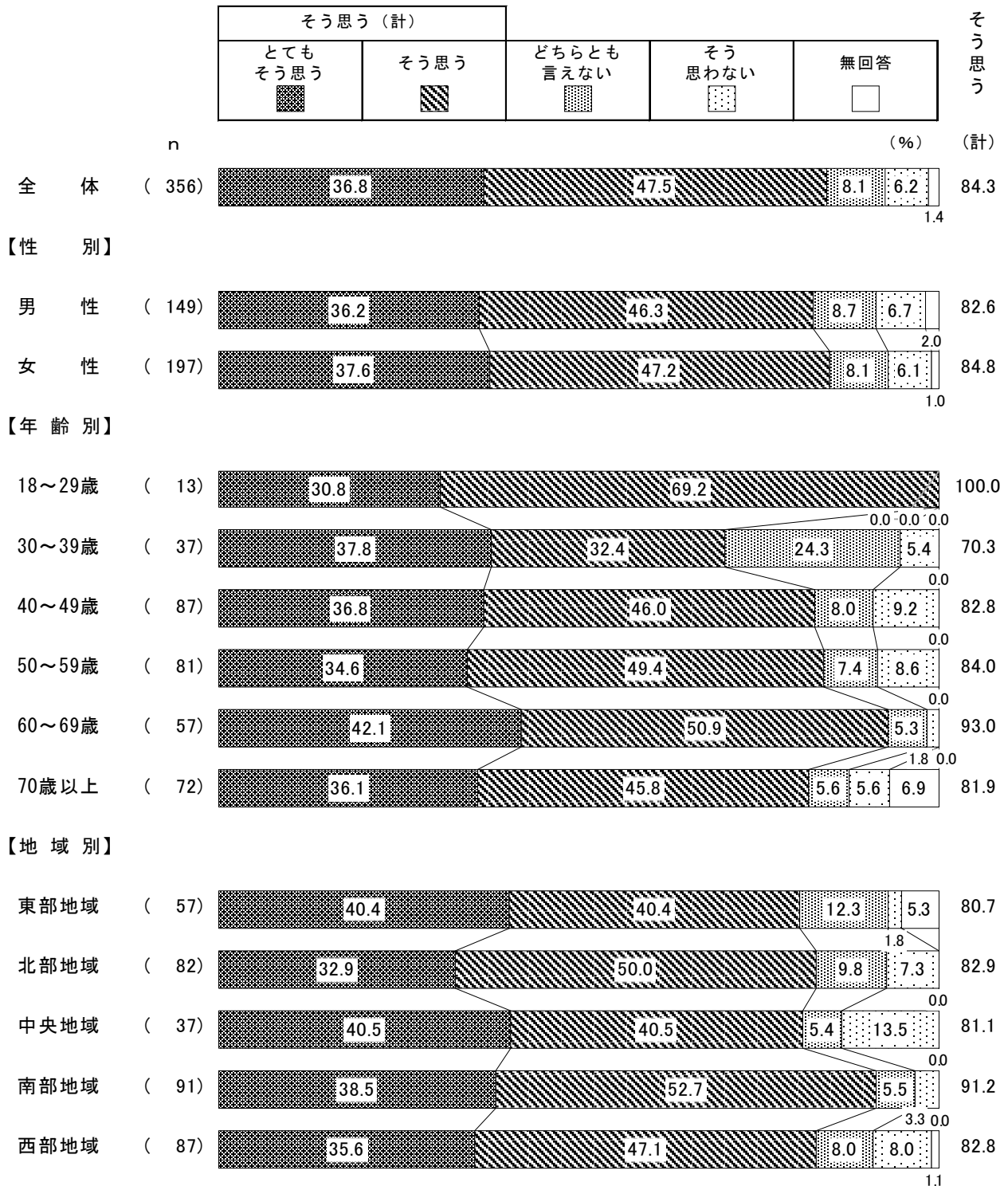
【性別、年齢別、地域別】

④ 防犯面・安全性の観点から、駐輪場を安心して利用できる

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は60～69歳（93.0%）で9割を超えて高くなっている。

地域別でみると、『そう思う（計）』は南部地域（91.2%）で9割を超えて高くなっている。



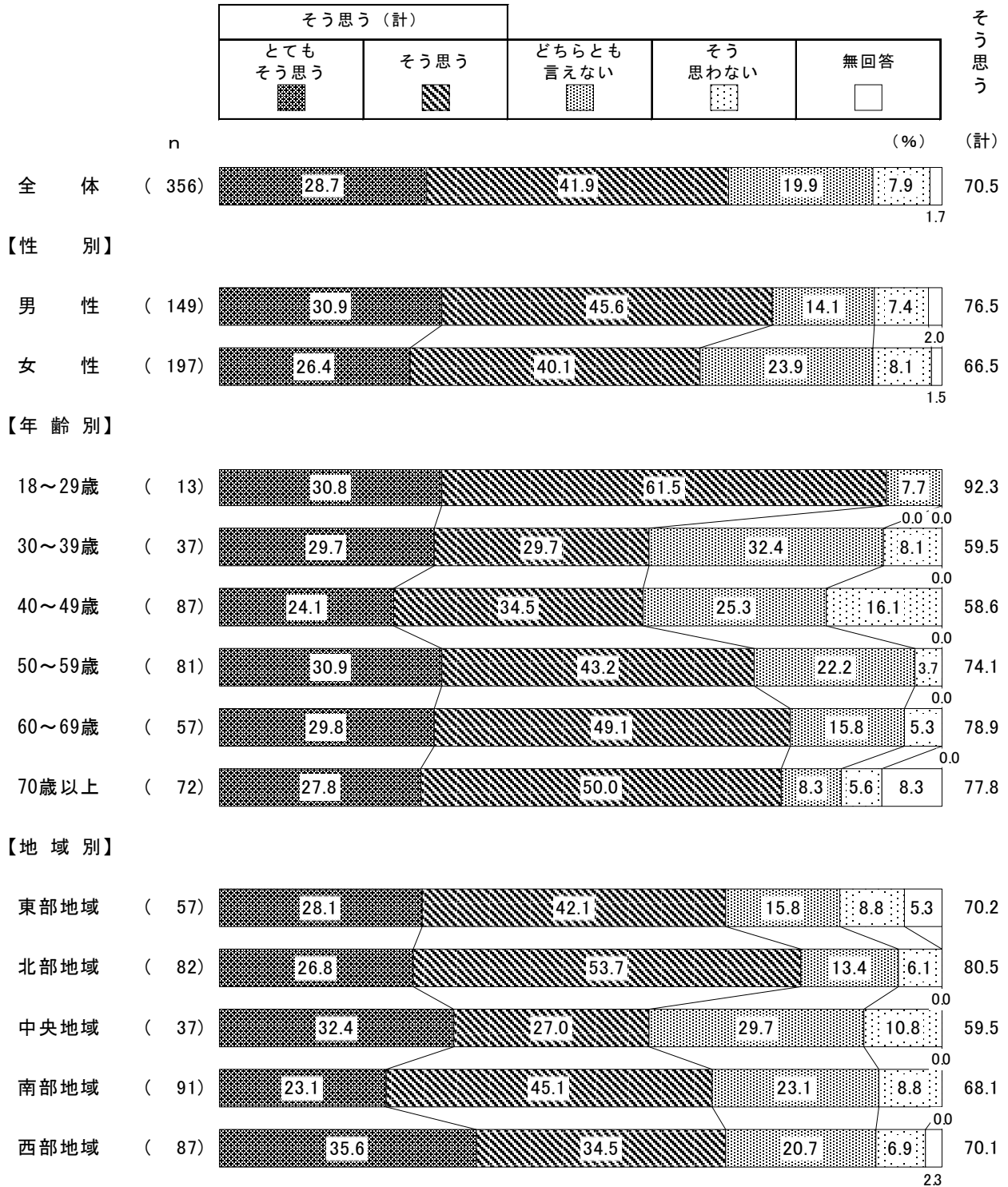
【性別、年齢別、地域別】

⑤ 総合的に見て駐輪場に対する評価は高い

性別でみると、『そう思う（計）』は男性（76.5%）が女性（66.5%）より10.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は60～69歳（78.9%）、70歳以上（77.8%）で8割近くと高くなっている。

地域別でみると、『そう思う（計）』は北部地域（80.5%）で約8割と高くなっている。

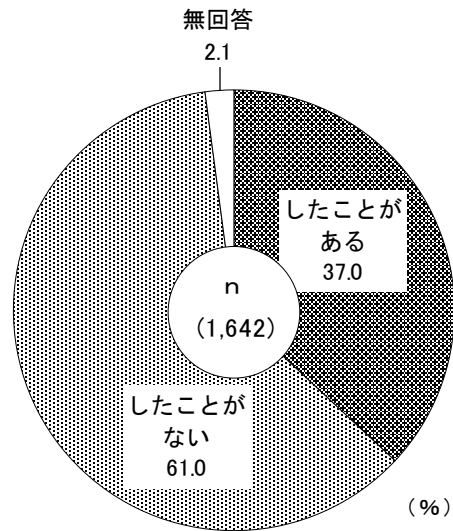


## 5. ふるさと納税について

### (1) 他自治体へのふるさと納税の経験

問13 あなたは他の自治体にふるさと納税をしたことがありますか。(1つに○)

他の自治体にふるさと納税をしたことがあるか聞いたところ、「したことがある」(37.0%)が4割近く、「したことがない」(61.0%)が6割を超えている。

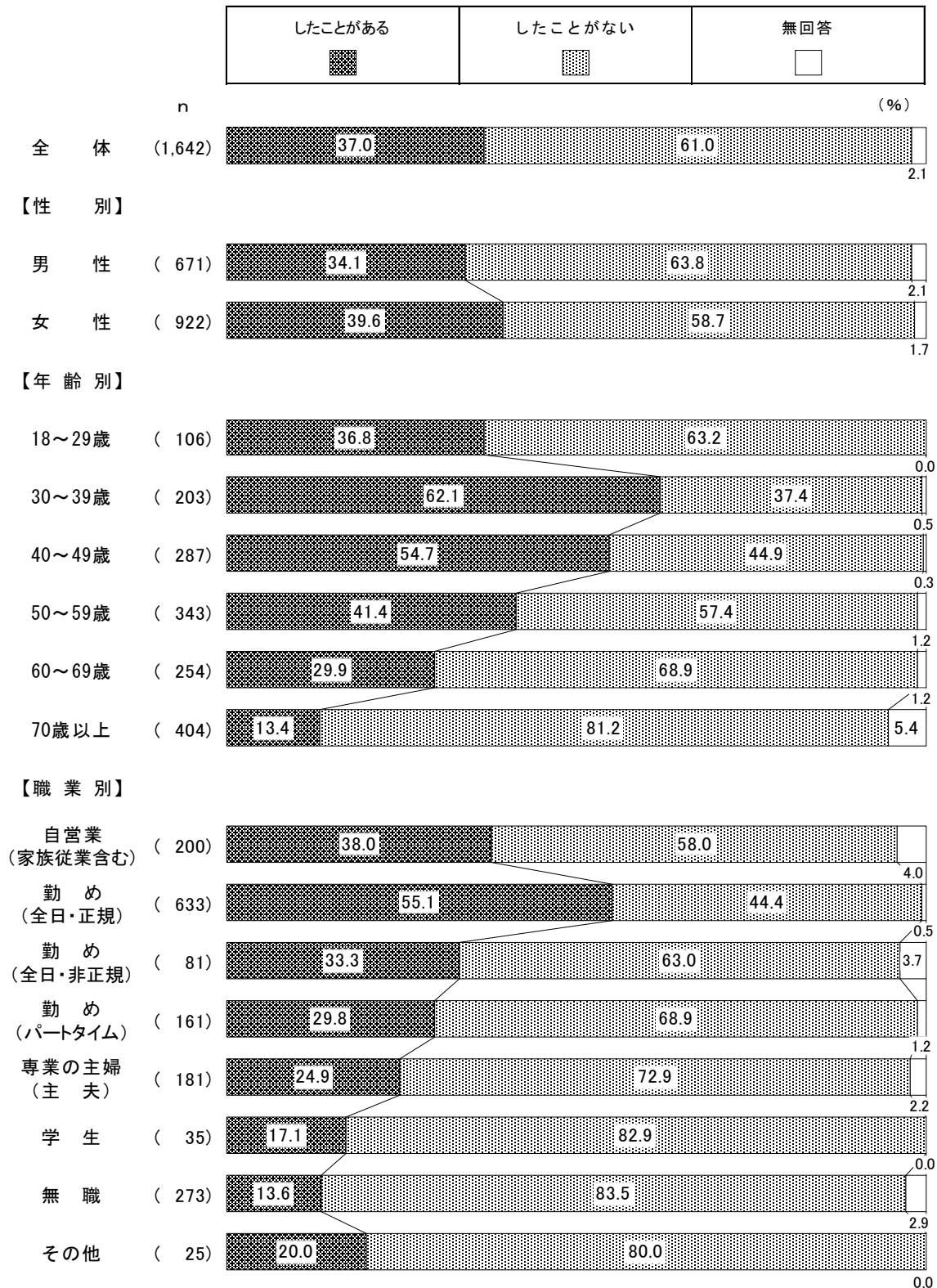


【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「したことがある」は女性（39.6%）が男性（34.1%）より5.5ポイント高くなっている。

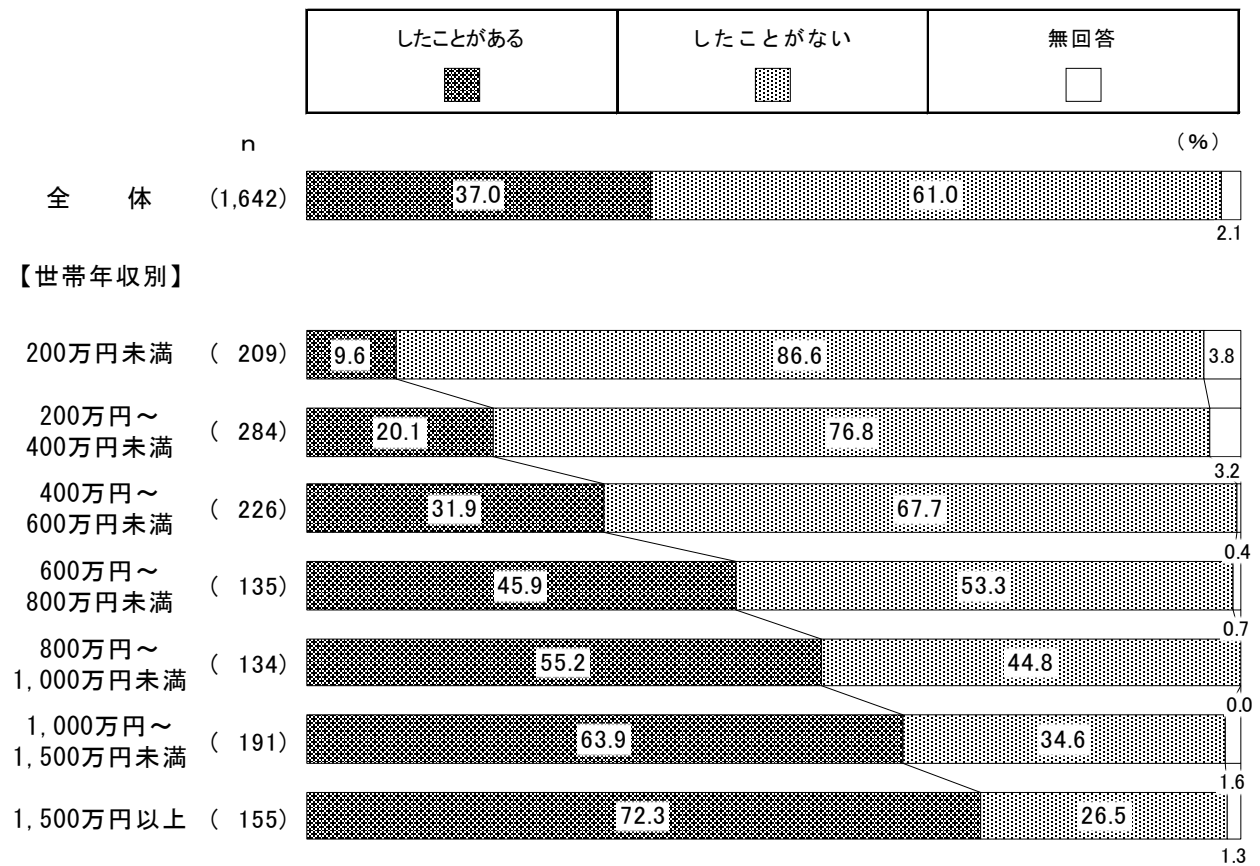
年齢別でみると、「したことがある」は30～39歳（62.1%）で6割を超え、40～49歳（54.7%）で5割半ばと高くなっている。

職業別でみると、「したことがある」は勤め（全日・正規）（55.1%）で5割半ばと高くなっている。



【世帯年収別】

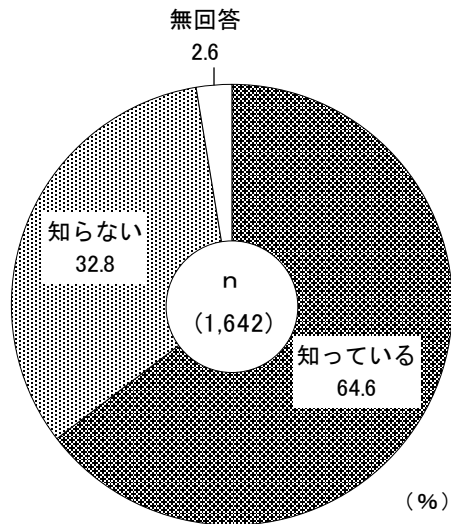
世帯年収別で見ると、「したことがある」は世帯年収が高くなるにつれて割合が高く、1,500万円以上の世帯（72.3%）で7割を超えて高くなっている。



(2) 他自治体へのふるさと納税による区の減収と区民サービス低下のおそれの認知

問 14 区在住の方が他の自治体にふるさと納税をすると、区の収入が減少し、区民サービスが低下するおそれがあることを知っていますか。(1つに○)

区在住の方が他の自治体にふるさと納税をすると区の収入が減少し、区民サービスが低下するおそれがあることを知っているか聞いたところ、「知っている」(64.6%)が6割半ば、「知らない」(32.8%)が3割を超えている。

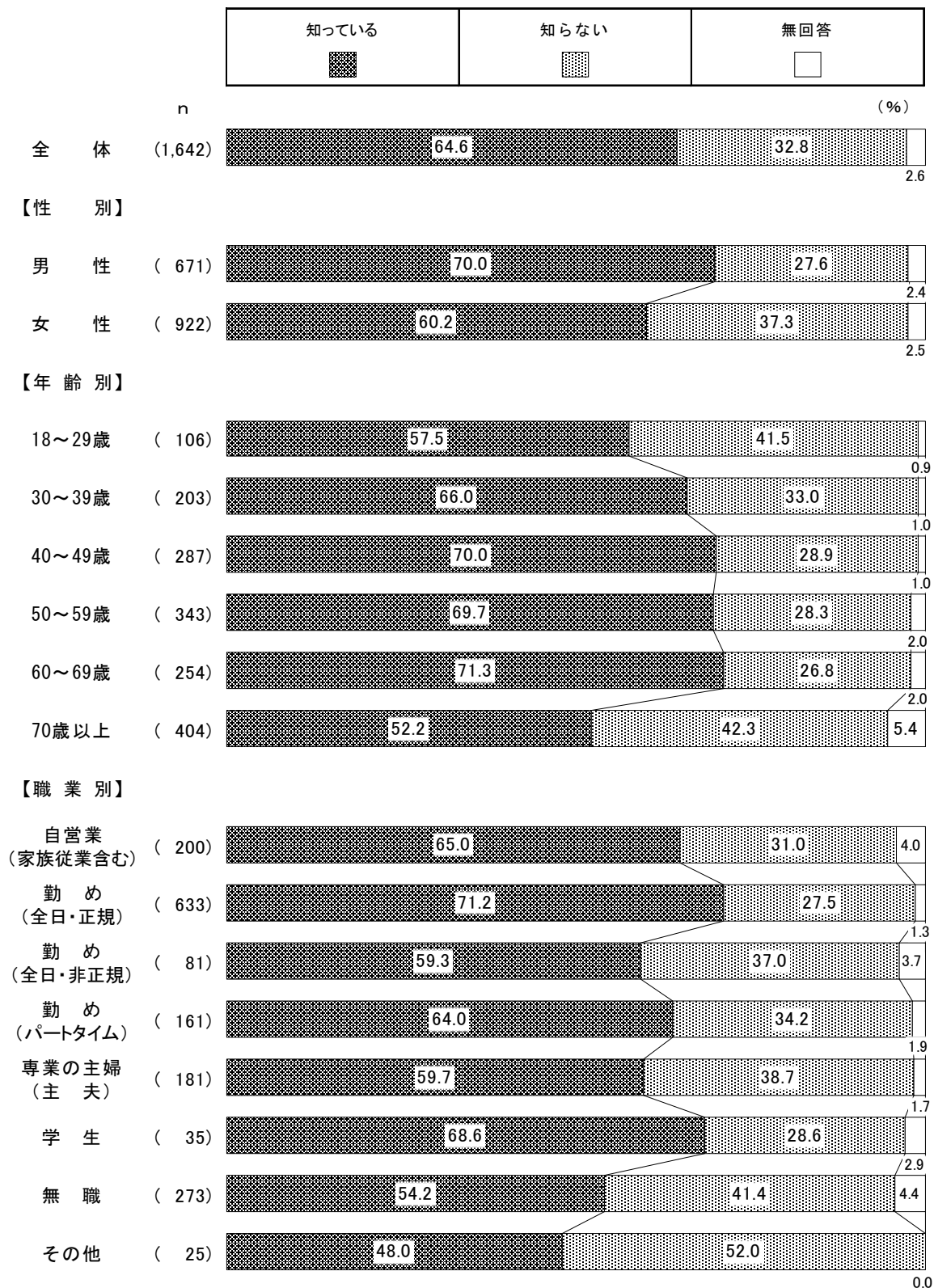


【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「知っている」は男性（70.0%）が女性（60.2%）より9.8ポイント高くなっている。

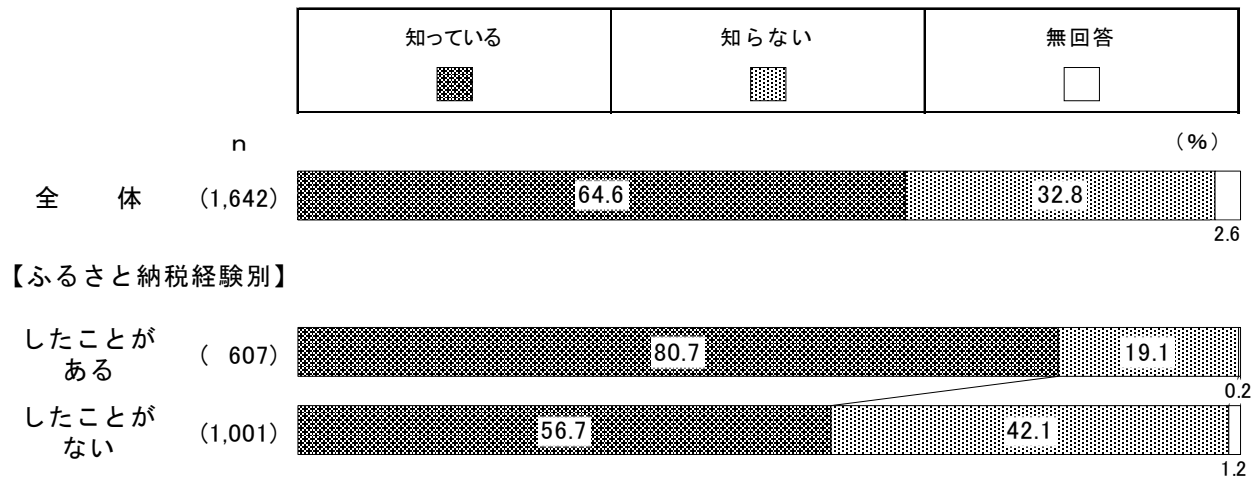
年齢別でみると、「知っている」は40～49歳（70.0%）、50～59歳（69.7%）、60～69歳（71.3%）で7割前後と高くなっている。

職業別でみると、「知っている」は勤め（全日・正規）（71.2%）で7割を超えて高くなっている。



【ふるさと納税経験別】

ふるさと納税経験別でみると、「知っている」はふるさと納税をしたことがある人（80.7%）で約8割と高くなっている。



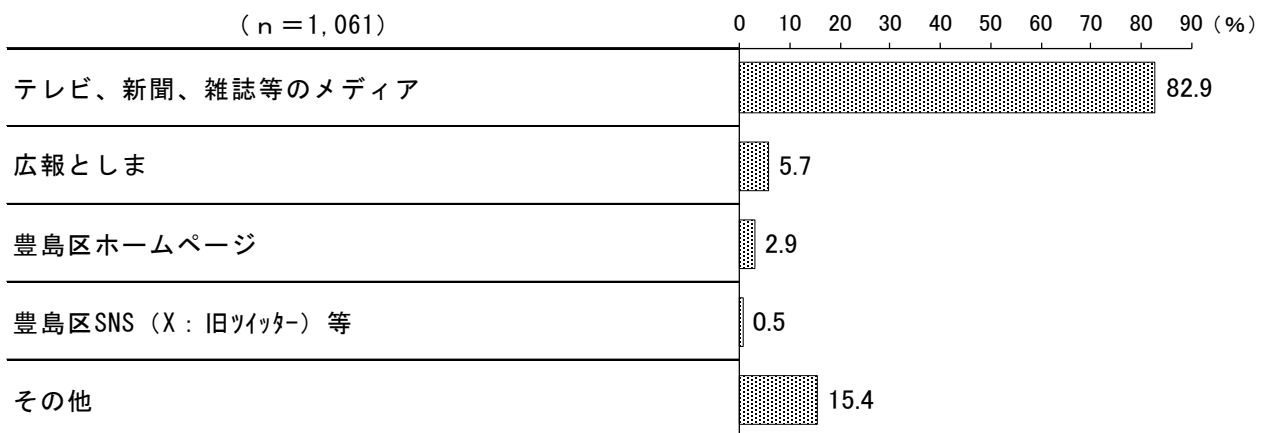
(3) 他自治体へのふるさと納税による区の減収の認知経路

《問 14 で、「知っている」とお答えの方におたずねします》

問 14-1 区の収入が減ってしまうことはどのような媒体を通して知りましたか。

(いくつでも○)

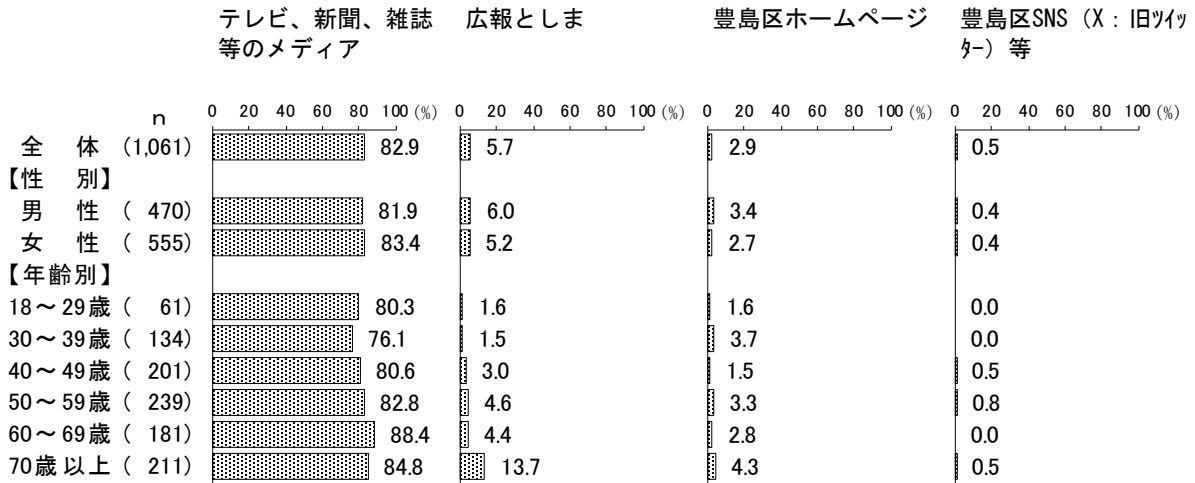
他自治体へのふるさと納税により区の収入が減少することを「知っている」と答えた方に、区の収入が減ってしまうことはどのような媒体を通して知ったかを聞いたところ、「テレビ、新聞、雑誌等のメディア」(82.9%)が8割を超えて最も高く、次いで「広報としま」(5.7%)となっている。また、「その他」の回答として、「常識的に考えて」、「ふるさと納税の仕組みとして当然」、「親や家族から聞いて」、「ネットの記事で見て」などがあげられた。



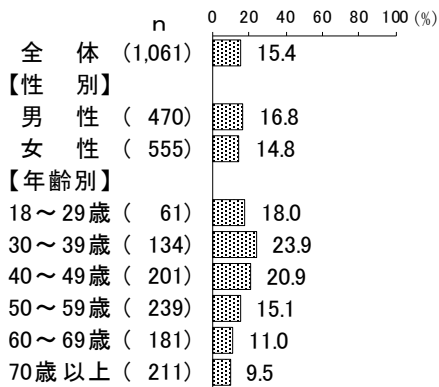
【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「テレビ、新聞、雑誌等のメディア」は60～69歳（88.4%）で9割近くと高くなっている。「広報としま」は70歳以上（13.7%）で1割を超えている。



その他



## 6. 多文化共生のまちづくりについて

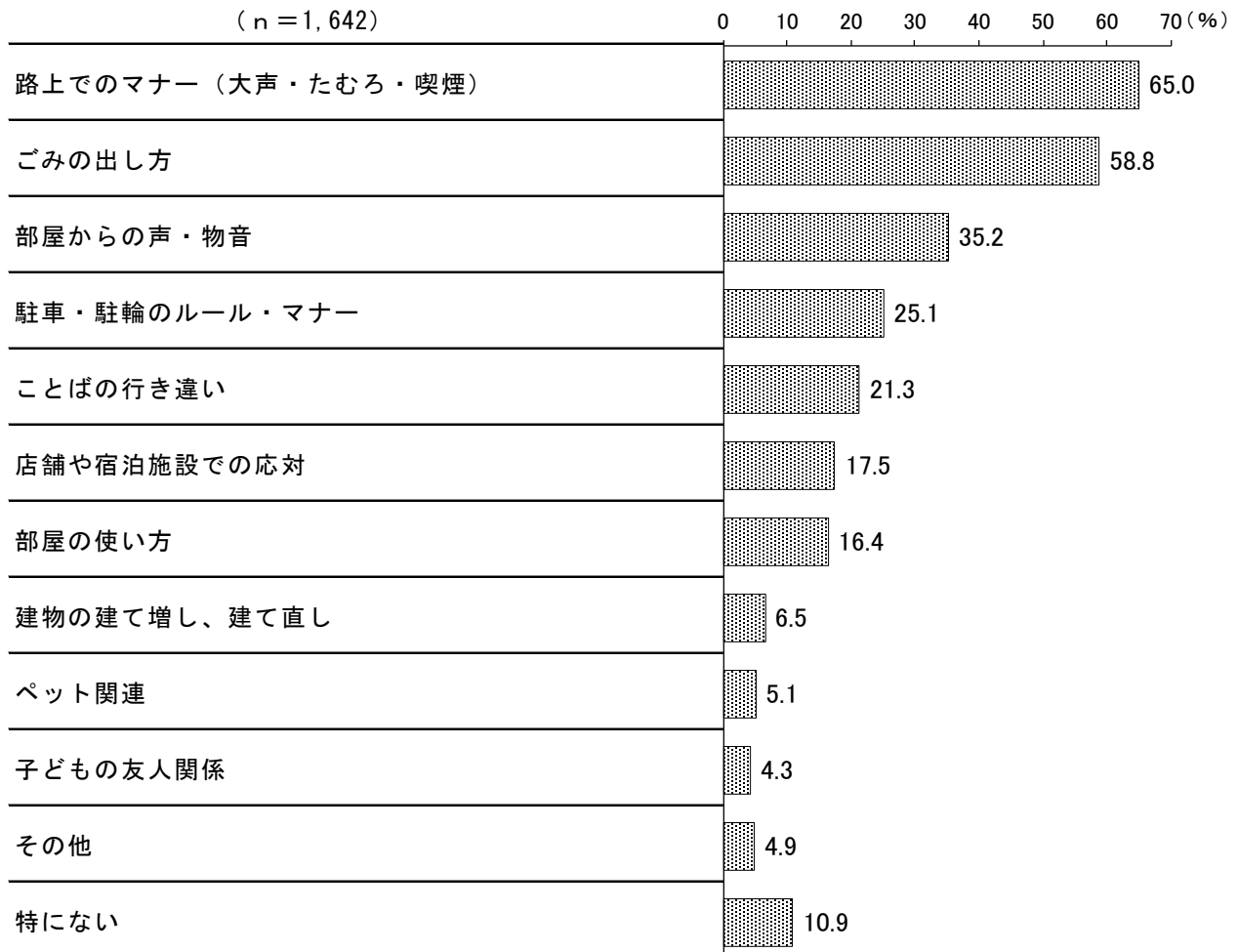
### (1) 近隣の外国人と共に生活しやすくなるための改善点/日本人との関係で困った経験

問 15 「多文化共生社会」とは、「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を言います。

近くに住む外国人との関係で、どのような点が改善されるとより共に生活しやすくなりますか。(いくつでも○)

あなたが、外国人の場合は、日本人との関係においてどのような点で困った経験があるかお答えください。(いくつでも○)

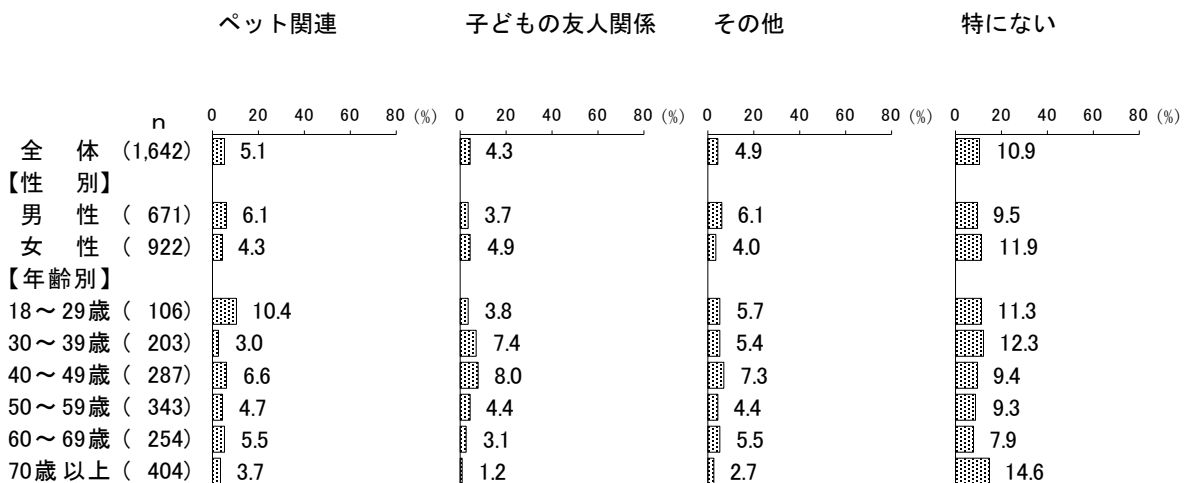
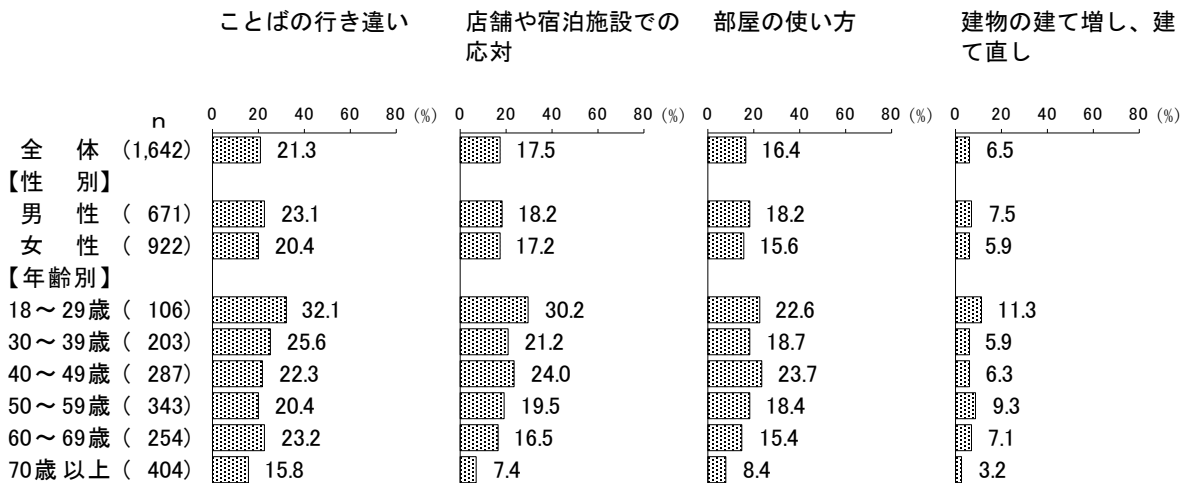
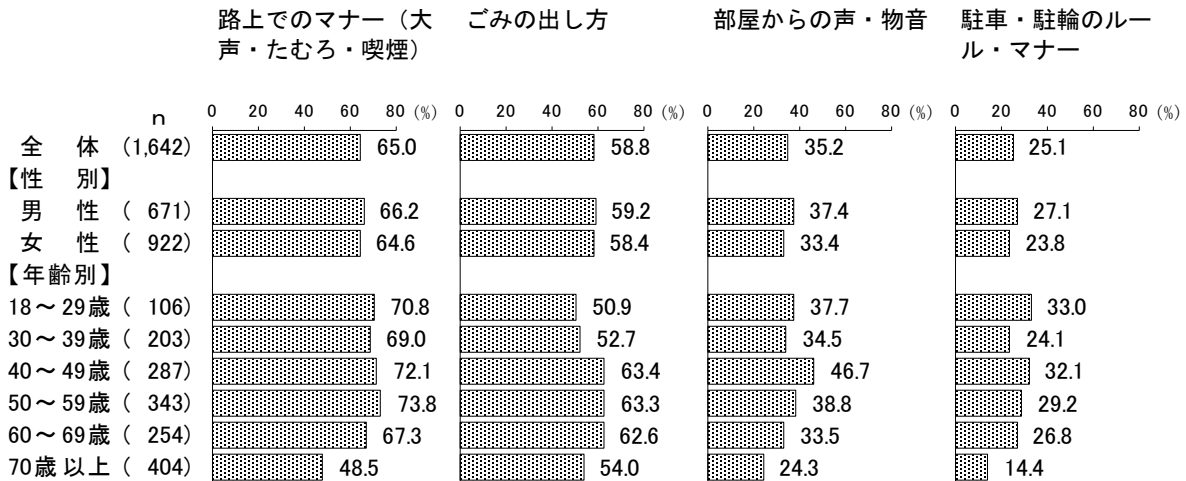
近くに住む外国人との関係でどのような点が改善されるとより共に生活しやすくなるか、また、外国人の場合は日本人との関係においてどのような点で困った経験があるかを聞いたところ、「路上でのマナー（大声・たむろ・喫煙）」（65.0%）が6割半ばで最も高く、次いで「ごみの出し方」（58.8%）、「部屋からの声・物音」（35.2%）、「駐車・駐輪のルール・マナー」（25.1%）となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「部屋からの声・物音」は男性（37.4%）が女性（33.4%）より4.0ポイント、「駐車・駐輪のルール・マナー」は男性（27.1%）が女性（23.8%）より3.3ポイント、それぞれ高くなっている。

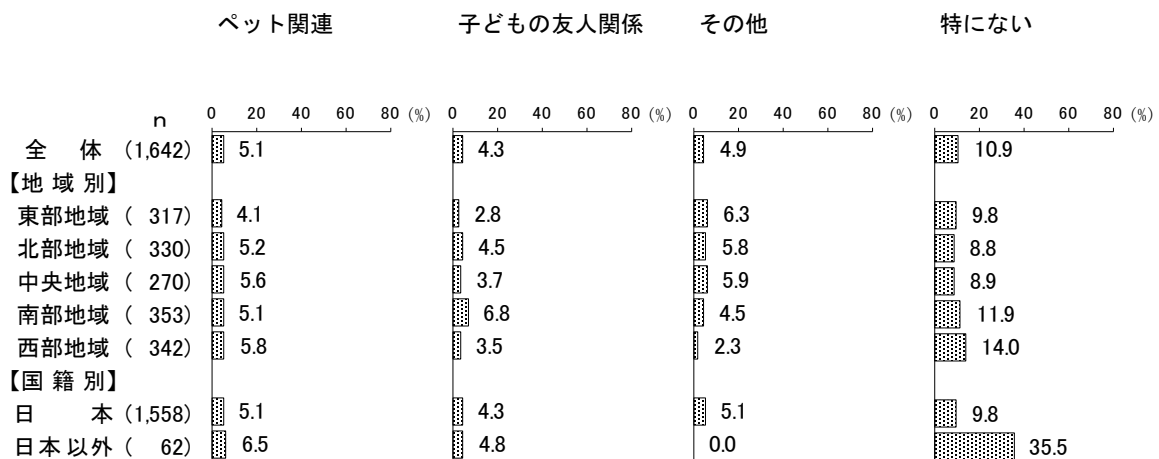
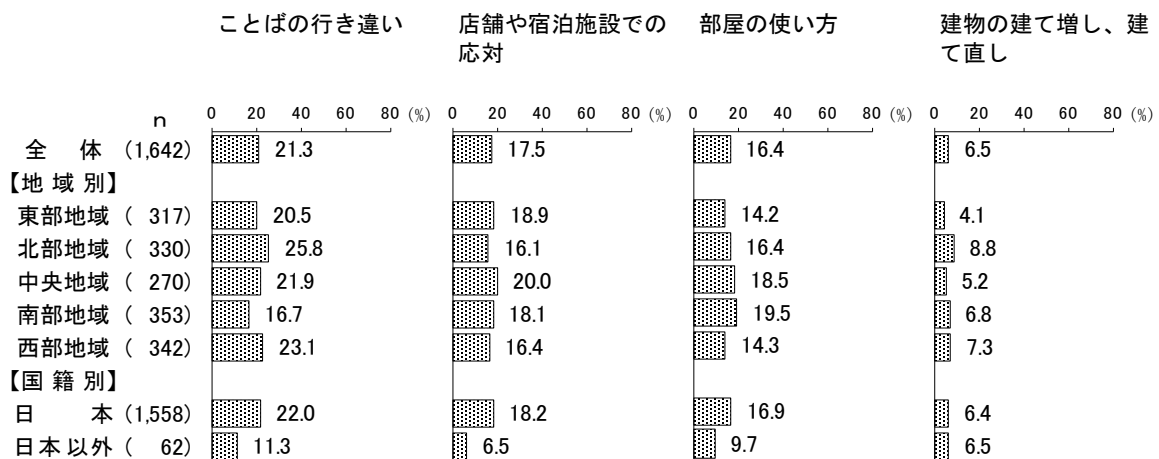
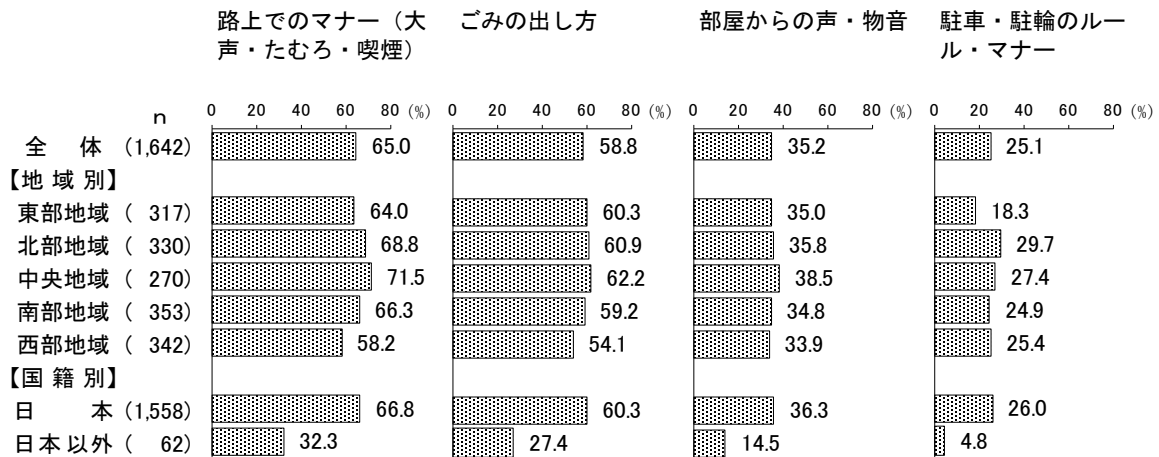
年齢別でみると、「部屋からの声・物音」は40～49歳（46.7%）で5割近くと高くなっている。「駐車・駐輪のルール・マナー」は18～29歳（33.0%）で3割を超えて高くなっている。



【地域別、国籍別】

地域別でみると、「路上でのマナー（大声・たむろ・喫煙）」は中央地域（71.5%）で7割を超えて高くなっている。

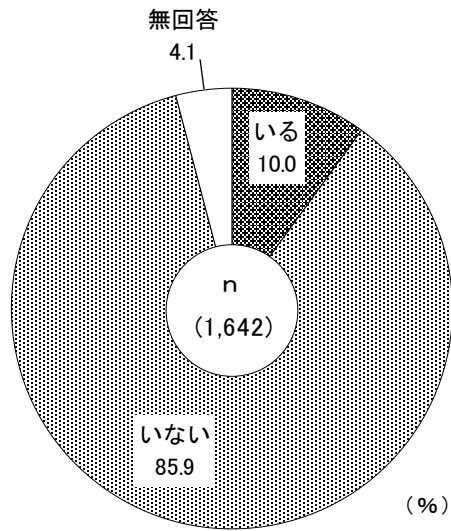
国籍別でみると、「路上でのマナー（大声・たむろ・喫煙）」は日本（66.8%）が日本以外（32.3%）より34.5ポイント、「ごみの出し方」は日本（60.3%）が日本以外（27.4%）より32.9ポイント、「部屋からの声・物音」は日本（36.3%）が日本以外（14.5%）より21.8ポイント、「駐車・駐輪のルール・マナー」は日本（26.0%）が日本以外（4.8%）より21.2ポイント、それぞれ高くなっている。



(2) 周囲で困っている外国人の有無

問 16 あなたの周りで困っている外国人の方はいますか。(1つに○)

周りで困っている外国人の方がいるか聞いたところ、「いる」(10.0%)が1割、「いない」(85.9%)が8割半ばとなっている。

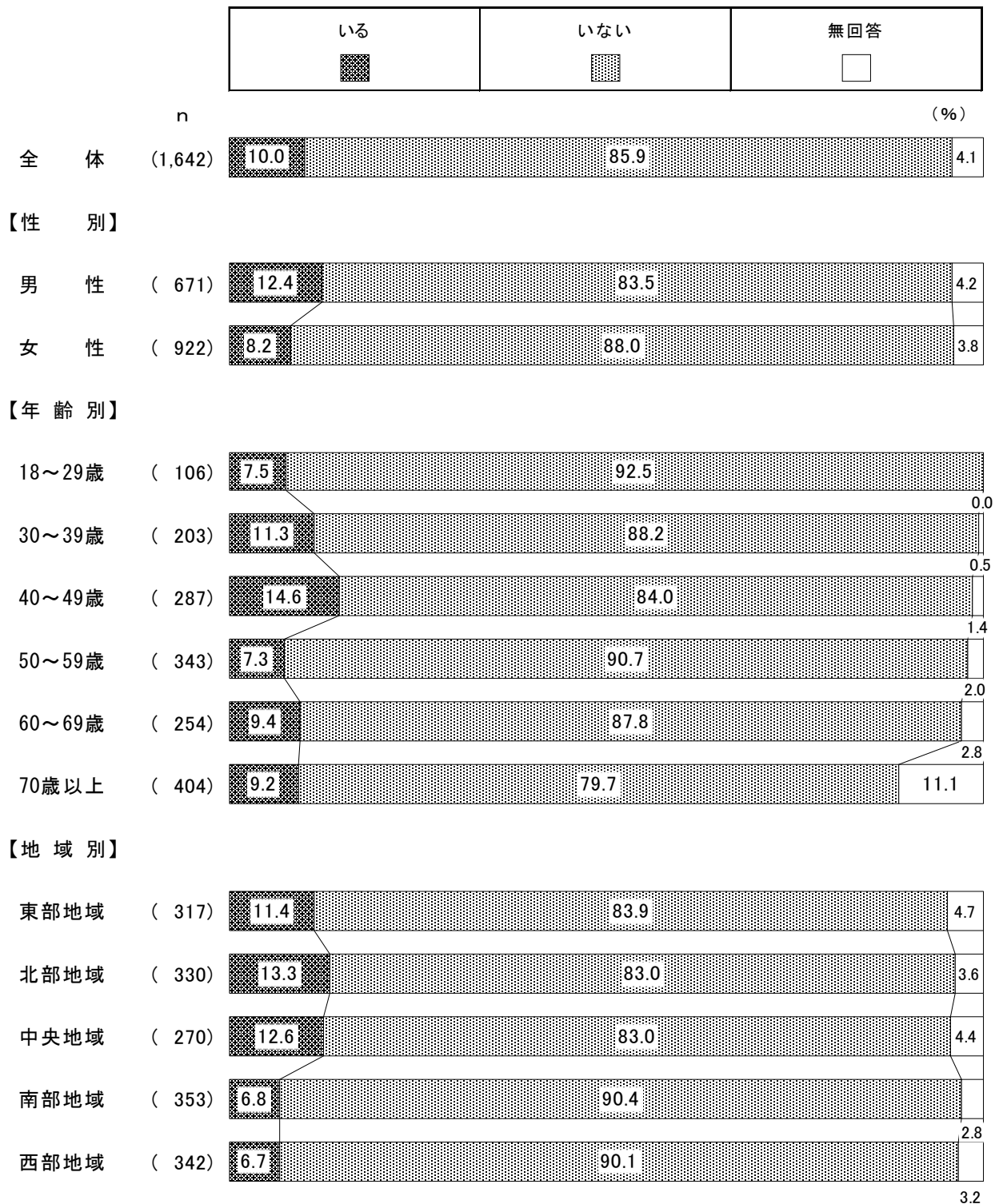


【性別、年齢別、地域別】

性別でみると、「いる」は男性（12.4%）が女性（8.2%）より4.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「いる」は40～49歳（14.6%）で1割半ばとなっている。

地域別でみると、「いる」は東部地域（11.4%）、北部地域（13.3%）、中央地域（12.6%）で1割台となっている。



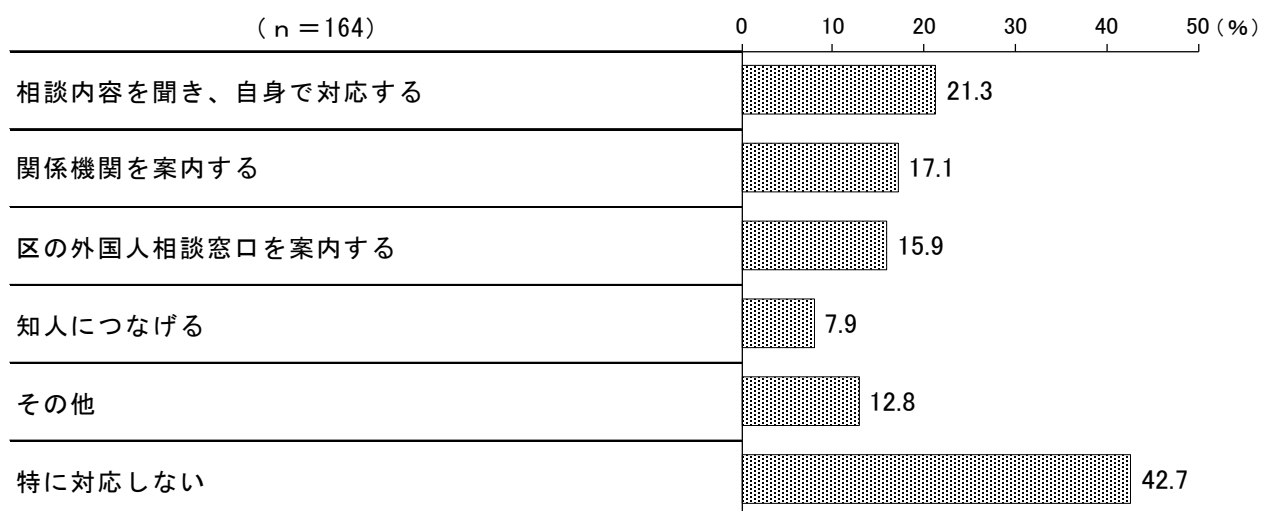
(3) 困っている外国人に対する対応方法

《問16で、「いる」とお答えの方におたずねします》

問16-1 困っている外国人の方がいた時に、あなたはどのように対応しますか。

(いくつでも○)

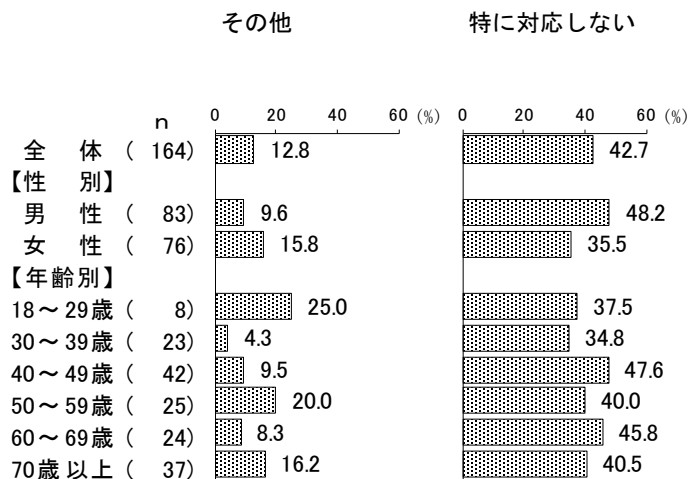
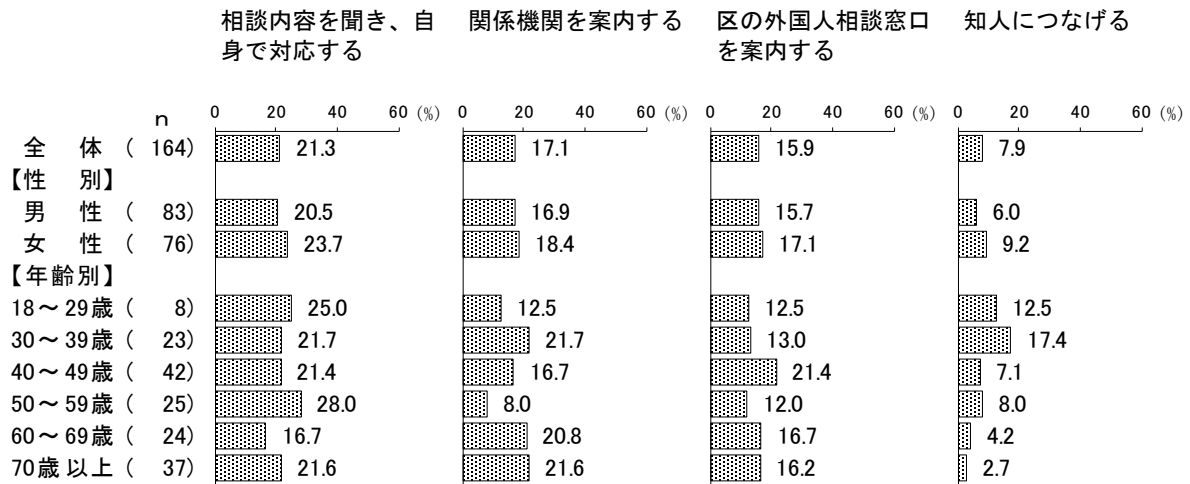
周りで困っている外国人の方が「いる」と答えた方に、困っている外国人の方がいた時にどのように対応するか聞いたところ、「相談内容を聞き、自身で対応する」(21.3%)が2割を超えて最も高く、次いで「関係機関を案内する」(17.1%)、「区の外国人相談窓口を案内する」(15.9%)となっている。一方、「特に対応しない」(42.7%)が4割を超えている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「相談内容を聞き、自身で対応する」は女性（23.7%）が男性（20.5%）より3.2ポイント、「知人につなげる」は女性（9.2%）が男性（6.0%）より3.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「特に対応しない」は男性（48.2%）が女性（35.5%）より12.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「相談内容を聞き、自身で対応する」は50～59歳（28.0%）で3割近くと高くなっている。「区の外国人相談窓口を案内する」は40～49歳（21.4%）で2割を超えて高くなっている。

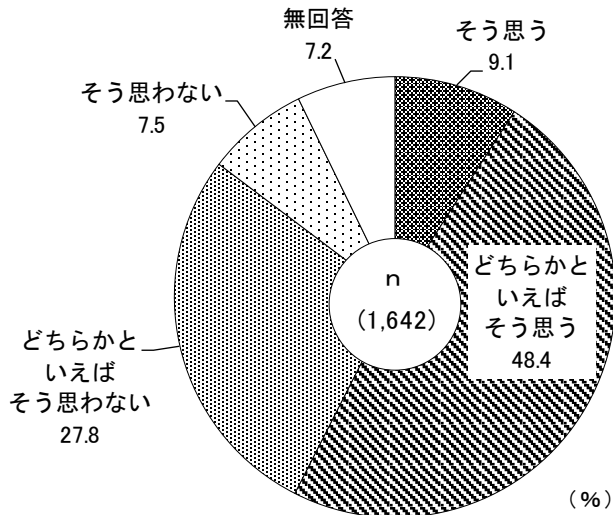


## 7. 区政のデジタル化について

### (1) 区政のデジタル化が進んでいると思うか

問17 あなたは区政のデジタル化が進んでいると思いますか。(1つに○)

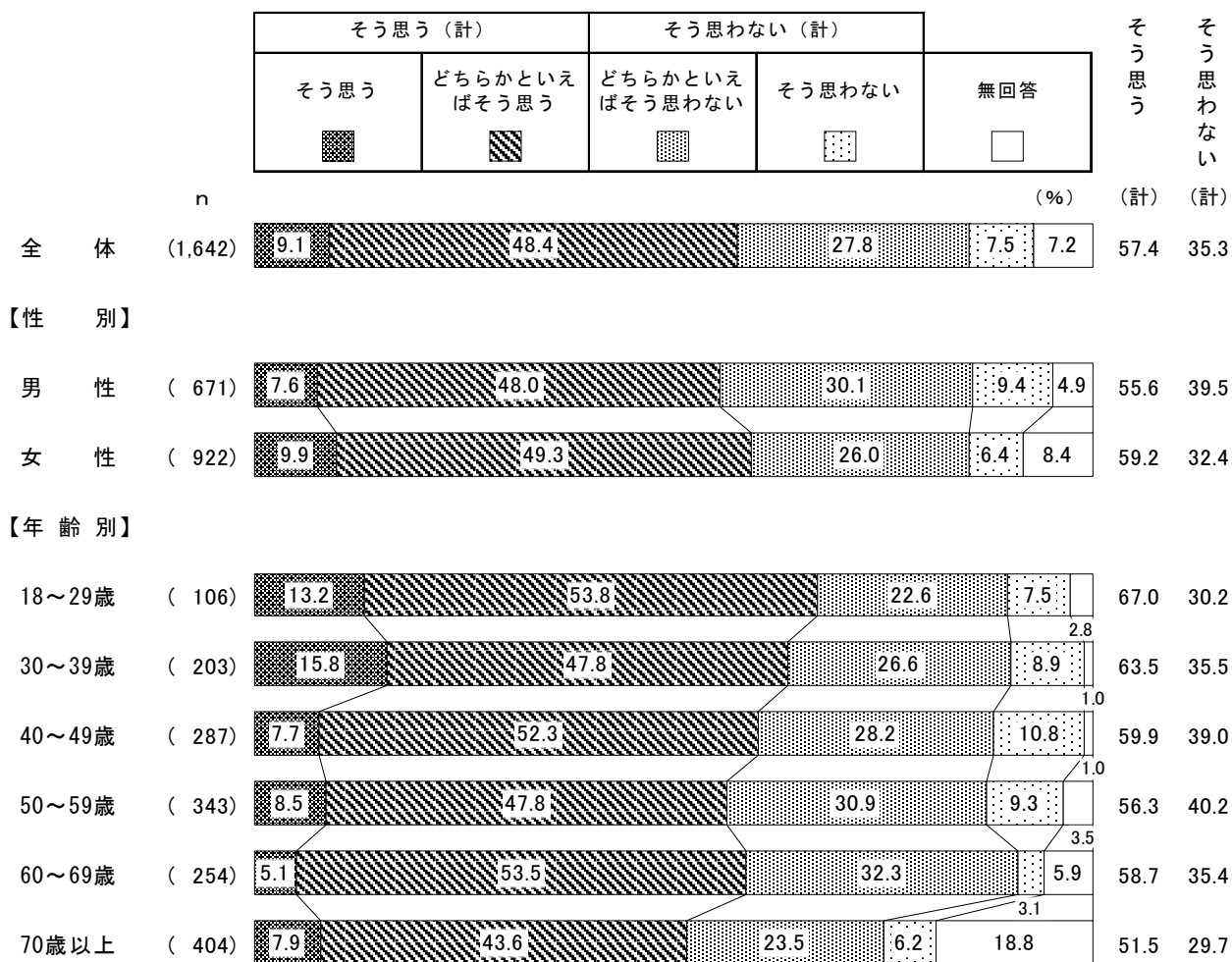
区政のデジタル化が進んでいると思うか聞いたところ、「そう思う」(9.1%)と「どちらかといえばそう思う」(48.4%)を合わせた『そう思う(計)』(57.4%)が6割近くとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(27.8%)と「そう思わない」(7.5%)を合わせた『そう思わない(計)』(35.3%)が3割半ばとなっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、『そう思う（計）』は女性（59.2%）が男性（55.6%）より3.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』はおおむね年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（67.0%）で7割近くとなっている。

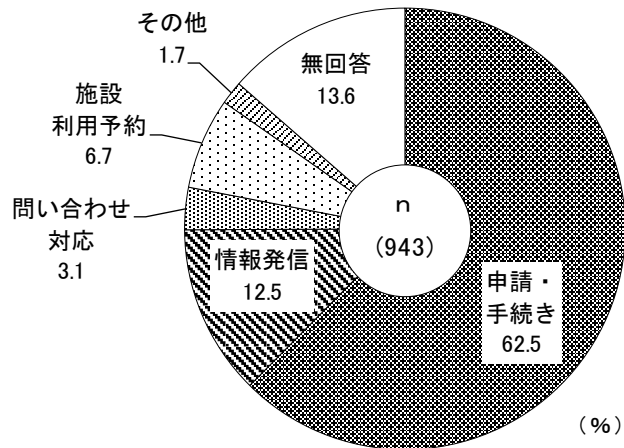


(2) デジタル化が進んでいると思う手続き

《問17で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」とお答えの方におたずねします》

問17-1 どのような手続きでデジタル化が進んでいると思いますか。(1つに〇)

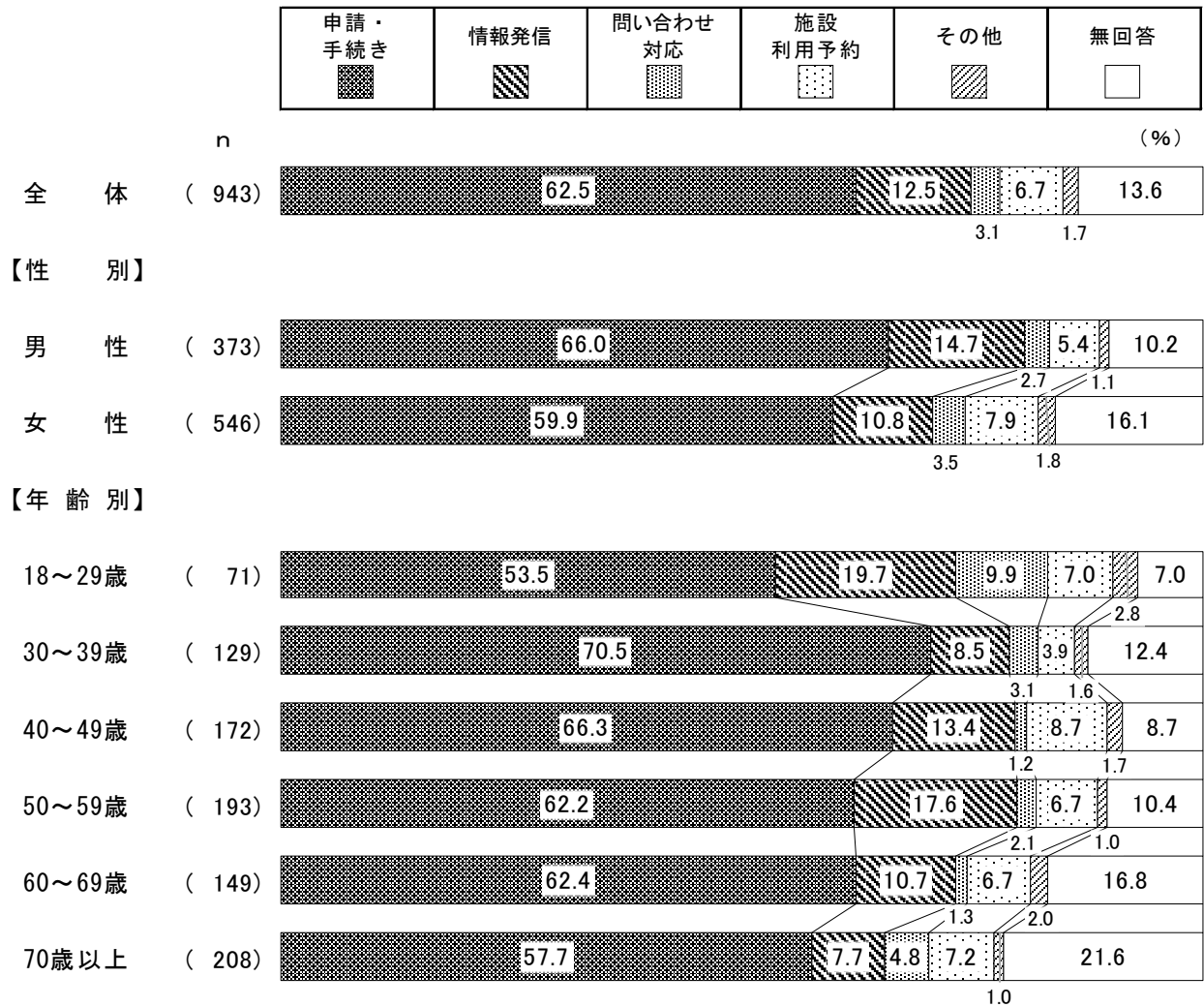
区政のデジタル化が進んでいると思うかについて「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方に、デジタル化が進んでいると思う手続きを聞いたところ、「申請・手続き」(62.5%)が6割を超えて最も高く、次いで「情報発信」(12.5%)、「施設利用予約」(6.7%)の順となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「申請・手続き」は男性（66.0%）が女性（59.9%）より6.1ポイント、「情報発信」は男性（14.7%）が女性（10.8%）より3.9ポイント、それぞれ高くなっている。

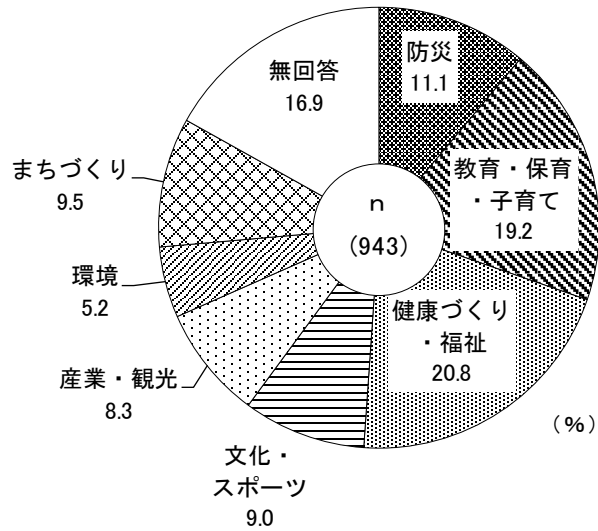
年齢別でみると、「申請・手続き」は30～39歳（70.5%）で約7割と高くなっている。



(3) デジタル化が進んでいると思う分野

《問17で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」とお答えの方におたずねします》  
 問17-2 どのような分野でデジタル化が進んでいると思いますか。(1つに〇)

区政のデジタル化が進んでいると思うかについて「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方に、デジタル化が進んでいると思う分野を聞いたところ、「健康づくり・福祉」(20.8%)が約2割で最も高く、次いで「教育・保育・子育て」(19.2%)、「防災」(11.1%)の順となっている。



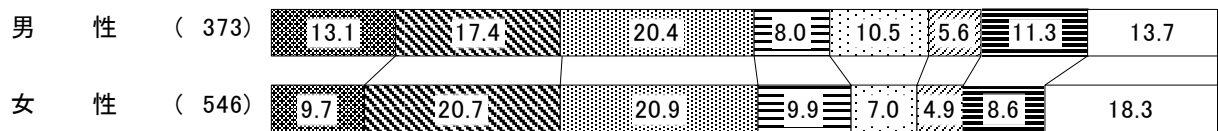
【性別、年齢別】

性別でみると、「産業・観光」は男性（10.5%）が女性（7.0%）より 3.5 ポイント、「防災」は男性（13.1%）が女性（9.7%）より 3.4 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「教育・保育・子育て」は女性（20.7%）が男性（17.4%）より 3.3 ポイント高くなっている。

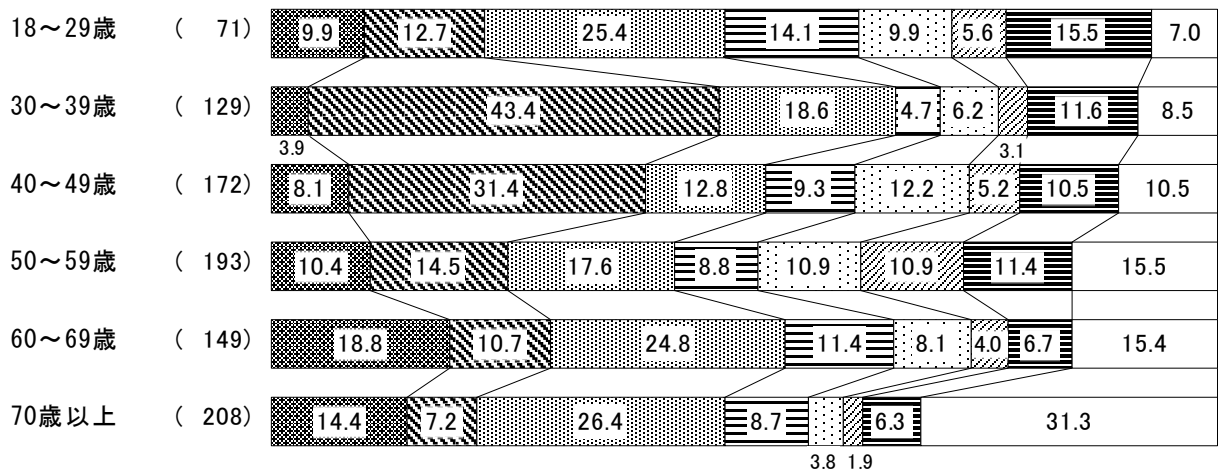
年齢別でみると、「教育・保育・子育て」は 30～39 歳（43.4%）で 4 割を超えて高くなっている。「健康づくり・福祉」は 18～29 歳（25.4%）、60～69 歳（24.8%）、70 歳以上（26.4%）で 2 割半ばと高くなっている。



【性別】



【年齢別】



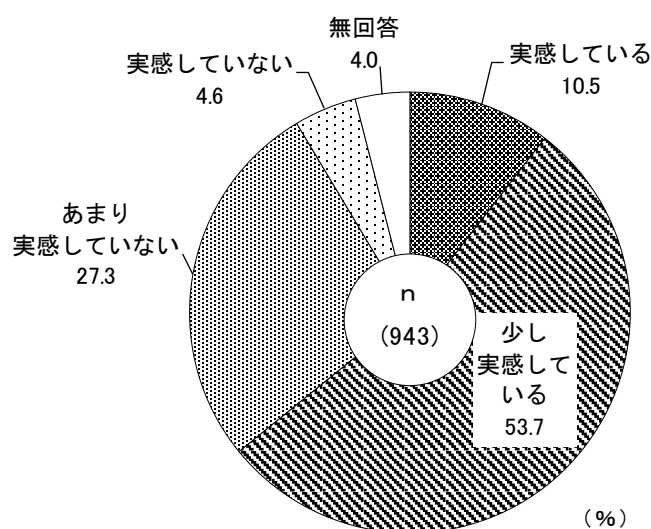
## (4) 区政のデジタル化が進んだことによる効果の実感

《問17で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」とお答えの方におたずねします》

問17-3 あなたは区政のデジタル化が進んだことによる効果を実感していますか。

(1つに〇)

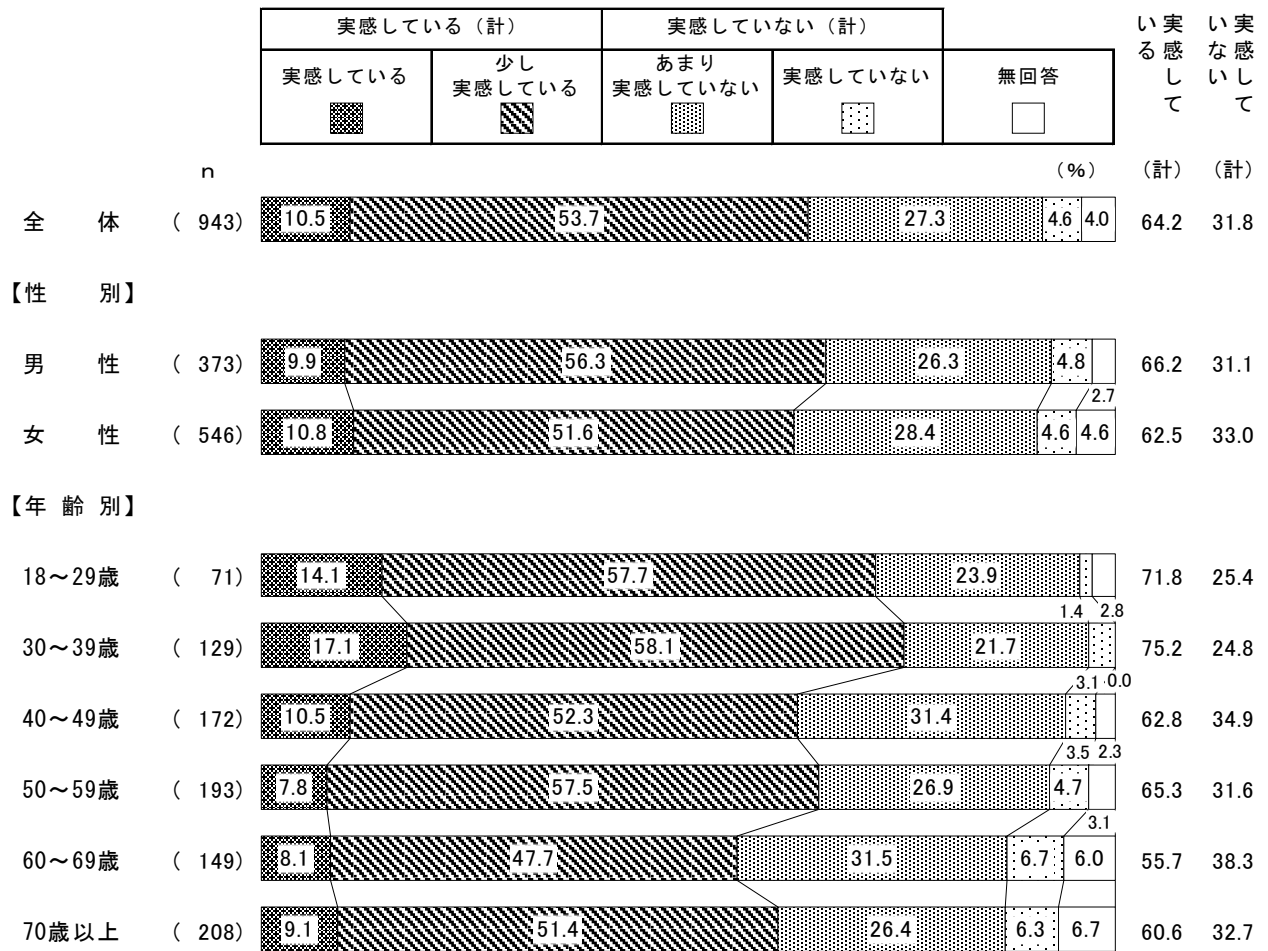
区政のデジタル化が進んでいると思うかについて「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方に、デジタル化が進んだことによる効果を実感しているか聞いたところ、「実感している」(10.5%)と「少し実感している」(53.7%)を合わせた『実感している(計)』(64.2%)が6割半ばとなっている。一方、「あまり実感していない」(27.3%)と「実感していない」(4.6%)を合わせた『実感していない(計)』(31.8%)が3割を超えている。



【性別、年齢別】

性別でみると、『実感している（計）』は男性（66.2%）が女性（62.5%）より3.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『実感している（計）』は30～39歳（75.2%）で7割半ばと高くなっている。一方、『実感していない（計）』は60～69歳（38.3%）で4割近くと高くなっている。

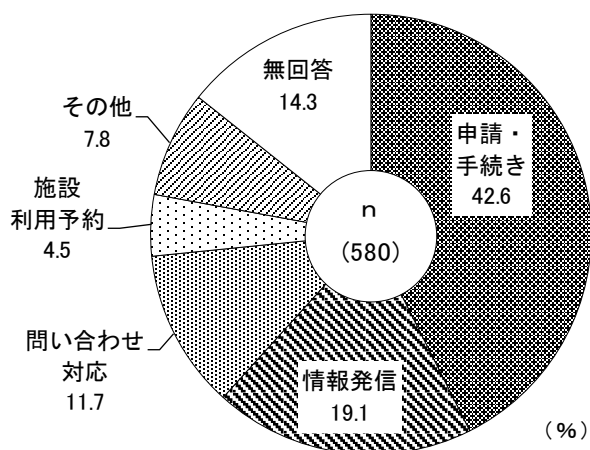


(5) デジタル化が進んでいないと思う手続き

《問17で「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」とお答えの方におたずねします》

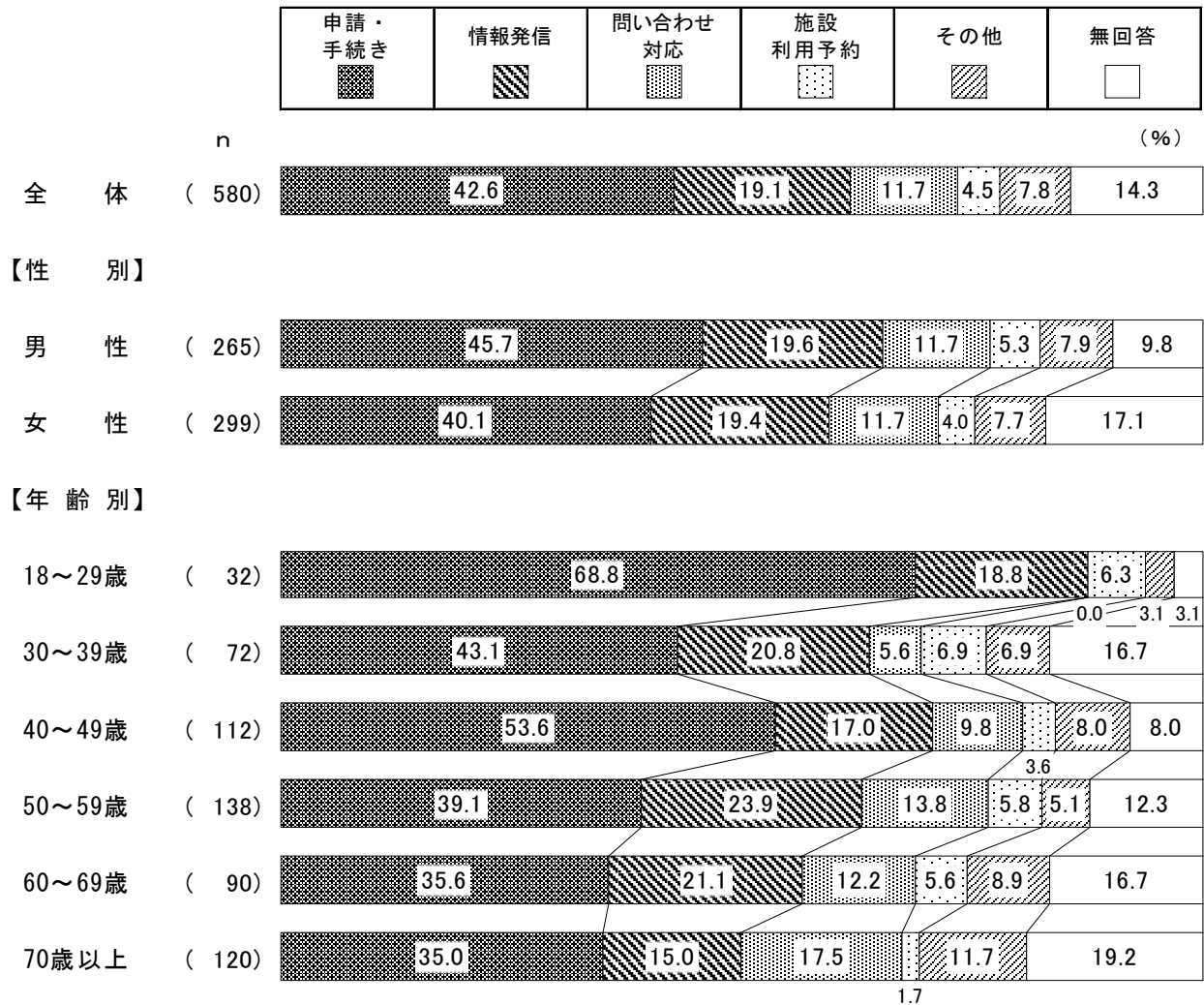
問17-4 どのような手続きでデジタル化が進んでいないと思いますか。(1つに〇)

区政のデジタル化が進んでいると思うかについて「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と答えた方に、デジタル化が進んでいないと思う手続きを聞いたところ、「申請・手続き」(42.6%)が4割を超えて最も高く、次いで「情報発信」(19.1%)、「問い合わせ対応」(11.7%)の順となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「申請・手続き」は男性（45.7%）が女性（40.1%）より5.6ポイント高くなっている。  
 年齢別でみると、「申請・手続き」は18～29歳（68.8%）で7割近くと高くなっている。

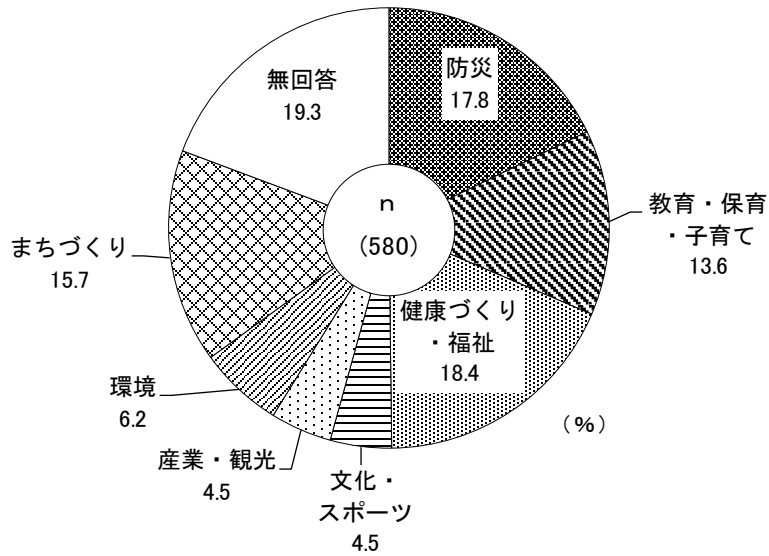


(6) デジタル化が進んでいないと思う分野

《問17で「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」とお答えの方におたずねします》

問17-5 どのような分野でデジタル化が進んでいないと思いますか。(1つに〇)

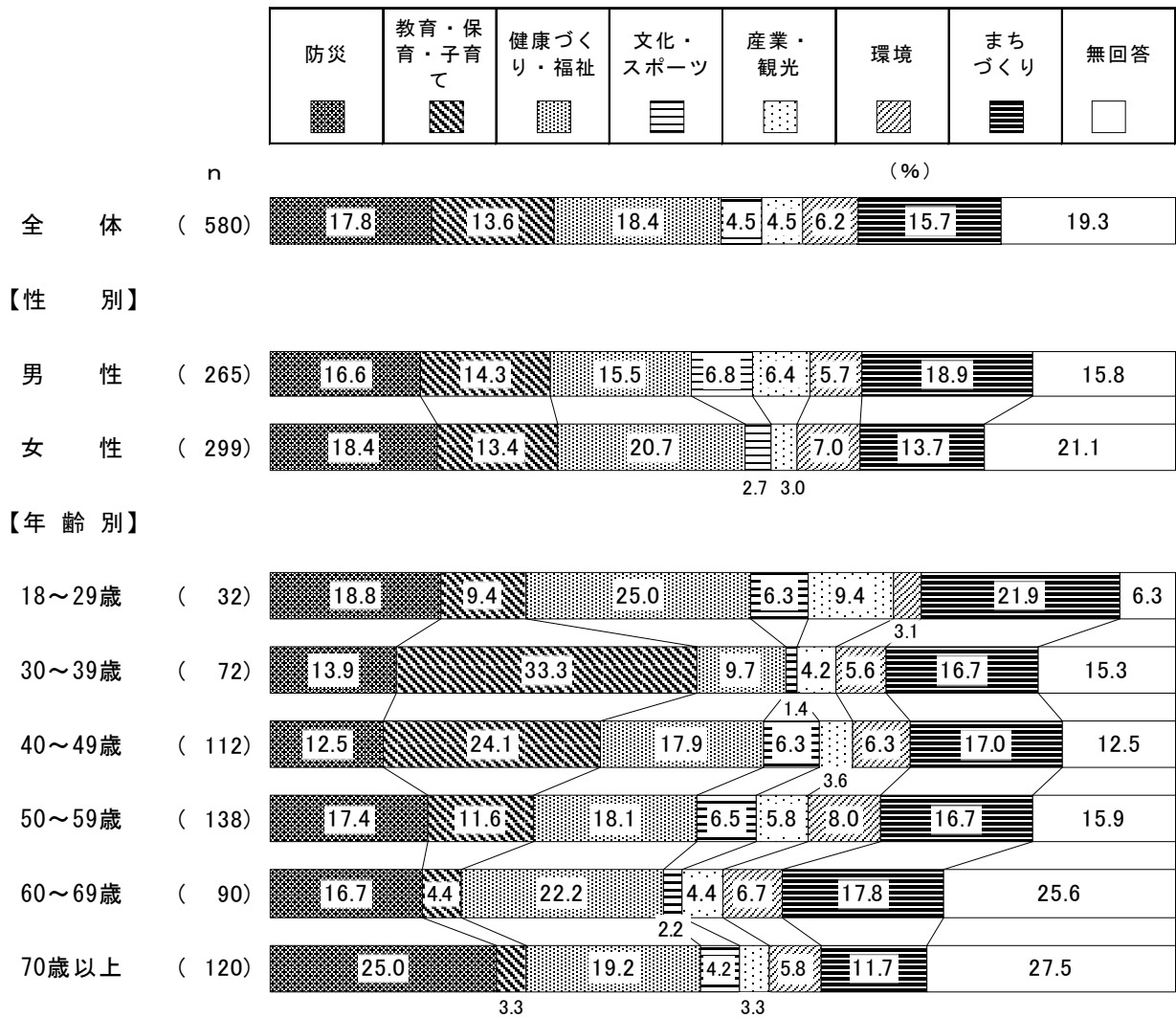
区政のデジタル化が進んでいると思うかについて「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と答えた方に、デジタル化が進んでいないと思う分野を聞いたところ、「健康づくり・福祉」(18.4%)が2割近くで最も高く、次いで「防災」(17.8%)、「まちづくり」(15.7%)、「教育・保育・子育て」(13.6%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「健康づくり・福祉」は女性（20.7%）が男性（15.5%）より5.2ポイント高くなっている。一方、「まちづくり」は男性（18.9%）が女性（13.7%）より5.2ポイント、「文化・スポーツ」は男性（6.8%）が女性（2.7%）より4.1ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「教育・保育・子育て」は30～39歳（33.3%）で3割を超えて高くなっている。「防災」は70歳以上（25.0%）で2割半ばと高くなっている。

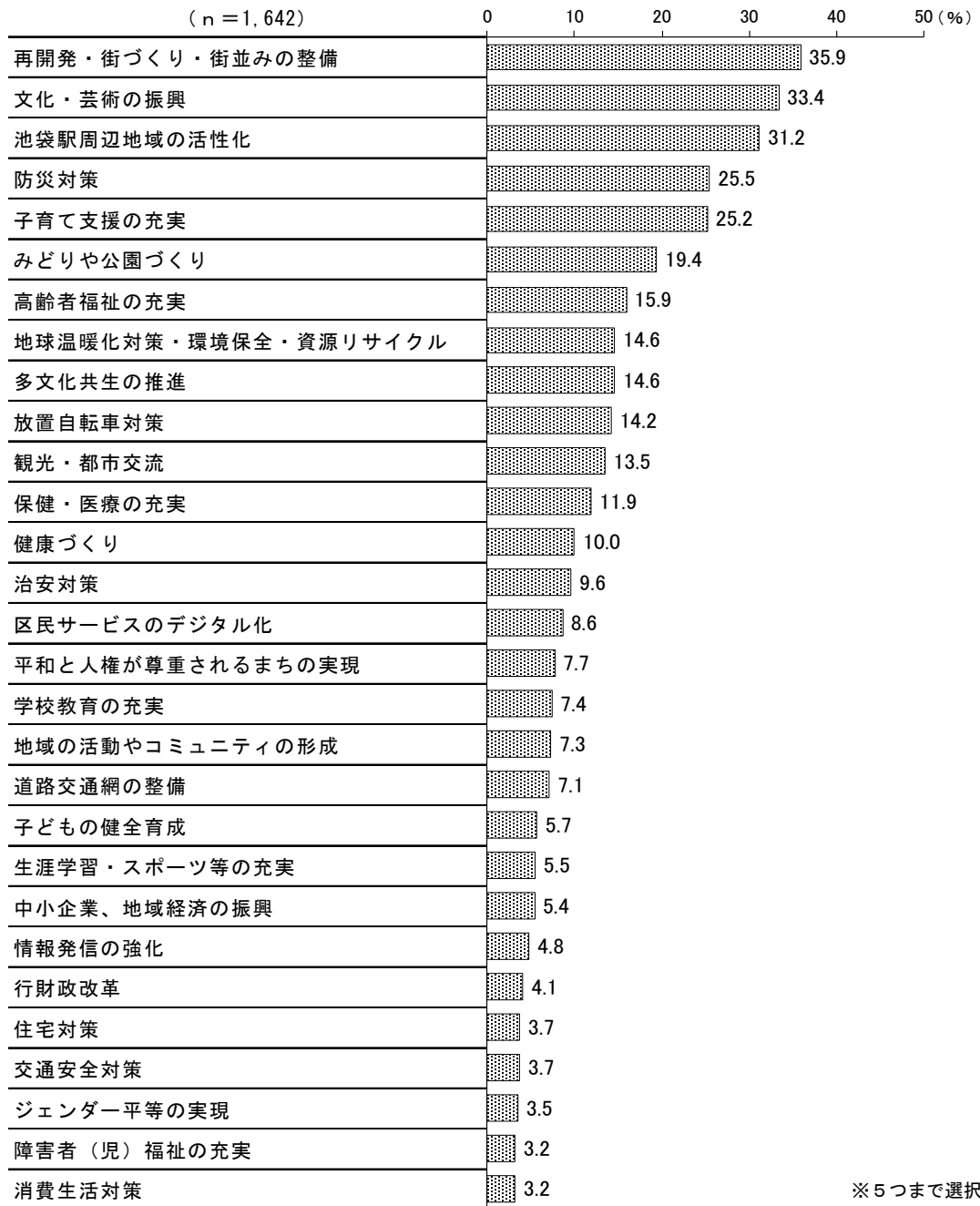


## 8. 区政全般への要望

### (1) 現在、区が力を入れていると思う施策

問 18 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。  
(○はそれぞれ5つまで)

現在、区が力を入れていると思う施策を聞いたところ、「再開発・街づくり・街並みの整備」(35.9%)が3割半ばで最も高く、次いで「文化・芸術の振興」(33.4%)、「池袋駅周辺地域の活性化」(31.2%)、「防災対策」(25.5%)となっている。



※「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は14.62% (小数点第2位まで)、「多文化共生の推進策」は14.56%

※「住宅対策」は3.71% (小数点第2位まで)、「交通安全対策」は3.65%

※「障害者(児)福祉の充実」は3.22% (小数点第2位まで)、「消費生活対策」は3.17%

【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位10項目の中で、令和6年度より順位が高くなったものは、「再開発・街づくり・街並みの整備」、「多文化共生の推進」の2項目となっている。

一方、上位10項目の中で、令和6年度より順位が低くなったものは、「文化・芸術の振興」、「放置自転車対策」の2項目となっている。

<令和7年度>			順位比較	<令和6年度>	
順位		%		順位	%
1	再開発・街づくり・街並みの整備	35.9	↖	2	30.5
2	文化・芸術の振興	33.4	↖	1	37.2
3	池袋駅周辺地域の活性化	31.2	←	3	30.3
4	防災対策	25.5	←	4	29.5
5	子育て支援の充実	25.2	←	5	26.9
6	みどりや公園づくり	19.4	←	6	24.7
7	高齢者福祉の充実	15.9	←	7	18.3
8	地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル	14.6	←	8	16.3
9	多文化共生の推進	14.6	↗	14	11.2
10	放置自転車対策	14.2	↖	9	14.3
11	観光・都市交流	13.5	←	11	13.3
12	保健・医療の充実	11.9	↖	10	14.0
13	健康づくり	10.0	↖	12	12.2
14	治安対策	9.6	↖	13	12.1
15	区民サービスのデジタル化	8.6	↗	18	6.9
16	平和と人権が尊重されるまちの実現	7.7	↗	20	5.4
17	学校教育の充実	7.4	↖	15	8.8
18	地域の活動やコミュニティの形成	7.3	↖	17	7.0
19	道路交通網の整備	7.1	↖	16	7.4
20	子どもの健全育成	5.7	↗	21	5.2
21	生涯学習・スポーツ等の充実	5.5	↖	19	6.5
22	中小企業、地域経済の振興	5.4	↗	27	3.3
23	情報発信の強化	4.8	↗	24	4.4
24	行財政改革	4.1	↗	29	3.0
25	住宅対策	3.7	↗	26	3.8
26	交通安全対策	3.7	↖	23	4.5
27	ジェンダー平等の実現	3.5	↖	22	4.5
28	障害者（児）福祉の充実	3.2	↖	25	4.2
29	消費生活対策	3.2	↖	28	3.2

※「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は14.62%（小数点第2位まで）、「多文化共生の推進策」は14.56%

※「住宅対策」は3.71%（小数点第2位まで）、「交通安全対策」は3.65%

※「障害者（児）福祉の充実」は3.22%（小数点第2位まで）、「消費生活対策」は3.17%

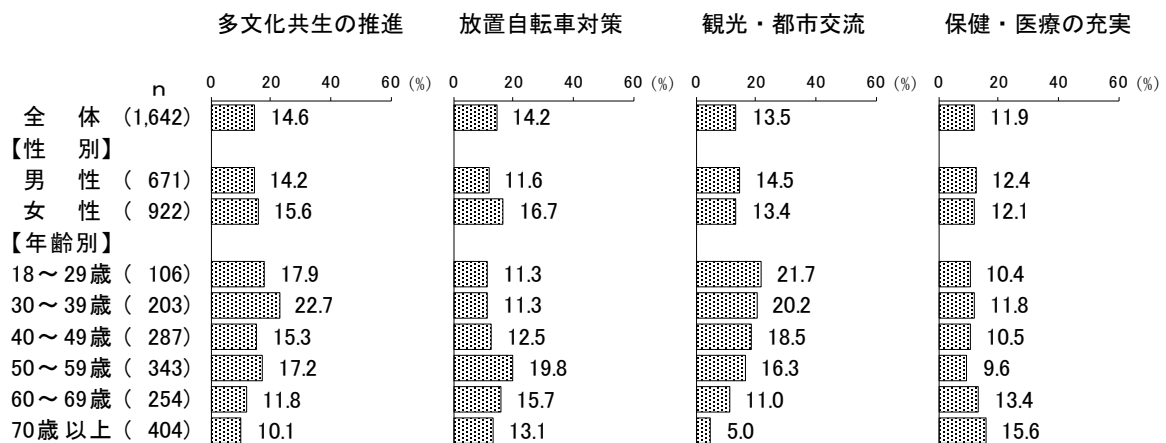
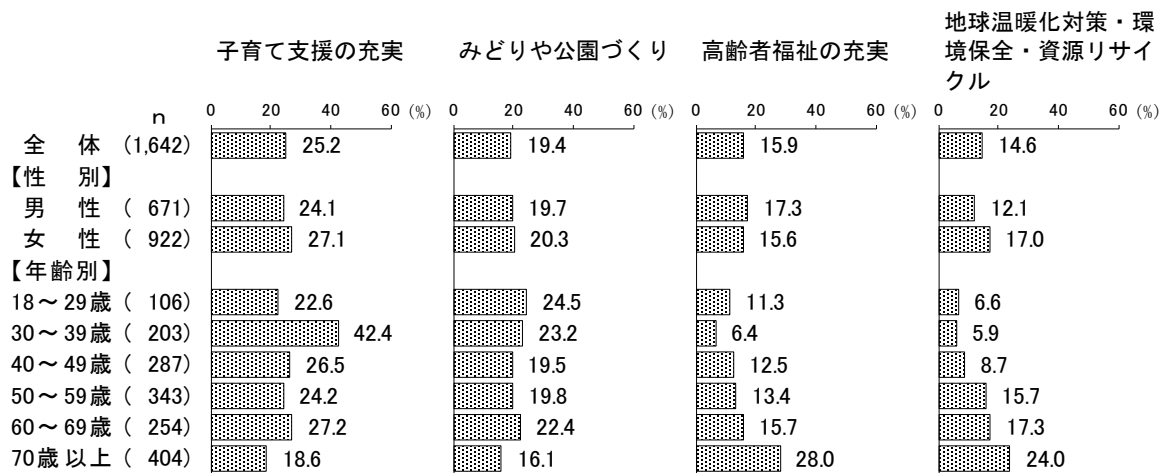
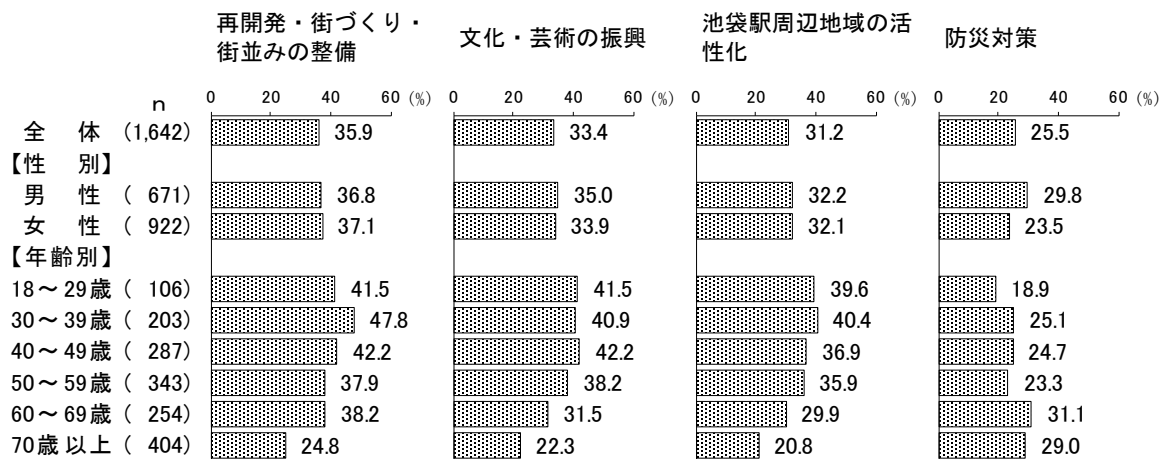
※「平和と人権が尊重されるまちの実現」は令和6年度調査では「平和の重要性に関する教育・啓発活動」

※「ジェンダー平等の実現」は令和6年度調査では「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」

【性別、年齢別】（上位12項目）

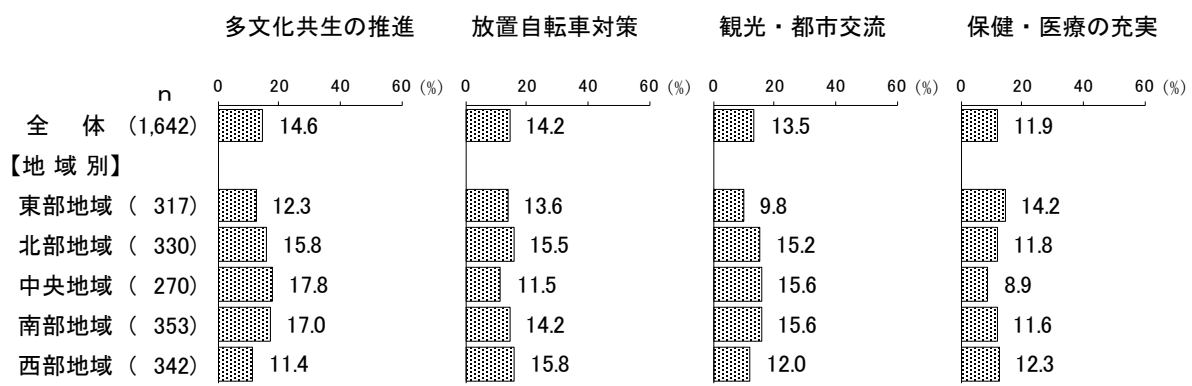
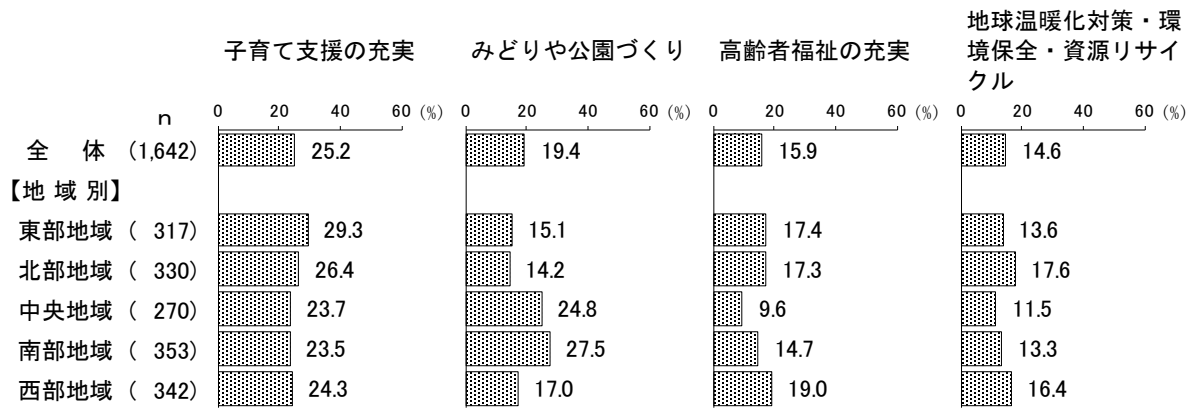
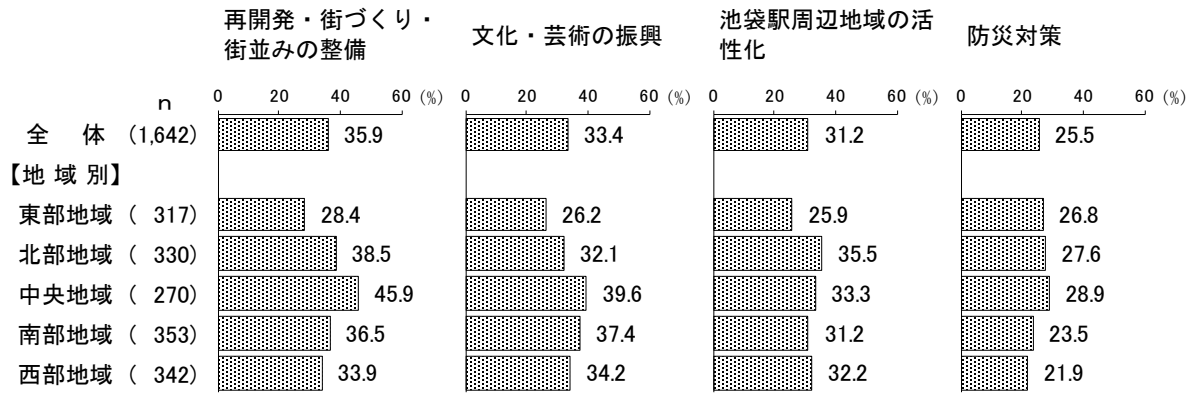
性別でみると、「防災対策」は男性（29.8%）が女性（23.5%）より6.3ポイント高くなっている。一方、「子育て支援の充実」は女性（27.1%）が男性（24.1%）より3.0ポイント、「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は女性（17.0%）が男性（12.1%）より4.9ポイント、「放置自転車対策」は女性（16.7%）が男性（11.6%）より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は30～39歳（47.8%）で5割近くと高くなっている。「文化・芸術の振興」は18～29歳（41.5%）、30～39歳（40.9%）、40～49歳（42.2%）で4割台と高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

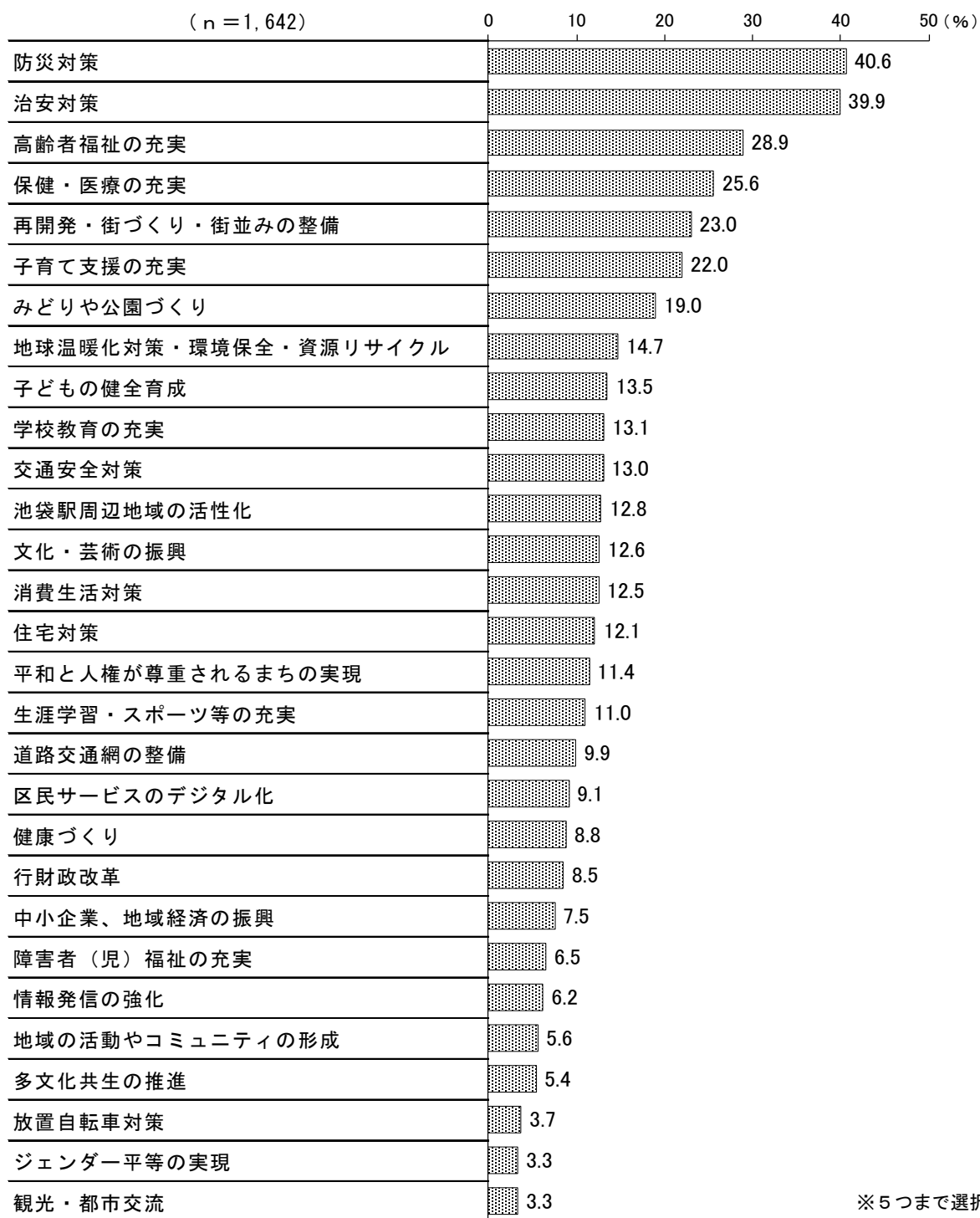
地域別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（45.9%）で4割半ばと高くなっている。「文化・芸術の振興」も中央地域（39.6%）で約4割と高くなっている。



(2) 特に力を入れてほしいと思う施策

問 18 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。  
(〇はそれぞれ5つまで)

特に力を入れてほしいと思う施策を聞いたところ、「防災対策」(40.6%)が約4割で最も高く、次いで「治安対策」(39.9%)、「高齢者福祉の充実」(28.9%)、「保健・医療の充実」(25.6%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位10項目の中で、令和6年度より順位が高くなったものは、「再開発・街づくり・街並みの整備」、「子どもの健全育成」の2項目となっている。

一方、上位10項目の中で、令和6年度より順位が低くなったものは、「子育て支援の充実」、「学校教育の充実」の2項目となっている。

＜令和7年度＞			順位比較	＜令和6年度＞	
順位		%		順位	%
1	防災対策	40.6	←-----	1	44.0
2	治安対策	39.9	←-----	2	40.7
3	高齢者福祉の充実	28.9	←-----	3	27.3
4	保健・医療の充実	25.6	←-----	4	24.4
5	再開発・街づくり・街並みの整備	23.0	↗-----	6	21.6
6	子育て支援の充実	22.0	↘-----	5	23.6
7	みどりや公園づくり	19.0	←-----	7	19.3
8	地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル	14.7	←-----	8	15.3
9	子どもの健全育成	13.5	↗-----	10	14.1
10	学校教育の充実	13.1	↘-----	9	14.4
11	交通安全対策	13.0	←-----	11	13.9
12	池袋駅周辺地域の活性化	12.8	↗-----	14	11.8
13	文化・芸術の振興	12.6	←-----	13	12.1
14	消費生活対策	12.5	↘-----	12	12.9
15	住宅対策	12.1	↗-----	16	10.1
16	平和と人権が尊重されるまちの実現	11.4	↘-----	20	8.4
17	生涯学習・スポーツ等の充実	11.0	←-----	17	9.4
18	道路交通網の整備	9.9	←-----	18	9.0
19	区民サービスのデジタル化	9.1	↗-----	15	11.2
20	健康づくり	8.8	↘-----	19	8.8
21	行財政改革	8.5	↗-----	22	7.8
22	中小企業、地域経済の振興	7.5	↘-----	21	8.0
23	障害者（児）福祉の充実	6.5	↗-----	24	7.0
24	情報発信の強化	6.2	↘-----	23	7.3
25	地域の活動やコミュニティの形成	5.6	↗-----	26	5.6
26	多文化共生の推進	5.4	↘-----	25	6.8
27	放置自転車対策	3.7	↗-----	28	4.5
28	ジェンダー平等の実現	3.3	↘-----	26	5.6
28	観光・都市交流	3.3	↗-----	29	3.9

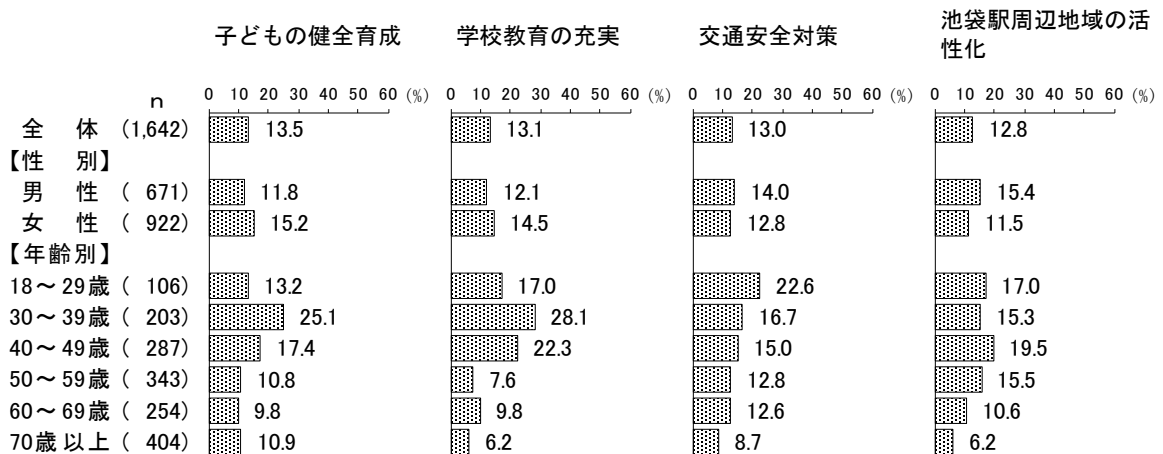
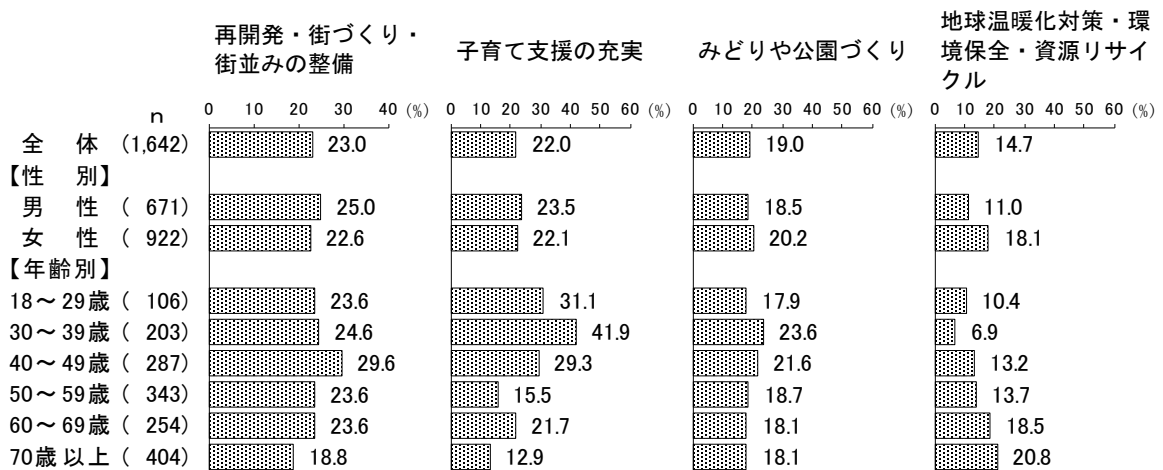
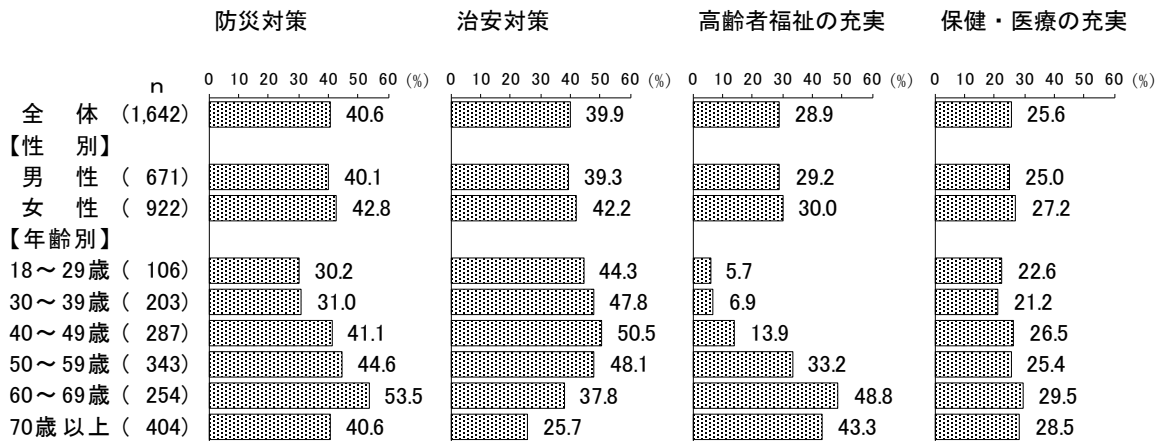
※「平和と人権が尊重されるまちの実現」は令和6年度調査では「平和の重要性に関する教育・啓発活動」

※「ジェンダー平等の実現」は令和6年度調査では「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」

【性別、年齢別】（上位12項目）

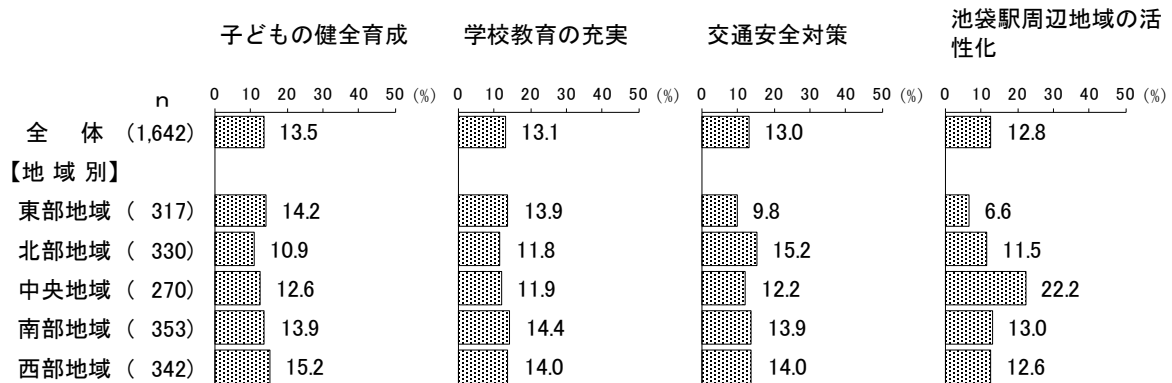
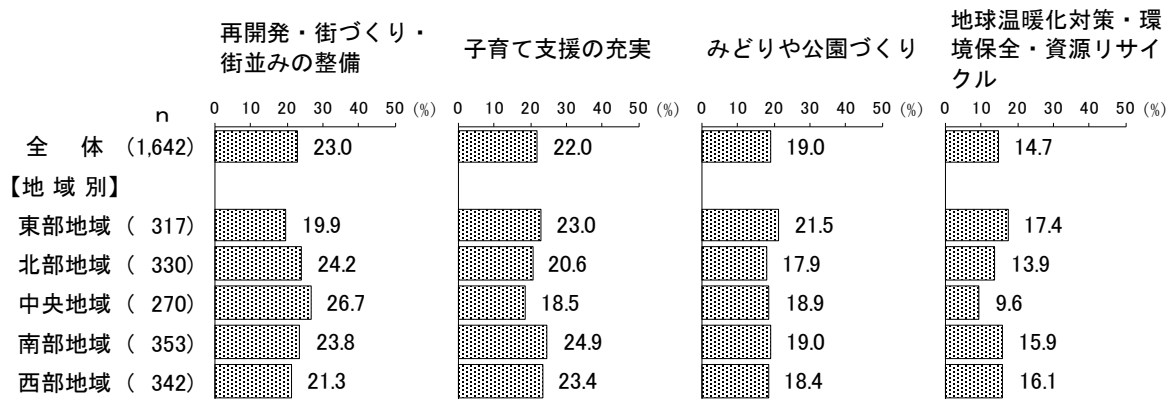
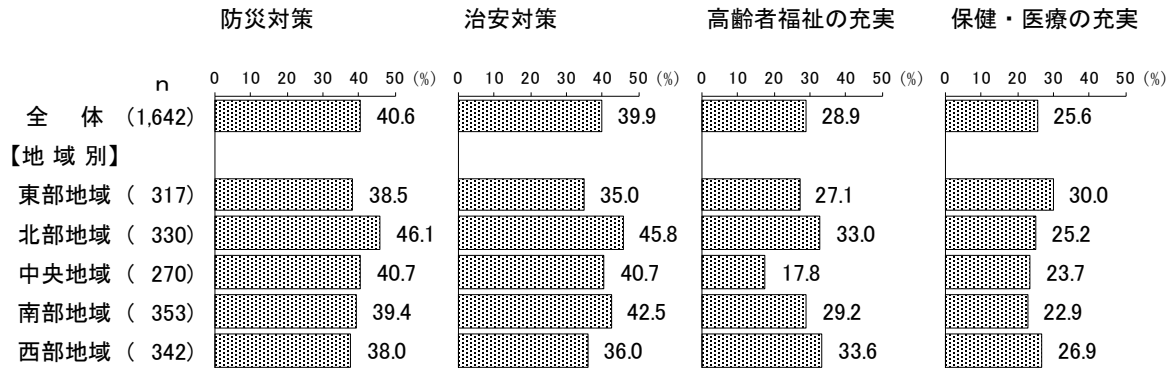
性別でみると「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は女性（18.1%）が男性（11.0%）より7.1ポイント、「子どもの健全育成」は女性（15.2%）が男性（11.8%）より3.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「池袋駅周辺地域の活性化」は男性（15.4%）が女性（11.5%）より3.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「防災対策」は60～69歳（53.5%）で5割半ばと高くなっている。「治安対策」は40～49歳（50.5%）で5割を超えて高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

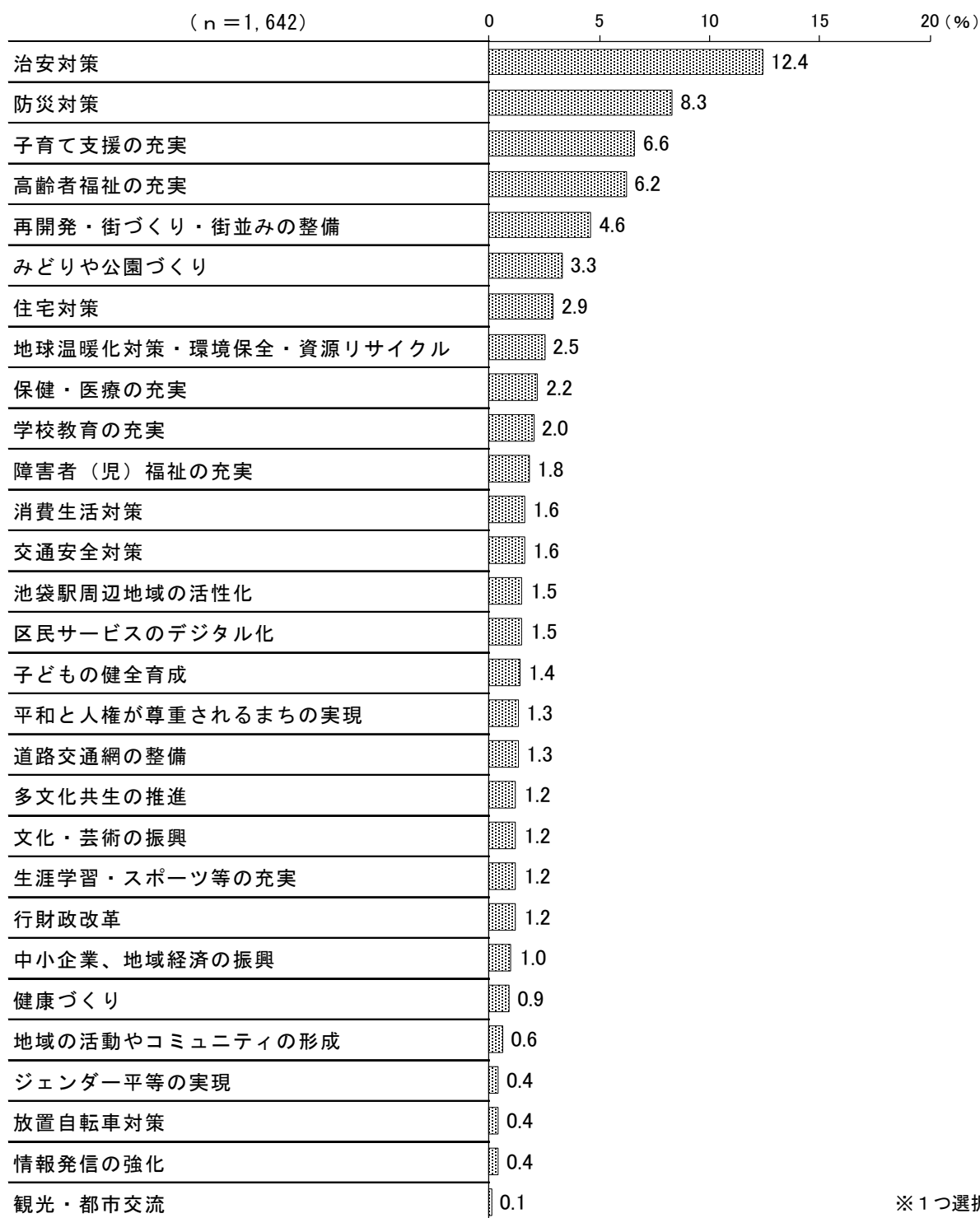
地域別でみると、「防災対策」は北部地域（46.1%）で4割半ばと高くなっている。「治安対策」も北部地域（45.8%）で4割半ばと高くなっている。



(3) 一番力を入れてほしいと思う施策

問 18-1 問 18 で選んだ 5 つの「特に力を入れてほしいと思う施策」の中で、一番力を入れてほしいものの番号とその理由を書いてください。

特に力を入れてほしいと思う施策の中で、一番力を入れてほしいものを聞いたところ、「治安対策」(12.4%) が 1 割を超えて最も高く、次いで「防災対策」(8.3%)、「子育て支援の充実」(6.6%)、「高齢者福祉の充実」(6.2%) となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位10項目の中で、令和6年度より順位が高くなったものは、「住宅対策」、「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」の2項目となっている。

一方、上位10項目の中で、令和6年度より順位が低くなったものは、「学校教育の充実」の1項目となっている。

<令和7年度>			順位比較	<令和6年度>	
順位		%		順位	%
1	治安対策	12.4	←-----	1	13.3
2	防災対策	8.3	←-----	2	10.0
3	子育て支援の充実	6.6	←-----	3	6.5
4	高齢者福祉の充実	6.2	←-----	4	6.1
5	再開発・街づくり・街並みの整備	4.6	←-----	5	5.0
6	みどりや公園づくり	3.3	←-----	6	3.1
7	住宅対策	2.9	↗	13	1.7
8	地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル	2.5	↗	10	2.0
9	保健・医療の充実	2.2	←-----	9	2.1
10	学校教育の充実	2.0	↘	7	2.7
11	障害者（児）福祉の充実	1.8	↘	16	1.5
12	消費生活対策	1.6	↗	14	1.6
13	交通安全対策	1.6	↘	8	2.5
14	池袋駅周辺地域の活性化	1.5	↗	22	1.1
14	区民サービスのデジタル化	1.5	↘	11	1.9
16	子どもの健全育成	1.4	←-----	16	1.5
17	平和と人権が尊重されるまちの実現	1.3	↗	19	1.2
17	道路交通網の整備	1.3	↘	11	1.9
19	多文化共生の推進	1.2	↗	24	0.8
19	文化・芸術の振興	1.2	↘	14	1.6
19	生涯学習・スポーツ等の充実	1.2	↗	21	1.1
22	行財政改革	1.2	↘	18	1.3
23	中小企業、地域経済の振興	1.0	↘	19	1.2
24	健康づくり	0.9	↘	26	0.5
25	地域の活動やコミュニティの形成	0.6	↘	23	0.9
26	ジェンダー平等の実現	0.4	↘	25	0.5
27	放置自転車対策	0.4	↗	28	0.2
27	情報発信の強化	0.4	↗	29	0.2
29	観光・都市交流	0.1	↘	27	0.3

※「平和と人権が尊重されるまちの実現」は令和6年度調査では「平和の重要性に関する教育・啓発活動」

※「ジェンダー平等の実現」は令和6年度調査では「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」

【主な理由】

一番力を入れてほしい施策と、その理由をあげた。

上位 10 位の施策を掲載している。

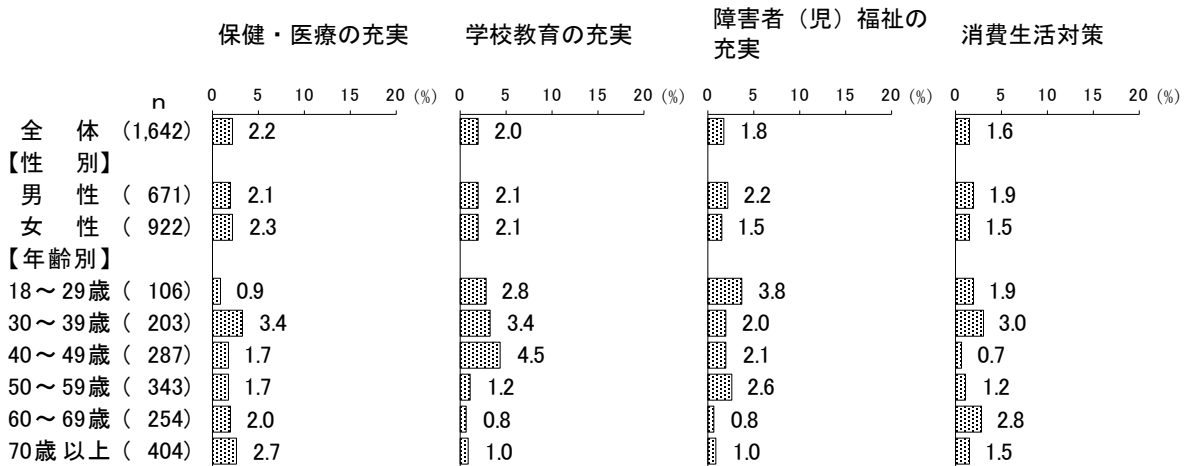
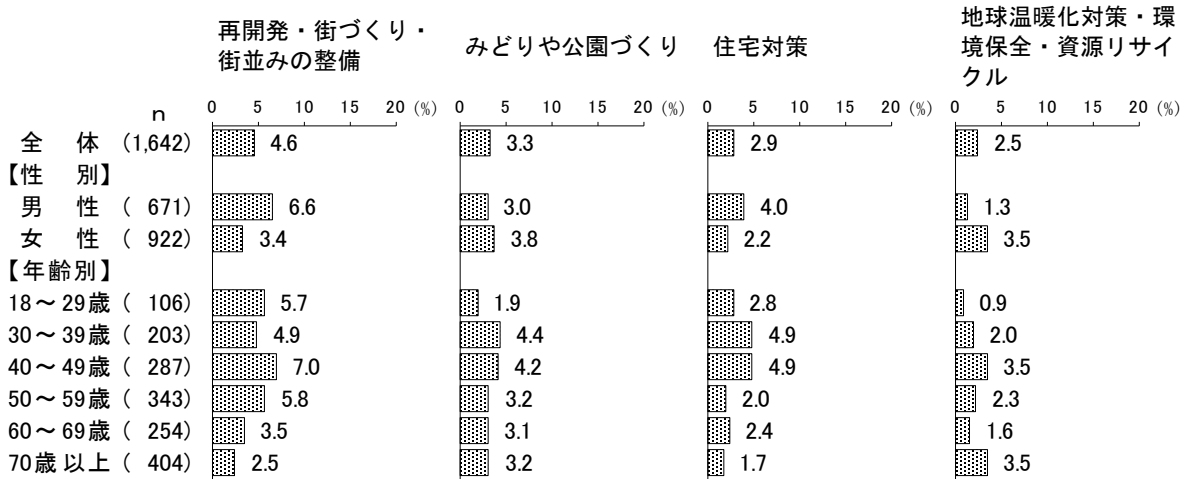
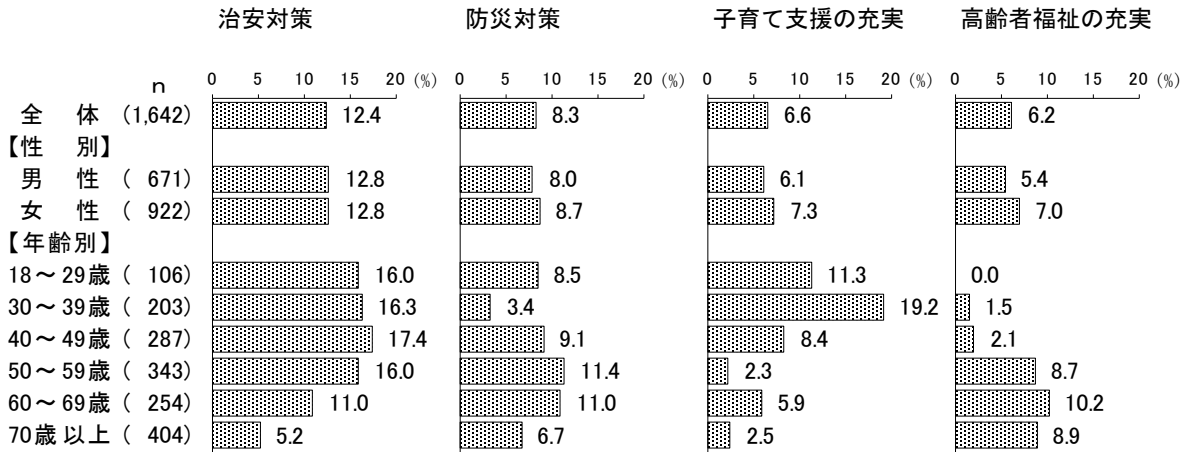
施策	主な理由
治安対策	最近、池袋の西口、北口方向の住宅地付近にまで怪しい客引きが増えてきているので一日も早く改善してもらいたいです。
	住宅街周辺で不審者が出没しています。安全で住みやすい環境、防犯パトロールの強化を望みます。
	近年、外国人の増加などにより地域コミュニティとの摩擦や不理解が起きている部分があり、治安に対する不安を感じる場所があるから。
防災対策	防災対策情報の発信をわかりやすく、もっと喚起する発信をして欲しい。被災時想定した訓練を地域ごとに実施して欲しい。避難場所への行き方、食料、水の補給等の指導。
	いつどこで災害が発生するかわからない状況の為、日頃から地域のコミュニティを強化すると共に防災意識を高める取り組みをしていただきたいと思います。
	今後、起こり得る災害に備えて、被災した時の区としての対応の早さと充実さが、23区で一番と言えるほどに力を入れてほしい。また、各世帯に対して防災用品を配布して、個人個人の防災の意識を高めていく施策をしてほしい。
子育て支援の充実	子供がいるので、保育費の支援や病児保育、教育施設が充実していたりと、子育て支援の充実度を住む場所を決めるときに重要視しているため。
	既に他の区と比較しても豊島区は出産後の支援が充実していて有り難いですが、子供が大きくなるにつれてお金がどんどんかかってくるので短期的な支援ではなく子供が成長していく過程において適切な支援をしていただけると親としては大変助かるため。
	子育て支援が充実すれば人口が増え、長期的に見て豊島区の発展につながると思う。
高齢者福祉の充実	高齢者が福祉を使いながら自立した生活を送ることは社会の活性化につながるから。
	介護認定の判断が厳しく、本当に困っている家族やご本人がいろんなサービスを利用したくてもできていない。事業所等も減ってきている。
	自身もいずれ高齢者福祉を受ける年齢が近くなってきた。シニアになっても買い物、病院が徒歩圏で便利であるため、郊外へ転居するつもりはないので、高齢者が安心して老後も住み続けなくなるような、施策をお願いしたい。
再開発・街づくり・街並みの整備	東口、西口とも池袋は再開発しているが、渋谷、新宿のような、ただの高いビルが建っただけで個性がない。
	豊島区の発展の為には魅力的な街づくりが必要だと思うから。やはり他区や他県から行きたいと思ってもらえれば、区としては潤うのではないのでしょうか。
	池袋駅周辺はこの半世紀以上ほぼ変わっていない。例えば渋谷は40年前と比べるとガラリと変わって魅力ある駅周辺になっている。池袋も構想はあるが遅々として進んでいない。今この現代において何年も続いているこの池袋駅周辺の現状が魅力ある街になっているのであろうか。

施策	主な理由
みどりや公園づくり	緑がどんどんなくなっていく。これは区としてやっていかないと、個人ではできない。小さな土地を公園にしているが、それがまとめて緑の多い少し広い公園などができるの良い。住みやすさ、避難場所、色々なことにも繋がっていくはず。
	散歩したくなるような遊歩道、公園や庭園が近所に全くないので、住んでいても全くリフレッシュされない。
	綺麗な公園はあっても、広くて遊具の充実した公園がなく、他の区まで出かけているから。
住宅対策	地価が高騰しすぎて住み続ける事が困難。区外への引越しを検討中。
	ファミリー向け住宅の絶対数が不足している。そのため選択肢が限られている。消滅可能性自治体になったことにも納得がいく。
	公共住宅が少ないような気がする。
地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル	便利さ重視を進めてきた現在、見直されなければ成らない所に来ていると思います。将来ある子供達を考えると不安だけが頭をよぎる日々です。
	個人では成果を出すのが難しく、すべての人にとって関わりのある分野だから。
	温暖化により、気候や地球環境があまりにも変わりすぎている為。
保健・医療の充実	がん検診など今でも充実していると思いますが、今後も医療の充実は継続していただきたい。
	大きな病院がなく、病院は他区を利用している。
	病院が近くにあってもいつも混雑している。いろんなクリニックがあるといい。
学校教育の充実	子どもは未来の宝だと思うから。地域に愛着を持って育つと将来地域に還元されると思います。
	昨今は私立小学校、中学校への進学率があがっており、公立私立での教育格差を懸念。公立だからこそできる地域密着からの体験を通して学べる教育などがあると区の魅力がさらに増すと思います。
	学校教育を考えるに「教師の質」が問われる。安心して任せられる体制が不可欠に思う。家庭だけでは対応しがたく学校教育の質の向上を望む。

【性別、年齢別】（上位12項目）

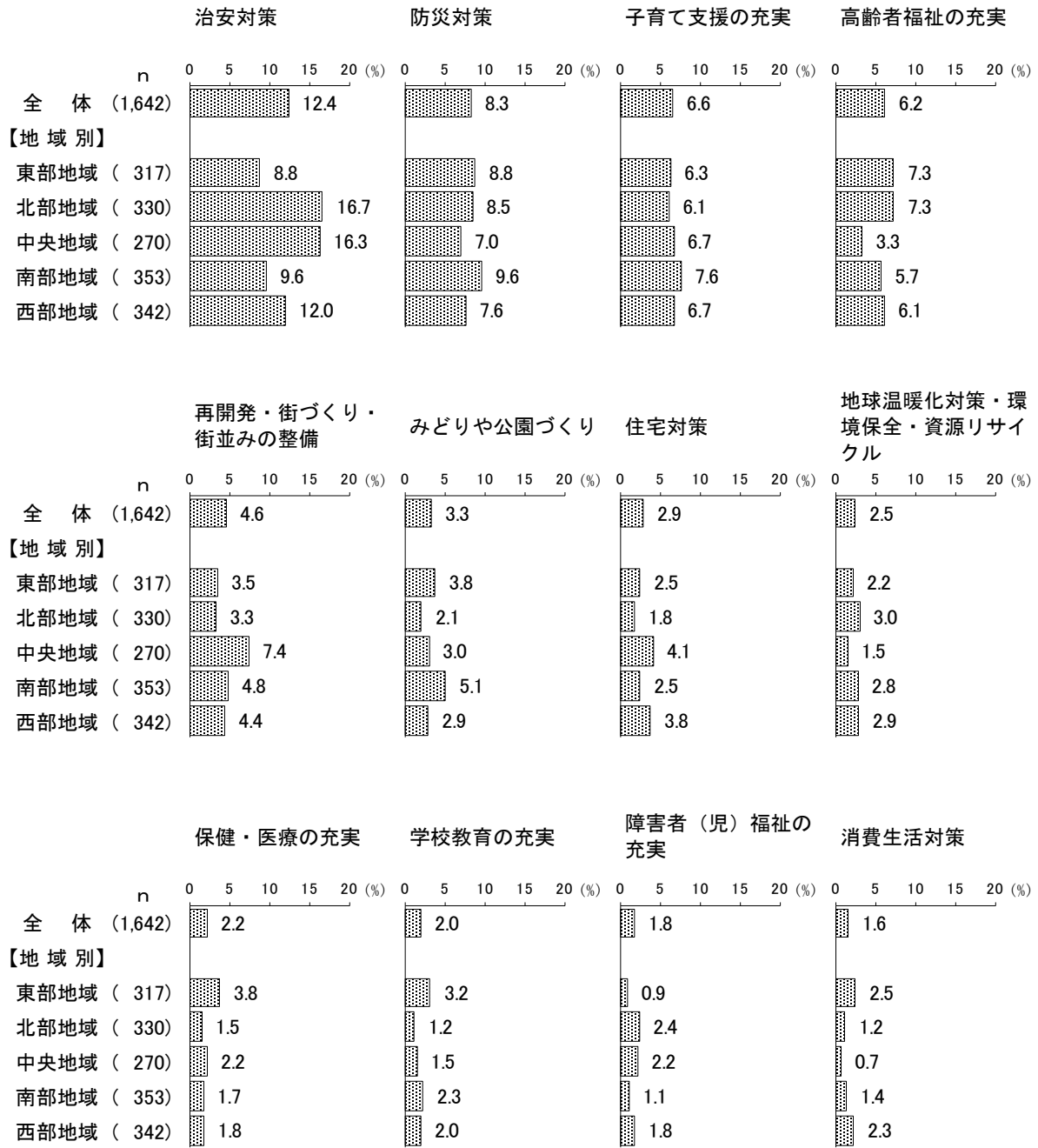
性別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は男性（6.6%）が女性（3.4%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「治安対策」は40～49歳（17.4%）で2割近くとなっている。「子育て支援の充実」は30～39歳（19.2%）で約2割となっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「治安対策」は北部地域（16.7%）で2割近く、中央地域（16.3%）で1割半ばとなっている。



(4) 総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査（令和6年度）と比較するため、●が今回調査、○が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

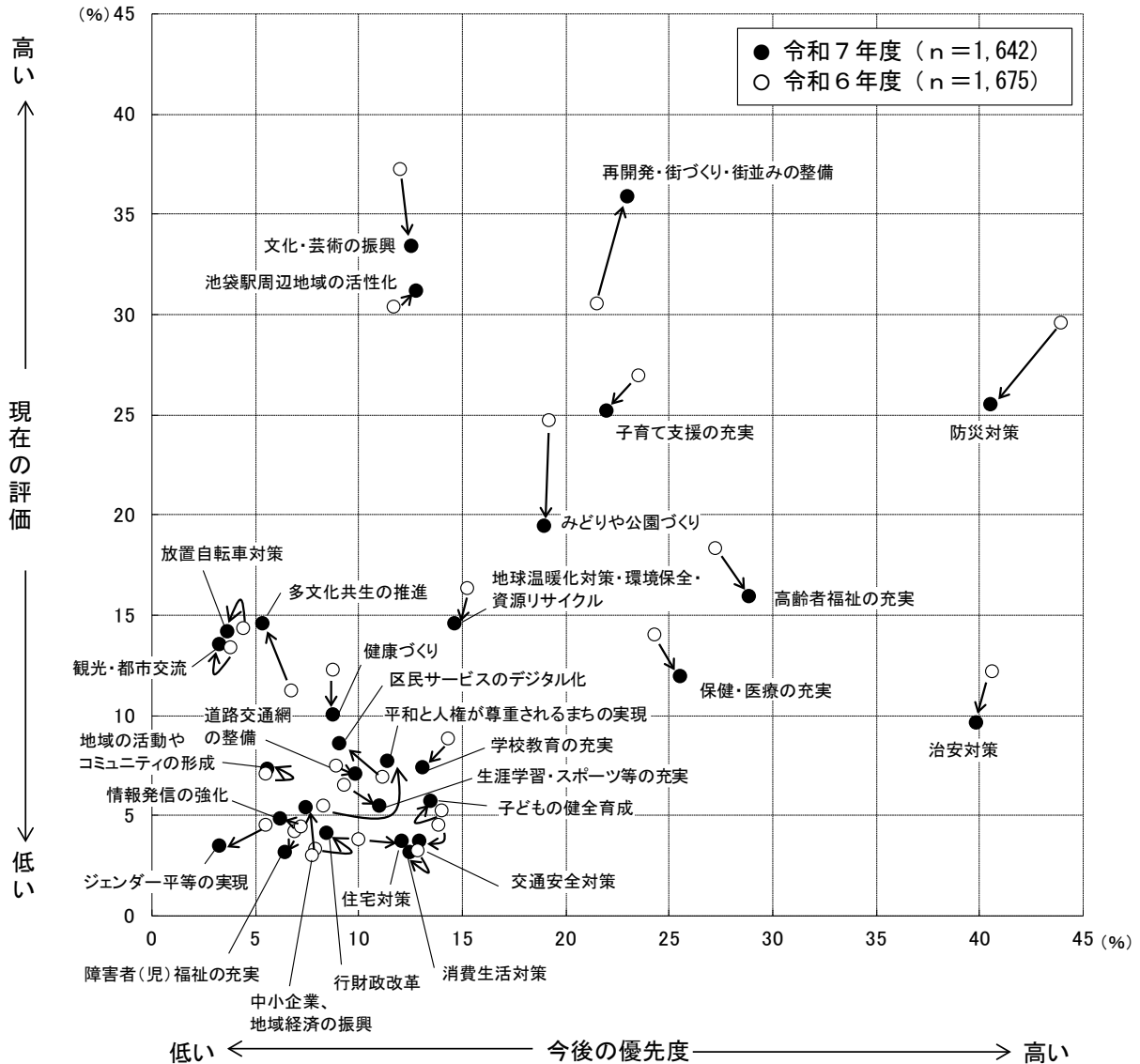
【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

<p>■現在の評価 各項目の回答割合 (%)</p>	<p>■今後の優先度 各項目の回答割合 (%)</p>
--------------------------------	---------------------------------

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

現在の評価は低い、今後の優先度は高い項目は、「治安対策」となっている。



※「平和と人権が尊重されるまちの実現」は令和6年度調査では「平和の重要性に関する教育・啓発活動」  
 ※「ジェンダー平等の実現」は令和6年度調査では「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」

## 9. 自由意見

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。728 人から回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は 1,073 件となっている。意見の分類は、問 18：区の施策の項目に沿って行った。

分 類 項 目	件 数
① 誰もがいつでも主役	91
② 地域と共に支えあう安全・安心なまち	238
③ 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	84
④ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	110
⑤ 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	42
⑥ 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	59
⑦ 共につくる地球にも人にもやさしいまち	134
⑧ 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	184
⑨ 未来を見据えた持続可能な行財政運営	47
⑩ その他	51
⑪ 本調査について	33
合 計	1,073

### Ⅲ 調査票



# 令和 7 年度 豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査

## ～ご協力のお願い～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊島区では、一人ひとりの区民の皆さまをはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかでお感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民の皆さまとの協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

実施に当たり、区内に2年以上お住まいの18歳以上の方から無作為に5,000名を選ばせていただきました。回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年7月 豊島区長 高 際 み ゆ き

### 【ご回答にあたってのお願い】 所要時間 15分程度 (全18問)

- ◎ご回答は、《郵送》または《インターネット》で行うことができます。
- ◎調査へのご回答は、原則として封筒のあて名のご本人様が行ってください。  
(ご本人の回答が困難な場合には、ご家族様にご相談いただいても結構です。)
- ◎ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印、または番号を記入してください。
- ◎質問で、選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で選択してください。また、「その他」を選んだ場合や自由回答には、具体的な内容をご記入ください。
- ◎調査票右上のIDはランダム(無作為)に記載しており、個人を特定するものではありません。

回答期限：**令和7年7月28日(月)**

### 【郵送での回答方法】

- ◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、回答期限までにご投函ください。

### 【インターネットでの回答方法】

- ◎裏面、「インターネットでの回答手順」をご参照のうえ、回答期限までに送信してください。
- ◎インターネットで回答した場合には、紙の調査票を返送していただく必要はありません。

## 【インターネットでの回答手順】 通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。

### 手順1 ページにアクセスしてください。

◎パソコン又はスマートフォン、タブレット等で、下記の(1)、(2)いずれかの方法でアクセスしてください。

(1) 右の二次元コードを読み取り回答フォームにアクセス




(2) 下記URLを直接入力し、回答フォームにアクセス

<https://sogo-k.post-survey.com/r7toshima/>

### 手順2 ログインをしてください。

◎下記のログイン画面が表示されますので、紙の調査票1ページ目右上のIDを入力して

「次へ」を選択してください。

<p><b>令和7年度 豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査</b></p> <p>調査にご協力をお願いします (所要時間15分程度/全18問)</p> <p>&lt;注意事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆回答は統計的に処理するため、回答者が特定されることはありません。</li><li>◆ページの移動は必ず画面下部の「戻る」、<u>「次へ」</u>を使用してください。ブラウザやスマートフォンの附属機能「戻る」「進む」は画面が正常に動かなくなるため使用しないでください。</li><li>◆回答を中断しても続きから回答を再開することができます。その際には再度「ID」の入力が必要となりますので、全ての質問の回答が終了するまでログインIDを保管してください。</li></ul> <p>&lt;回答期限&gt;</p> <p>令和7年7月28日(月)</p> <p>調査票1ページ目の右上に記載のログインIDを入力してください(半角英数字6桁)。</p> <p>ログインID:</p>	<p> <b>協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票</b></p> <p>豊島区 ID: XXXXXX</p> <p><b>I. 豊島区の印象について</b></p> <p><b>1. 住み心地</b></p> <p>問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうか。(1つに○)</p> <table border="1"><tr><td>1. 住み良い</td><td>3. どちらかといえば住みにくい</td><td>5. わからない</td></tr><tr><td>2. どちらかといえば住み良い</td><td>4. 住みにくい</td><td></td></tr></table>	1. 住み良い	3. どちらかといえば住みにくい	5. わからない	2. どちらかといえば住み良い	4. 住みにくい	
1. 住み良い	3. どちらかといえば住みにくい	5. わからない					
2. どちらかといえば住み良い	4. 住みにくい						

【紙の調査票右上のID(半角英数字6桁)を入力】

### 手順3 質問画面が表示されますので、順に回答してください。

◎選択肢の中からあてはまる項目の番号を選択し、画面下の「次へ」を押してください。

◎ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません。一つ前の質問に戻りたい場合は、画面下の「戻る」を押してください。

◎回答を中断しても、時間をおいて続きから回答することができます。その際にはログインIDが必要になりますので、全ての回答が終了するまでログインIDを保管してください。

◎すべての回答が終わりましたら、『送信』を押して、回答を送信してください。正しく回答データが送信されましたら、『回答終了』の画面が表示されます。

## 【問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【担当課】 豊島区 政策経営部 企画課 企画統計グループ

【電話】 03-4566-2518 (直通)

【FAX】 03-3980-5093



# 協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票

豊島区

ID:

## I. 豊島区の印象について

### 1. 住み心地

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうですか。(1つに○)

- |                 |                  |          |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 住み良い         | 3. どちらかといえば住みにくい | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい         |          |

問2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに○)

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった  | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

《問2で、「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》

問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。具体的な理由について1つお答えください。(自由回答)

### 2. 居住の経緯

問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

- |                               |               |
|-------------------------------|---------------|
| 1. ずっと住んでいる (一時的に豊島区を離れた人も含む) | 2. 他の区市町村からきた |
|-------------------------------|---------------|

《問3で、「2. 他の区市町村からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。(1つに○)

- |   |
|---|
| 1. 他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた   |
| 2. 最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった  |
| 3. 転居先が豊島区内に決まっていた (会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめめる家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど) |

《問3-1で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 買い物など日常生活に便利だから   | 9. 治安が良いから                 |
| 2. 通勤・通学に便利だから       | 10. 防災面で安全だから              |
| 3. 出産や子育て環境が良いから     | 11. 公共施設が充実しているから          |
| 4. 教育環境が良いから         | 12. 街並みや街の雰囲気が良いから         |
| 5. 文化的な環境が良いから       | 13. 豊島区またはその地域のイメージが良かったから |
| 6. 医療・福祉・介護が充実しているから | 14. 気に入った物件が豊島区内だったから      |
| 7. 住環境が良いから          | 15. 物価が安いから                |
| 8. 自然環境が良いから         | 16. その他 ( )                |

### 3. 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. いつまでも住み続けたいと思っている</li> <li>2. 当分住み続けたいと思っている</li> <li>3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある</li> <li>4. 豊島区内で転居したいと思っている</li> <li>5. 他の区市町村に転居したいと思っている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>6. わからない</li> </ul> |
|---|--|

《問4で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

→問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 地域になじみがあるから           | 13. 子どもの教育のため、住む必要があるから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから      | 14. 教育環境が良いから           |
| 3. 今の住まいが気に入っているから       | 15. 文化的な環境が良いから         |
| 4. 持ち家だから                | 16. 医療・福祉・介護が充実しているから   |
| 5. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから | 17. 住環境が良いから            |
| 6. 親戚が近くに住んでいるから         | 18. 家賃が適当だから            |
| 7. 友人・知人が近くに住んでいるから      | 19. 物価が安いから             |
| 8. 近所づきあいがうまくいっているから     | 20. 自然環境が良いから           |
| 9. 買い物など日常生活に便利だから       | 21. 治安が良いから             |
| 10. 通勤・通学に便利だから          | 22. 防災面で安全だから           |
| 11. 仕事の関係上、住む必要があるから     | 23. 公共施設が充実しているから       |
| 12. 出産や子育て環境が良いから        | 24. その他 ( )             |

《問4で、「3～5」とお答えの方におたずねします》

→問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 地域になじみがないから               | 15. 出産や子育て環境が良くないから       |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから       | 16. 子どもの教育のため、転居する必要があるから |
| 3. 今の住まいが気に入っていないから          | 17. 教育環境が良くないから           |
| 4. 持ち家に住みたいから                | 18. 文化的な環境が良くないから         |
| 5. 家が手狭になったから                | 19. 医療・福祉・介護が充実していないから    |
| 6. 親や子どもの近くに住みたいから           | 20. 住環境が良くないから            |
| 7. 親戚の近くに住みたいから              | 21. 家賃が負担だから              |
| 8. 友人・知人の近くに住みたいから           | 22. 物価が高いから               |
| 9. 結婚等で同居するから                | 23. 自然環境が良くないから           |
| 10. 近所づきあいがうまくいっていないから       | 24. 治安が良くないから             |
| 11. 買い物など日常生活に不便だから          | 25. 防災面で不安だから             |
| 12. 通勤・通学に不便だから              | 26. 公共施設が充実していないから        |
| 13. 仕事の関係上、転居する必要があるから       | 27. 他の地域にも興味があるから         |
| 14. 仕事・学校の関係で一時的に居住しているだけだから | 28. その他 ( )               |

## Ⅱ. 地域の生活環境の評価と今後の優先度について

問5 豊島区は、令和7年4月に基本構想及び基本計画を策定しました。

以下の設問は、基本構想・基本計画に掲げる「3つの理念」及び「7つのまちづくりの方向性」の実現に向けて取り組む50の施策等について「現在の評価」と「今後の優先度」をお聞きするものです。

あなたの生活実感やイメージに基づき、最も近いと思われるものを選んでください。

現在の評価の欄は、1・2・3から1つに○、今後の優先度の欄は、各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入してください。もし回答が分からない場合は、空欄のままにしてください。

グループ	項目番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	いえない どちらとも	どちらかという そう思わない	各グループの中で、 今後優先的に良くし ていくべきと思う項 目の番号を選んでく ださい。
①地域と共に支えあう安全・安心なまち	1	異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる	1	2	3	※1～8の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。  <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>
	2	災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている	1	2	3	
	3	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	
	4	建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	5	行政と地域活動団体やNPO、企業、大学等との連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	6	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
	7	地域に住み続けるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	8	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	

グループ	項目番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			どちらかという そう思う	どちらか いえない どちらとも そう思わない	どちらかという そう思う	
②子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	9	妊娠・出産期からきめ細かな支援により、安心して子どもを産み育てることができる	1	2	3	※9～20の中から4つ選んで、番号を書いてください。  <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	10	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している	1	2	3	
	11	需要に応じた保育サービスが提供されている	1	2	3	
	12	児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	13	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み幼児教育施設や学校に通っている	1	2	3	
	14	学校は確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育成する教育を行っている	1	2	3	
	15	障害の有無や国籍、性別、不登校の状況等にかかわらず、すべての子どもたちの学びと成長のための支援が十分に行われている	1	2	3	
	16	自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している	1	2	3	
	17	学校施設の老朽化対策やバリアフリー化など安全安心な教育環境が提供されている	1	2	3	
	18	学校教育に地域の人材が活用されている	1	2	3	
	19	子どもの権利に関する理解が進んでいる	1	2	3	
	20	子ども・若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している	1	2	3	

グループ	項目番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			どちらかという そう思う	どちらか いえない	どちらかという そう思わない	
③生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	21	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	※21～31の中から4つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	22	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる	1	2	3	
	23	地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	
	24	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	25	まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている	1	2	3	
	26	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる	1	2	3	
	27	支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている	1	2	3	
	28	がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	1	2	3	
	29	健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている	1	2	3	
	30	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	31	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	
④豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	32	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	※32～36の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	33	文化芸術に触れる機会が多くなった	1	2	3	
	34	身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある	1	2	3	
	35	図書館の利用が生活の充実につながっている	1	2	3	
	36	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

グループ	項目番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、 今後優先的に良くし ていくべきと思う項 目の番号を選んでく ださい。
			どちらかという そう思う	ど ちら か と い う と い え な い	ど ちら か と い う と そ う 思 わ な い	
⑤ 活気にぎわいを生み出す 産業と観光のまち	37	各種経営相談窓口が充実しており、起業しやすい環境が整っている	1	2	3	※37～41の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	38	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている	1	2	3	
	39	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる	1	2	3	
	40	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている	1	2	3	
	41	専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている	1	2	3	
⑥ 共につくる地球にも人も やさしいまち	42	地球温暖化について、関心を持ち、自分事として捉えている	1	2	3	※42～46の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	43	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	1	2	3	
	44	ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている	1	2	3	
	45	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなく、きれいである	1	2	3	
	46	日頃から環境にやさしい行動をとっている	1	2	3	
⑦ 誰もが居心地の良い 歩きたくなるまち	47	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※47～50の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	48	池袋周辺で、新宿・渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	49	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	1	2	3	
	50	近くに好きな公園がある	1	2	3	

グループ	項目番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価		
			どちらかという そう思う	いえない どちらか と	どちらかという そう思わない
【理念①】 誰もが いつでも 主役	51	戦争の悲惨さや平和の尊さが、世代を超えて受け継がれている	1	2	3
	52	互いの人権を尊重し、差別のない地域社会を目指す意識が広がっている	1	2	3
	53	性別等にかかわらず、誰もがその人らしく安心して暮らせるまちである	1	2	3
	54	女性一人ひとりが家庭・職場・地域で生き生きとその力を発揮できるよう、みんなで支え合っている	1	2	3
	55	外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる	1	2	3
	56	地域で外国人との交流がある	1	2	3
【理念②】 みんなが つながる	57	地域の一員として、地域のために何か役立ちたい	1	2	3
	58	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	1	2	3
	59	区の政策に区民の意見や考えが反映されている	1	2	3
	60	区に意見を述べる機会や手段、方法に満足している	1	2	3
	61	区民や企業等が中心（行政の関わりが薄い）となって、地域課題の解決に向けた取り組みができています	1	2	3
【理念③】 出会いと笑 顔が咲きほ こる、憧れ のまち	62	豊島区に愛着を感じる	1	2	3
	63	豊島区に住んでいることを誇りに感じる	1	2	3

### Ⅲ. 区の情報・区の政策等について

#### 1. 区の情報について

問6 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。(いくつでも○)

- |                                      |                     |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 新聞折り込みや戸別配達による「広報としま」             | 10. 町会回覧板           |
| 2. 区内店舗や駅などで入手した「広報としま」              | 11. 区の窓口や電話での問い合わせ  |
| 3. 「広報としま」以外の区のパンフレットやチラシなど          | 12. 民間のウェブサイト・SNS   |
| 4. 区のホームページ                          | 13. 新聞・雑誌・テレビ報道     |
| 5. 区のSNS (LINE、X：旧Twitter、フェイスブックなど) | 14. スマートフォン用ニュースアプリ |
| 6. 区のメールマガジン                         | 15. 知人・家族から (ロコミ)   |
| 7. 区のテレビ広報番組 (ケーブルテレビ)               | 16. その他             |
| 8. 区の掲示板                             | ( )                 |
| 9. 町会掲示板                             | 17. 入手したことが無い       |

問7 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか。(1つに○)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 十分に伝わっている  | 3. あまり伝わっていない  |
| 2. ある程度伝わっている | 4. まったく伝わっていない |

《問7で、「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

▶問7-1 伝わっていないと思う理由について1つお答えください。

- |  |
|--|
| 1. 情報が多く、他の情報に埋もれて見逃してしまう                              |
| 2. 調べても知りたい情報にたどり着かない                                  |
| 3. 情報の入手方法がよくわからない                                     |
| 4. 知りたい情報はあがるが確認する時間がない                                |
| 5. インターネットやSNS (LINE、X：旧Twitter、フェイスブックなど) の利用方法がわからない |
| 6. その他 ( )   |

問8 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 関心がある    | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 関心がない    |

問9 あなたは、社会状況や区民ニーズに応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。(1つに○)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |

## 2. 地域との関わりについて

問 10 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。(1つに○)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 現在、参加している    | 3. 関心はあるが、参加していない  |
| 2. 以前、参加したことがある | 4. 関心がないので、参加していない |

## 3. 公共交通について

問 11 現在、あなたの住んでいる地域は、鉄道・バス等の公共交通が充実し、便利であると感じますか。(1つに○)

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. どちらかというと思う | 3. どちらかというと思わない |
| 2. どちらともいえない  |                 |

## 4. 自転車駐輪場について

問 12 現在、区内の自転車駐輪場を利用していますか。(1つに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

《問 12 で「1」とお答えの方におたずねします》

▶ 問 12-1 現在利用している駐輪場について、最もあてはまるものと思われるものを選んでください。(それぞれ1つに○)

		思 う と も そ う	そ う 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	い そ う 思 わ な い
1	駐輪場から駅まで（鉄道を利用しない人は目的地まで）近くて便利である	1	2	3	4
2	十分な通路幅やラック等の設備が充実している	1	2	3	4
3	利用料金は適切であると思う	1	2	3	4
4	防犯面・安全性の観点から、駐輪場を安心して利用できる	1	2	3	4
5	総合的に見て駐輪場に対する評価は高い	1	2	3	4

## 5. ふるさと納税について

問 13 あなたは他の自治体にふるさと納税をしたことがありますか。(1つに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. したことがある | 2. したことがない |
|------------|------------|

問 14 区在住の方が他の自治体にふるさと納税をすると、区の収入が減少し、区民サービスが低下するおそれがあることを知っていますか。(1つに○)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

《問 14 で「1」とお答えの方におたずねします》

▶ 問 14-1 区の収入が減ってしまうことはどのような媒体を通して知りましたか。(いくつでも○)

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 豊島区ホームページ            | 4. テレビ、新聞、雑誌等のメディア |
| 2. 広報としま                | 5. その他             |
| 3. 豊島区 SNS (X:旧ツイッター) 等 | ( )                |

## 6. 多文化共生のまちづくりについて

問 15 「多文化共生社会」とは、「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を言います。

近くに住む外国人との関係で、どのような点が改善されるとより共に生活しやすくなりますか。(いくつでも○)

あなたが、外国人の場合は、日本人との関係においてどのような点で困った経験があるかお答えください。(いくつでも○)

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1. 部屋からの声・物音           | 7. ペット関連       |
| 2. ことばの行き違い            | 8. 部屋の使い方      |
| 3. ごみの出し方              | 9. 店舗や宿泊施設での対応 |
| 4. 駐車・駐輪のルール・マナー       | 10. 子どもの友人関係   |
| 5. 路上でのマナー (大声・たむろ・喫煙) | 11. その他 ( )    |
| 6. 建物の建て増し、建て直し        | 12. 特にない       |

問 16 あなたの周りで困っている外国人の方はいますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

《問 16 で「1」とお答えの方におたずねします》

▶ 問 16-1 困っている外国人の方がいた時に、あなたはどのように対応しますか。(いくつでも○)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 相談内容を聞き、自身で対応する | 4. 知人につなげる |
| 2. 区の外国人相談窓口を案内する  | 5. その他 ( ) |
| 3. 関係機関を案内する       | 6. 特に対応しない |

## 7. 区政のデジタル化について

問 17 あなたは区政のデジタル化が進んでいると思いますか。(1つに○)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |

《問 17 で「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問 17-1 どのような手続きでデジタル化が進んでいると思いますか。(1つに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 申請・手続き  | 4. 施設利用予約  |
| 2. 情報発信    | 5. その他 ( ) |
| 3. 問い合わせ対応 |            |

《問 17 で「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問 17-2 どのような分野でデジタル化が進んでいると思いますか。(1つに○)

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. 防災        | 5. 産業・観光 |
| 2. 教育・保育・子育て | 6. 環境    |
| 3. 健康づくり・福祉  | 7. まちづくり |
| 4. 文化・スポーツ   |          |

《問 17 で「1」または「2」とお答えいただいた方におたずねします》

問 17-3 あなたは区政のデジタル化が進んだことによる効果を実感していますか。(1つに○)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 実感している   | 3. あまり実感していない |
| 2. 少し実感している | 4. 実感していない    |

《問 17 で「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

問 17-4 どのような手続きでデジタル化が進んでいないと思いますか。(1つに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 申請・手続き  | 4. 施設利用予約  |
| 2. 情報発信    | 5. その他 ( ) |
| 3. 問い合わせ対応 |            |

《問 17 で「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

問 17-5 どのような分野でデジタル化が進んでいないと思いますか。(1つに○)

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. 防災        | 5. 産業・観光 |
| 2. 教育・保育・子育て | 6. 環境    |
| 3. 健康づくり・福祉  | 7. まちづくり |
| 4. 文化・スポーツ   |          |

## IV. 区政全般への要望

問 18 区政全体について考えた場合、ここに掲げた 1～29 の項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。  
(○はそれぞれ 5 つまで)

施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5 つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5 つまで)
<b>誰もがいつでも主役</b>		
平和と人権が尊重されるまちの実現	1	1
ジェンダー平等の実現	2	2
多文化共生の推進	3	3
<b>地域と共に支えあう安全・安心なまち</b>		
防災対策	4	4
地域の活動やコミュニティの形成	5	5
住宅対策	6	6
治安対策	7	7
<b>子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち</b>		
子育て支援の充実	8	8
学校教育の充実	9	9
子どもの健全育成	10	10
<b>生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち</b>		
高齢者福祉の充実	11	11
障害者（児）福祉の充実	12	12
健康づくり	13	13
保健・医療の充実	14	14
<b>豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち</b>		
文化・芸術の振興	15	15
生涯学習・スポーツ等の充実	16	16
<b>活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち</b>		
中小企業、地域経済の振興	17	17
観光・都市交流	18	18
消費生活対策	19	19
<b>共につくる地球にも人にもやさしいまち</b>		
地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル	20	20
みどりや公園づくり	21	21
<b>誰もが居心地の良い歩きたくなるまち</b>		
再開発・街づくり・街並みの整備	22	22
池袋駅周辺地域の活性化	23	23
道路交通網の整備	24	24
交通安全対策	25	25
放置自転車対策	26	26
<b>未来を見据えた持続可能な行財政運営</b>		
行財政改革	27	27
情報発信の強化	28	28
区民サービスのデジタル化	29	29

▶ 問 18-1 問 18 で選んだ 5 つの「特に力を入れてほしいと思う施策」の中で、一番力を入れてほしいものの番号とその理由を書いてください。

番号	理由

## V. あなたご自身のことについて（※統計的に分析するために使用します。）

① あなたの自認する性をお答えください。（1つに○）

1. 男性      2. 女性      3. (                      ) ※自認する性を記載してください。

② あなたの年齢について、お答えください。（1つに○）

- |           |           |            |            |
|-----------|-----------|------------|------------|
| 1. 18～19歳 | 5. 35～39歳 | 9. 55～59歳  | 13. 75～79歳 |
| 2. 20～24歳 | 6. 40～44歳 | 10. 60～64歳 | 14. 80歳以上  |
| 3. 25～29歳 | 7. 45～49歳 | 11. 65～69歳 |            |
| 4. 30～34歳 | 8. 50～54歳 | 12. 70～74歳 |            |

③ あなたの職業について、お答えください。（1つに○）

- |                       |                                |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 自営業主               | 6. 専業の主婦（主夫）                   |
| 2. 家族従業（家事手伝い・家族従業者等） | 7. 学 生                         |
| 3. 勤め（全日・正規）          | 8. 無 職                         |
| 4. 勤め（全日・非正規）         | 9. その他（                      ） |
| 5. 勤め（パートタイム）         |                                |

《③で、「3～5」とお答えの方におたずねします》

▶④お勤めの方にお聞きします。あなたの仕事の内容を次の中から1つお選びください。（1つに○）

- |   |
|---|
| 1. 経営・管理職（会社、団体、官公庁の役員・課長以上の管理職など）  |
| 2. 専門・技術職（病院勤務医、弁護士、税理士、研究所研究員、教員、食品・機械・建築・情報処理・医療等の技術者、看護師、栄養士、保育士、新聞記者、デザイナーなど） |
| 3. 事務職（事務系・営業系事務員、事務機械オペレーターなど）   |
| 4. 労務・技能職（工員・職人・大工、警察官、消防士、守衛、清掃員、運転手、車掌など）                                       |
| 5. 販売・サービス職（店員、販売外交員、保険外交員、給仕、調理師、介護職員、理・美容師など）                                   |
| 6. その他（                      ）  |

⑤配偶者はいらっしゃいますか。（豊島区パートナーシップ・ファミリーシップ届受理証明書の交付を受けた方・事実婚の方を含みます。）

（1つに○）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

《⑤で、「1」とお答えの方におたずねします》

▶⑥共働きをしていますか。（1つに○）

- |                          |             |
|--------------------------|-------------|
| 1. 共働きしている（パート・アルバイトを含む） | 2. 共働きしていない |
|--------------------------|-------------|

⑦ あなたのお住まいの町名について、お答えください。(町名の番号に○印を付け、( )内に何丁目かお書きください。) 記入例 ① 駒込 ( 2 ) 丁目

1. 駒込 ( ) 丁目	8. 南池袋 ( ) 丁目	15. 南長崎 ( ) 丁目
2. 巣鴨 ( ) 丁目	9. 西池袋 ( ) 丁目	16. 長崎 ( ) 丁目
3. 西巣鴨 ( ) 丁目	10. 池袋 ( ) 丁目	17. 千早 ( ) 丁目
4. 北大塚 ( ) 丁目	11. 池袋本町 ( ) 丁目	18. 要町 ( ) 丁目
5. 南大塚 ( ) 丁目	12. 雑司が谷 ( ) 丁目	19. 高松 ( ) 丁目
6. 上池袋 ( ) 丁目	13. 高田 ( ) 丁目	20. 千川 ( ) 丁目
7. 東池袋 ( ) 丁目	14. 目白 ( ) 丁目	

⑧ あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。(1つに○)

1. 2年以上～3年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 15年以上～20年未満
2. 3年以上～5年未満	4. 10年以上～15年未満	6. 20年以上

⑨ 豊島区に住み始めたのはいつですか。お答えください。(1つに○)

1. 生まれた時から	3. 大学・専門学校生の頃	5. 結婚した頃
2. 子どもの頃 (高校生まで)	4. 就職した頃	6. その他 ( )

⑩ あなたが豊島区に住む前に住んでいた地域について、お答えください。(1つに○)

1. 生まれてからずっと豊島区に住んでいる	6. 練馬区	11. 神奈川県
2. 新宿区	7. その他の特別区	12. その他の関東
3. 文京区	8. 東京都の市町村	13. その他の国内
4. 北区	9. 埼玉県	14. 外国
5. 板橋区	10. 千葉県	

⑪ あなたの国籍をお答えください。(1つに○)

1. 日本	2. 日本以外
-------	---------

⑫ あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	( )

《⑫で、「3. 親と子」または「4. 三世代」とお答えの方におたずねします》

⑬ ご家族の中に次に該当するお子さんは何人いらっしゃいますか。

就学前の乳幼児	( ) 人
小学生	( ) 人
中学生	( ) 人
高校生	( ) 人

⑭あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)。

1. 持ち家 (一戸建)	5. UR 都市機構・公社・公営の賃貸住宅
2. 持ち家 (分譲マンションなどの集合住宅)	6. 社宅・公務員住宅
3. 民間の借家 (一戸建て)	7. 住み込み・寮・寄宿舎など
4. 民間の借家 (賃貸マンション・アパート等の集合住宅)	8. その他 ( )

⑮ あなたの世帯の年収 (税込) について、差し支えなければ、お答えください。(1つに○)

1. 200万円未満	5. 800万円～1,000万円未満
2. 200万円～400万円未満	6. 1,000万円～1,500万円未満
3. 400万円～600万円未満	7. 1,500万円以上
4. 600万円～800万円未満	

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて **令和7年7月28日(月)** までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)





# 協働のまちづくりに関する区民意識調査 報告書

令和8年(2026)年3月発行  
(令和7年7月調査)

調査主体 豊島区 政策経営部 企画課  
〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1  
電話 03-3981-1111 (代表)

調査実施 株式会社総合企画  
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-7-2  
電話 03-5829-6203 (代表)

